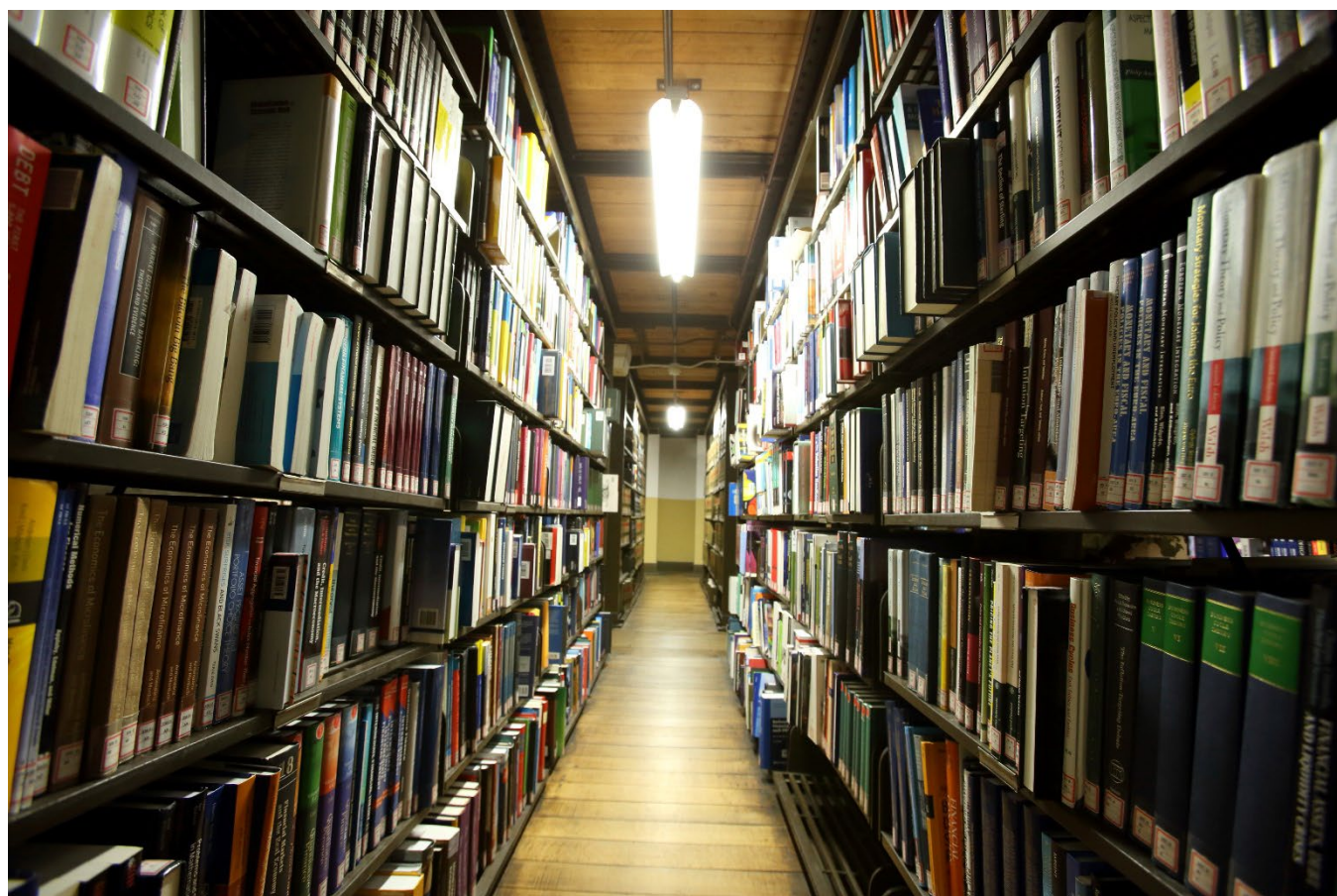


神戸大学データ資料集 2024

—データと資料が語る神戸大学の今の姿—



神戸大学データ資料集は、データを通して本学の特徴や状況を客観的な視点で把握することを目的に作成しています。過去からの推移や他大学との比較により、神戸大学の歩みや現状が分かりやすくまとめられています。

他大学との比較では、国立大学法人運営費交付金「成果を中心とする実績状況に基づく配分」において、規模や組織体制の観点から設定されたグループのうち、グループ④及び⑤に属する、本学を含む **17大学で比較**を行っています。

グループ④

主として、卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に卓越した教育研究、社会実装を推進する取組を中核とする国立大学のうち、指定国立大学

東北大学、筑波大学、東京大学、東京医科歯科大学、東京工業大学、一橋大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学

グループ⑤

主として、卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に卓越した教育研究、社会実装を推進する取組を中核とする国立大学

北海道大学、千葉大学、東京農工大学、金沢大学、神戸大学、岡山大学、広島大学

また、2004年法人化以降の本学の学部・研究科の主な沿革は以下の通りです。

2007年	4月	大学院文学研究科（修士課程）・文化学研究科（博士課程後期課程）を改組・統合して大学院人文学研究科（博士課程）を設置。
		大学院総合人間科学研究科（博士課程）を改組して大学院国際文化学研究科・人間発達環境学研究科（博士課程）を設置。
		大学院自然科学研究科（博士課程）を改組して大学院理学研究科・工学研究科・農学研究科・海事科学研究科（博士課程）を設置。
2008年	4月	大学院医学系研究科保健学専攻（博士課程）を改組して大学院保健学研究科（博士課程）を設置。 大学院医学系研究科を大学院医学研究科 に改める。
2010年	4月	大学院システム情報学研究科（博士課程）を設置。
2016年	4月	大学院科学技術イノベーション研究科（修士課程）を設置。
2017年	4月	国際文化学部と発達科学部を統合再編し、国際人間科学部を設置。
2018年	4月	大学院科学技術イノベーション研究科（博士課程）を設置。大学院科学技術イノベーション研究科（修士課程）を（博士課程前期課程）に移行。
2021年	4月	海事科学部を改組し、海洋政策科学部を設置。
2023年	4月	医学研究科医療創成工学専攻（博士課程）を設置。

※本学の博士課程は医学研究科医科学専攻は4年一貫、他専攻は前期課程2年、後期課程3年です。

目次

概要

1.概要・ランキング	… 1
------------	-----

教育

2.学生数★	… 8
3.学部一般選抜志願状況★	…10
4.入学状況 -学部-★	…12
5.入学状況 -大学院-★	…14
6.学位授与状況 -授与率-	…15
7.進路・就職状況★	…17
8.資格試験合格状況	…23
9.学生生活状況	…25
10.リカレント教育	…28

研究

11.国際的な研究論文	…31
12.科学研究費	…37
13.日本学術振興会特別研究員	…42
14.研究プログラムの採択状況	…43
15.研究業績に関する主な受賞	…46

産学官連携

16.産学官連携状況	…48
17.国内の大学・自治体・企業等との連携協定	…52
18.連携大学院等実施状況	…54
19.教育関係共同利用拠点	…56

国際

20.留学	…58
21.海外大学との交流状況	…62
22.外国人教員・研究者等交流状況	…65
23.国際化の状況	…67

附属病院

24.附属病院	…69
---------	-----

附属学校

25.附属学校	…73
---------	-----

社会貢献

26.学外機関への参画状況	…74
---------------	-----

教職員

27.教員	…75
28.職員	…79

財務

29.財務	…80
-------	-----

附属図書館・その他一般開放施設

30.附属図書館・その他一般開放施設	…87
--------------------	-----

★：Power BIツールを用いて、
詳細なデータを閲覧可能です。



表紙写真：社会科学系図書館

1. 概要・ランキング

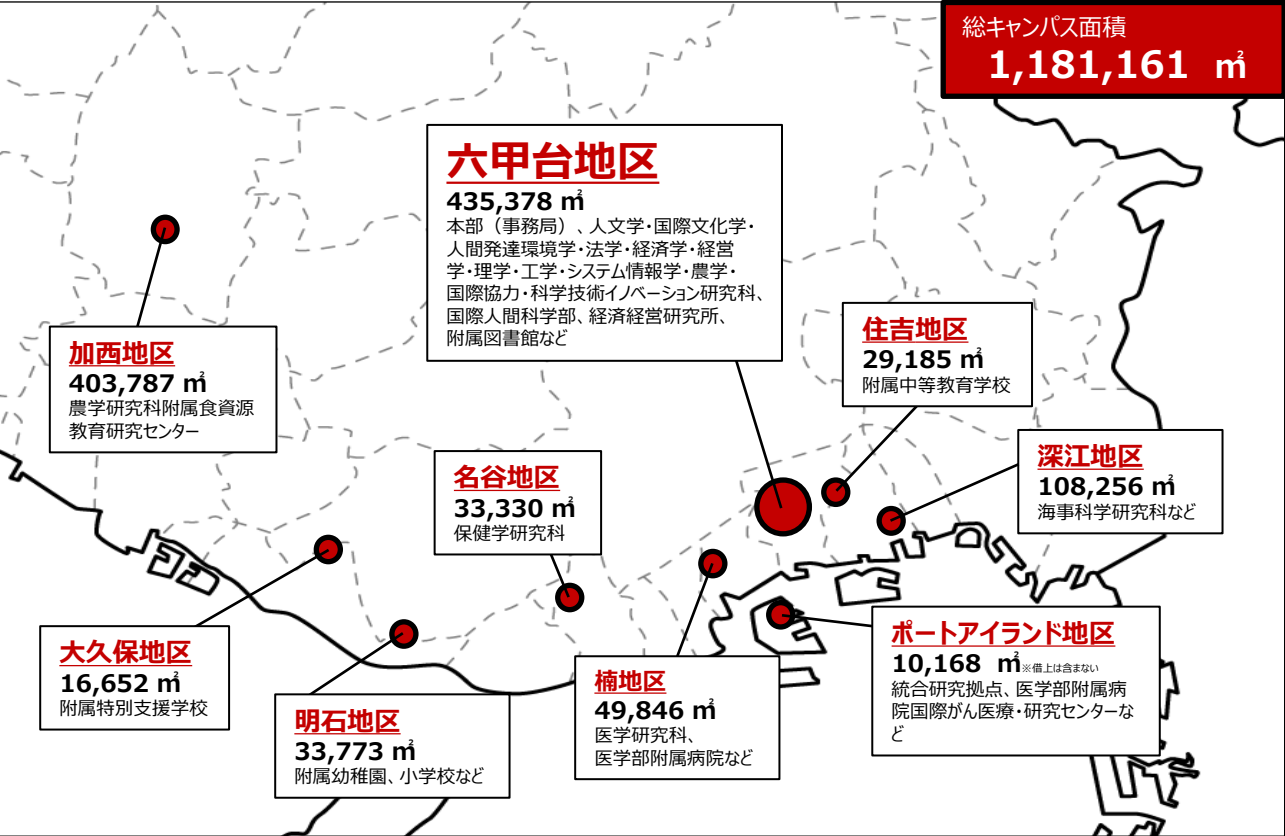
1-1 神戸大学の概要

2024年5月1日現在

区 分			入学定員（※1）	入学者数	総定員	在籍者数（男性数/女性数）
学 生 等 数	学部		2,670	2,713	10,639	11,460（7,344/4,116）
	大 学 院	修士課程・博士課程前期課程	1,310	1,225	2,586	2,641（1,748/893）
		博士課程・博士課程後期課程	423	335	1,321	1,578（1,034/544）
		専門職学位課程	149	159	378	320（230/90）
	合計		4,552	4,432	14,924	15,999（10,356/5,643）
	外国人留学生数		学部生（内数）	大学院生（内数）	研究生等	計
			108	891	308	1,307（666/641）
	附属学校		学級数		在籍者数（※2）	
			45		1,287 [19]	
区 分			教員数（※4）	附属学校教諭	その他職員数	計
教 職 員 数 （※3）			1,575 （承継内1,200）	111	2,659	4,345
	女性教職員数		322	48	1,959	2,329
	女性比率		20.4%	43.2%	73.7%	53.6%
予算規模			2024年度 約802億円（うち運営費交付金等 約207億円）			

※1：入学定員は編入学定員を含む。 ※2：在籍者数の[]は、帰国子女数を内数で示す。
※3：教職員数は休職者を含む。 ※4：教員数は役員を含む。

主要キャンパス



学外オフィス等 [国内] 神戸大学東京オフィス
[海外] 包括的海外拠点：神戸大学ブリュッセル拠点（ベルギー）、神戸大学北京拠点（中国）、神戸大学シアトル拠点（アメリカ合衆国）
海外拠点：神戸大学ポーランド拠点、神戸大学/パベシュ・ポイ大学国際協力センター（ルーマニア）、ハノイ神戸大学連絡拠点（ベトナム）、
神戸大学・北京外国語大学国際共同研究拠点（中国）、神戸大学・上海交通大学文理融合国際共同研究拠点（中国）

1-2 神戸大学の概要（詳細データ）

1-2-1 教職員数（現員）

2024年5月1日現在

	役員等	教授	准教授	講師	助教	助手	特命/ 特定 教員	小計	教諭	事務系 職員	医療系 職員	特命 職員	小計	合計
学長、理事、監事、特別顧問（※）	13							13（11/2）					0	13（11/2）
戦略企画室			1				6	7（6/1）		2		1	3（3/0）	10（9/1）
産官学連携本部		1						1（1/0）				6	6（2/4）	7（3/4）
地域連携推進本部							2	2（1/1）					0	2（1/1）
DX・情報統括本部		3	3		1		1	8（6/2）					0	8（6/2）
カーボンニュートラル推進本部							2	2（2/0）				3	3（2/1）	5（4/1）
安全保障輸出管理室								0		1		1	2（1/1）	2（1/1）
大学文書史料室							1	1（1/0）		1			1（0/1）	2（1/1）
学術研究推進機構							3	3（2/1）	4			2	6（3/3）	9（5/4）
大学教育推進機構		12	6	4	5		14	41（27/14）					0	41（27/14）
国際連携推進機構			1					1（0/1）					0	1（0/1）
デジタルバイオ・ライフサイエンスリサーチパーク推進機構								0					0	0
監査室								0		3			3（2/1）	3（2/1）
内部統制室								0		1		1	2（2/0）	2（2/0）
事務局	総務部							0		77		1	78（47/31）	78（47/31）
	企画部							0		28		2	30（11/19）	30（11/19）
	研究推進部							0		30		5	35（18/17）	35（18/17）
	財務部							0		55			55（33/22）	55（33/22）
	学務部							0		69		3	72（32/40）	72（32/40）
	施設部							0		30			30（24/6）	30（24/6）
	情報推進課							0		16		2	18（11/7）	18（11/7）
附属図書館								0		45		1	46（17/29）	46（17/29）
人文学研究科・文学部		23	13	11	3	1	5	56（38/18）		8			8（2/6）	64（40/24）
国際文化学研究科		32	12	11	3		5	63（42/21）					0	63（42/21）
人間発達環境学研究科		41	27		17		4	89（65/24）					0	89（65/24）
国際人間科学部			1	1	3			5（1/4）	23			1	24（8/16）	29（9/20）
法学研究科・法学部		37	9		1	5	3	55（40/15）	11			2	13（5/8）	68（45/23）
経済学研究科・経済学部		29	7	5		2	1	44（36/8）	11				11（2/9）	55（38/17）
経営学研究科・経営学部		31	16		2	3	6	58（46/12）	11			2	13（7/6）	71（53/18）
理学研究科・理学部		35	25	8	6	2	15	91（78/13）	15			4	19（6/13）	110（84/26）
医学部							2							
附属病院		6	7	29	70		80	199（161/38）						
附属病院国際がん医療・研究センター		1					4							
医学研究科		31	30	12	48		92	213（184/29）		425	1380	68	1,873（341/1,532）	2,294（689/1,605）
附属動物実験施設			1					1（0/1）						
附属感染症センター		2			3	1	2	8（3/5）						
保健学研究科		21	17	7	19		5	69（38/31）		10		2	12（6/6）	81（44/37）
工学研究科・工学部		44	37	4	22	3	4	114（106/8）		57			57（34/23）	171（140/31）
システム情報学研究科		19	9		4		7	39（35/4）					0	39（35/4）
農学研究科・農学部		27	21		21		8	77（64/13）		12			12（4/8）	89（68/21）
附属食資源教育研究センター		1	1		2			4（3/1）	17				17（15/2）	21（18/3）
海科学研究科・海事科学部		24	31	2	6	1	2	66（60/6）		29			29（20/9）	95（80/15）
附属国際海事研究センター		1	2					3（3/0）					0	3（3/0）
附属練習船海神丸		1		1				2（2/0）		8			8（7/1）	10（9/1）
国際協力研究科		11	8		1		2	22（18/4）		5		2	7（1/6）	29（19/10）
科学技術イノベーション研究科		10	5				27	42（31/11）		20		6	26（8/18）	68（39/29）
経済経営研究所		9	10		3	2	5	29（22/7）		7			7（2/5）	36（24/12）
附属企業資料総合センター				1				1（1/0）					0	1（1/0）
バリュースクール		1	1					2（2/0）					0	2（2/0）
バイオシグナル総合研究センター		7	5		6	1	1	20（17/3）					0	20（17/3）
内海環境教育研究センター		3	2	1	1		1	8（7/1）					0	8（7/1）
都市安全研究センター		7	5			1	1	14（12/2）					0	14（12/2）
分子フォトサイエンス研究センター		3	2			1	2	8（8/0）					0	8（8/0）
海洋底底探査センター		3	1				6	10（9/1）					0	10（9/1）
社会システムイノベーションセンター		5					1	6（3/3）					0	6（3/3）
数理・データサイエンスセンター		5	1				2	8（7/1）					0	8（7/1）
計算社会科学研究センター		2	1			1	5	9（8/1）					0	9（8/1）
先端バイオ工学研究センター		2	1				25	28（23/5）				1	1（0/1）	29（23/6）
先端膜工学研究センター		3			2		10	15（13/2）					0	15（13/2）
未来医学工学研究開発センター		1					9	10（8/2）				2	2（1/1）	12（9/3）
次世代光散乱イメージング科学研究センター		1					1	2（2/0）					0	2（2/0）
ウルビーイング先端研究センター		1					1	1（0/1）					0	1（0/1）
水素・未来エネルギー技術研究センター		1					1	2（2/0）					0	2（2/0）
研究基盤センター		1			3			4（4/0）		3		2	5（4/1）	9（8/1）
環境保全推進センター			1		1			2（1/1）		1			1（1/0）	3（2/1）
インクルーシブキャンパス&ヘルスケアセンター		1	1	1	3			6（4/2）		3	5		8（1/7）	14（5/9）
キャリアセンター							1	1（0/1）				1	1（0/1）	2（0/2）
附属学校部								0		11			11（6/5）	11（6/5）
附属幼稚園								0	8				8（1/7）	8（1/7）
附属小学校								0	22				22（14/8）	22（14/8）
附属中等教育学校								0	47				47（32/15）	47（32/15）
附属特別支援学校								0	33				33（16/17）	33（16/17）
総 計	13 (11/2)	499 (434/65)	321 (268/53)	98 (71/27)	256 (183/73)	24 (7/17)	374 (290/84)	1,585 (1,264/321)	110 (63/47)	1,049 (421/628)	1,385 (230/1,155)	121 (38/83)	2,665 (752/1,913)	4,250 (2,016/2,234)

(注) (※) は、非常勤（5名）を含む。

(注) () は男性数/女性数

1-2-2 学生数等

2024年5月1日現在

学 部	入学定員	志願者数	入学者数	総定員	在籍者数	備考
文学部	100	487	107	400	447 (197/250)	・在籍者数の()は男性数/女性数。 ・海事科学部は令和3年度入試より募集停止、3年次編入学入試を令和5年度より廃止。
国際人間科学部	若干名	2	0			
法学部	370	1,378	381	1,500	1,611 (573/1,038)	
経済学部	10	20	4			
経営学部	180	930	185	760	794 (450/344)	
理学部	20	47	9			
医学部	270	985	280	1,120	1,283 (958/325)	
工学部	20	100	16			
農学部	260	1077	264	1,080	1,193 (806/387)	
海事科学部	20	85	17			
海洋政策科学部	153	717	161	662	722 (566/156)	
工学部	25	121	24			
農学部	112	435	112	697	707 (469/238)	
工学部	5	88	5			
農学部	160	606	165	640	671 (126/545)	
工学部	565	3,038	579	2,300	2,466 (2,098/368)	
農学部	20	140	29			
工学部	160	732	165	660	682 (342/340)	
農学部	10	25	3			
小計	2,670	11,713	2,713	10,639	11,460 (7,344/4,116)	
大学院	修士 (博士前期)					備考
	入学定員	志願者数	入学者数	総定員	在籍者数	
人文学研究科	44	99	41	88	83 (36/47)	・在籍者数の()は男性数/女性数。
国際文化学研究科	47	120	47	94	107 (46/61)	
人間発達環境学研究科	91	134	82	178	167 (70/97)	
法学研究科	37	48	18	74	68 (40/28)	
経済学研究科	83	148	74	166	147 (90/57)	
経営学研究科	51	343	42	102	105 (52/53)	
理学研究科	122	188	122	244	258 (200/58)	
医学研究科 (修士課程)	25	28	22	50	45 (19/26)	
医学研究科 (博士課程前期課程)	15	21	18	30	33 (22/11)	
保健学研究科	79	105	69	143	149 (52/97)	
工学研究科	316	463	325	632	641 (536/105)	
システム情報学研究科	95	119	97	175	185 (176/9)	
農学研究科	120	151	127	240	258 (128/130)	
海事科学研究科	75	102	76	150	170 (154/16)	
国際協力研究科	70	57	25	140	137 (67/70)	
科学技術イノベーション研究科	40	51	40	80	88 (60/28)	
小計	1,310	2,177	1,225	2,586	2,641 (1,748/893)	
大学院	博士 (博士後期)					備考
	入学定員	志願者数	入学者数	総定員	在籍者数	
人文学研究科	20	26	17	60	93 (39/54)	・在籍者数の()は男性数/女性数。
国際文化学研究科	15	15	13	45	59 (24/35)	
人間発達環境学研究科	17	31	23	51	97 (51/46)	
法学研究科	18	15	11	54	50 (35/15)	
経済学研究科	20	16	13	60	81 (57/24)	
経営学研究科	32	36	30	96	98 (61/37)	
理学研究科	27	20	20	81	62 (50/12)	
医学研究科 (博士課程)	120	132	115	420	500 (355/145)	
医学研究科 (博士課程後期課程)	8	10	10	16	22 (21/1)	
保健学研究科	25	28	24	75	128 (60/68)	
工学研究科	42	20	19	126	122 (98/24)	
システム情報学研究科	12	7	6	36	54 (45/9)	
農学研究科	23	13	12	69	63 (37/26)	
海事科学研究科	11	5	5	33	42 (35/7)	
国際協力研究科	23	7	6	69	66 (36/30)	
科学技術イノベーション研究科	10	12	11	30	41 (30/11)	
小計	423	393	335	1,321	1,578 (1,034/544)	
大学院	専門職学位課程					備考
	入学定員	志願者数	入学者数	総定員	在籍者数	
法学研究科	80	647	88	240	181 (124/57)	・在籍者数の()は男性数/女性数。
経営学研究科	69	176	71	138	139 (106/33)	
小計	149	823	159	378	320 (230/90)	
合計	4,552	15,106	4,432	14,924	15,999 (10,356/5,643)	

附属学校	学級数	在籍者数	備考
附属幼稚園	6	117	・在籍者数の()は、帰国子女を内数で示す。
附属小学校	12	405	
附属中等教育学校	18	712 (19)	
附属特別支援学校	9	53	
計	45	1,287 (19)	

1-2-3 就職・進学状況

2023年度 学部卒業生・大学院（修士・博士前期課程）修了者の進路状況

2024年5月1日現在

学部・研究科名	卒業生	進学者	就職者	就職者内訳			臨床研修医	その他
				企業等	官公庁	教員		
文学部	104	13	82	70	7	5	-	9
国際人間科学部	365	49	293	258	18	17	-	24
発達科学部	4	0	2	2	0	0	-	2
法学部	178	36	120	83	36	1	-	22
経済学部	277	16	233	205	28	0	-	28
経営学部	257	13	225	217	8	0	-	19
理学部	171	127	40	36	2	2	-	6
医学部（医学科）	122	0	1	1	0	0	120	2
医学部（保健学科）	133	52	76	76	0	0	-	5
工学部	564	425	124	118	6	0	-	15
農学部	159	117	40	31	9	0	-	2
海事科学部	203	105	89	80	9	0	-	0
学部 合計	2,537	953	1,325	1,177	123	25	120	134
人文学研究科	51	14	21	14	2	5	-	16
国際文化学研究科	48	13	24	21	0	3	-	11
人間発達環境学研究科	80	10	50	32	9	9	-	22
法学研究科	25	6	13	11	2	0	-	6
経済学研究科	59	13	25	24	1	0	-	21
経営学研究科	44	15	19	19	0	0	-	10
理学研究科	121	18	96	89	3	4	-	7
医学研究科（バイオメディカルサイエンス専攻）	18	7	9	8	1	0	0	2
保健学研究科	61	12	53	48	5	0	-	3
工学研究科	322	14	303	299	4	0	-	5
システム情報学研究科	90	6	83	83	0	0	-	2
農学研究科	124	9	113	110	3	0	-	2
海事科学研究科	80	6	73	71	1	1	-	2
国際協力研究科	56	7	42	21	20	1	-	9
科学技術イノベーション研究科	39	3	36	36	0	0	-	0
研究科 合計	1,218	153	960	886	51	23	0	118
法学研究科（法科大学院）	63							
経営学研究科（MBA）	69							
研究科 総計	1,350							

※「進学者」は、大学院研究科、大学・学部、短期大学本科、専攻科、別科、専修学校・外国の学校等の入学者の合計。
※「就職者」は、正規の職員等、正規の職員等でない就職者の総数のうち雇用計画が1年未満又は短時間勤務の者を除いた者の合計で、進学者のうち就職している者を含む。
※「その他」は、公務員試験受験者、司法試験・公認会計士等の資格試験受験者を含む。

1-2-4 学位授与者数（博士号）

2024年5月1日現在

区分	旧制	1991.6までの累計		1991.7以降の累計		総累計
		課程	論文	課程	論文	
博士（学術）		192	47	1,248	149	1,636
博士（文学）		1		163	49	213
博士（法学）		22	24	208	40	294
博士（政治学）				87	12	99
博士（経済学）	37	5	81	401	117	641
博士（経営学）	25	4	46	408	79	562
博士（商学）	14	1	19	114	24	172
博士（理学）		10	21	690	82	803
博士（医学）		748	1,252	2,679	937	5,616
博士（保健学）				378	13	391
博士（工学）		36	51	1,171	290	1,548
博士（農学）		2	14	287	103	406
博士（商船学）				10	0	10
博士（海事科学）				38	6	44
博士（教育学）				40	3	43
博士（システム情報学）				7	0	7
博士（計算科学）				10	0	10
博士（科学技術イノベーション）				28	0	28
合 計	76	1,021	1,555	7,967	1,904	12,523

1-2-5 土地建物面積

2024年5月1日現在

区 分	土地	建物延面積	区 分	土地	建物延面積
	(㎡)	(㎡)		(㎡)	(㎡)
計			計		
六甲台地区			名谷地区		
事務局	21,017	6,525	保健学研究科	33,330	17,575
保健管理センター			小 計	33,330	17,575
情報基盤センター（本館）		1,208	深江地区		
自然科学系図書館		4,182	海事科学研究科・海洋政策科学部 海事科学研究科附属国際海事研究センター 海洋底探査センター	94,547	41,681
神大会館		3,989			
大学教育推進機構グローバル教育センター		148			
山口誓子記念館	103,097		KOBE UNIVERSITY SPORTS FIELD		106
法学研究科・法学部		27,737	寄宿舎（白鷗寮）	13,709	11,368
経済学研究科・経済学部			小 計	108,256	53,155
経営学研究科・経営学部			その他の地区		
国際協力研究科			農学研究科附属食資源教育研究センター	403,787	7,071
経済経営研究所		4,984	内海域環境教育研究センター	3,122	1,183
附属企業資料総合センター		7,005	附属中等教育学校（住吉校舎）	29,185	11,843
社会科学系図書館		749	附属小学校	33,773	4,324
講堂		6,676	旧附属中等教育学校（明石校舎）		4,225
社会科学系アカデミア館		9,140	附属幼稚園		1,236
社会科学系フロンティア館	352	0	附属特別支援学校	16,652	3,642
浄水場	(190)	0	インターナショナル・レジデンス	2,500	4,416
六甲台 1 団地水源地			寄宿舎（国維寮）	5,235	3,640
人間発達環境学研究科・国際人間科学部	45,863	25,427	寄宿舎（住吉寮）	18,772	11,049
人間発達環境学研究科附属発達支援インスティテュート	1,949	289	氷の山体育所	(2,500)	95
人間発達環境学研究科実習観察園	68,347	40,934	鹿島体育所	(1,000)	98
国際文化科学研究科・国際人間科学部	194,555	43,441	淀川艇庫	434	745
大学教育推進機構			新西宮艇庫	(205)	201
工学研究科・工学部・システム情報学研究科			海事科学研究科附属国際海事研究センター・	7,681	1,641
都市安全研究センター			海洋実習施設		
自然科学総合研究棟3号館		17,519	BT・インキュベーションセンター	(2,000)	3,059
エレベーター棟		98	統合研究拠点	7,668	9,240
情報基盤センター（分館）		1,111	国際がん医療・研究センター	(6,395)	13,258
馬術練習場		148	旧住吉寮急傾斜地	2,026	0
学生会館		2,721	小 計	(12,100)	80,966
人文学研究科・文学部		10,372	職員宿舎		
瀧川記念学術交流会館	941	住吉宿舎	10,442	1,517	
眺望館	998	工学部宿舎	工学部に含む	0	
理学研究科・理学部	14,646	五宮宿舎	475	292	
バイオシグナル総合研究センター	4,278	加西宿舎	1,607	399	
自然科学総合研究棟1号館	5,781	看護師宿舎	1,217	2,048	
自然科学総合研究棟2号館	5,825	踊松宿舎	1,171	368	
産官学連携本部	2,235	赤塚山第二合同宿舎	住吉宿舎に含む	3,661	
自然科学総合研究棟4号館	6,559	青木合同宿舎	3,655	3,027	
研究基盤センター（アイソトープ部門）	2,650	北青木合同宿舎	2,687	1,853	
研究基盤センター（機器分析部門）	1,267	生田合同宿舎	2,262	1,898	
研究基盤センター（極低温部門）	677	小 計	23,516	15,063	
共同実験室	206	合 計	(13,792)	593,547	
環境保全推進センター	274		1,181,161		
農学研究科・農学部	18,836				
ライフサイエンスラボラトリー	1,155				
旧工学部急傾斜地	198	0			
小 計	(190) 435,378	280,731	(注) 土地欄の()は借上を示す。		
楠地区					
医学研究科・医学部	8,665	34,926			
医学研究科附属動物実験施設					
医学研究科附属感染症センター					
医学部附属病院	41,181	107,739			
地域医療活性化センター	(1,502)	3,392			
小 計	(1,502) 49,846	146,057			

1-3 神戸大学の位置

1-3-1 近隣国立大学との比較

大学名	神戸大学	京都大学	大阪大学	岡山大学	広島大学
学部	- 文学部 - 国際人間科学部 - 法学部 - 経済学部 - 経営学部 - 理学部 - 医学部 - 工学部 - 農学部 - 海洋政策科学部	- 総合人間学部 - 文学部 - 教育学部 - 法学部 - 経済学部 - 理学部 - 医学部 - 薬学部 - 工学部 - 農学部	- 文学部 - 人間科学部 - 外国語学部 - 法学部 - 経済学部 - 理学部 - 医学部 - 歯学部 - 薬学部 - 工学部 - 基礎工学部	- 文学部 - 教育学部 - 法学部 - 経済学部 - 理学部 - 医学部 - 歯学部 - 薬学部 - 工学部 - 環境理工学部 - 農学部	- 総合科学部 - 文学部 - 教育学部 - 法学部 - 経済学部 - 理学部 - 医学部 - 歯学部 - 薬学部 - 工学部 - 生物生産学部 - 情報科学部
大学院	- 人文学研究科 - 国際文化科学研究科 - 人間発達環境学研究科 - 法学研究科 (法科大学院) - 経済学研究科 - 理学研究科 - 医学研究科 (公衆衛生大学院) - 薬学研究科 - 工学研究科 - 農学研究科 - 人間・環境学研究科 - エネルギー科学研究科 - アジア・アフリカ地域研究研究科 - 情報学研究科 - 生命科学研究科 - 総合生存学館 - 地球環境学堂/学舎 - 公共政策連携研究部/教育部 (公共政策大学院) - 経営管理研究部/経営管理教育部 (経営管理大学院)	- 文学研究科 - 教育学研究科 - 法学研究科 (法科大学院) - 経済学研究科 - 理学研究科 - 医学研究科 - 工学研究科 - 農学研究科 - 人間・環境学研究科 - エネルギー科学研究科 - アジア・アフリカ地域研究研究科 - 情報学研究科 - 生命科学研究科 - 総合生存学館 - 地球環境学堂/学舎 - 公共政策連携研究部/教育部 (公共政策大学院) - 経営管理研究部/経営管理教育部 (経営管理大学院)	- 人文学研究科 - 人間科学研究科 - 法学研究科 - 経済学研究科 - 理学研究科 - 医学系研究科 - 歯学研究科 - 薬学研究科 - 工学研究科 - 基礎工学研究科 - 国際公共政策研究科 - 情報科学研究科 - 生命機能研究科 - 高等司法研究科 (法科大学院) (大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学) 連合小児発達学研究科	- 教育学研究科 (教職大学院) - 社会文化科学研究科 - 自然科学研究科 - 環境生命自然科学研究科 - 保健学研究科 - 環境生命科学研究科 - 医歯薬学総合研究科 - ヘルスシステム統合科学研究科 - 法務研究科 (法科大学院) - 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科	- 人間社会科学研究科 (教職大学院) (法科大学院) - 先進理工系科学研究科 - 統合生命科学研究科 - 医系科学研究科 - スマートソサイエティ実践科学研究科
附置研究所	経済経営研究所	- 化学研究所 - 人文学研究所 - 医学研究所 - エネルギー理工学研究所 - 生存圏研究所 - 防災研究所 - 基礎物理学研究所 - 経済研究所 - 数理解析研究所 - 複合原子力科学研究所 - 東南アジア地域研究研究所 - IPS細胞研究所	- 微生物病研究所 - 産業科学研究所 - 蛋白質研究所 - 社会経済研究所 - 接合科学研究所 - レーザー科学研究所	- 資源植物科学研究所 - 惑星物質研究所 - 異分野基礎科学研究所 - 文明動態学研究所	原爆放射線医科学研究所
附属学校	- 附属幼稚園 - 附属小学校 - 附属中等教育学校 - 附属特別支援学校			- 附属幼稚園 - 附属小学校 - 附属中学校 - 附属特別支援学校	- 附属幼稚園 - 附属小学校 - 附属中学校 - 附属高等学校

出典：各大学ホームページ

1-3-2 17大学間の比較

学部

大学名	入学定員	学部数
大阪大学	3,252	11
東京大学	3,060	10
京都大学	2,823	10
九州大学	2,549	12
神戸大学	2,530	10
北海道大学	2,528	12
東北大学	2,417	12
広島大学	2,386	10
千葉大学	2,317	10
岡山大学	2,222	11
筑波大学	2,141	9
名古屋大学	2,107	9
金沢大学	1,836	4
東京工業大学	1,108	6
一橋大学	955	5
東京農工大学	821	2
東京医科歯科大学	276	2

(2024)

大学院

大学名	入学定員	入学定員 (M)	入学定員 (D)	入学定員 (P)	大学院数
東京大学	5,099	2,970	1,719	410	15
京都大学	3,798	2,353	1,111	334	18
大阪大学	3,041	2,038	923	80	15
東北大学	2,749	1,861	768	120	19
九州大学	2,718	1,799	779	140	15
筑波大学	2,582	1,905	611	66	7
名古屋大学	2,455	1,673	732	50	13
北海道大学	2,392	1,649	643	100	21
東京工業大学	2,151	1,544	567	40	6
神戸大学	1,882	1,310	423	149	15
広島大学	1,624	1,119	455	50	5
千葉大学	1,379	993	326	60	7
岡山大学	1,126	789	268	69	9
金沢大学	962	660	272	30	8
一橋大学	788	452	138	198	6
東京農工大学	776	590	146	40	4
東京医科歯科大学	359	131	228	-	2

(2024)

1-3-3 世界ランキングによる比較

QS社・世界大学ランキング

順位	大 学 名	世界順位
1	東京大学	32
2	京都大学	50
3	東京工業大学	84
4	大阪大学	86
5	東北大学	107
6	名古屋大学	152
7	九州大学	167
8	北海道大学	173
9	早稲田大学	181
10	慶應義塾大学	188
11	筑波大学	377
12	神戸大学	465
13	広島大学	474
14	一橋大学	539
15	立命館大学	641-650

(2024-2025)

QS社・アジア大学ランキング

順位	大 学 名	アジア順位
1	東京大学	21
2	京都大学	23
3	東北大学	25
4	東京工業大学	30
5	名古屋大学	32
	大阪大学	
7	九州大学	34
8	北海道大学	35
9	慶應義塾大学	48
10	早稲田大学	51
11	筑波大学	63
12	神戸大学	76
13	広島大学	96
14	一橋大学	143
15	立命館大学	144

(2024-2025)

上海交通大学・世界大学学術ランキング

順位	大 学 名	世界順位
1	東京大学	28
2	京都大学	45
3	名古屋大学	101-150
4	東京工業大学	151-200
5	北海道大学	201-300
	九州大学	
	大阪大学	
	東北大学	
	筑波大学	
10	慶應義塾大学	301-400
11	沖縄科学技術大学院大学	401-500
12	広島大学	501-600
	神戸大学	
	岡山大学	
	大阪公立大学	
	東京医科歯科大学	

(2024)

THE誌・世界大学ランキング

順位	大 学 名	世界順位
1	東京大学	28
2	京都大学	55
3	東北大学	120
4	大阪大学	162
5	東京工業大学	195
6	名古屋大学	201-250
7	九州大学	301-350
8	北海道大学	351-400
	筑波大学	
10	東京医科歯科大学	401-500
11	広島大学	601-800
	順天堂大学	
	慶應義塾大学	
	神戸大学	
	会津大学	

(2024-2025)

THE誌・アジア大学ランキング

順位	大 学 名	アジア順位
1	東京大学	5
2	京都大学	13
3	東北大学	20
4	大阪大学	28
5	東京工業大学	29
6	名古屋大学	41
7	九州大学	52
8	北海道大学	79
9	筑波大学	82
10	東京医科歯科大学	90
11	神戸大学	140
12	広島大学	147
13	順天堂大学	159
14	慶應義塾大学	164
15	東京農工大学	176

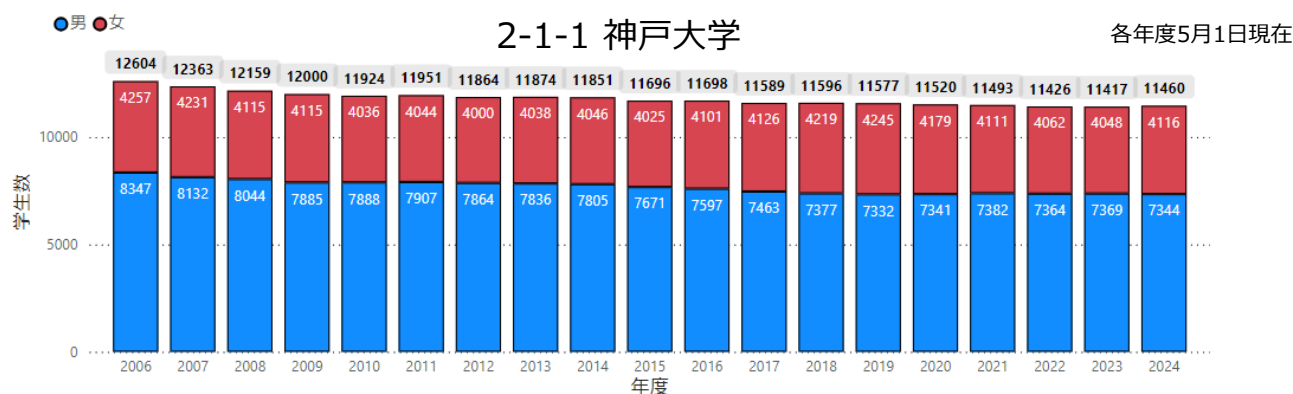
(2024)

出典:各発表機関ウェブサイト

※「-」についてはその順位グループに属していることを示している。(例:「201-300」は、201位から300位のグループ)

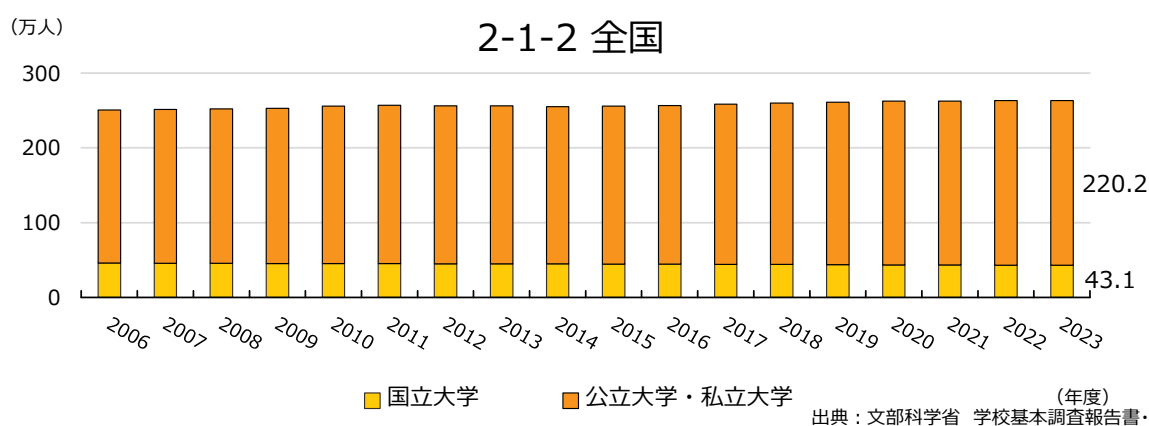
2. 学生数

2-1 学生数の推移 — 学士課程 —

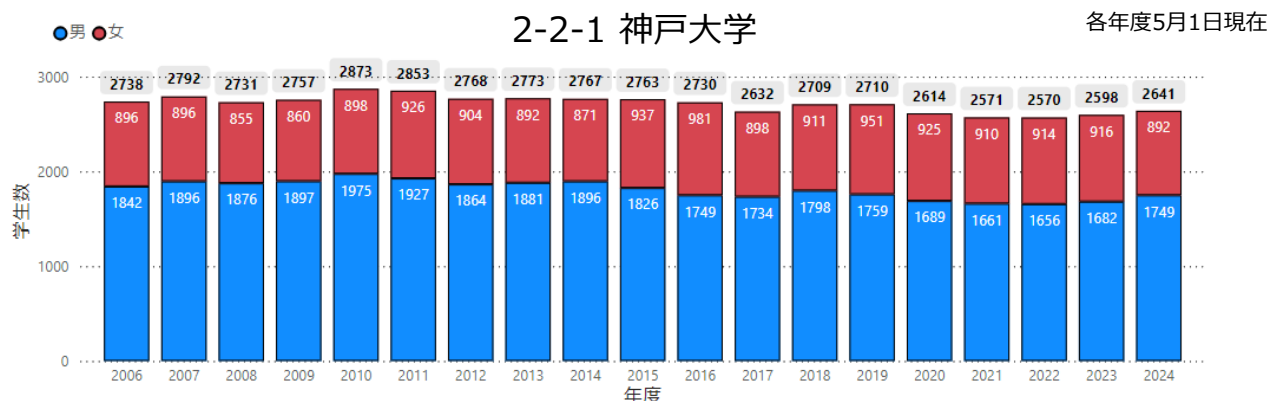


2-1-1詳細はこちら（学部別で閲覧可能、Power BIツールのグラフは全課程共通）

URL:<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/2/>

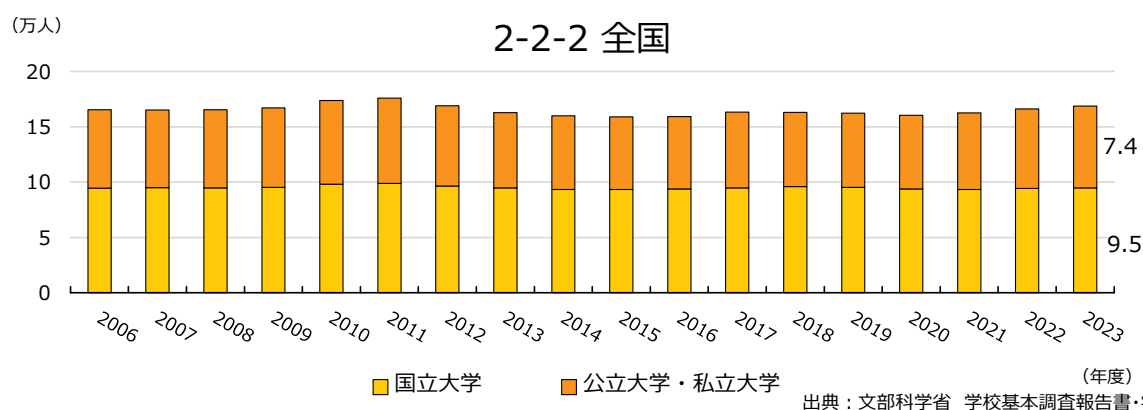


2-2 学生数の推移 — 修士課程・博士課程前期課程 —



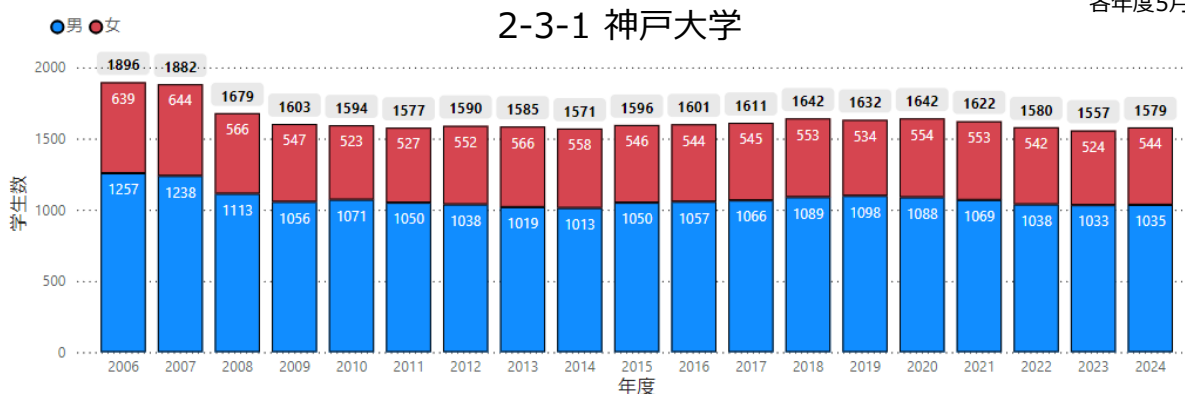
2-2-1詳細はこちら（研究科別で閲覧可能、再掲・Power BIツールのグラフは全課程共通）

URL:<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/2/>

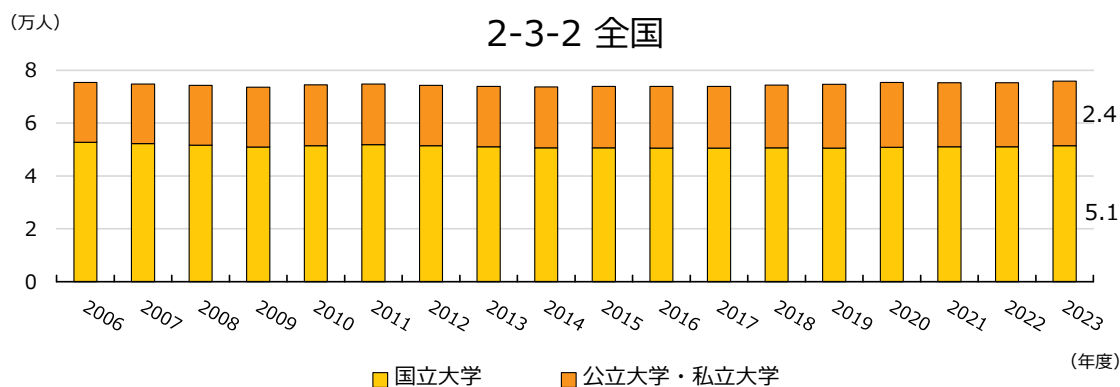


2-3 学生数の推移 — 博士課程・博士課程後期課程 —

各年度5月1日現在



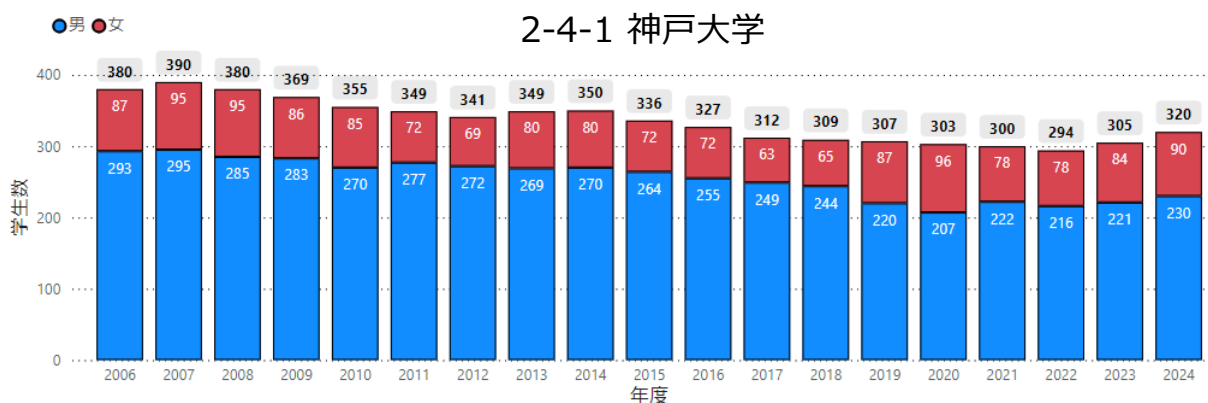
2-3-1詳細はこちら（研究科別で閲覧可能、再掲・Power BIツールのグラフは全課程共通）
URL:<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/2/>



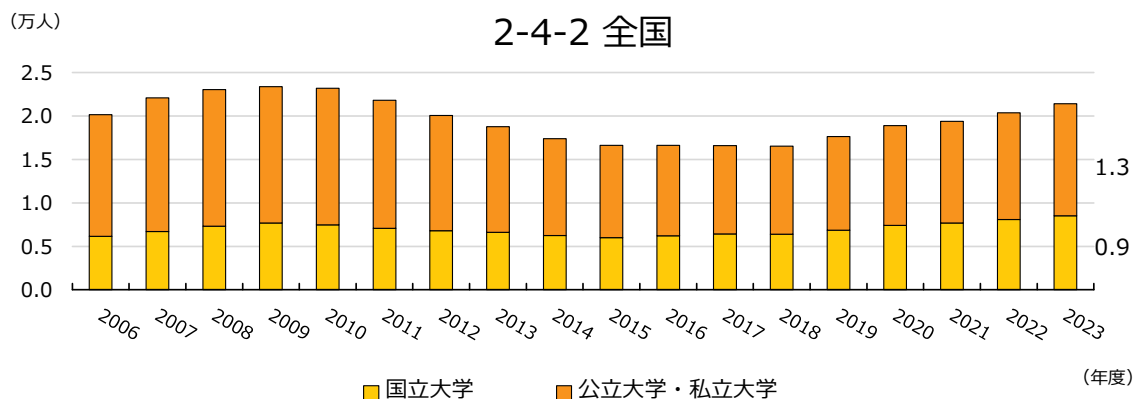
出典：文部科学省 学校基本調査報告書・学校基本調査

2-4 学生数の推移 — 専門職学位課程 —

各年度5月1日現在



2-4-1詳細はこちら（研究科別で閲覧可能、再掲・Power BIツールのグラフは全課程共通）
URL:<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/2/>



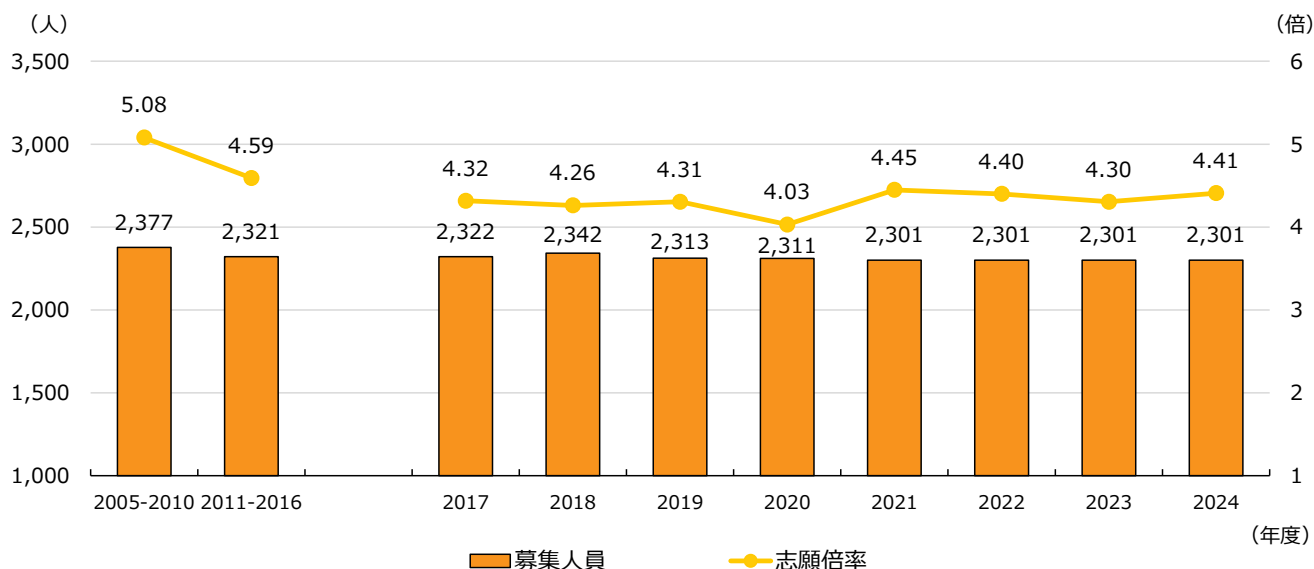
※2004年度から法科大学院制度が創設されたことに伴い、専門職大学院の在籍数が急激に増加し、2009年度以降に一旦減少したが、近年は同水準を維持している。

出典：文部科学省 学校基本調査報告書・学校基本調査

3. 学部一般選抜志願状況

3-1 学部一般選抜志願状況（推移）

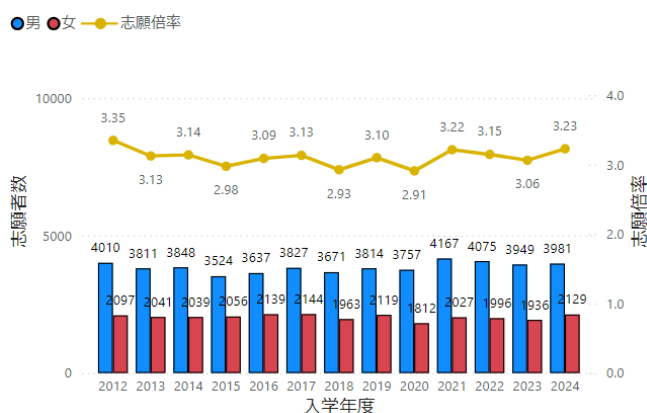
- 本学の学部一般選抜（一般入試）の志願倍率は、2020年度（センター試験最終年度、新型コロナウイルス感染症拡大）に4.03倍と法人化以降、最低水準となったが、2021年度（共通テスト開始）以降は以前の水準を維持している。



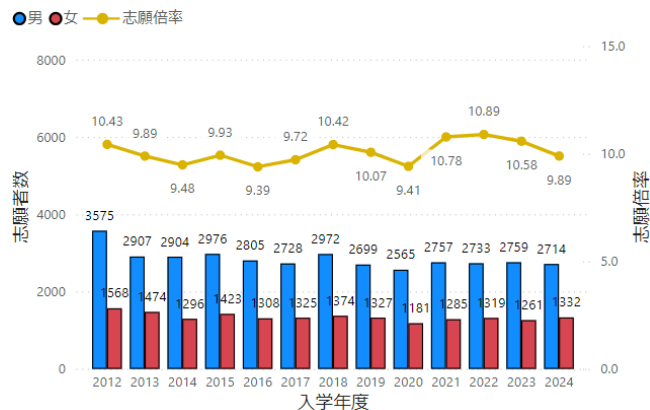
3-2 学部一般選抜志願状況（日程別・男女別推移）

- 志願倍率は各学部で毎年上下しているが、全体では、前期日程（3-2-1）は3倍程度、後期日程（3-2-2）は10倍程度の志願倍率で推移している。
- 特に2024年度入試では、工学部の前期日程、医学部保健学科の後期日程が2012年度以来最高となった一方、国際人間科学部の前期日程、海洋政策科学部の後期日程は低水準であった。
- 志願者の男女比については、年度によってやや差があるものの、概して2対1の割合で推移している。

3-2-1 前期日程（1,892名）



3-2-2 後期日程（409名）



詳細はこちら（学部別・入試日程別で閲覧可能）

URL: <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/3-2/>



※（ ）書きは各日程の2024年度募集人員

3-3 17大学及び全国の大学の志願状況・入学定員

3-3-1 17大学の状況（2023年度入試）

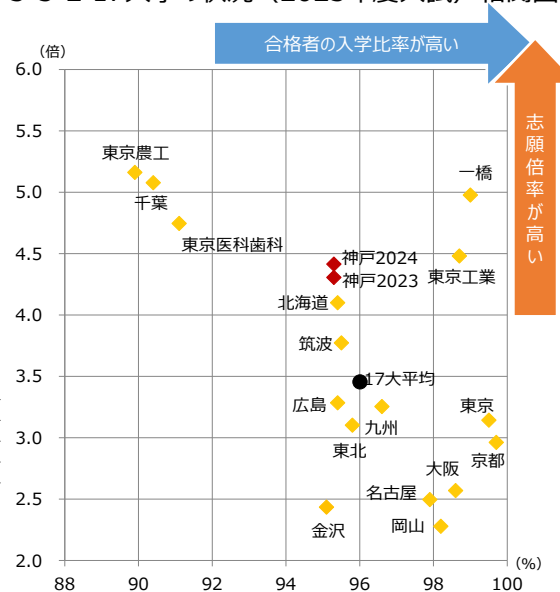
大学名	北海道	東北	筑波	千葉	東京	東京医科歯科
募集人員	2,392人	1,691人	1,473人	2,069人	2,960人	217人
志願者数	9,808人	5,246人	5,558人	10,507人	9,306人	1,030人
志願倍率	4.1	3.1	3.8	5.1	3.1	4.7
合格者の入学率	95.4%	95.8%	95.5%	90.4%	99.5%	91.1%

大学名	東京農工	東京工業	一橋	金沢	名古屋	京都
募集人員	724人	930人	880人	1,537人	1,736人	2,642人
志願者数	3,737人	4,167人	4,380人	3,742人	4,334人	7,827人
志願倍率	5.2	4.5	5.0	2.4	2.5	3.0
合格者の入学率	89.9%	98.7%	99.0%	95.1%	97.9%	99.7%

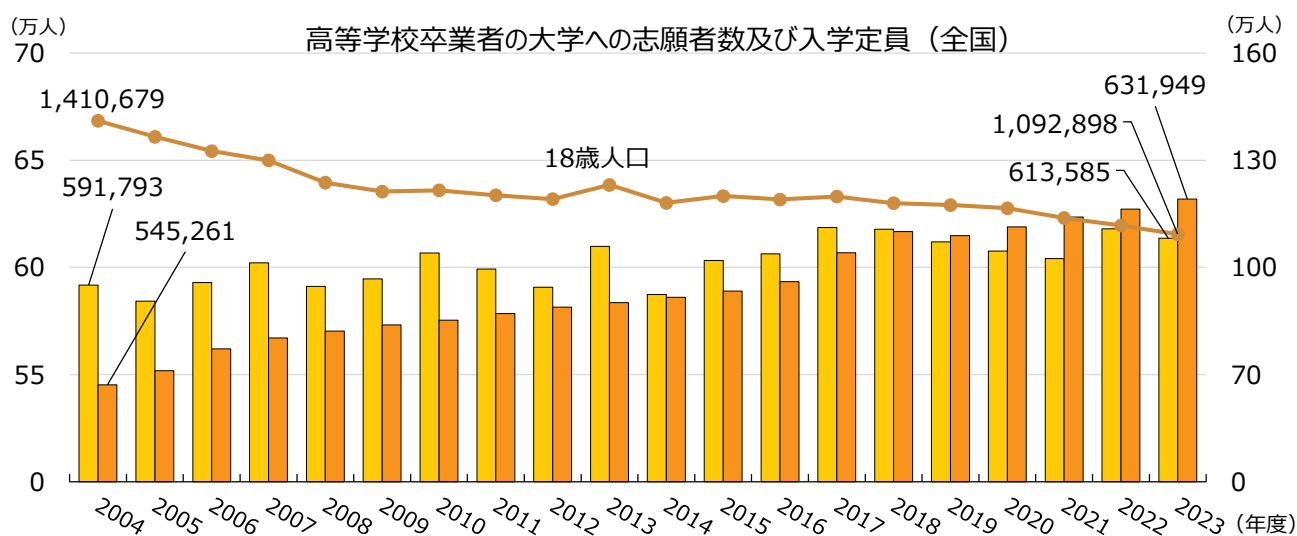
大学名	大阪	神戸	岡山	広島	九州	17大学平均	(参考) 神戸2024
募集人員	2,878人	2,301人	1,494人	2,012人	2,238人	1,775人	2,301人
志願者数	7,398人	9,905人	3,405人	6,609人	7,285人	6,132人	10,156人
志願倍率	2.6	4.3	2.3	3.3	3.3	3.5	4.4
合格者の入学率	98.6%	95.3%	98.2%	95.4%	96.6%	96.0%	95.3%

出典（募集人員・志願者数・志願倍率）：令和5年度国公立大学入学者選抜確定志願状況，文部科学省HP
出典（合格者の入学率）：朝日大学ランキング2025

3-3-2 17大学の状況（2023年度入試） 相関図



3-3-3 全国の大学志願者数及び入学定員（推移）



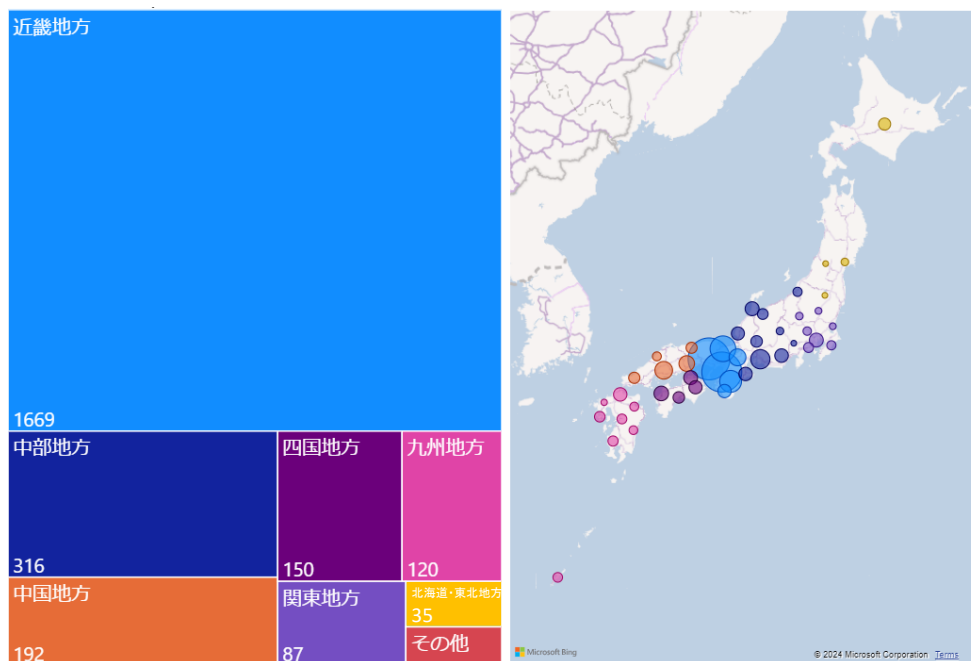
※18歳人口：3年前の中学校卒業生及び中等学校前期課程修了者より推定
出典：（志願者数）文部科学省 学校基本調査 （入学定員）全国大学一覧

4. 入学状況 — 学部 —

4-1 出身高校の所在地別入学者状況

- 神戸大学では入学者は中部地方以西を中心に全国に広く分布している。特に近畿地方の高校出身者がおよそ3分の2を占めており、その詳細を見ると7割以上が大阪府または兵庫県に所在する高校の出身者である。

4-1-1 神戸大学（2024年）

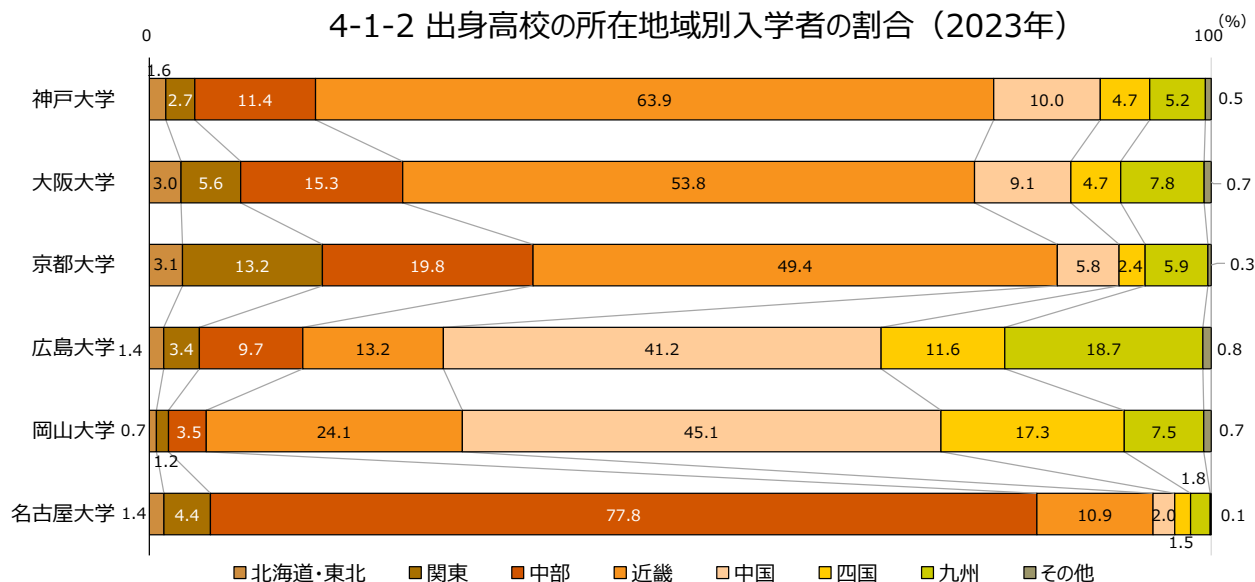


詳細はこちら（年度別・学部別で閲覧可能）

URL: <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/4-1/>



4-1-2 出身高校の所在地域別入学者の割合（2023年）



- 【北海道・東北地方】北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県
 【関東地方】群馬県、茨城県、千葉県、栃木県、埼玉県、東京都、神奈川県
 【中部地方】新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、山梨県、岐阜県、愛知県、静岡県、三重県
 【近畿地方】滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 【中国地方】鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
 【四国地方】徳島県、香川県、愛媛県、高知県
 【九州地方】福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
 【その他】外国の学校等

出典：大学改革支援・学位授与機構 大学基本情報「(8-G) 出身高校の所在地別入学者数」

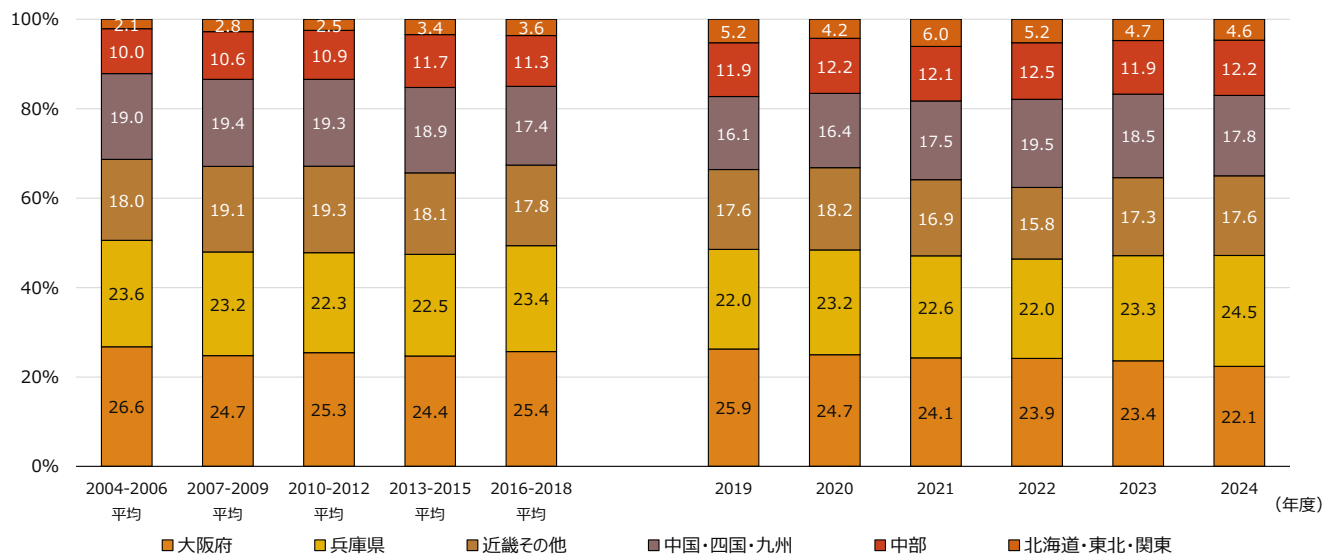
※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

4-2 出身高校の所在地別入学者状況の経年推移

- 出身地の割合は約20年間おおむね変化がなく、入学者のおよそ3分の2を近畿地方の高校出身者が占めている。2024年度、初めて（※2004年度の統計開始以来）兵庫県出身者数が大阪府出身者数を上回った。

神戸大学

出身高校の所在地別入学者状況の経年推移



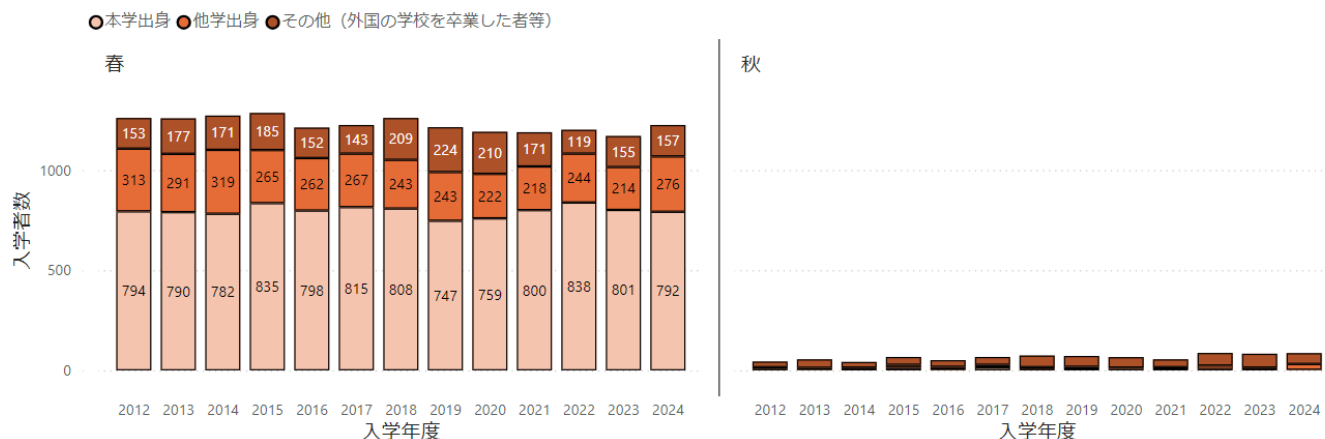
※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

5. 入学状況 — 大学院 —

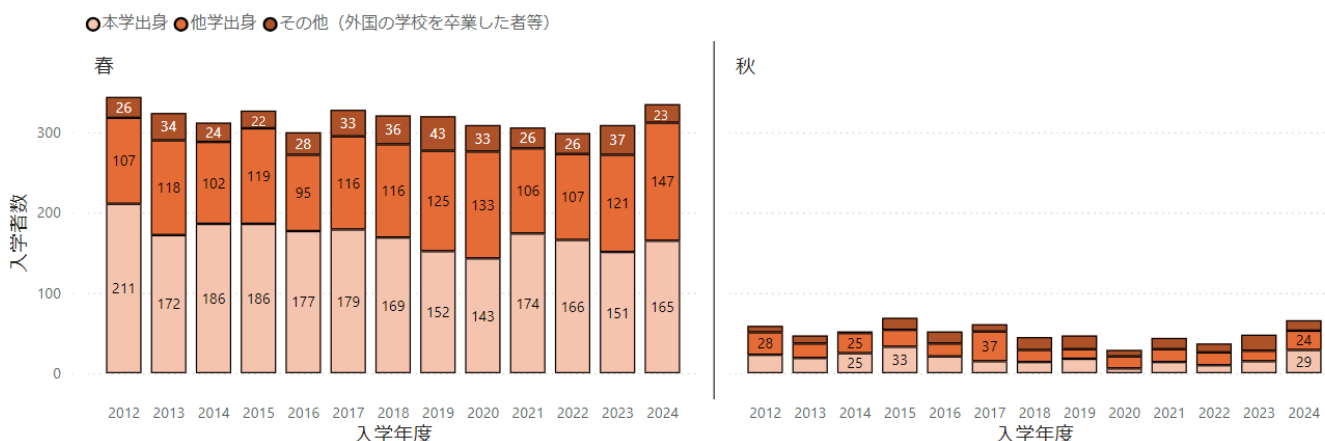
- 博士課程前期課程・修士課程において、自然科学系の研究科は、本学出身の学生がそのまま進学するケースが多いが、人文科学系、社会科学系及び医学系の研究科においては、多くの他学出身者が入学している傾向が見られる。
- 博士課程後期課程においては、研究科によりばらつきはあるが、入学者の半数以上を本学出身の学生が占める研究科が多い。また、工学研究科や国際協力研究科は秋入学で比較的多くの学生を受け入れている。

神戸大学

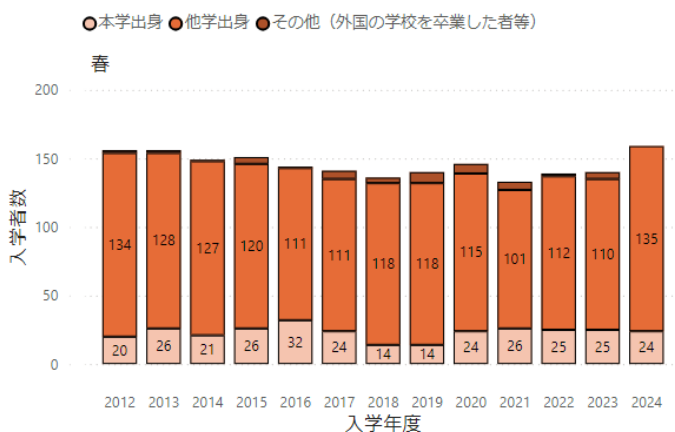
5-1 博士課程前期課程・修士課程



5-2 博士課程後期課程・博士課程



5-3 専門職学位課程



5-1～5-3詳細はこちら（研究科別で閲覧可能）

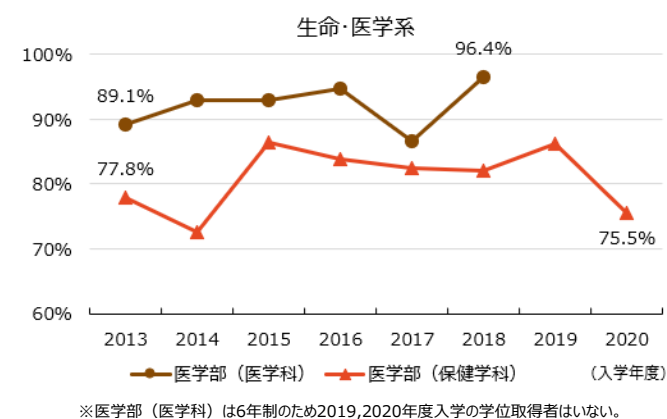
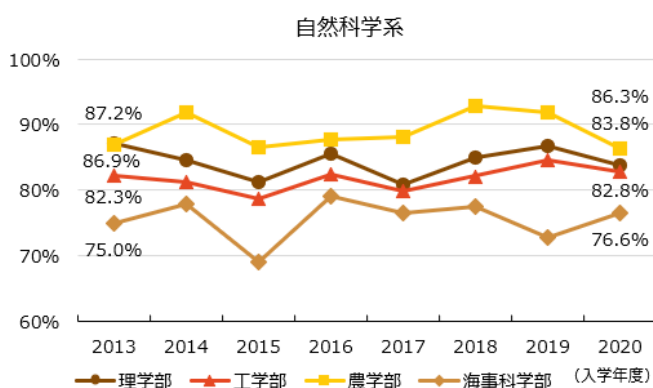
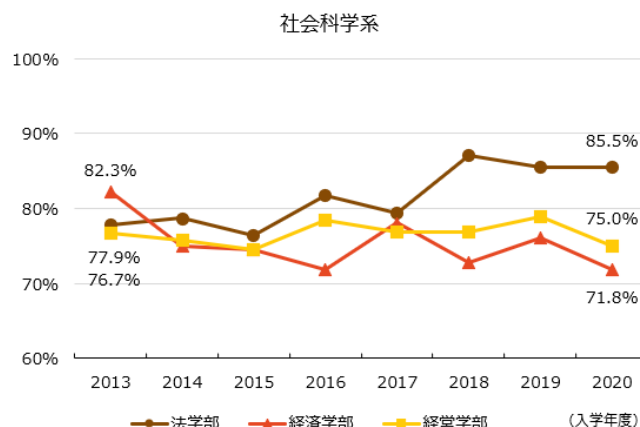
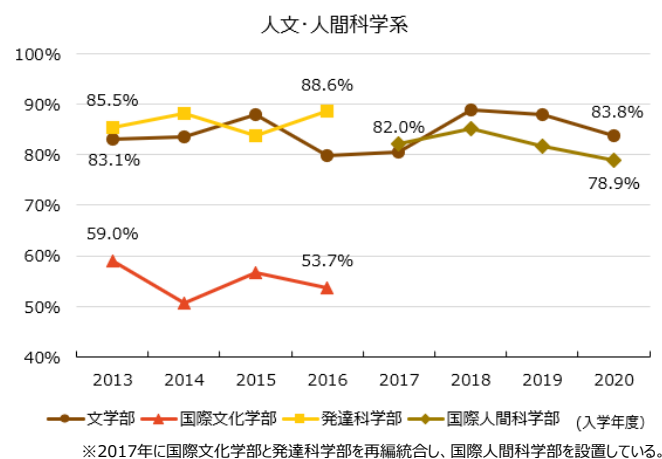
URL:<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/5/>



6. 学位授与状況 — 授与率 —

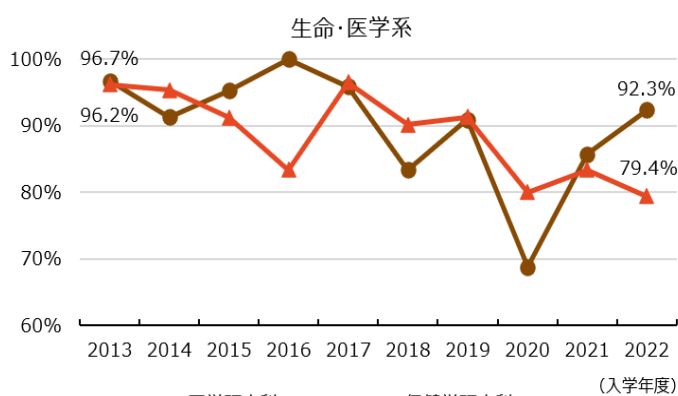
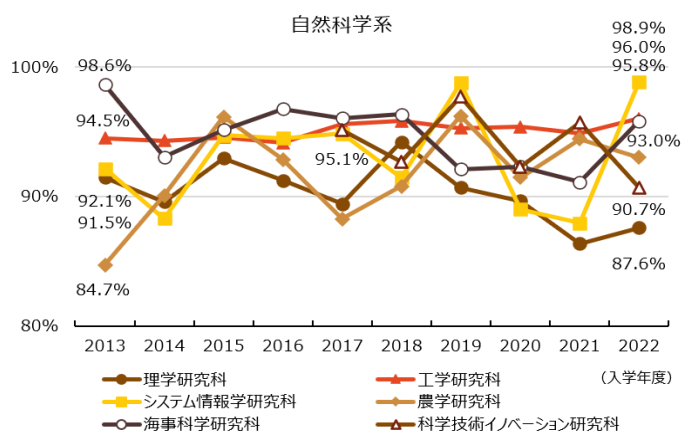
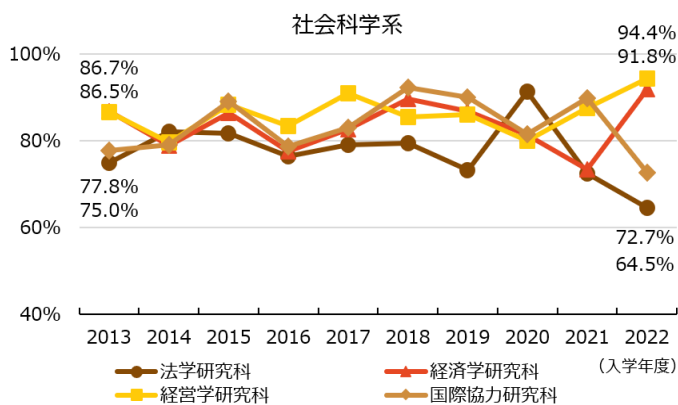
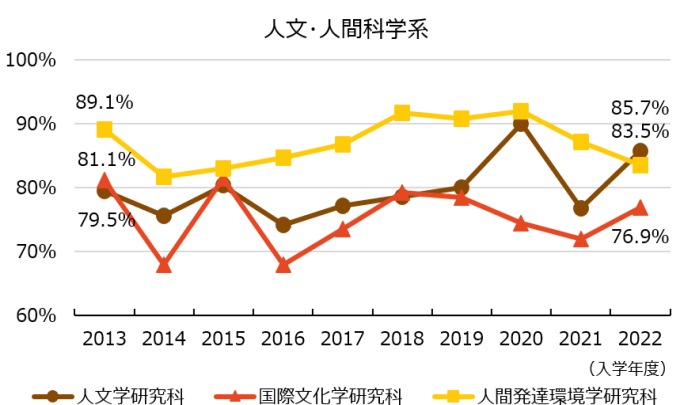
6-1 学士課程（入学年度別標準修業年限内学位取得者の割合）

※授与率 = 修了者数 / 入学者数



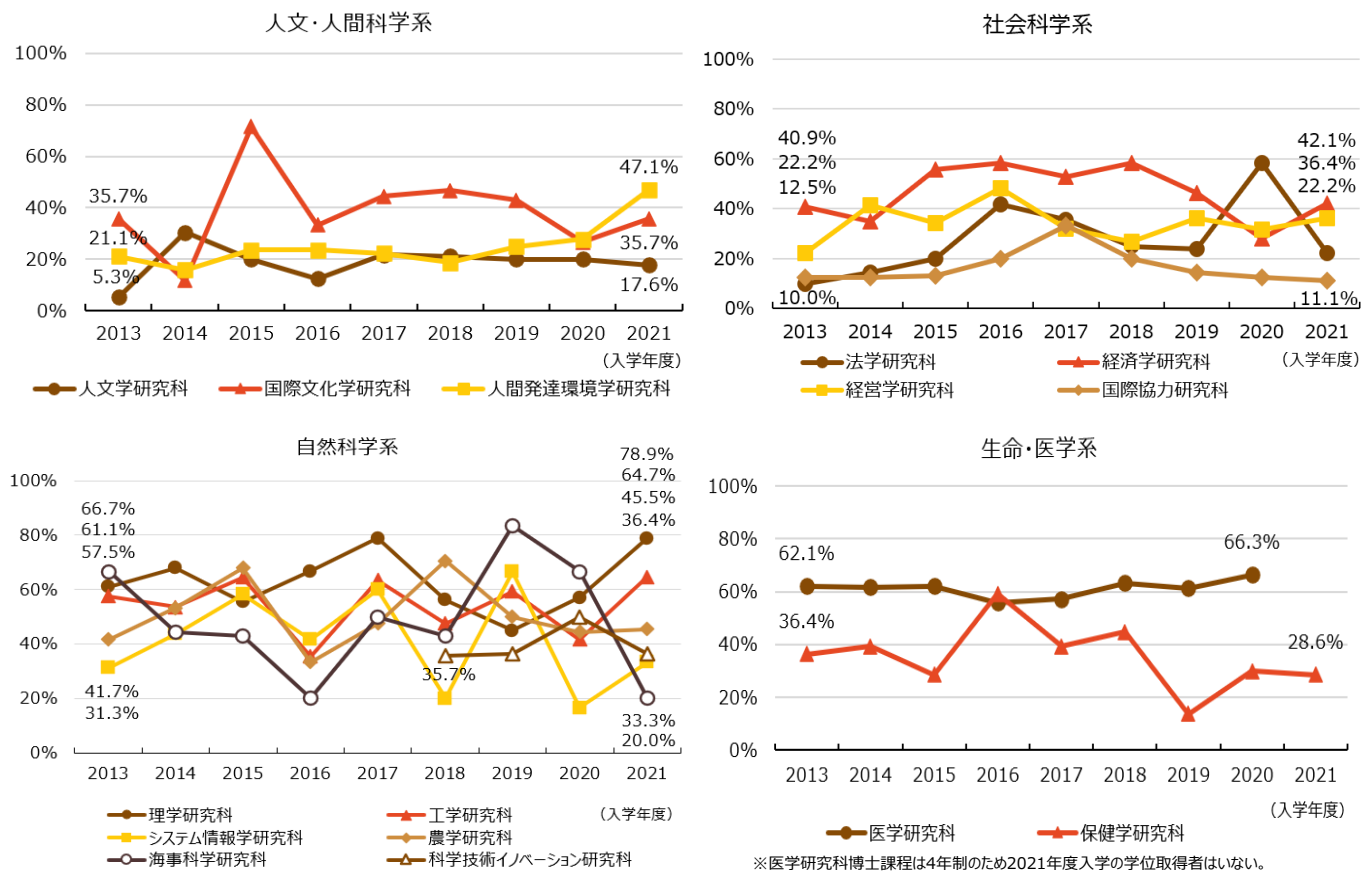
6-2 修士課程・博士課程前期課程（入学年度別標準修業年限内学位取得者の割合）

※授与率 = 修了者数 / 入学者数（秋入学者を含む。ただし、2022年度入学生は春入学者のみ。）

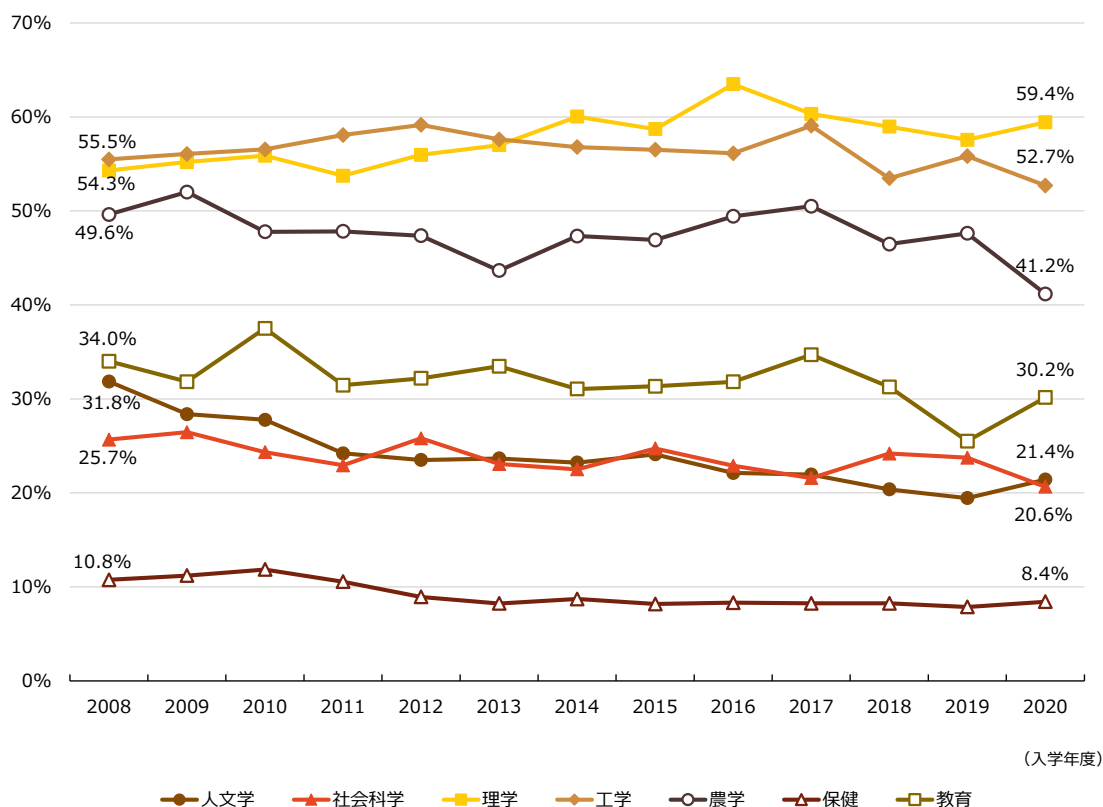


6-3 博士課程・博士課程後期課程（入学年度別標準修業年限内学位取得者の割合）

※授与率＝修了者数/入学者数（秋入学者を含む。ただし、2021年度入学生は春入学者のみ。）



6-4 全国（入学年度別標準修業年限内修業率 博士課程専攻分野別）



出典：文部科学省 学校基本調査

博士課程の「専攻分野別最低修業年数卒業生数/博士課程の専攻分野別入学者数」の推移を入学年度別に示した。

7. 進路・就職状況

7-1 学士課程卒業生の進路・就職状況

- 文科系の学部においては就職する学生の割合が高く、理科系の学部においては医学部を除き、進学する学生が多い。
- ほとんどの学部で、進学者・就職者の割合に大きな変化はないが、医学部保健学科では進学者の割合が上昇している。

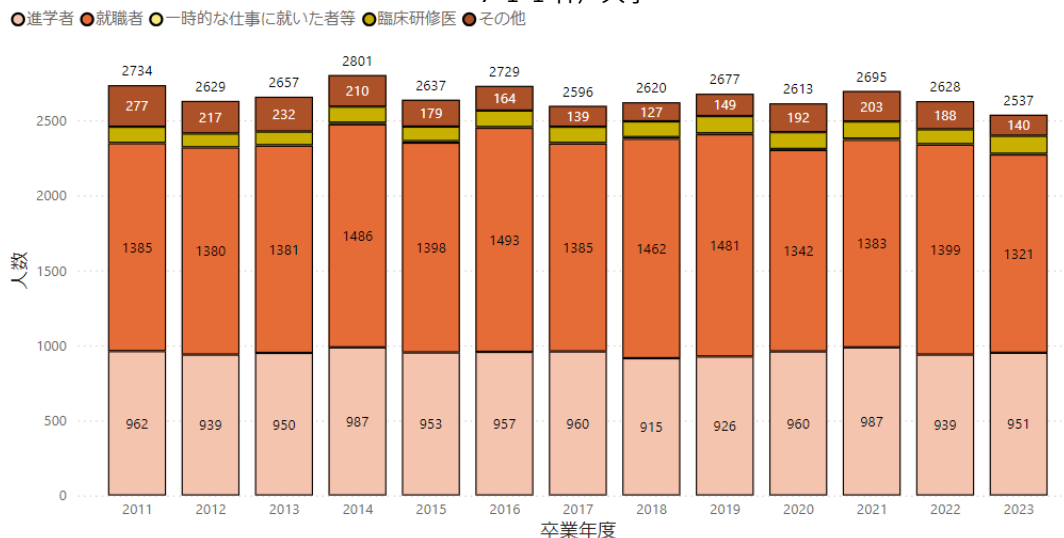
※各年度、卒業直後の進路・就職状況である。

※「進学者」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」を含む。

※「進学者のうち就職している者」は「就職者」としてカウントし、「就職者」には含まない。

※「その他」には「就職準備中の者」、「進学準備中の者」を含む。

7-1-1 神戸大学

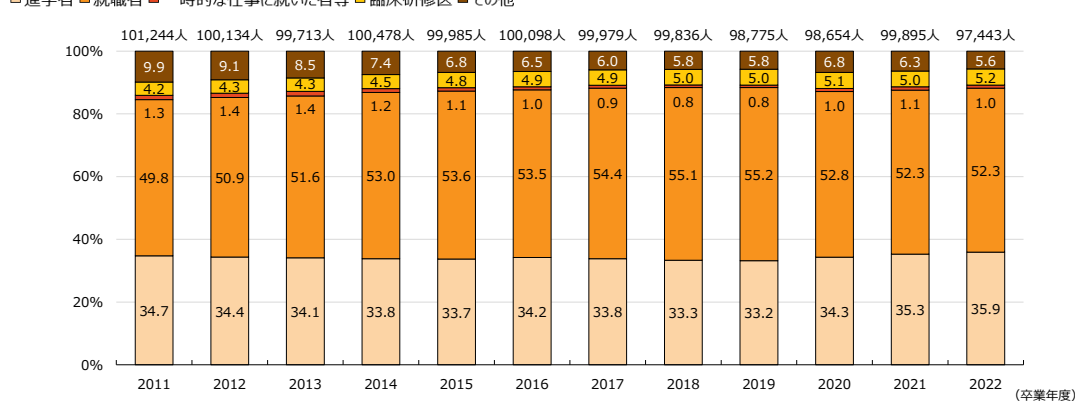


7-1-1詳細はこちら（学部別で閲覧可能、Power BIツールのグラフは全課程共通）

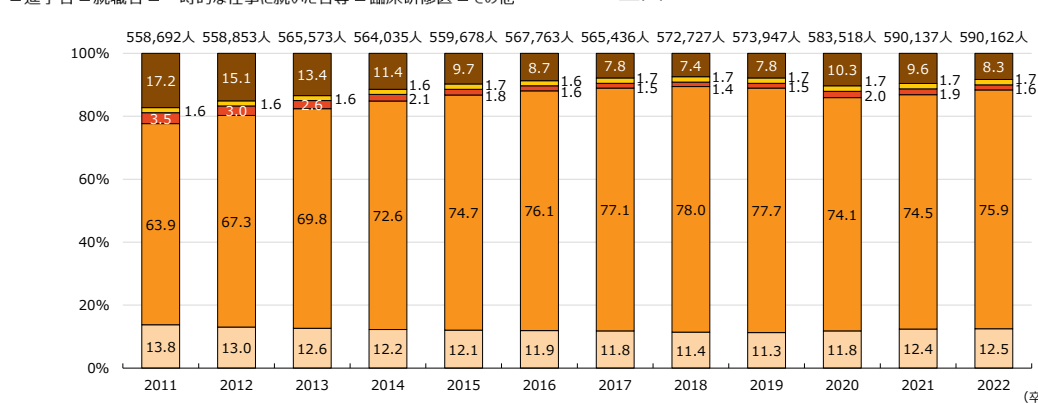
URL: <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/7/>



7-1-2 国立大



7-1-3 全国

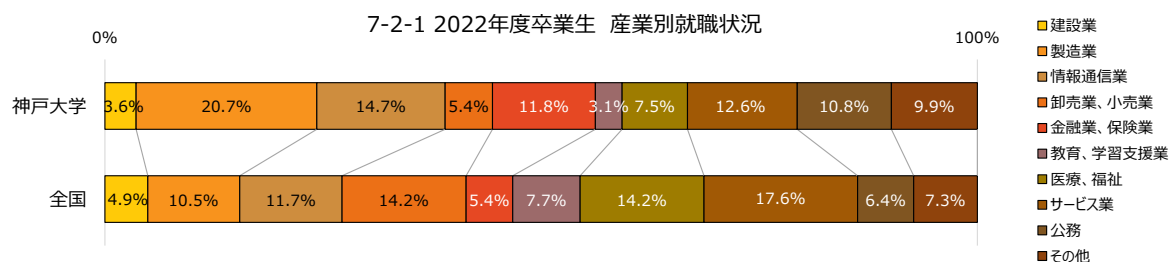


出典：文部科学省 学校基本調査

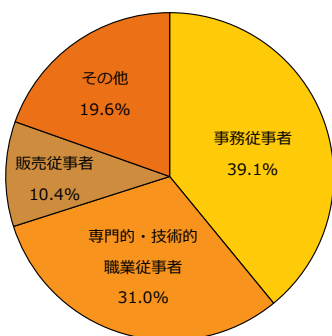
※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-2 学士課程卒業生の産業別・職業別就職状況

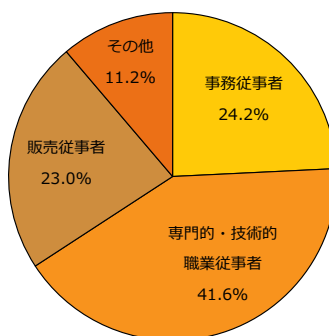
- 全国と比較して、産業別では「製造業」、「情報通信業」、「金融業、保険業」、「公務」に就職している割合が高い。



7-2-2 職業別（神戸大学）



7-2-3 職業別（全国）



出典：文部科学省 学校基本調査

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-3 修士課程・博士課程前期課程修了生の進路・就職状況

- 文科系の研究科において進学率が一定程度あり、学士課程卒業生とは異なる傾向がみられる。
- 進学者が減少傾向にあったが、2023年度修了生は比較的多くの者が進学した。

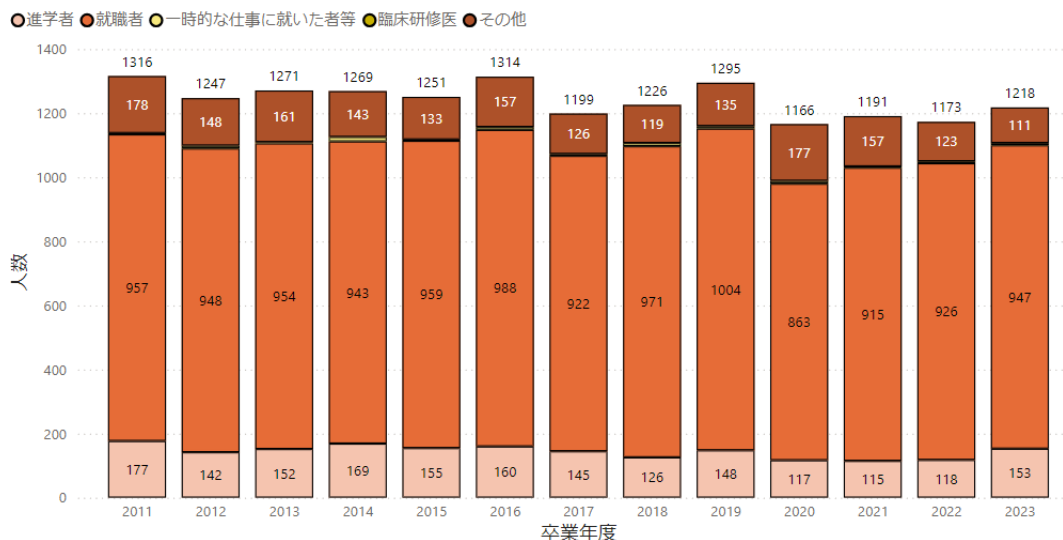
※各年度、修了直後の進路・就職状況である。

※「進学者」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」を含む。

※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。

※「その他」には「就職準備中の者」、「進学準備中の者」を含む。

7-3-1 神戸大学



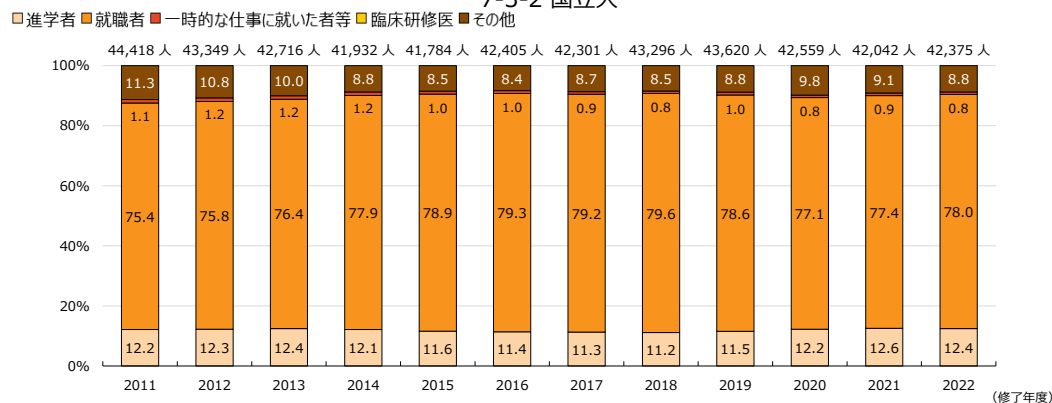
※文学研究科、総合人間科学研究科、自然科学研究科（いずれも2007年度入試より募集停止）、医学系研究科（2008年度より募集停止）の修了生についても含む。

7-3-1詳細はこちら（研究科別で閲覧可能、再掲・Power BIツールのグラフは全課程共通）

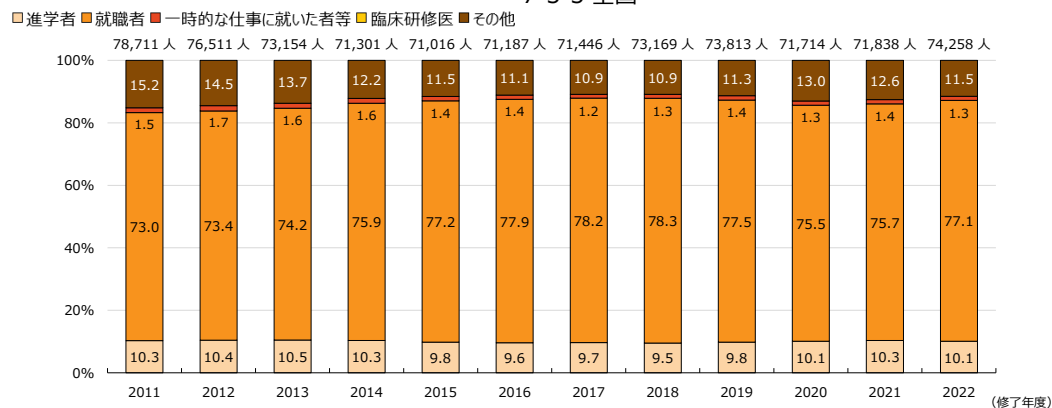
URL: <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/7/>



7-3-2 国立大



7-3-3 全国

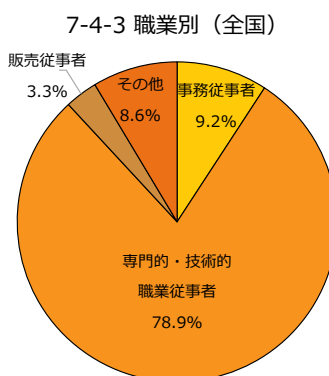
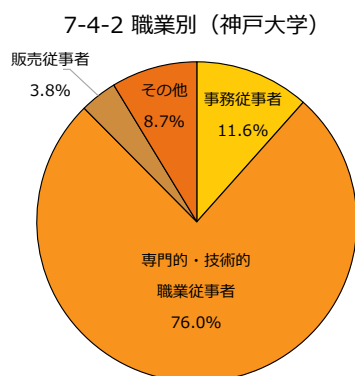
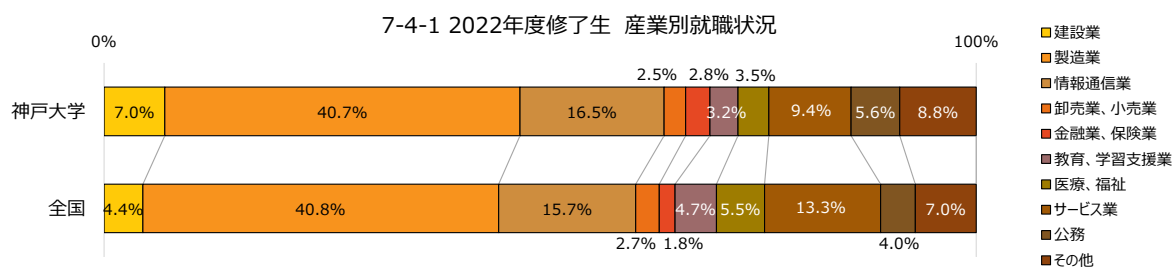


出典：文部科学省 学校基本調査

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-4 修士課程・博士課程前期課程修了生の産業別・職業別就職状況

○ 産業別、職業別ともに概ね全国と同様の傾向が見られる。



出典：文部科学省 学校基本調査

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-5 博士課程・博士課程後期課程修了生の進路・就職状況

○ 修了時点での就職者の割合は低下傾向であったが、2023年度修了生は比較的多くの者が就職した。

※各年度、修了直後の進路・就職状況である。

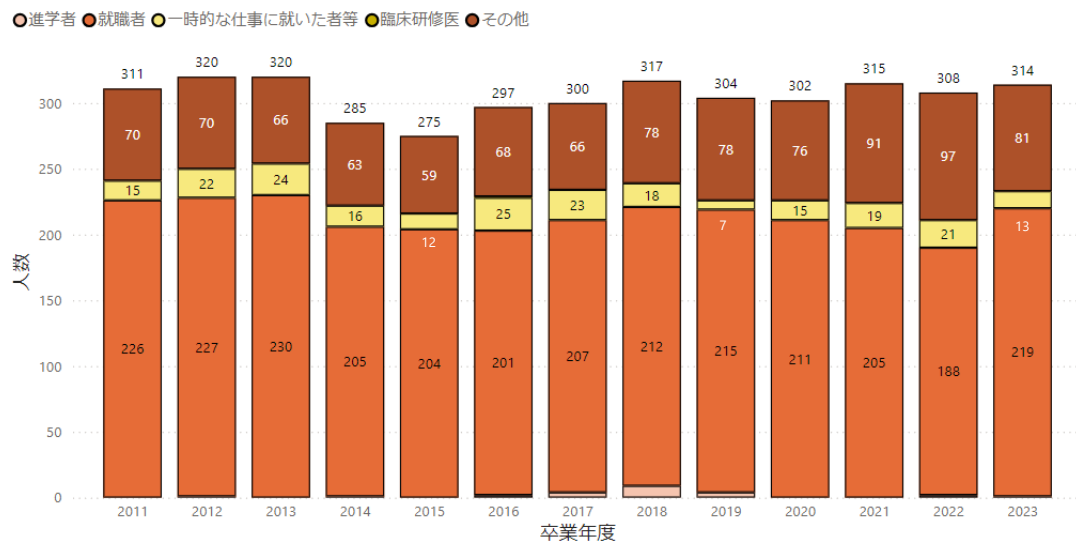
※「進学者」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」を含む。

※「一時的な仕事に就いた者等」とは、「（有期雇用労働者）-（雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の者）+（臨時労働者）」である。

※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。

※「その他」には「就職準備中の者」、「進学準備中の者」を含む。

7-5-1 神戸大学

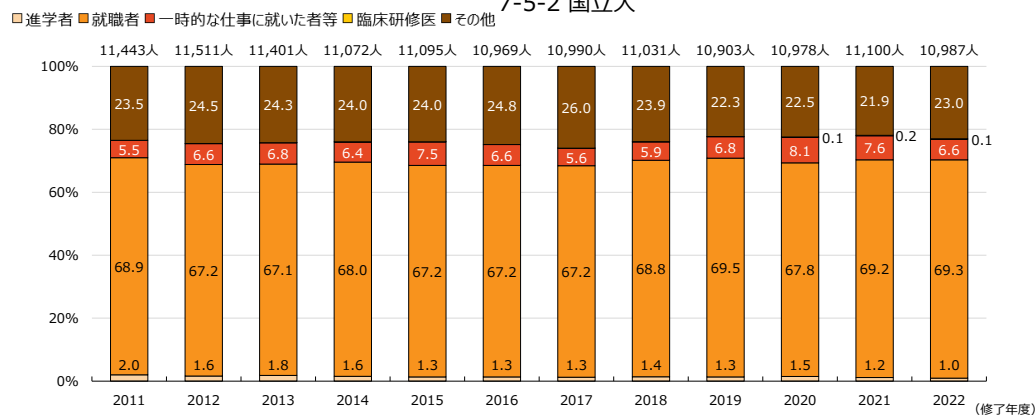


※文学研究科、総合人間科学研究科、自然科学研究科（いずれも2007年度入試より募集停止）、医学系研究科（2008年度より募集停止）の修了生についても計上。

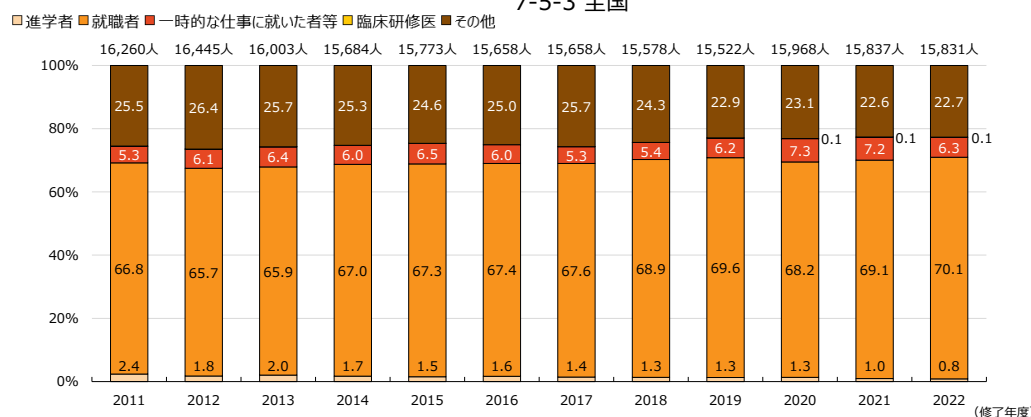
7-5-1詳細はこちら（研究科別で閲覧可能、再掲・Power BIツールのグラフは全課程共通）
URL:<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/7/>



7-5-2 国立大



7-5-3 全国

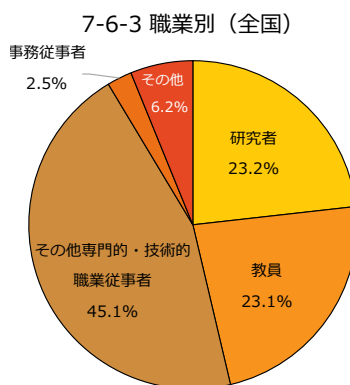
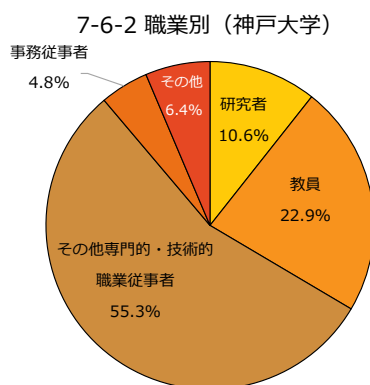
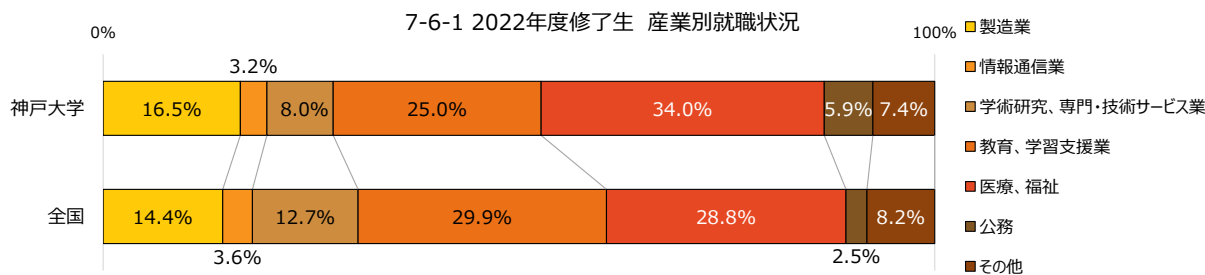


出典：文部科学省 学校基本調査

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-6 博士課程・博士課程後期課程修了生の産業別・職業別就職状況

- 全国と比較して、産業別では「医療、福祉」の割合が多く、職業別では「研究者」の割合が少ない傾向にある。



出典：文部科学省 学校基本調査

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

8. 資格試験合格状況

8-1 司法試験合格状況

- 毎年40人以上の司法試験合格者を安定して輩出している。

【合格率推移（上位20大学）】

順位	2020年度			2021年度			2022年度			2023年度			2024年度		
	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者
1	愛知大	77.8%	7	愛知大	66.7%	2	京都大	68.0%	119	京都大	68.4%	188	慶應義塾大	59.4%	146
2	一橋大	70.6%	84	京都大	61.6%	114	東京大	60.9%	117	一橋大	67.2%	121	愛知大	55.6%	5
3	東京大	59.4%	126	一橋大	58.2%	64	一橋大	60.0%	66	慶應義塾大	60.0%	186	京都大	49.3%	107
4	京都大	57.8%	107	慶應義塾大	55.1%	125	慶應義塾大	57.5%	104	東京大	59.0%	186	一橋大	48.8%	60
5	東北大	53.1%	26	東北大	51.3%	20	東北大	56.3%	27	神戸大	48.6%	71	東京大	47.5%	121
6	鹿児島大	50.0%	1	山梨学院大	50.0%	2	愛知大	50.0%	2	名古屋大	47.2%	42	中央大	45.9%	83
7	慶應義塾大	49.8%	125	東洋大	50.0%	1	神戸大	48.6%	54	早稲田大	44.7%	174	早稲田大	42.1%	139
8	神戸大	49.2%	62	早稲田大	49.8%	115	大阪大	45.9%	51	大阪大	42.9%	78	大阪大	40.7%	72
9	九州大	46.7%	21	岡山大	48.5%	16	早稲田大	44.8%	104	中央大	39.3%	90	神戸大	37.5%	51
10	名古屋大	40.4%	23	東京大	48.2%	96	創価大	37.5%	12	北海道大	37.8%	28	同志社大	36.9%	41
11	大阪大	37.8%	34	名古屋大	45.5%	25	大阪市立大	36.6%	15	岡山大	36.4%	12	九州大	34.6%	37
12	早稲田大	36.1%	75	神戸大	41.6%	47	九州大	33.3%	22	同志社大	33.3%	29	名古屋大	31.1%	32
13	創価大	34.0%	16	大阪大	40.9%	47	南山大	33.3%	5	筑波大	33.3%	17	南山大	27.8%	5
14	中央大	29.4%	85	獨協大	40.0%	2	筑波大	32.7%	18	愛知大	33.3%	2	上智大	27.3%	12
15	広島修道大	28.6%	2	同志社大	35.5%	39	日本大	32.0%	24	成蹊大	33.3%	1	専修大	27.3%	9
16	筑波大	26.8%	15	中央大	31.8%	83	同志社大	30.9%	25	創価大	32.4%	12	広島大	26.5%	9
17	岡山大	26.7%	8	筑波大	31.7%	19	岡山大	30.8%	8	東北大	30.5%	25	北海道大	26.2%	17
18	日本大	25.9%	21	創価大	30.8%	12	関西大	28.3%	15	専修大	28.6%	10	大阪公立大	25.0%	9
19	同志社大	23.7%	28	首都大東京	29.6%	24	北海道大	27.8%	15	明治大	27.4%	29	金沢大	25.0%	4
20	明治大	23.6%	30	関西学院大	29.4%	10	近畿大	27.3%	3	法政大	25.0%	15	関西学院大	24.4%	10

【既修者・合格率推移（上位20大学）】

順位	2022年度			2023年度			2024年度		
	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者
1	名城大	100.0%	1	京都大	73.6%	81	愛知大	100.0%	1
2	成蹊大	100.0%	1	東京大	69.7%	69	横浜国立大	50.0%	1
3	京都大	84.8%	112	一橋大	64.4%	56	慶應義塾大	47.2%	34
4	東京大	76.3%	90	筑波大	64.3%	9	東京大	45.8%	22
5	一橋大	70.4%	57	慶應義塾大	59.9%	82	九州大	42.9%	18
6	東北大	67.6%	25	創価大	54.5%	6	南山大	42.9%	3
7	琉球大	66.7%	2	神戸大	52.5%	42	京都大	41.2%	21
8	慶應義塾大	63.6%	89	大阪大	51.8%	43	金沢大	40.0%	2
9	岡山大	62.5%	5	名古屋大	50.0%	14	大阪公立大	37.5%	3
10	大阪大	58.3%	42	北海道大	50.0%	11	同志社大	35.7%	20
11	神戸大	56.8%	50	早稲田大	43.5%	77	大阪大	35.5%	27
12	創価大	53.8%	7	岡山大	42.9%	3	関西学院大	35.0%	7
13	早稲田大	50.0%	80	専修大	37.5%	3	早稲田大	34.0%	50
14	専修大	50.0%	5	広島大	36.4%	4	岡山大	33.3%	1
15	大阪市立大	45.8%	11	明治大	33.9%	21	広島大	33.3%	5
16	名古屋大	44.0%	11	金沢大	33.3%	2	中央大	31.7%	26
17	日本大	42.9%	21	千葉大	32.4%	12	神戸大	30.5%	18
18	北海道大	36.0%	9	中央大	31.9%	37	千葉大	30.0%	9
19	筑波大	35.3%	6	九州大	31.1%	14	北海道大	29.4%	5
20	九州大	35.1%	13	同志社大	30.9%	17	一橋大	28.1%	9

【未修者・合格率推移（上位20大学）】

順位	2022年度			2023年度			2024年度		
	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者
1	愛知大	50.0%	2	法政大	42.1%	8	愛知大	40.0%	2
2	南山大	37.5%	3	愛知大	33.3%	2	同志社大	33.3%	3
3	慶應義塾大	36.6%	15	東京都立大	33.3%	2	大阪公立大	30.8%	4
4	東京大	36.5%	27	成蹊大	33.3%	1	慶應義塾大	29.0%	9
5	早稲田大	33.3%	24	慶應義塾大	32.5%	13	中央大	27.8%	5
6	筑波大	31.6%	12	東京大	27.7%	23	大阪大	23.5%	8
7	一橋大	31.0%	9	京都大	27.7%	13	専修大	21.4%	3
8	九州大	31.0%	9	名古屋大	26.7%	8	一橋大	21.1%	4
9	関西学院大	28.6%	4	専修大	25.0%	5	近畿大	20.0%	1
10	同志社大	27.8%	5	一橋大	23.8%	5	筑波大	19.4%	7
11	近畿大	27.3%	3	東北大	23.5%	4	九州大	18.5%	5
12	西南学院大	26.7%	4	南山大	22.2%	2	関西大	16.7%	3
13	創価大	26.3%	5	早稲田大	19.7%	13	琉球大	15.8%	3
14	上智大	25.0%	5	同志社大	18.2%	2	金沢大	14.3%	1
15	大阪市立大	23.5%	4	大阪大	17.4%	8	桐蔭横浜大	14.3%	1
16	大阪大	23.1%	9	関西学院大	16.7%	3	東京大	13.9%	11
17	立教大	23.1%	3	西南学院大	16.7%	1	名古屋大	12.5%	3
18	熊本大	22.2%	2	千葉大	16.2%	6	早稲田大	11.5%	6
19	千葉大	21.1%	4	桐蔭横浜大	15.4%	2	神戸大	11.1%	2
(25)				神戸大	11.1%	2			
(26)	神戸大	17.4%	4						

出典：法務省ホームページ「司法試験の結果について」

※このランキングは法科大学院卒業生のみを対象とし、予備試験合格者については含めていない。

8-2 各種資格試験・採用試験合格状況

○ 各種資格試験・採用試験において、安定して合格者を輩出している。

8-2-1 国家公務員総合職			8-2-2 弁理士			8-2-3 公認会計士			8-2-4 一級建築士		
順 位	大 学 名	合格者	順 位	大 学 名	合格者	順 位	大 学 名	合格者	順 位	大 学 名	合格者
1 (1)	東京大	87	1 (1)	東京大	23	1	慶應義塾大	165	1	日本大	143
2	早稲田大	76	2 (2)	京都大	15	2	早稲田大	128	2	東京理科大	117
3	立命館大	70	3	慶応義塾大、 早稲田大	11	3	明治大	101	3	芝浦工業大	99
4 (2)	京都大	61				4 (1)	東京大、 同志社大	56	4	早稲田大	75
5 (3)	北海道大	60	5 (3)	東京工業大	10				5	近畿大	65
6	中央大	51	6 (4)	東北大	9	6	中央大	55	6	明治大	62
7 (4)	岡山大	50	7 (5)	大阪大	8	7 (2)	京都大	50	7	工学院大	61
8	明治大	42	8 (6)	北海道大	7	8 (3)	神戸大	44	8	名城大	56
9 (5)	東北大	40	9 (7)	筑波大、 上智大	5	9 (4)	一橋大、 法政大、 立命館大	38	9 (1)	千葉大	51
10 (6)	千葉大	38							10 (2)	神戸大	50
：			11 (8)	神戸大	4						
21 (13)	神戸大	21									
17.7 (11.7)	神戸大 過去三カ年平均	27.0	9.7 (7.3)	神戸大 過去三カ年平均	4.3	7.7 (2.7)	神戸大 過去三カ年平均	44.0	10.0 (2.3)	神戸大 過去三カ年平均	53.0

8-2-5 技術士			8-2-6 医師国家試験			8-2-7 看護師		
順 位	大 学 名	合格者	順 位	大 学 名	合格率	順 位	大 学 名	合格者
1 (1)	京都大	113	1	順天堂大	100.0%	1	東京医療保健大〔東京看護/立川看護〕	226
2 (2)	北海道大	99	2	国際医療福祉大、 自治医科大	99.2%	2	順天堂大〔医療看護〕	194
3 (3)	東京大	91		3		聖隷クリストファー大	153	
4 (4)	九州大	83	4	東北医科薬科大	98.9%	4	杏林大	143
5	早稲田大	75	5	産業医科大	98.0%	5	日本赤十字看護大	135
6	日本大	72	6	横浜市立大	97.9%	6	武蔵野大	133
7 (5)	東京工業大、 東北大	70	7	兵庫医科大	97.4%	7	埼玉県立大	132
	8		愛知医科大、 日本医科大	96.7%	8	日本赤十字豊田看護大	131	
9 (7)	大阪大	51	9		日本赤十字広島看護大	129		
10 (8)	横浜国立大	45	10	慶応義塾大、 藤田医科大	96.6%	10	東都大〔看護ヒューマンケア〕、 藤田医科大	128
：				：		：		
21 (16)	神戸大	34	：			：		
			54(25)	神戸大、 山口大	92.0%	117 (1)	大阪大、他10大学	85
				：				
						164 (4)	神戸大、他6大学	78
						神戸大学 受験者数79人 合格者数78人 合格率98.7% (参考：2019年度入学定員80名)		
16.7 (12.7)	神戸大 過去三カ年平均	38.0	48.3 (23.3)	神戸大 過去三カ年平均	92.2%	175.3 (10.7)	神戸大 過去三カ年平均	75.3

8-2-8 臨床検査技師			8-2-9 作業療法士			8-2-10 理学療法士		
順 位	大 学 名	合格者	順 位	大 学 名	合格者	順 位	大 学 名	合格者
1	藤田医科大	105	1	国際医療福祉大〔保健医療〕	76	1	帝京科学大	147
2	北里大〔医療衛生〕	104	2	川崎医療福祉大〔リハビリテーション〕	56	2	新潟医療福祉大	117
3	杏林大	101	3	杏林大	48	3	順天堂大	116
4	熊本保健科学大	100	4	関西福祉科学大、 国際医療福祉大〔成田保健医療〕	46	4	国際医療福祉大〔保健医療〕	98
5	帝京大	93		5	藍野大	93		
6	神戸常盤大	79	6	藍野大	45	6	九州栄養福祉大 東京医療学院大	88
7	国際医療福祉大〔成田保健医療〕	78	7	関西医療大、 弘前医療福祉大、 藤田医科大、 森之宮医療大	44		8	つば国際大
8	純真学園大	77		9		国際医療福祉大 〔成田保健医療〕、他3大学	83	
9	京都橘大	71						
10	岐阜医療科学大	70						
∴			∴			∴		
25 (1)	神戸大	44	41 (1)	広島大	30	80 (1)	広島大、他3大学	32
神戸大学 受験者数49人 合格者数44人 合格率89.8% (参考：2019年度入学定員40名)			∴			∴		
			60 (2)	神戸大、他4大学	21	97 (5)	神戸大、他6大学	20
			神戸大学 受験者数21人 合格者数21人 合格率100% (参考：2019年度入学定員20名)			神戸大学 受験者数20人 合格者数20人 合格率100% (参考：2019年度入学定員20名)		
30.7 (4.7)	神戸大 過去三カ年平均	40.0	64.0 (5.7)	神戸大 過去三カ年平均	18.0	94.3 (5.3)	神戸大 過去三カ年平均	20.0

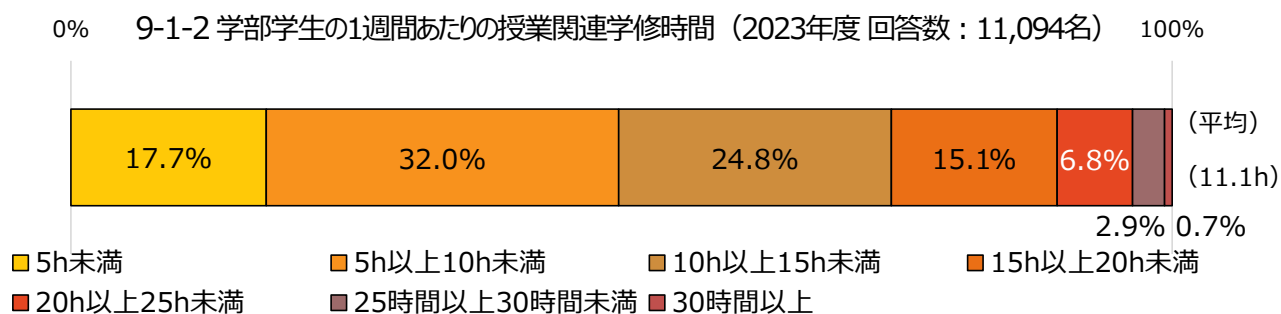
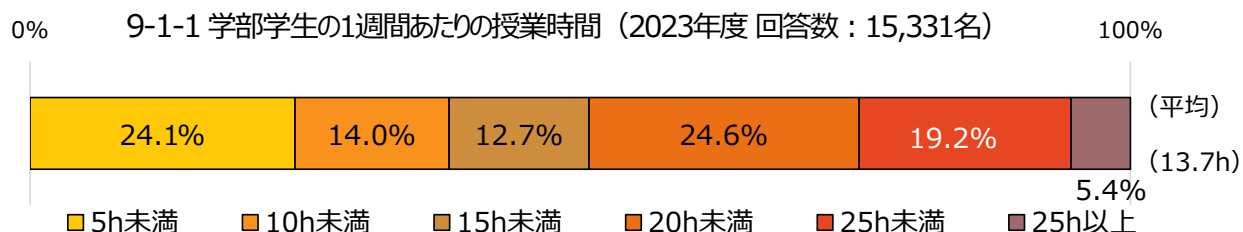
※合格者数は（人）
カッコ内は国立大学内の順位

出典：朝日新聞出版
「大学ランキング2025年版」より作成。
※データは2023年の数値、過去三カ年平均値は2021～2023年の平均値
(技術士のみ2022年の数値、2020～2022年の平均値)

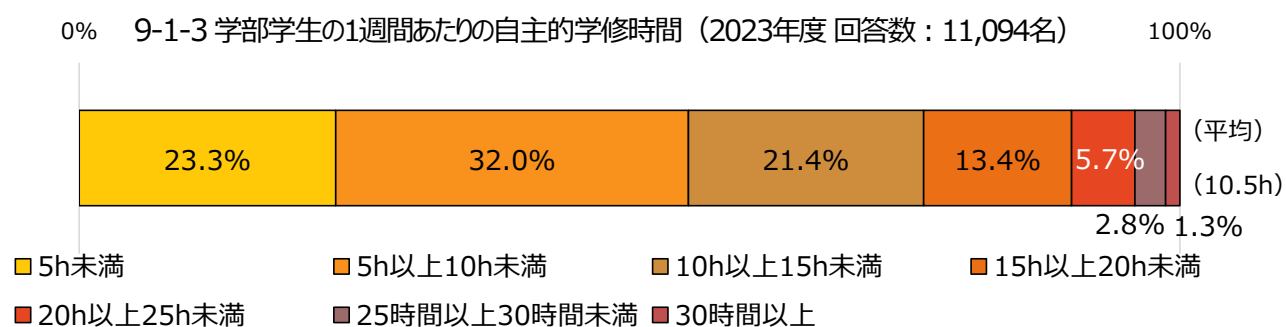
9. 学生生活状況

9-1 学部学生の学修時間等について

- 1週間に15時間以上の授業を受けている学生（9-1-1）が、49.2%と約半数を占めている。
- 1週間に授業関連の学修をする時間（9-1-2）が10時間以上である学生が50.3%、自主的学修をする時間（9-1-3）が10時間以上である学生は、44.6%となっている。



授業関連学修時間… 履修している授業に関連した学修や、ゼミ・卒業論文・卒業研究等に関する学修
（授業の予習・復習、課題やレポートの作成、定期試験の準備、資料検索、実験準備、実験実施、発表準備、論文執筆等）



自主的学修時間…授業関連時間以外で、自主的に行った学修
（資格試験学習、語学学習、大学院試験対策、就職試験対策、フィールドワーク、インターンシップ、ボランティア、セミナー、クラブ・サークル活動、教養のための読書等）

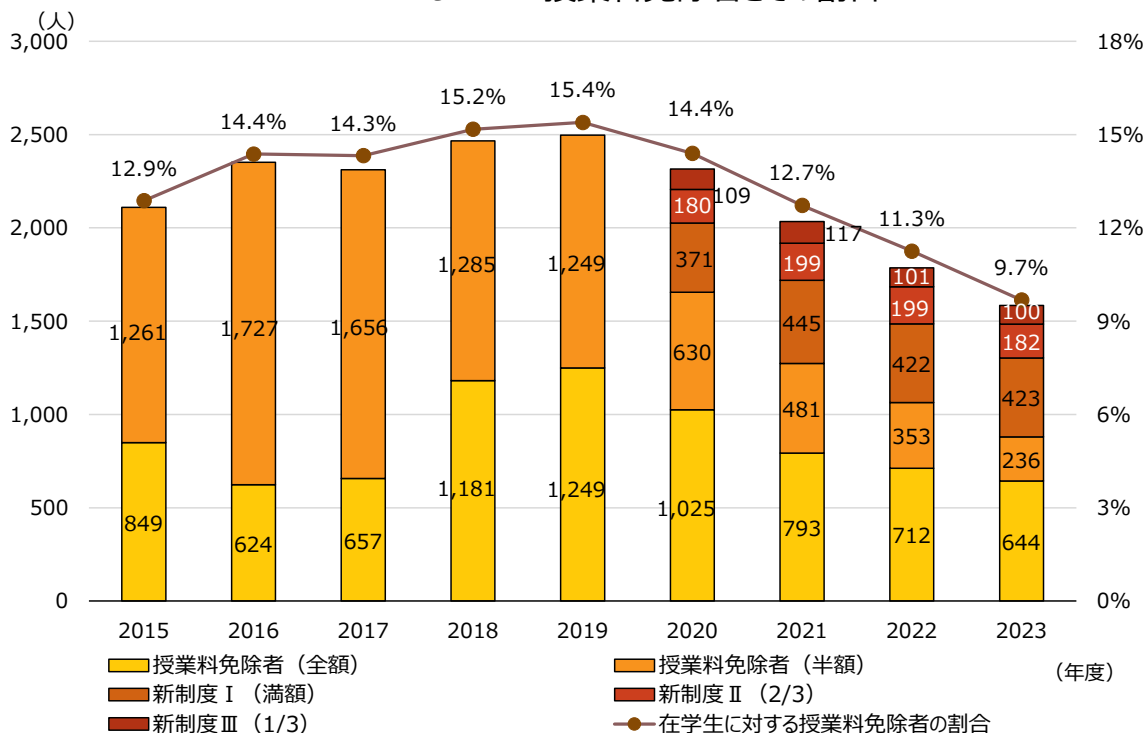
※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

出典：神戸大学「学修の記録」全学集計結果

9-2 経済支援（授業料免除及び奨学金）について

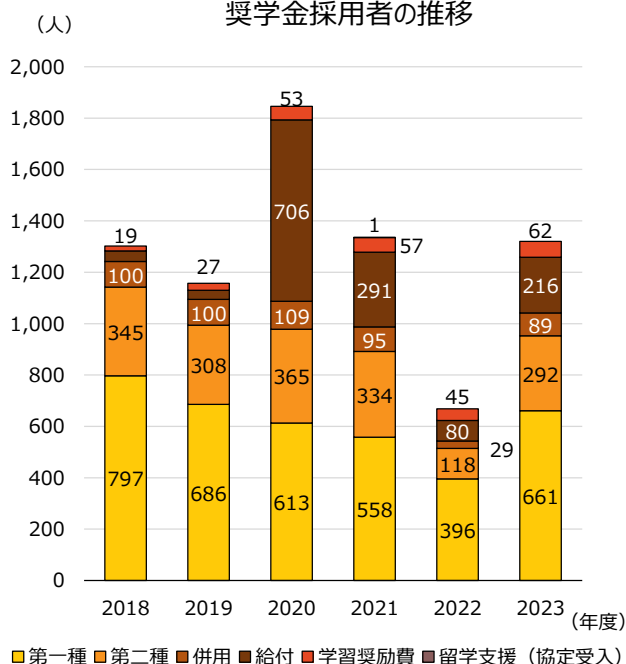
- 2020年度より「高等教育の修学支援新制度」が実施され、学部学生等を対象として、給付奨学金と授業料減免の組み合わせによる支援を実施している。大学院生は、これまでどおり神戸大学授業料免除を継続している。
- 2020年度に、上記に伴う日本学生支援機構の給付型奨学金と、神戸大学独自の奨学金の採用者数が大幅に増加したが、2022年度は全体的に減少し、2023年度は2021年度と同程度まで増加した。

9-2-1 授業料免除者とその割合

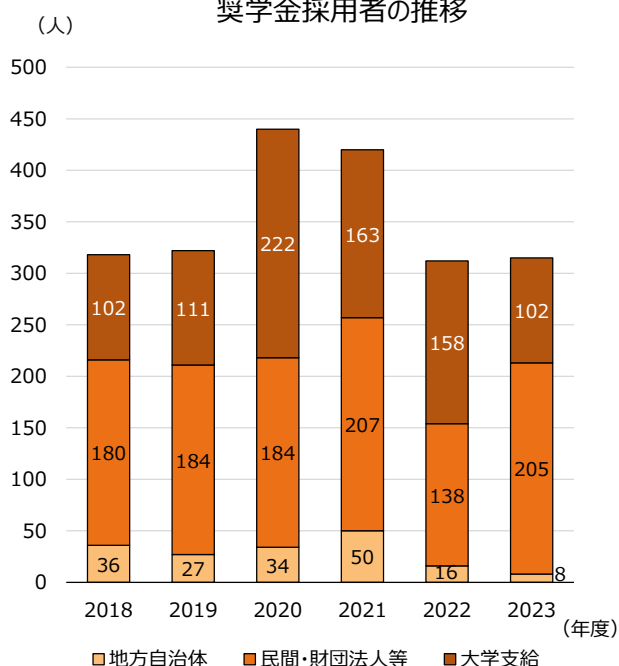


※授業料免除者については、前後期の平均値

9-2-2 日本学生支援機構の奨学金採用者の推移



9-2-3 日本学生支援機構以外の奨学金採用者の推移



※日本学生支援機構の内訳

第一種：第一種（無利息）のみ受給している学生

第二種：第二種（利息付）のみ受給している学生

併用：第一種、第二種併用して受給している学生

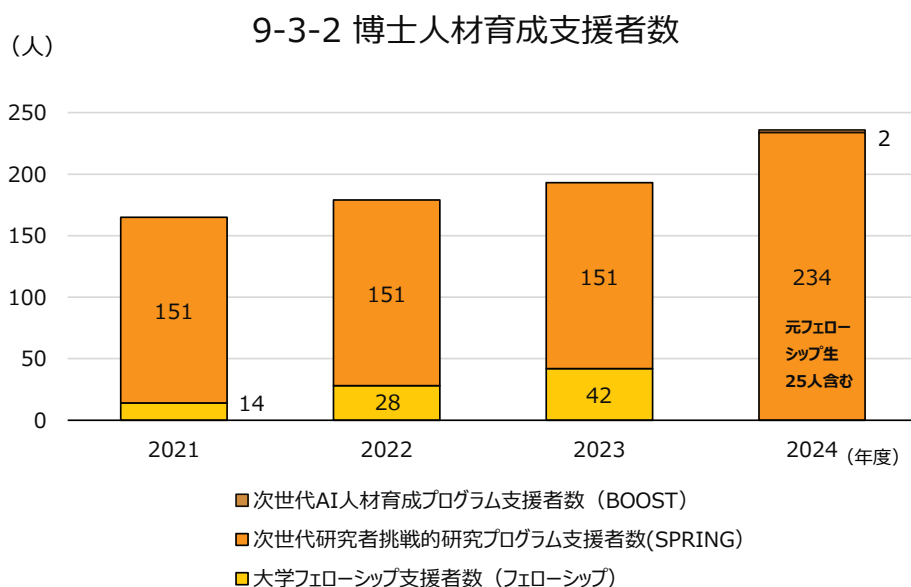
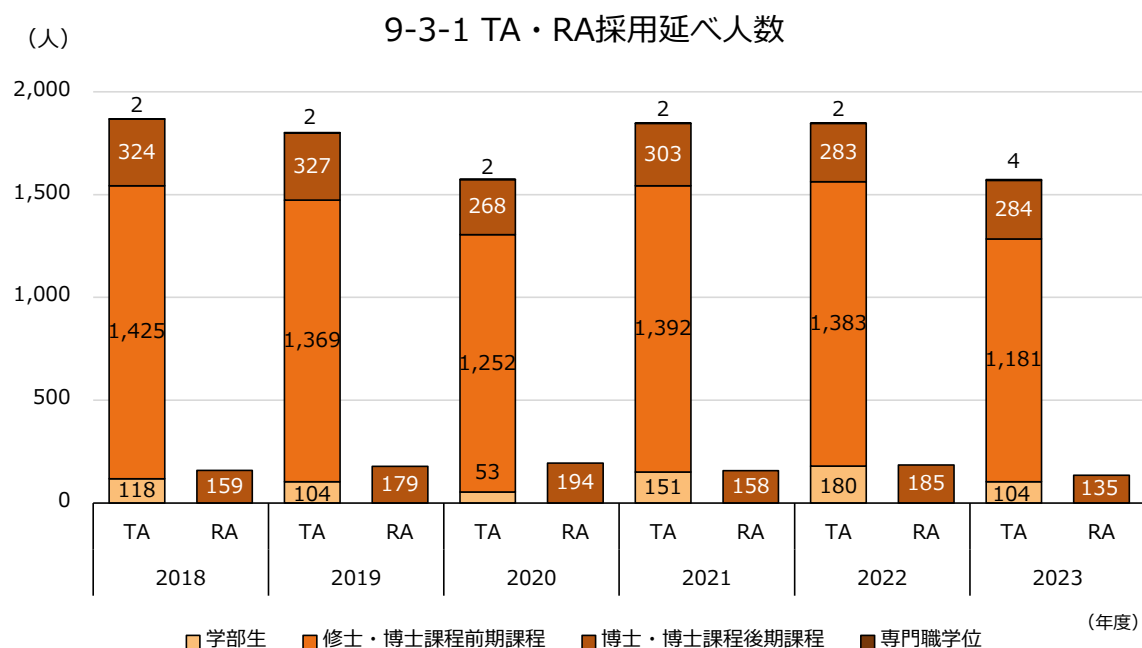
給付：給付型を受給している学生（2018年度から開始）

学習奨励費：学習奨励費（私費外国人学生対象の給与型奨学金）を受給している学生

留学支援（協定受入）：海外留学支援制度（協定受入）により受給している学生

9-3 経済支援（その他）について

- ティーチング・アシスタント（TA）、リサーチ・アシスタント（RA）（9-3-1）として学生を採用することで、学生への経済的支援を図りながら、大学教育における教育的効果を高めるための学修サポートを提供している。
- 科学技術振興機構（JST）の次世代研究者挑戦的研究プログラムに採択され、優秀な博士人材への支援を実施しており、2024年度は事業が更新され、支援者数を拡充した。



※大学フェローシップ（フェローシップ）、次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）は2021年度から支援開始（2024年度にフェローシップとSPRINGは統合）

※次世代AI人材育成プログラム（BOOST）は2024年度から支援開始

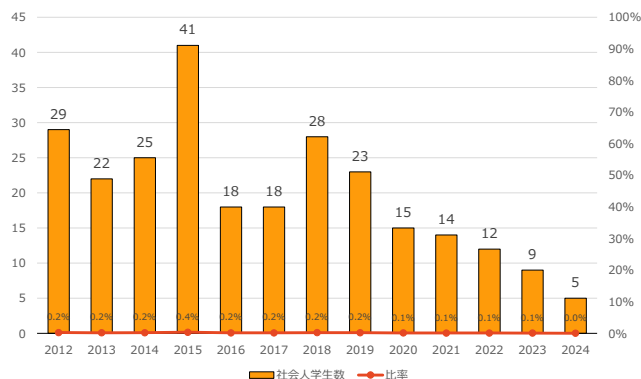
10. リカレント教育

10-1 社会人学生数

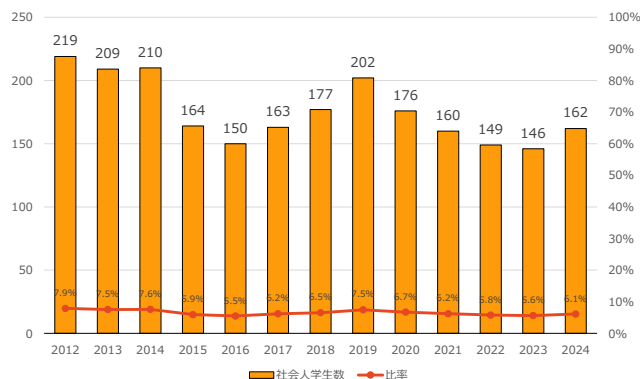
- 学士課程における社会人学生数はほとんどいないが、上位課程になるほど社会人学生の比率が上昇している。
- 課程別では、博士課程後期課程・博士課程(10-1-3)において、社会人学生数・比率ともに長期的に上昇傾向である。

基準日：各年度5月1日

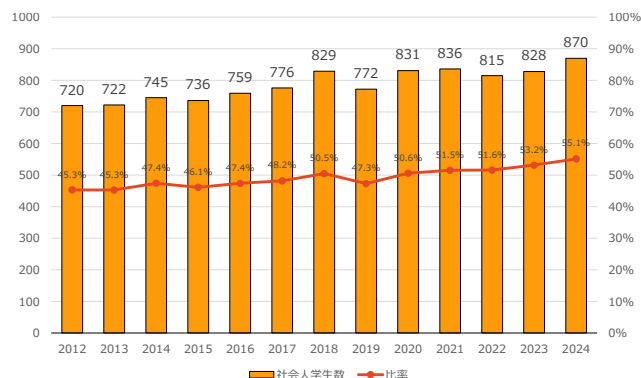
10-1-1 社会人学生数（学士課程）



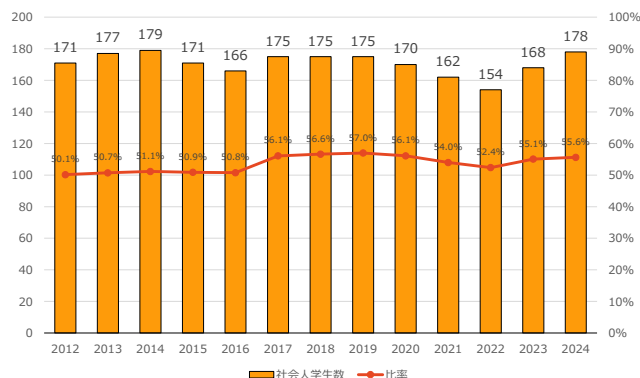
10-1-2 社会人学生数（博士課程前期課程・修士課程）



10-1-3 社会人学生数（博士課程後期課程・博士課程）



10-1-4 社会人学生数（専門職学位課程）



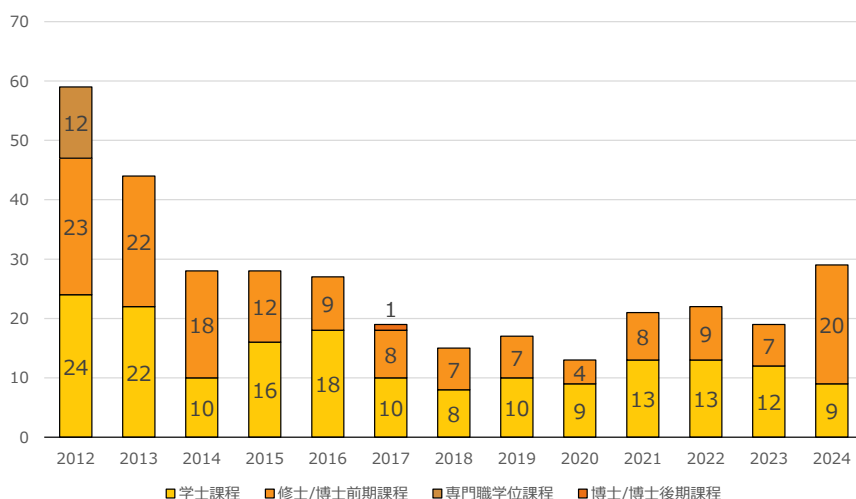
※「社会人学生数」は、（１）職に就いている者（給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を得る仕事に現に就いている者）、（２）給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を得る仕事から既に退職した者、（３）主婦・主夫の合計。

10-2 科目等履修生数

- 年度によりばらつきはあるものの、2024年度は修士/博士前期課程の科目等履修生数がかなり増加した。

科目等履修生数

基準日：各年度5月1日



10-3 リカレント教育プログラム・公開講座

- 複数の部局において、多様な受講対象者に向けたリカレント教育プログラムを開講している。
- 2023年度は6研究科・1学部において公開講座を開講した。

【2023年度】

10-3-1 リカレント教育プログラム

部局名	取組・事業名	取組・事業内容	受講対象者	募集人数 (人)	受講人数 (人)
国際文化学研究科	ローカル・グローバルと公・民をつなぐ観光リカレント教育	グローバルなコミュニケーション能力を持つ観光地域づくり人材を育成するプログラム	企業、自治体・公共団体、DMO（観光地域づくり法人）	若干名	7
保健学研究科	地域共生社会の牽引人材を育成する重層支援Dxに関するリカレント教育	高齢者の生活阻害因子に対応できる高い問題解決力、数理・データサイエンスの知識に基づく介護現場のリアルデータを活用できる力を身に付けるプログラム	地域高齢者事業従事者、自治体関係者、その他医療職・介護職関係者、博士課程前期課程学生	5～10	9
科学技術イノベーション研究科	先端理系人材のイノベーション指向リスティング	アントレプレナーシップとディープサイエンス・ディープテックの研究開発力を兼ね備える科学技術イノベーション人材を育成するプログラム	企業等において先端研究開発の実績を有する理系人材	30	54
数理・データサイエンスセンター	DX基礎講座	DX基礎講座は、組織内DX課題を解決するDX人材の育成を目的としたe-ラーニングプログラム	企業や自治体、教育機関等の就業者等	-	539
	次世代DXリーダー育成プログラム 課題解決型PBL	「DX基礎講座」で習得したDX・データサイエンスの基礎力をベースに、実践を中心とした「課題解決型学習（PBL）」を取り入れたDX人材に必要な知見を実際の業務で取り扱う課題をもとに学ぶプログラム	企業や自治体、教育機関等の就業者等	30	11
	企業と大学による価値共創を志向するDXエキスパート育成プログラム	大量のデータから数理・データサイエンス・AIを活用して意味を抽出し、課題解決につなげる応用能力を養成するプログラム	企業の担当者	30	15
先端スマート技術研究開発センター	AIスマート空調技術リスティングプログラム	研究成果を活用した企業に在籍する研究者や技術者に対する講習、実習、演習などを実施するリスティングプログラム	企業に在籍する研究者や技術者	-	13

10-3-2 公開講座

部局名	講座等名	受講対象者	時間数 (時間)	募集人数 (人)	受講人数 (人)
人文学研究科	「人文学を解き放つ」	一般市民、学生	6	80	44
	まちづくり地域歴史遺産活用講座2023	一般市民	9	20	7
	まちづくり地域歴史遺産活用講座2023オプションプログラム古文書解読講座	一般市民（まちづくり講座受講生）	6	20	18
国際文化学研究科	「日本語教育と社会のインタラクション」	一般社会人、学生（中学生以上）	4	200	24
人間発達環境学研究科	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト連続講座「健康体操教室」春（全4回）	鶴甲地区住民、教職員、学生	4	-	155
	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト連続講座「園芸教室」春（全3回）	鶴甲地区住民、教職員、学生	4.5	30	81
	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト連続講座「いきいきウォーキング」春（全4回）	鶴甲地区住民、教職員、学生	6	-	126
	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト連続講座「健康体操教室」秋（全4回）	鶴甲地区住民、教職員、学生	4	-	146
	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト連続講座「園芸教室」秋（全4回）	鶴甲地区住民、教職員、学生	6	30	117
	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト連続講座「いきいきウォーキング」秋（全4回）	鶴甲地区住民、教職員、学生	6	-	128
	【学術WEEKS2023】音楽文化のトランスボーダーをめぐる vol.7「わたしの好きな歌 - 岡原真弓、萩京子の「ソング」を歌う」	学生、研究者、一般	2	60	学生29 一般24
	環境と調和するスキルの可能性を探る VOL.1 教育・臨床の現場の課題解決を目指して	一般市民、学生、教育・医療機関の就業者等	3	50	50
	環境と調和するスキルの可能性を探る VOL.2 運動・スポーツスキルの先端研究	一般市民、学生、教育・医療機関、企業の就業者等	4	50	50
	環境と調和するスキルの可能性を探る VOL.3 ダンス・音楽における協調／非協調	一般市民、学生、教育・医療・芸術機関、企業の就業者等	4	50	50
医学研究科	第40回医学研究科公開講座『ポストコロナにおけるヘルスケア』	一般市民、学生等	4	120	44
保健学研究科	「最新の研究から家庭の保健・医療へ」	一般市民、学生（高校生以上）	4	対面：100程度 オンライン：定員無し	131 (2日合計) 対面：66 オンライン：65
工学部	S D G sに寄与する工学	一般社会人、大学生、高校生	9	対面：70 オンライン：200	156
海事科学研究科	近代日本 船のあゆみ ～多種多様な船とその役割～	一般市民、学生（高校生以上）	3.5	100	73

11. 国際的な研究論文

11-1 インパクトの高い論文数分析による日本の研究機関ランキング

- 本学の2013年1月から2023年12月の11年間における高被引用論文数（各研究分野における被引用数が世界の上位1%に入る、卓越した論文の数）は、国内で17位、大学に限ると12位となっている。
- 20位以内にランクインした国立大学は、全て国立大学法人運営費交付金の「成果を中心とする実績状況に基づく配分」のグループ分けによる、グループ④及び⑤（主として、卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に世界で卓越した教育研究、社会実装を推進する取組を中核とする国立大学:17大学）に属する。
- ただし、データ元の「Web of Science™」（以下、WoS）は自然科学・生命医学系の学術論文を中心に収録しているデータベースであることに留意が必要である。（「11.国際的な研究論文」全体の項目について）

順位	機関名	高被引用論文数	当該機関の論文数に占める割合
1	東京大学	1,656	1.6%
2	京都大学	1,007	1.4%
3	国立研究開発法人 理化学研究所	694	2.3%
4	大阪大学	579	1.1%
5	東北大学	552	1.0%
6	国立研究開発法人 物質・材料研究機構	551	3.2%
7	名古屋大学	492	1.2%
8	九州大学	469	1.2%
9	北海道大学	401	1.0%
10	国立研究開発法人 国立がん研究センター	389	3.7%
11	筑波大学	324	1.2%
12	東京工業大学	310	1.1%
13	慶應義塾大学	301	1.2%
14	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	289	1.1%
15	広島大学	263	1.1%
16	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構	238	1.7%
17	神戸大学	229	1.1%
18	早稲田大学	203	1.3%
19	岡山大学	193	1.1%
20	近畿大学	185	2.3%

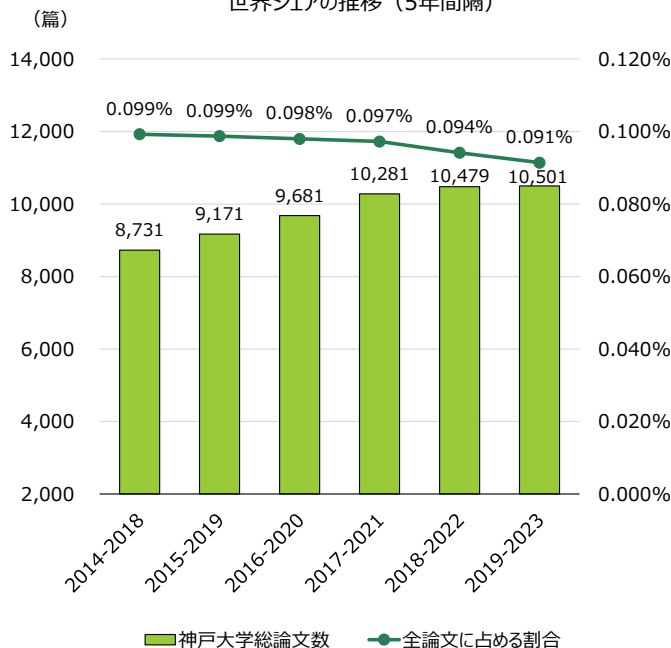
出典：クラリベイト・アナリティクス・ジャパン株式会社プレスリリース「インパクトの高い論文数分析による日本の研究機関2024年版」

※当データは、同社が提供する学術文献データベース「Web of Science™」の収録レコードをもとにした引用動向の統計データベース「Essential Science Indicators™」に収録されている世界の研究機関情報から、同データベースの22研究分野において被引用数が上位1%の高被引用論文を集計し、ランキング化したものである。

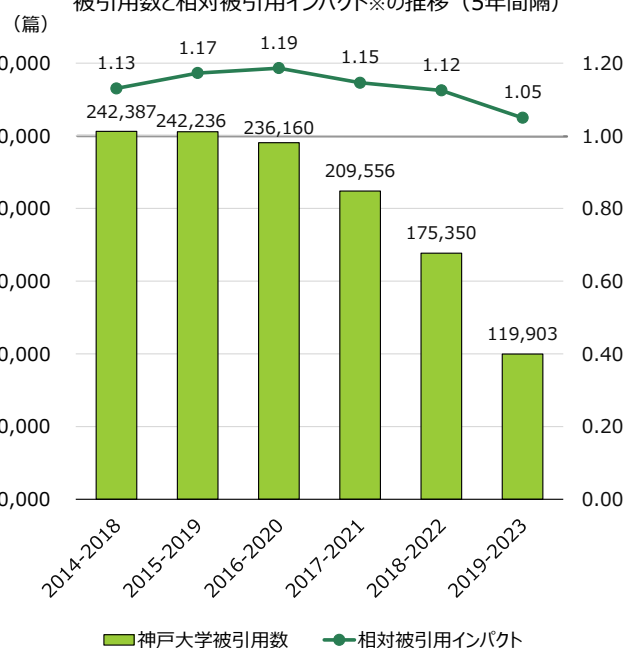
11-2 論文の量と質についての比較 — 推移 —

- Web of Science論文数（11-2-1）の増加傾向は高止まりしつつあり、世界シェアは低下している。
- 被引用数は、過去の論文であるほど増えるため傾向を一概には読み取れないが、被引用数上位1%論文数（11-2-3）は高水準を維持する一方、上位10%論文数（11-2-4）はこれまで増加傾向であったものの、近年若干停滞している。

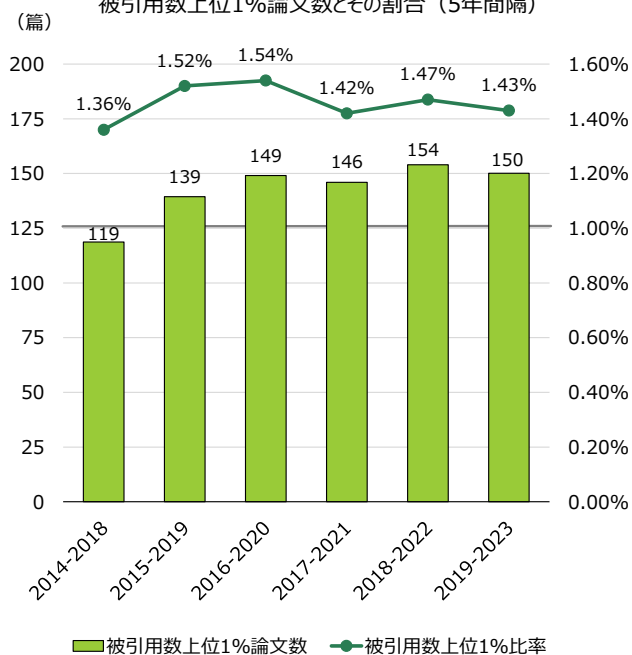
11-2-1 神戸大学のWoS収録論文数と世界シェアの推移（5年間隔）



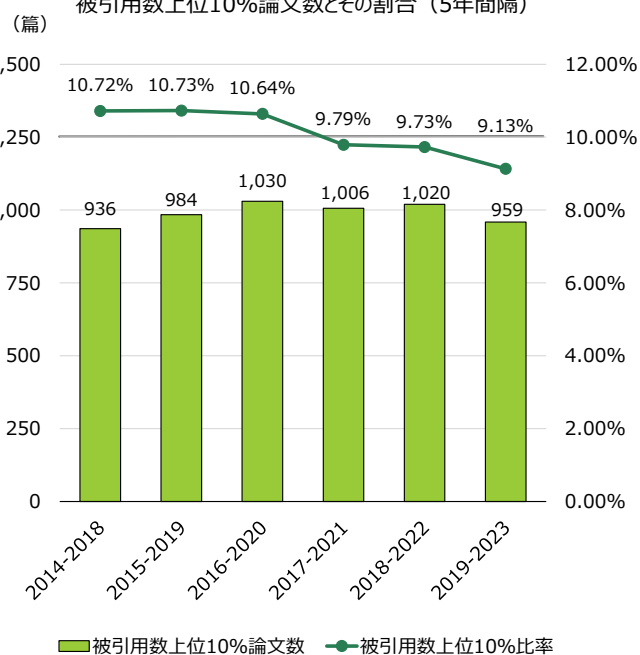
11-2-2 神戸大学のWoS収録論文における被引用数と相対被引用インパクト※の推移（5年間隔）



11-2-3 神戸大学のWoS収録論文における被引用数上位1%論文数とその割合（5年間隔）



11-2-4 神戸大学のWoS収録論文における被引用数上位10%論文数とその割合（5年間隔）

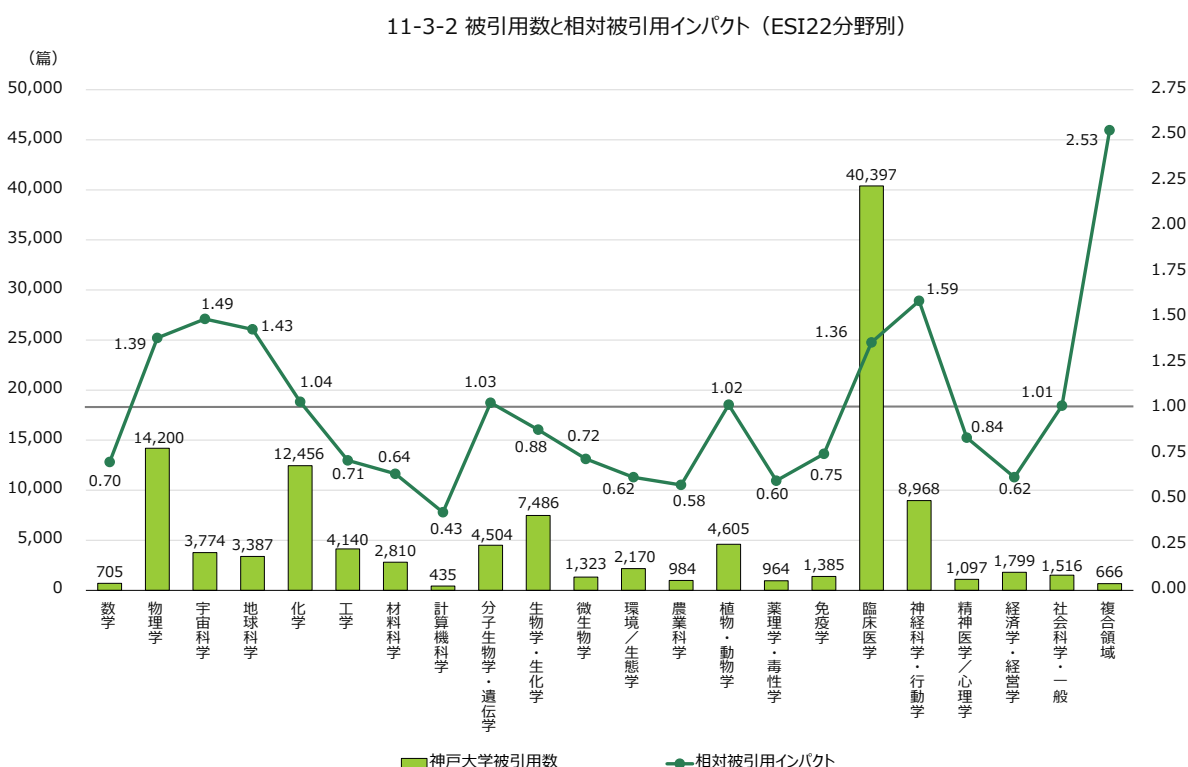
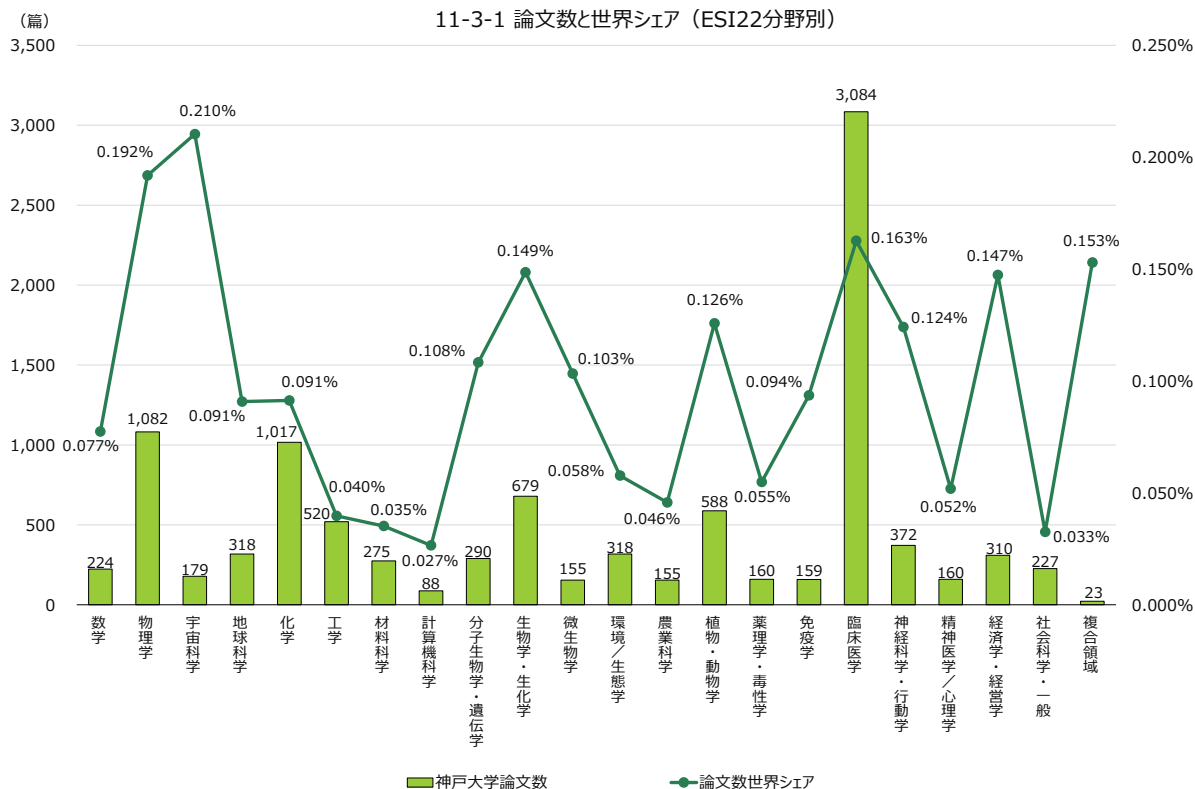


出典：引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」によりWoS収録論文の2つのドキュメントタイプ（Article, Review）のデータについて、5年間の累計値を分析した。なお、本データは2024年8月1日現在の数値である。

※相対被引用インパクト：各分野における1論文あたりの被引用数を世界平均1.0とした場合の相対的な割合を示す数値。

11-3 論文の量と質についての比較 — ESI22分野別 —

- InCites™を用いて、本学の研究をESI22分野別に比較した結果、論文数自体（11-3-1）は臨床医学、物理学、化学などが多く、シェアとしては、宇宙科学、物理学、臨床医学などが高くなっている。
- 相対被引用インパクト（11-3-2）が世界平均1.0を超える分野は学術的影響力の高い研究成果が多く生み出されていることを示している。

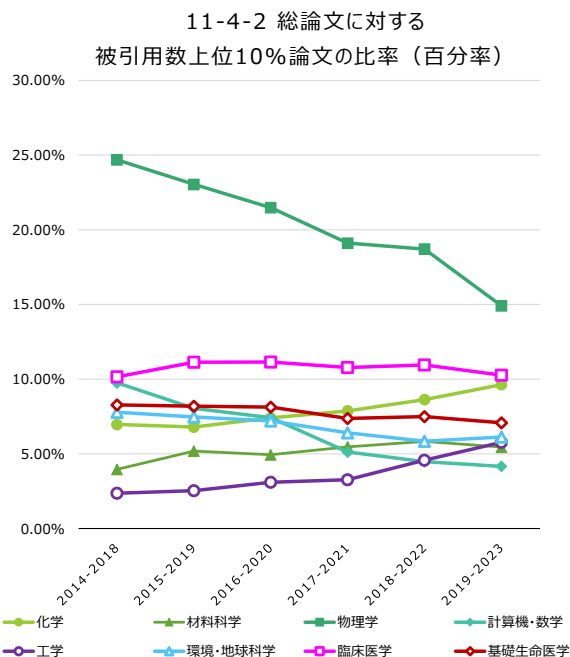
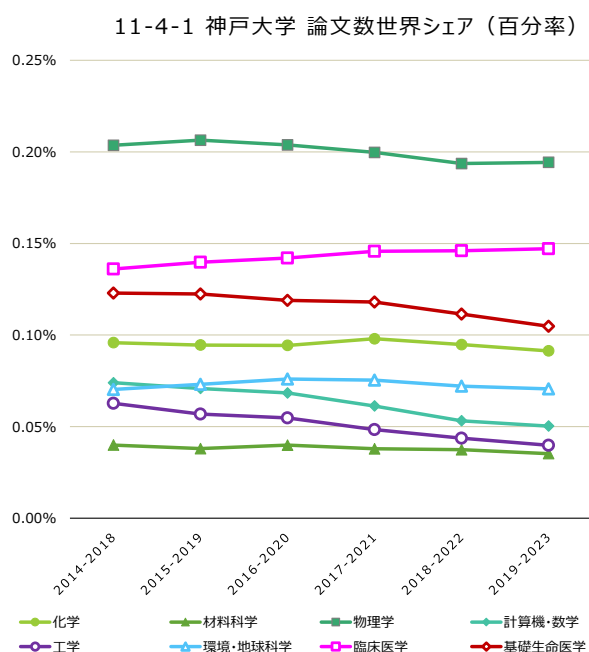


※引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」により、2019～2023年の2つのドキュメントタイプ（Article, Review）の論文について、「Essential Science Indicators™」の22分野別でデータを分析した。なお、本データは2024年8月1日現在の数値である。

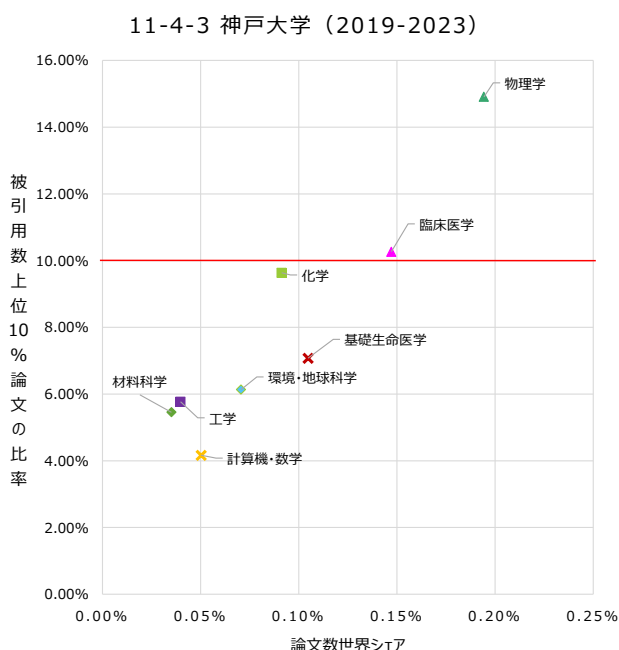
11-4 論文の量と質についての比較 – NS 8 分野別 –

- 科学技術・学術政策研究所（NISTEP）が定義した研究ポートフォリオ8分野別に、本学の論文を分析した結果である。本学では物理学分野が突出していることがわかる。量で見ると（11-4-1）、臨床医学分野が増加傾向にあり、質で見ると（11-4-2）、化学分野が数値を伸ばしている。物理学分野は高い水準にあるが、低下傾向が懸念される。

推移（2014-2023年、5年間隔）



マッピング

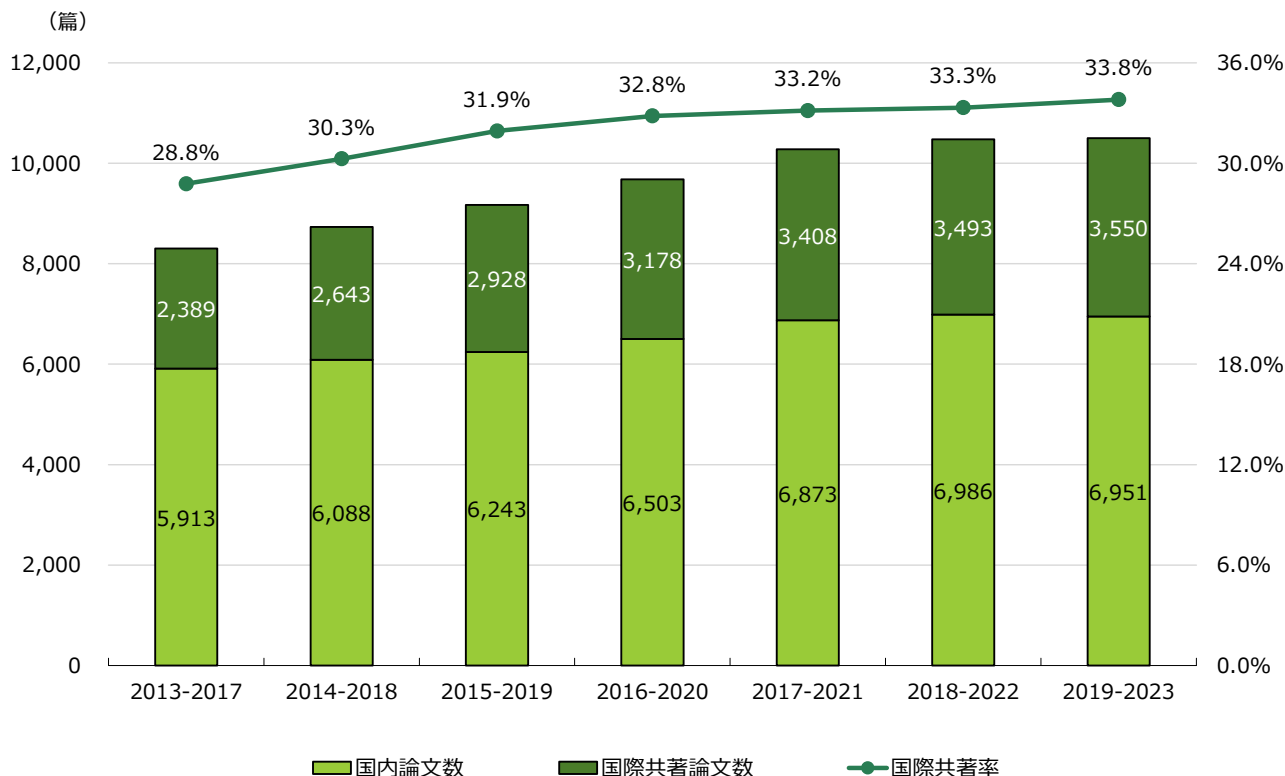


※引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」により、2つのドキュメントタイプ（Article, Review）の論文について、科学技術・学術政策研究所「研究論文に着目した日本の大学ベンチマーキング2015」において用いられていた「研究ポートフォリオ8分野（ESI22分野のうち19分野を再分類したもの）」別にデータを分析した。共著論文のカウント方法は整数カウント法である。また、本データは2024年8月1日現在の数値である。

11-5 論文の量と質についての比較 – 国際共著 –

- 本学の国際共著論文数・国際共著率（11-5-1）はともに増加傾向にある。分野別（11-5-2）では、物理学や天文学が特に高く、その他幅広い分野で積極的に国際連携して研究を行っていることがわかる。

11-5-1 神戸大学の国際共著論文数の推移（5年毎の合計値）



11-5-2 神戸大学の国際共著論文の多い分野（2019-2023年の合計）

分野名（Web of Science252分野）	国際共著論文数	国際共著率
Physics, Particles & Fields（物理学、粒子、界）	474	84.34%
Astronomy & Astrophysics（天文学、宇宙物理学）	267	71.77%
Biochemistry & Molecular Biology（生化学、分子生物学）	176	36.14%
Materials Science, Multidisciplinary（物質科学、総合）	176	38.68%
Engineering, Chemical（工学、化学）	166	57.44%
Chemistry, Multidisciplinary（化学、総合）	132	35.87%
Environmental Sciences（環境科学）	128	43.99%
Plant Sciences（植物学）	122	31.61%
Chemistry, Physical（化学、物理）	119	36.50%
Polymer Science（高分子科学）	112	51.61%
Physics, Applied（物理学、応用）	110	32.93%
Physics, Nuclear（物理学、核）	101	88.60%
Oncology（腫瘍学）	98	16.72%
Economics（経済学）	97	34.28%
Neurosciences（神経科学）	96	33.57%
Physics, Multidisciplinary（物理学、総合）	90	53.25%
Geosciences, Multidisciplinary（地球科学、総合）	83	54.61%

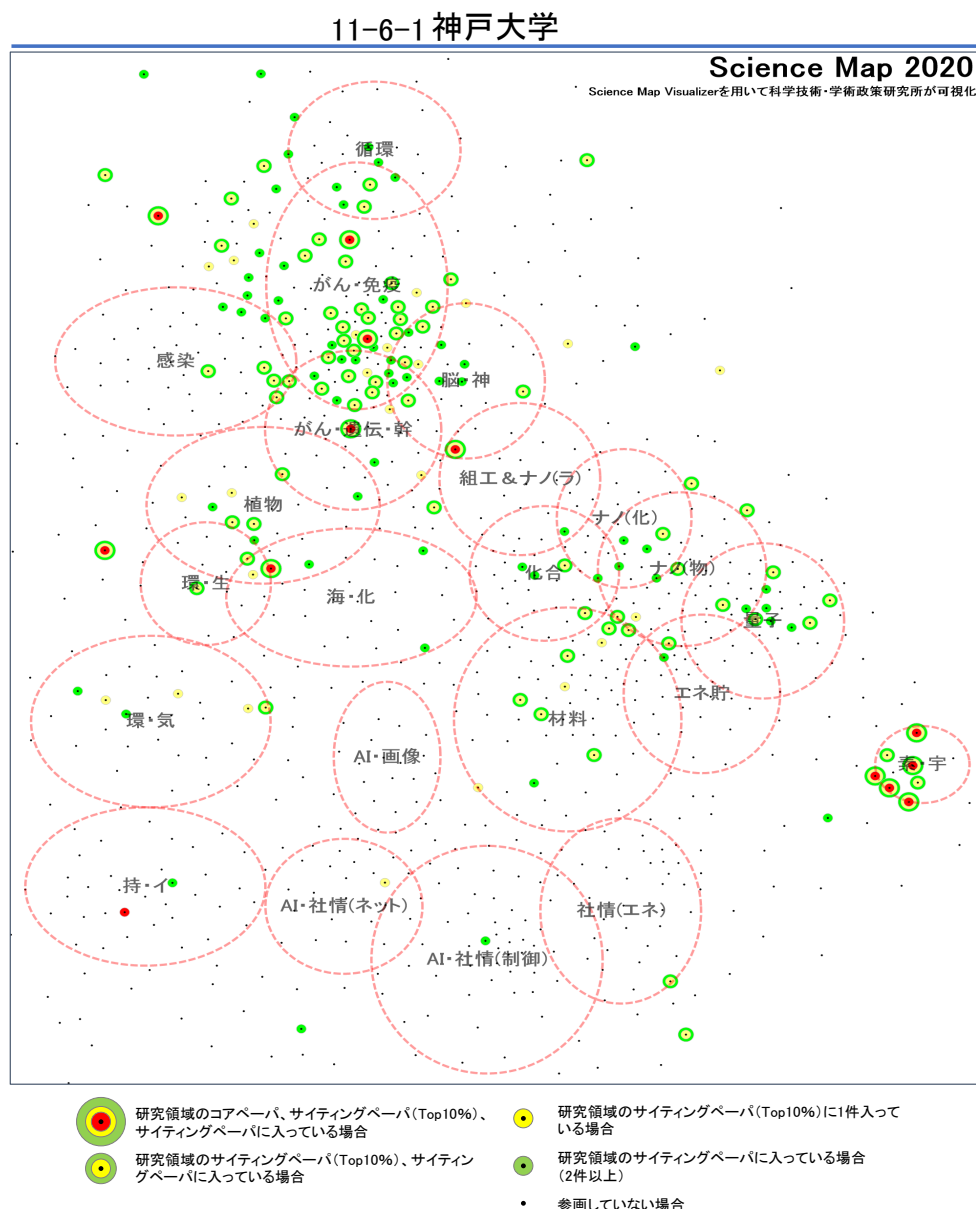
※引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」より、2つのドキュメントタイプ（Article, Review）の論文についてデータを分析した。
また、本データは2024年8月1日現在の数値である。

11-6 サイエンスマップから見る本学の強みである研究領域

- 本学では従来からの強みである「がんゲノム解析・遺伝子・幹細胞研究」、「植物科学研究」、「素粒子・宇宙論研究」の3分野に加え、「がん・免疫研究」、また「脳・神経研究」と「組織工学＆ナノサイエンス研究（ライフサイエンス）」、「海洋汚染・化学物質研究」と「環境・生態系研究」（及び「植物科学研究」）といった学際分野でも世界をリードする研究を行っている。（11-6-1）
- コアペーパーは減少しているものの、サイティングペーパーは堅調に増加しており、特に「素粒子・宇宙論研究」周辺領域が国際的に注目されている。（11-6-2）

サイエンスマップとは？

論文データベース分析により国際的に注目を集めている研究領域を定量的に把握し、それらが、互いにどのような位置関係にあるのか、どのような発展を見せているのかを示した科学研究の地図。



11-6-2

神戸大学	コアペーパー		サイティングペーパーのうち Top10%論文		サイティングペーパー	
	該当領域数	ペーパー数	該当領域数	ペーパー数	該当領域数	ペーパー数
サイエンスマップ2008	12	21	79	188	100	592
サイエンスマップ2010	26	33	100	207	118	642
サイエンスマップ2012	21	53	76	284	106	821
サイエンスマップ2014	16	41	79	278	114	926
サイエンスマップ2016	13	49	86	334	133	1,038
サイエンスマップ2018	15	73	100	479	131	1,214
サイエンスマップ2020	13	49	104	374	143	1,259

研究領域群名

【循環】循環器疾患研究
 【感染】感染症研究
 【がん・免疫】がん・免疫研究
 【がん・遺伝・幹】がんゲノム解析・遺伝子・幹細胞研究
 【脳・神】脳・神経研究
 【組工 & ナノ(ラ)】組織工学 & ナノサイエンス研究(ライフサイエンス)
 【植物】植物科学研究
 【ナノ(化)】ナノサイエンス研究(化学)
 【ナノ(物)】ナノサイエンス研究(物理学)
 【化学】化学合成研究
 【環・生】環境・生態系研究
 【環・気】環境・気候変動研究
 【海・化】海洋汚染・化学物質研究
 【量子】量子情報処理・物性研究
 【エネ貯】エネルギー貯蔵研究
 【材料】材料研究
 【素・宇】素粒子・宇宙論研究
 【AI・画像】AI関連研究(画像認識)
 【AI・社情(ネット)】AI・社会情報インフラ関連研究(ネットワーク)
 【AI・社情(制御)】AI・社会情報インフラ関連研究(自動制御)
 【社情(エネ)】社会情報インフラ関連研究(エネルギー等)
 【持・イ】持続可能な発展・イノベーション研究

用語

研究領域

2015～2020年の6年間に発行された論文の中で、各年、ESI22分野の被引用数Top1%論文に対し、「共引用」を用いたグループ化を行うことにより得られた919の研究領域。

コアペーパー

各研究領域を構成しているTop1%論文。

サイティングペーパー

コアペーパーを引用している論文。

12. 科学研究費

12-1 2024年度科学研究費助成事業獲得状況

種 目	新規申請件数	採択件数			新規採択率	配分額（新規＋継続）		
		新規	継続	合計		直接経費（千円）	間接経費（千円）	合計（千円）
特別推進研究	0	0	0	0	-	0	0	0
	1	0	1	1	0.0%	58,900	17,670	76,570
新学術領域研究（計画）	0	0	0	0	-	0	0	0
	0	0	2	2	-	47,900	14,370	62,270
新学術領域研究（公募）	0	0	0	0	-	0	0	0
	0	0	7	7	-	19,300	5,790	25,090
学術変革領域研究（A） （計画研究）	22	1	5	6	4.5%	131,900	39,570	171,470
	16	0	5	5	0.0%	69,000	20,700	89,700
学術変革領域研究（A） （公募研究）	30	7	13	20	23.3%	60,500	18,150	78,650
	34	13	4	17	38.2%	53,000	15,900	68,900
学術変革領域研究（B）	10	1	0	1	10.0%	14,900	4,470	19,370
	11	0	0	0	0.0%	0	0	0
基盤研究（S）	5	0	2	2	0.0%	63,400	19,020	82,420
	4	0	3	3	0.0%	82,100	24,630	106,730
基盤研究（A）	34	11	23	34	32.4%	281,900	84,570	366,470
	31	4	29	33	12.9%	225,200	67,560	292,760
基盤研究（B）	203	69	133	202	34.0%	776,400	232,920	1,009,320
	197	59	135	194	29.9%	655,000	196,500	851,500
基盤研究（C）	422	159	327	486	37.7%	474,600	142,380	616,980
	409	153	319	472	37.4%	459,467	137,840	597,307
挑戦的研究（開拓）	29	-	8	8	-	37,600	11,280	48,880
	32	3	6	9	9.4%	40,500	12,150	52,650
挑戦的研究（萌芽）	150	-	39	39	-	63,200	18,960	82,160
	142	21	40	61	14.8%	103,100	30,930	134,030
若手研究	211	86	142	228	40.8%	254,433	76,330	330,763
	201	86	141	227	42.8%	245,971	73,742	319,713
研究活動スタート支援	61	-	29	29	-	27,400	8,220	35,620
	63	29	22	51	46.0%	48,800	14,640	63,440
国際共同研究加速基金 （国際先導研究）	1	-	0	0	-	0	0	0
	1	0	0	0	0.0%	0	0	0
国際共同研究加速基金 （海外連携研究）	29	-	17	17	-	62,500	18,750	81,250
	22	7	16	23	31.8%	75,800	22,740	98,540
合 計	1,207	334	738	1,072	27.7%	2,248,733	674,620	2,923,353
	1,164	375	730	1,105	32.2%	2,184,037	655,162	2,839,199

○「学術変革領域研究(A)（計画研究）」学術変革領域研究(B)」：2020年度から公募が始まった新規研究種目である。

○「学術変革領域研究(A)（公募研究）」：2021年度から公募が始まった新規研究種目である。

※「新学術領域研究（計画）」の新規研究領域の公募は2020年度限りで新規の公募を終了。

○「挑戦的研究（開拓）」「挑戦的研究（萌芽）」：2017年度から公募が始まった新規研究種目である。

○「若手研究」：2018年度から公募が始まった新規研究種目である。

※「若手研究(A)」、「若手研究(B)」は2017年度限りで新規の公募を終了。

○2023年度公募から「国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B)）」は「国際共同研究加速基金（海外連携研究）」に名称変更された。

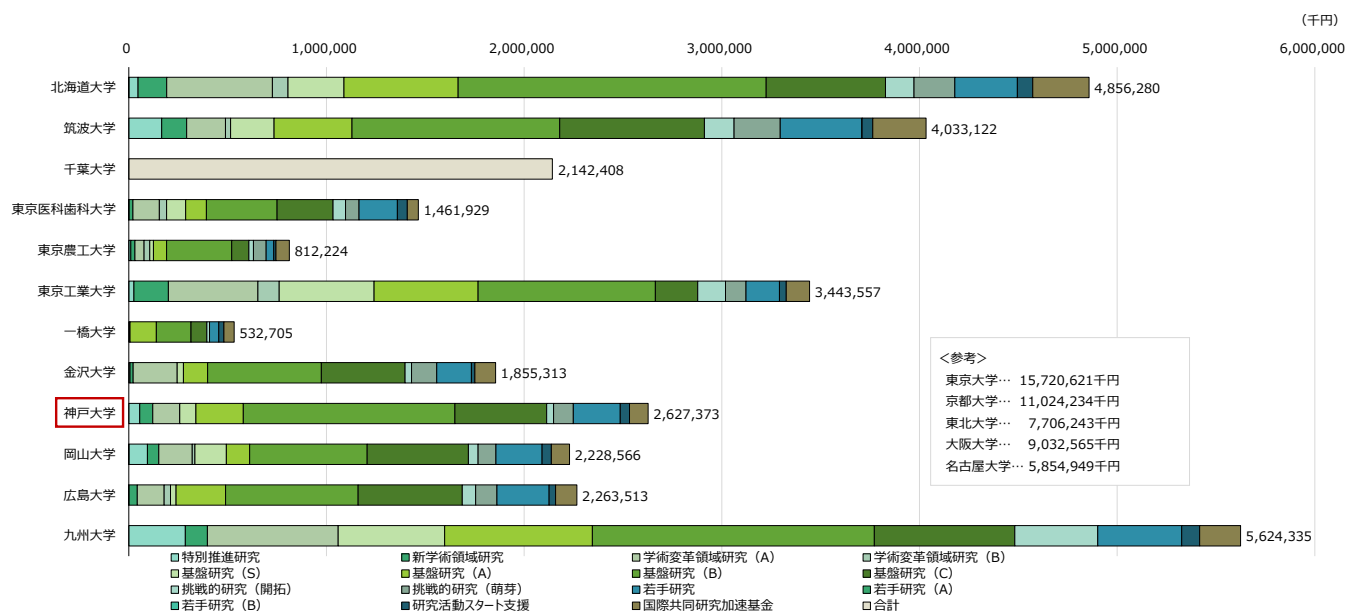
上段：2024年度採択状況（2024.6現在）

下段：2023年度採択状況（最終版）

※表中の件数欄の「-」は該当なし又は申請中を示す。

※研究代表者として申請した課題のみを集計。

12-2 2023年度科学研究費助成事業獲得状況



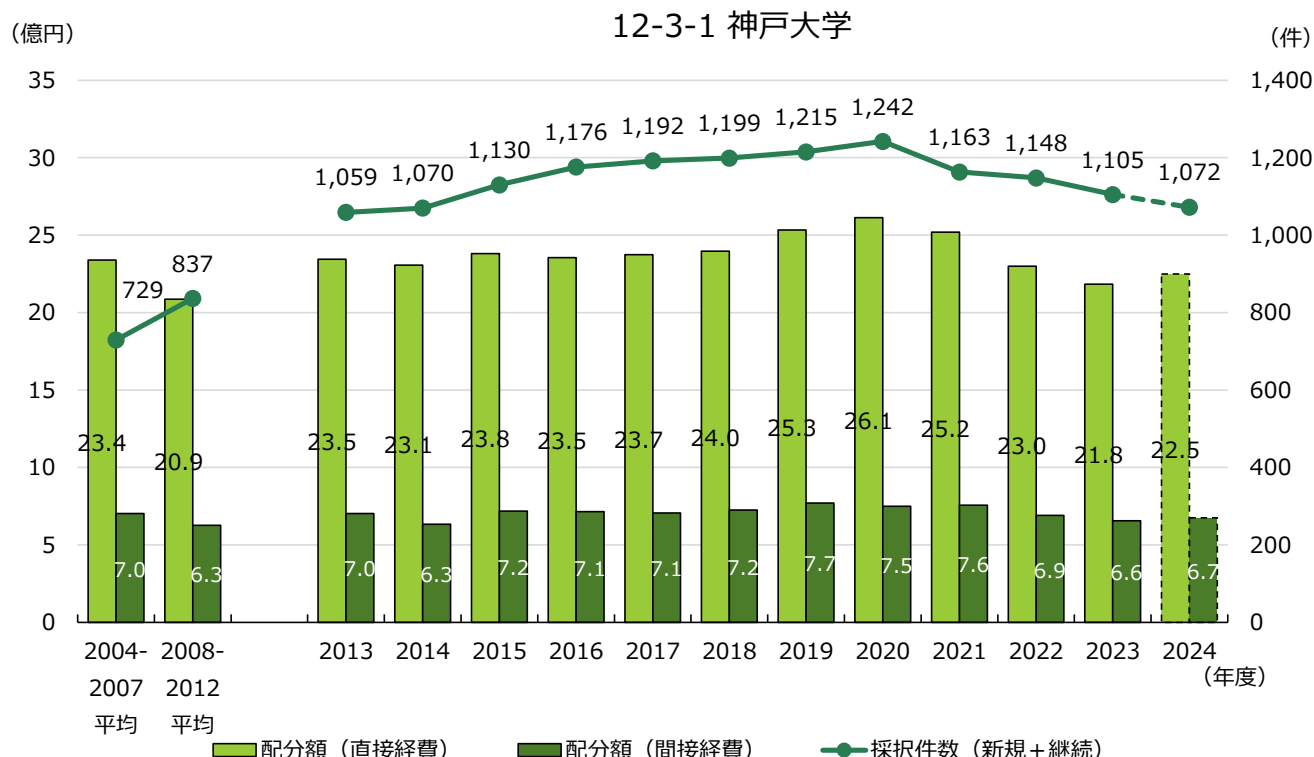
※ 本学を含む17大学を比較対象とし、各大学財務諸表（2023年度版）より科学研究費の明細が示されているものを集計した。

※ 配分額は直接経費相当額のみを示しており、研究分担者分も含む。

※ 「新学術領域研究」は「学術変革領域研究（学術研究支援基盤形成）」を含む。

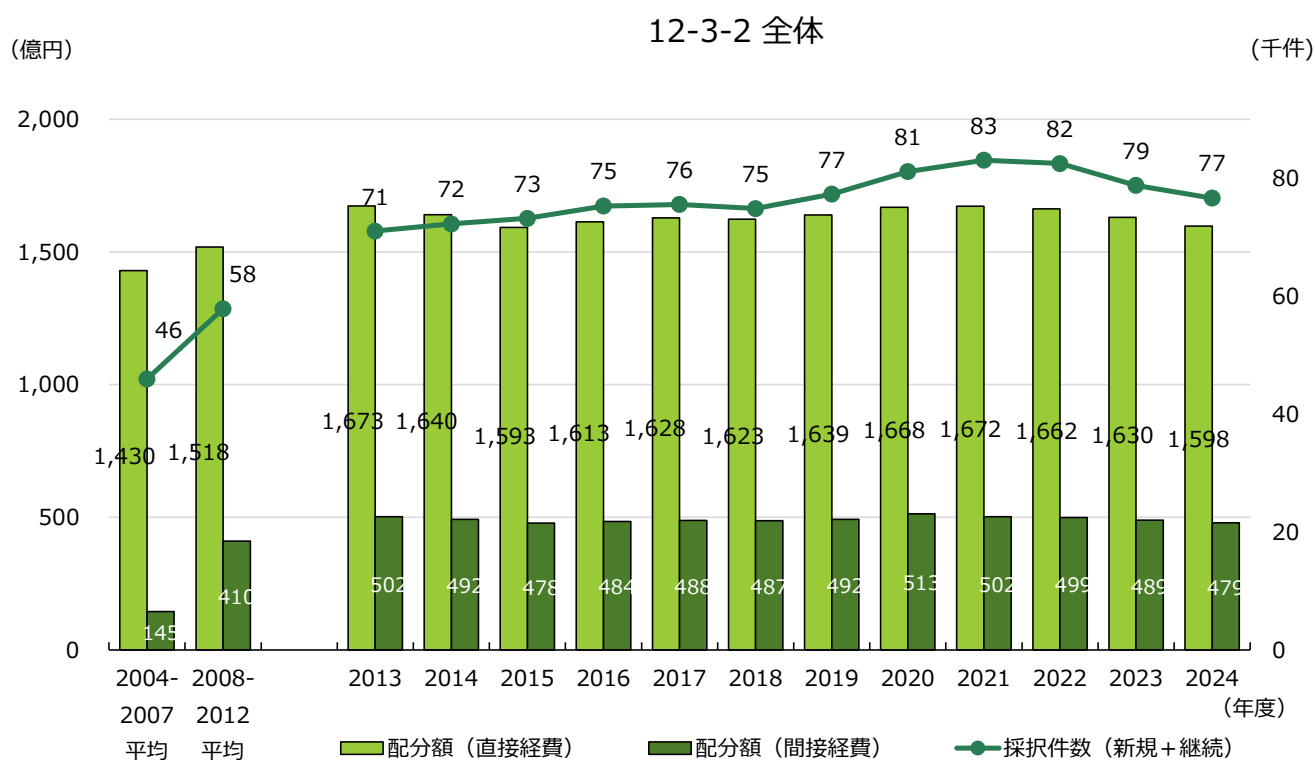
12-3 科学研究費助成事業採択状況 ― 推移 ―

○ 基本的に、科学研究費助成事業全体の傾向と同様の傾向にあったが、2021年度に全体の傾向に先行して減少し、以降、その傾向が続いている。



※2015年度より「国際共同研究加速基金」を含む。

※2024年度は6月現在の数値である。

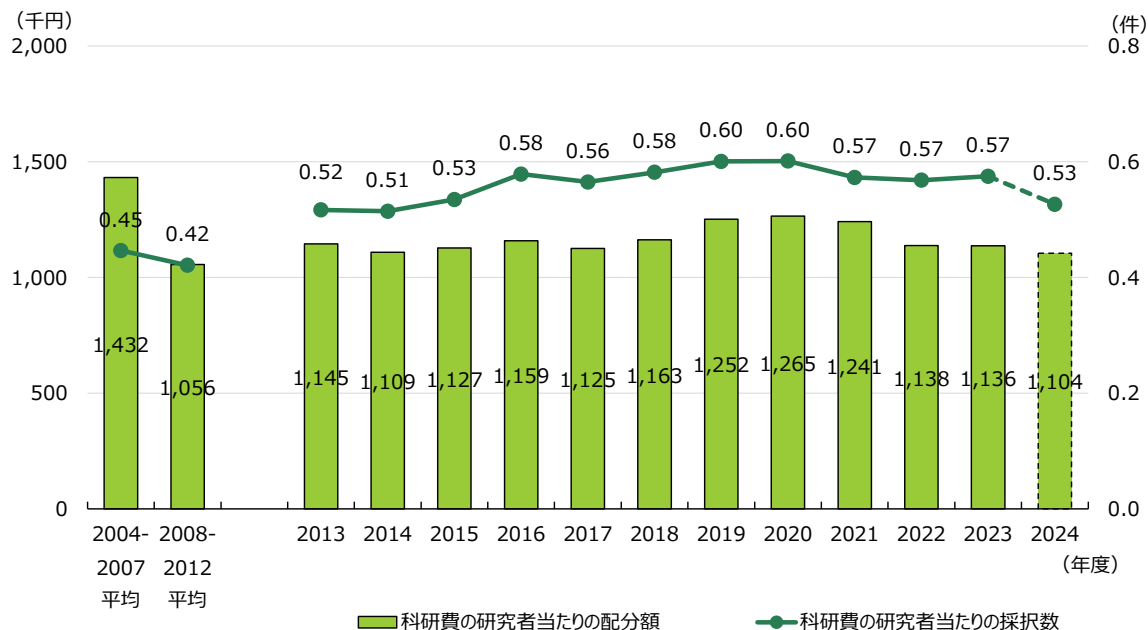


※科学研究費のうち、「特別推進研究」、「新学術領域研究（研究領域提案型）」（計画研究及び公募研究）、「学術変革領域研究(A)」（計画研究、公募研究）、「学術変革領域研究(B)」（計画研究）、「基盤研究」（特設分野研究を除く）、「挑戦的萌芽研究」（※2017年以降は「挑戦的研究」（特設審査領域を除く））、「若手研究」、「研究活動スタート支援」について集計した。

出典：文部科学省「令和6年度科学研究費助成事業の配分について」

12-4 科研費の研究者当たりの配分額・採択数 ― 推移 ―

○ 科研費の研究者当たりの配分額及び採択数は2009年に底を打ち、近年は緩やかな増加傾向にあったが、2021年度以降は減少傾向となっている。



※科研費の研究者当たりの配分額 = 採択額（直接経費）／ 科研費応募資格者

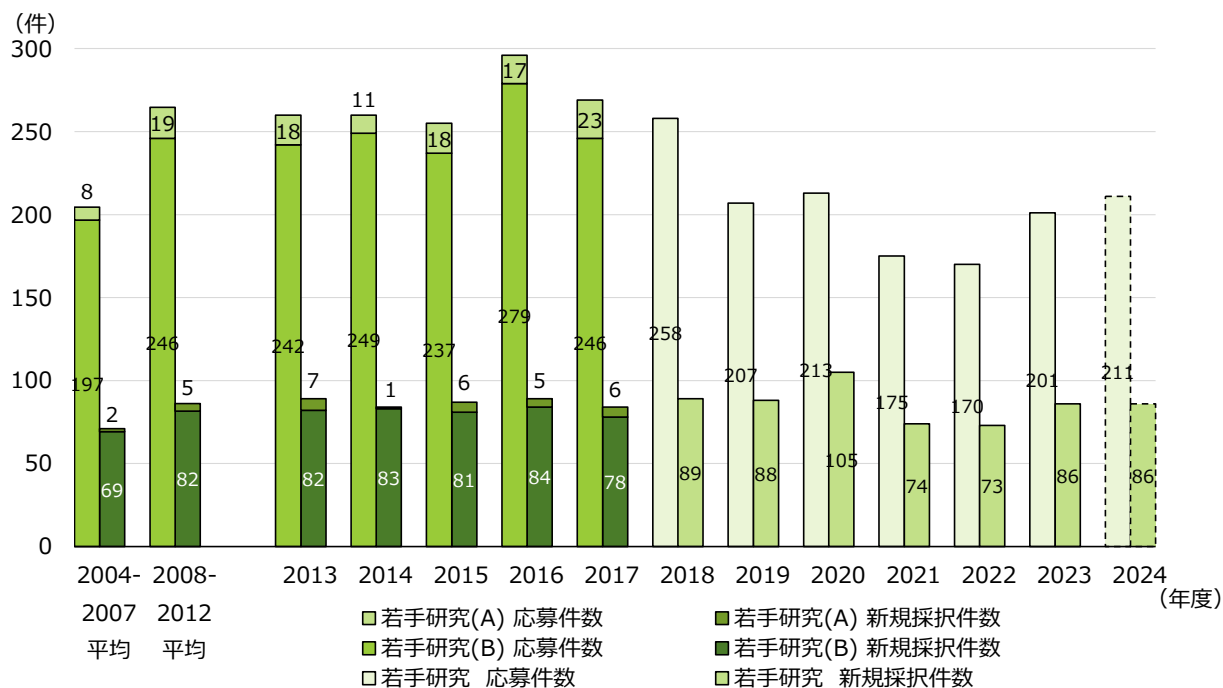
※科研費の研究者当たりの採択数 = 科研費採択件数（新規＋継続）／ 科研費応募資格者

※2024年度は6月現在の数値である。

※このデータは第4期中期目標・中期計画におけるKPIの算出方法と一部異なる。

12-5 科研費若手種目の応募件数と新規採択件数 ― 推移 ―

○ 科研費の若手種目の応募件数は近年減少傾向にあったが、2023年度以降は増加している。

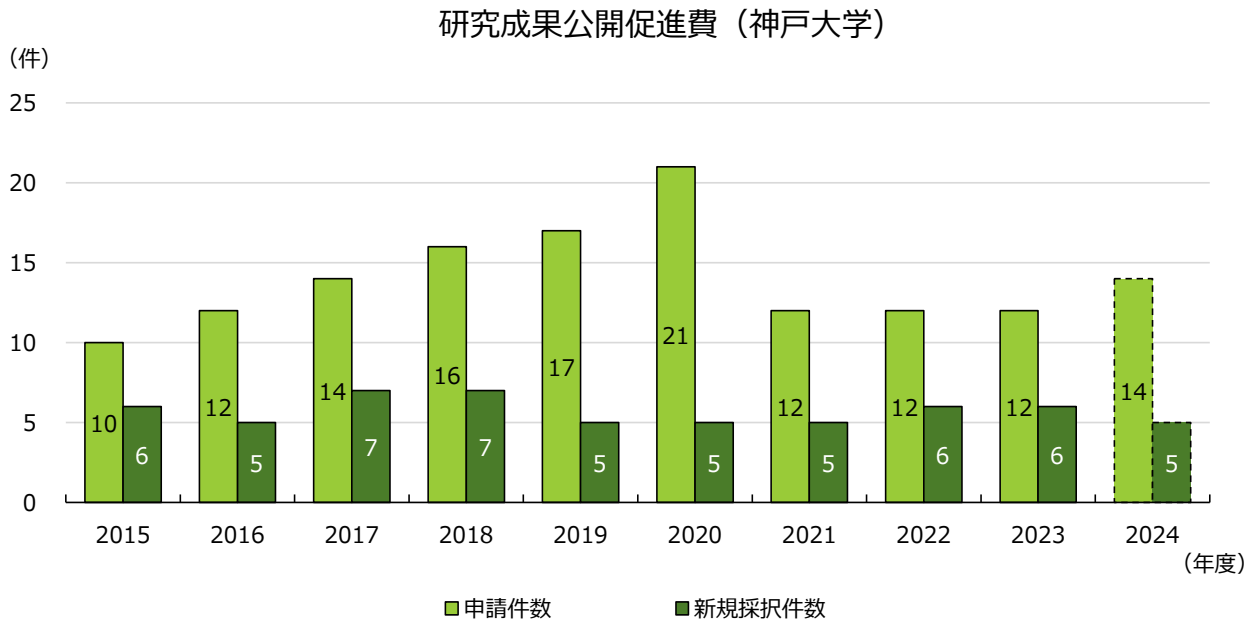


※2018年度から「若手研究(A)」は「基盤研究」に統合。「若手研究(B)」は新種目の「若手研究」となった。

※2024年度は6月現在の数値である。

12-6 研究成果公開促進費 — 推移 —

○ 申請件数は2021年度以降少なくなっていたが、2024年度は回復してきている。新規採択件数は6件前後で推移しており、2024年度も同水準を維持した。



※2024年度は6月現在の数値である。

○研究成果公開促進費

科学研究費助成金の種目で、研究成果の公開発表、重要な学術研究の成果の発信及び、データベースの作成・公開について助成することによって、我が国の学術の振興と普及に資するとともに、学術の国際交流に寄与することを目的とするものであり、優れた研究成果の公的流通の促進を図るもの。

12-7 2020-2024年度科学研究費助成事業新規採択状況

- 過去5年間の科学研究費（新規採択分）において、本学が中区分別採択件数上位10機関にランクインしている中区分は13件ある。特に「経済学、経営学およびその関連分野」については第3位と、高い順位となっている。

大区分	(研究分野)	中区分数	本学が中区分別採択数上位10機関にランクインしている中区分名	順位	新規採択件数(件)	配分額(直接経費)(千円)
A	(人文学・社会科学)	10	法学およびその関連分野	8	46.0	76,800
			政治学およびその関連分野	7	32.3	62,100
			経済学、経営学およびその関連分野	3	142.0	269,800
C	(工学系科学)	8	土木工学およびその関連分野	9	26.0	78,700
			航空宇宙工学、船舶海洋工学およびその関連分野	8	19.0	60,100
			社会システム工学、安全工学、防災工学およびその関連分野	7	17.0	47,900
D		7	化学工学およびその関連分野	8	29.0	128,700
			応用物理工学およびその関連分野	10	10.0	83,400
F	(農学・環境学)	5	社会経済農学、農業工学およびその関連分野	5	28.0	113,700
I	(医歯薬学)	11	ブレインサイエンスおよびその関連分野	10	19.0	84,400
			内科学一般およびその関連分野	10	96.0	146,800
			生体情報内科学およびその関連分野	6	60.0	113,000
			恒常性維持器官の外科学およびその関連分野	7	85.0	136,700

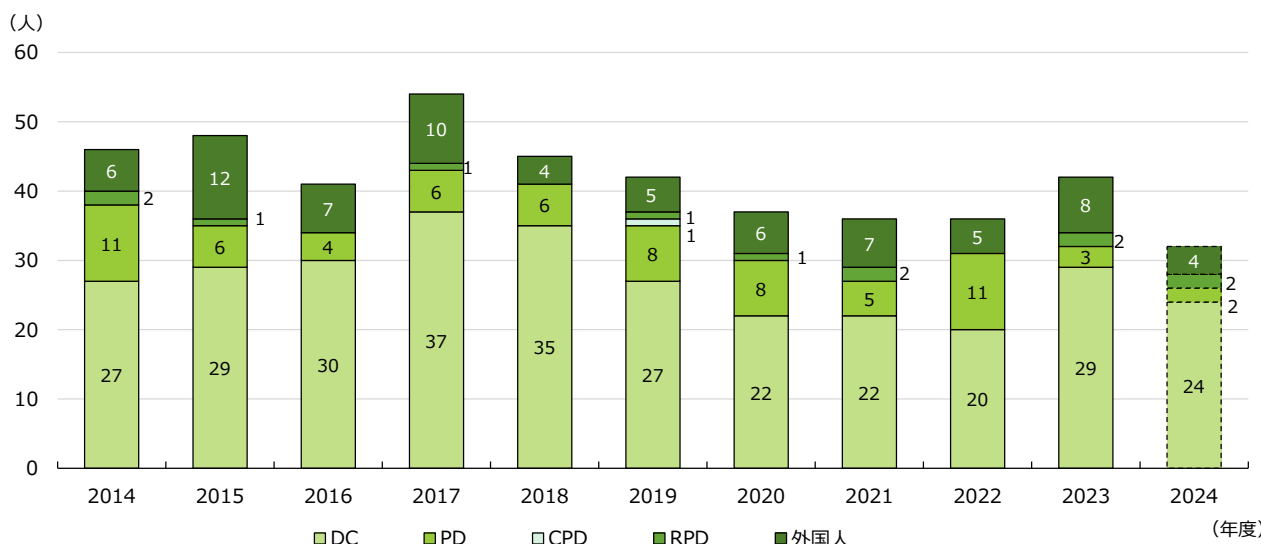
出典：文部科学省「令和6年度科学研究費助成事業の配分について」

※2020年度から2024年度科学研究費（新規採択分）のうち、「特別推進研究」、「新学術領域研究（研究領域提案型）」（計画研究及び公募研究）、学術変革領域研究(A)」（計画研究及び公募研究）、「学術変革領域研究(B)」（計画研究）、「基盤研究」（特設分野研究を除く）、「挑戦的研究」（特設審査領域を除く）、「若手研究」及び「国際共同研究加速基金（国際先導研究及び海外連携研究）」について分類したものうち、本学が中区分別採択件数上位10機関にランクインしているものを集計した。
（対応する中区分が複数ある小区分については、件数、配分額を按分して集計）

13. 日本学術振興会特別研究員

13-1 全学の採択状況 ― 新規 ―

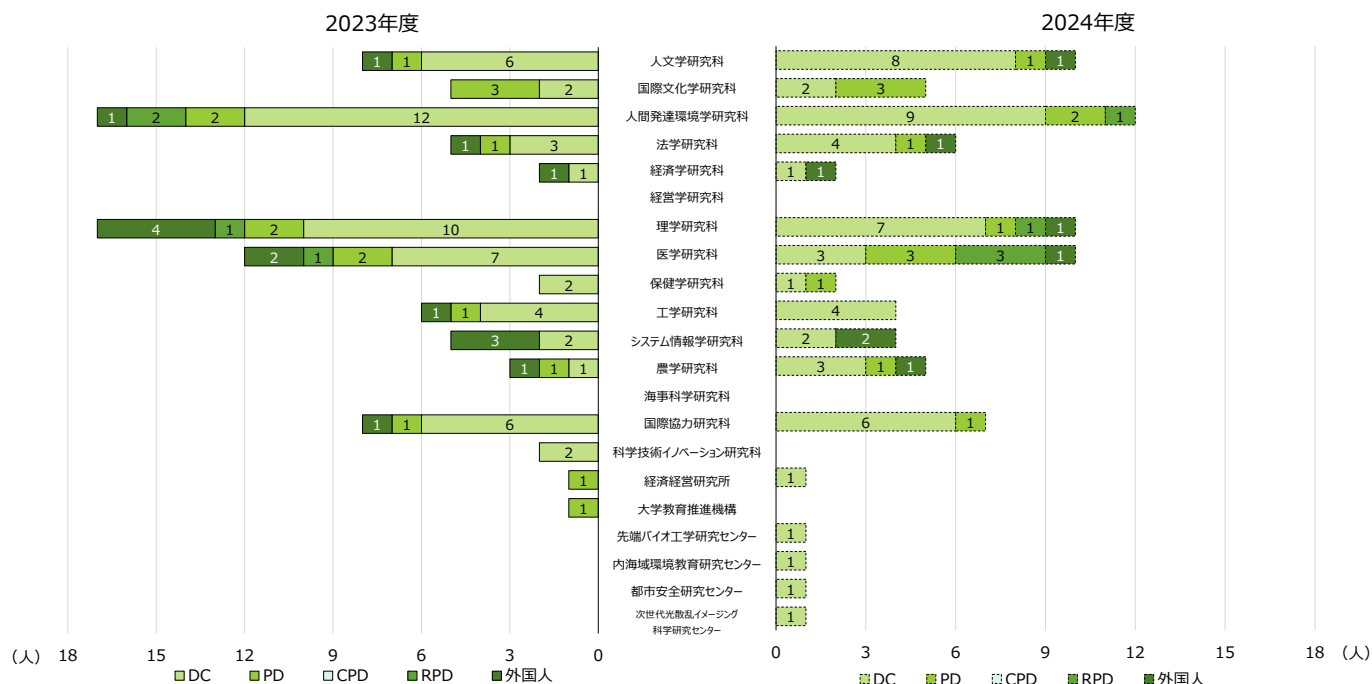
○ 日本学術振興会特別研究員の新規受入れ状況について、年度によりばらつきはあるものの、長期的に見ると減少傾向である。特に、近年、PDの受入数がかなり少なくなっている。



※2024年度データは2024年5月1日時点。

13-2 研究科別受入れ状況 ― 在籍者 ―

○ 人間発達環境学研究科や理学研究科、医学研究科で多く受入れている。また、2024年度は人文学研究科も多く、文系・理系関係なく受入れていることが分かる。



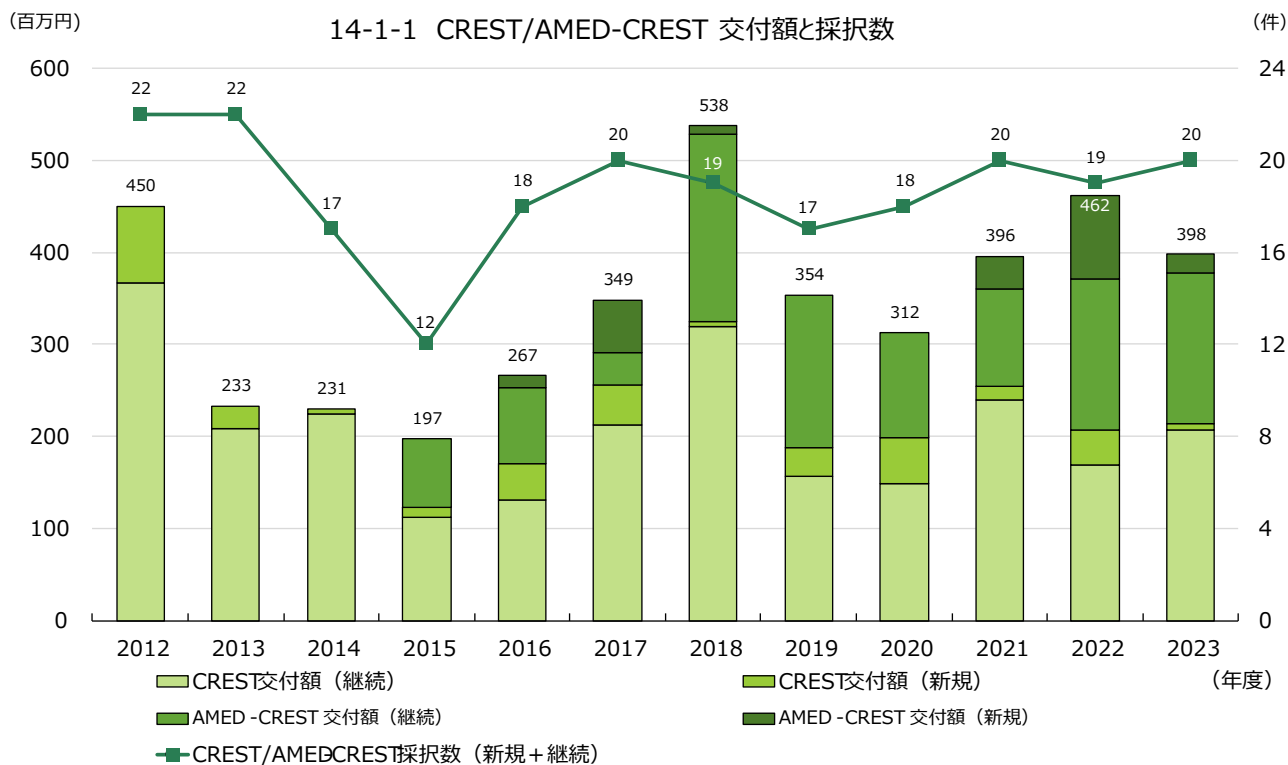
※2023年度データは2023年度内に在籍した者を集計。2024年度データは2024年5月1日時点で在籍している者を集計。

DC : 博士課程に在籍中の日本学術振興会特別研究員
 PD : 博士の学位を取得後5年未満の日本学術振興会特別研究員
 CPD : 日本国内及び海外の大学その他の研究期間で研究に専念する日本学術振興会特別研究員
 RPD : 博士の学位取得者で、過去5年以内に出身又は子の養育のため研究活動を一定期間中断していた日本学術振興会特別研究員
 外国人 : 博士の学位を取得前後の日本学術振興会外国人特別研究員

14. 研究プログラムの採択状況

14-1 戦略的創造研究推進事業「CREST」、 革新的先端研究開発支援事業「AMED-CREST」

○ 採択件数については、2012年度以降20件前後を保っており、2015年度に一旦落ち込んだものの、2016年度以降は再び同程度となっている。（14-1-1）



※グラフの「交付額」及び「採択数」には、分担研究分も含む。
※2014年度以前のCRESTには、AMED設立に伴い、2015年度以降AMED-CRESTへ承継された課題を含む。

14-1-2 CREST/AMED-CREST 2023年度継続中のプログラム一覧（代表研究のみ）

プログラム名・取組名		実施担当部局
CREST	提示系心理情報学の確立とシステム構築	工学研究科
	幾何学的離散力学を核とする構造保存的システムモデリング・シミュレーション基盤	理学研究科
	システムの設計と機能強化	システム情報学研究科
	データ駆動型の次世代微生物進化育種	先端バイオ工学研究センター
	腸-脳機能コネクティクスによる腸内感覚の機能解明と操作	医学研究科
AMED-CREST	高齢者難治性骨髄疾患を担う神経ネットワークの探索と機能解析に基づく臨床応用のための技術基盤の創出	医学部附属病院
	神経細胞とグリア細胞の老化制御機構の解明とそのアルツハイマー型認知症の診断・治療法の開発への応用	医学研究科
	老化研究支援・推進に関する研究開発	医学研究科

○「CREST」

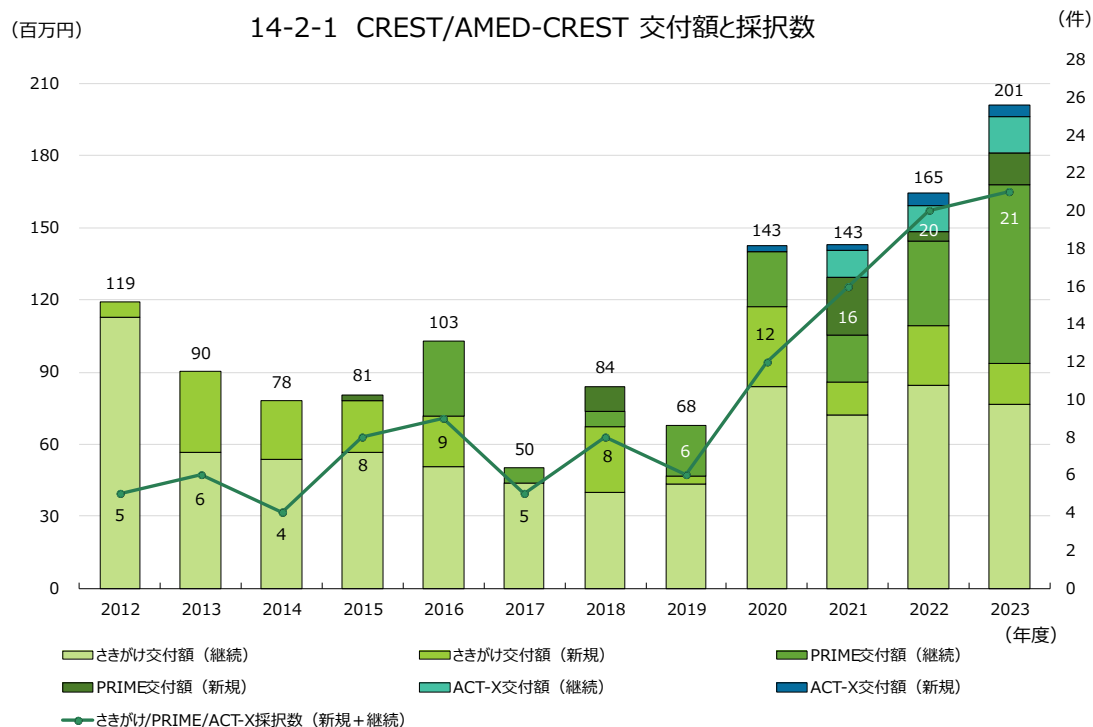
国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による、国が定める戦略目標の達成に向けて、課題型基礎研究を推進し、科学技術イノベーションを生み出す革新的技術シーズを創出するためのチーム型研究プログラム。

○「AMED-CREST」

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）による、画期的シーズの創出に向けて国際的に高い水準の成果を目指すユニット型研究プログラム。

14-2 戦略的創造研究推進事業「さがけ」、革新的先端研究開発支援事業「PRIME」、戦略的創造研究推進事業「ACT-X」

○ 2023年度は採択件数、交付額ともに近年で最高の数値となった。（14-2-1）



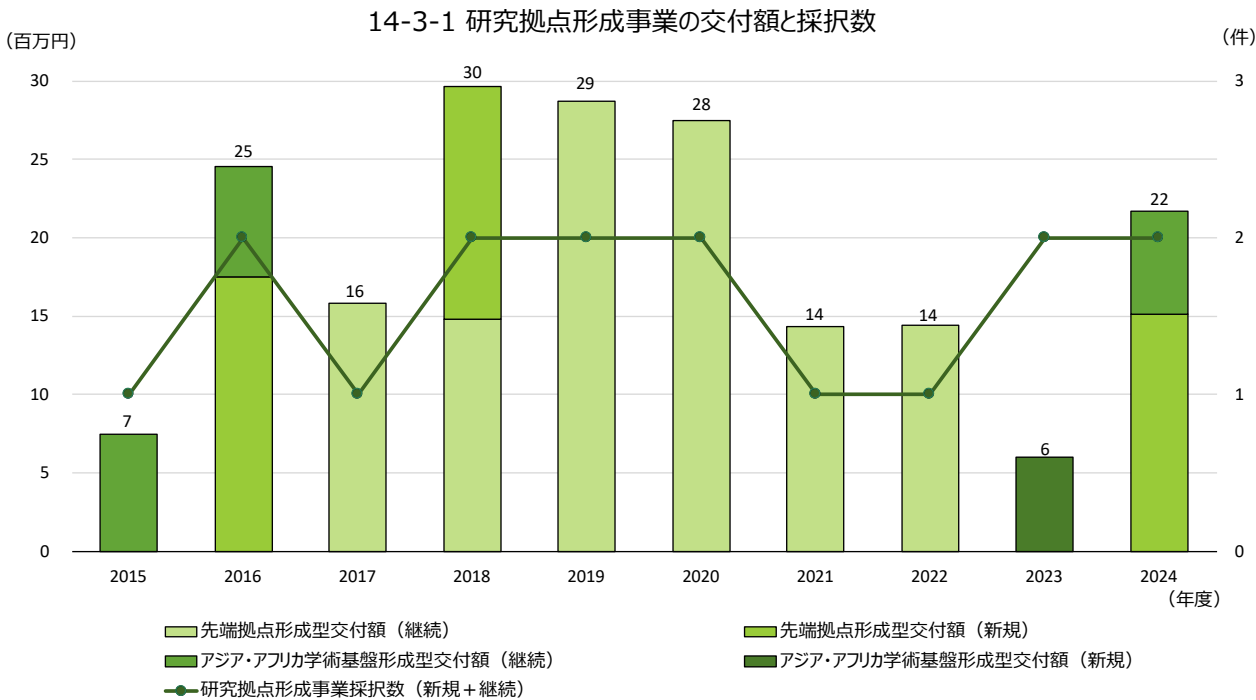
14-2-2 さがけ／PRIME／ACT-X 2023年度継続中のプログラム一覧

プログラム名・取組名		実施担当部局
さがけ	接着接合ナノ構造の非破壊力学強度解析技術の確立	工学研究科
	多様な電子状態計算を実現する包括的量子アルゴリズムの開発	システム情報学研究科
	顕微操作技術による初期胚の不安定なゲノムの分配システムの解明	農学研究科
	情報分子が拓く植物による菌根菌への寄生能力獲得と制御	理学研究科
	量子環境ノイズ情報を組入れる高忠実度量子制御技術の開拓	科学技術イノベーション研究科
	民主主義のレジリエンスを高めるための社会変革技術	法学研究科
	緊急時における公益事業を中心とした企業間連携と住民間協力体制の構築	経営学研究科
	マルチグループ構造化感染症モデルの数学的解析と実用化	システム情報学研究科
	剛直成分含有ポリマーの完全バイオ循環空間デザイン	科学技術イノベーション研究科
	障害者のための省学習データ音声・音響認識技術の開発	都市安全研究センター
	植物生長制御に寄与するアポカロテノイドの包括的理解	農学研究科
PRIME	ストレスレジリエンスの個体差を生み出す分子・神経回路基盤の解明	医学研究科
	若年期体細胞モザイクの発生要因・拡大原理の解明とその制御による新規治療基盤の創出	医学研究科
	核内膜プロテオスタシスの制御	医学研究科
	個体老化における視床下部タニサイトのネクチン-1の機能と作用機構	医学研究科
ACT-X	疲労時五感の定式化と疲労時能力をAIで補正する五感拡張装置の開発	工学研究科
	シストセンチュウ孵化促進物質生合成の解明と新奇防除法への応用	農学研究科
	個人特性を考慮したナースコール発生予測モデルの作成	保健学研究科
	聴覚的注意のモデリング：動的因果モデルと深層学習の連携	システム情報学研究科
	網羅的タンパク電位決定手法の開発による光合成環境適応機構の解明	先端バイオ工学研究センター
	グラニューロ MEMS 振動発電	工学研究科

- 「さがけ」 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による、戦略目標に基づいて未来のイノベーションの芽を育む個人型研究プログラム。
- 「PRIME」 国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）による、画期的シーズの源泉となる成果の創出を目指す個人型研究プログラム。
- 「ACT-X」 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による、独創的・挑戦的なアイデアを持つ若手研究者の「個の確立」を支援する個人型研究プログラム。

14-3 研究拠点形成事業

○ 全国で20件前後のプログラムが採択されており、本学は2016年度、2018年度、2023年度、2024年度に1件ずつ新規採択されている。



14-3-2 研究拠点形成事業 2024年度継続中のプログラム一覧（2024年7月1日現在）

プログラム名・取組名	実施担当部局
テラヘルツ分子科学アジア研究拠点	分子フォトサイエンス研究センター
生体膜の分子機構を理解し活用するための国際研究拠点形成	バイオシグナル総合研究センター

○ 研究拠点形成事業

我が国において先端かつ国際的に重要と認められる研究課題、または地域における諸課題解決に資する研究課題について、我が国と世界各国の研究教育拠点機関をつなぐ持続的な協力関係を確立することにより、当該分野において世界的水準または地域における中核的な研究交流拠点の構築とともに、次世代の中核を担う若手研究者の育成を目的とした、日本学術振興会（JSPS）による事業。

15. 研究業績に関する主な受賞

15-1 代表的な受賞状況

2024年7月現在

賞名等	氏名	決定年	所属（旧所属）	職名
【文化勲章】	西塚 泰美	1988年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
【文化功労者】	西塚 泰美	1987年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
	五百旗頭 真	2011年	法学研究科	名誉教授
	中井 久夫	2013年	医学部	名誉教授
【紫綬褒章】	岩井 誠三	1989年	医学部	教授
	三嶋 豊	1994年	医学部	教授
	天野 明弘	2000年	経営学部	教授
	岡村 均	2007年	医学系研究科	教授
	春日 雅人	2007年	医学系研究科	教授
	清野 進	2011年	医学研究科	教授
	金井 壽宏	2019年	経営学研究科	教授
【ウルフ賞】	西塚 泰美	1994年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
【アルバート・ラスカー医学研究賞】 基礎医学研究賞	西塚 泰美	1989年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
【ガードナー国際賞】	西塚 泰美	1988年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
【朝日賞】	西塚 泰美	1986年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
	戸田 達史	2008年	医学研究科	教授
【京都賞】基礎科学部門	西塚 泰美	1992年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
【女性化学賞】	相馬 芳枝	2011年	自然科学研究科	特別顧問
【武田医学賞】	西塚 泰美	1982年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
	春日 雅人	2007年	医学系研究科	教授
	高井 義美	2014年	医学研究科	教授
【日本学士院賞】	西塚 泰美	1986年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
	戸田 達史	2017年	医学研究科	教授
	清野 進	2018年	医学研究科	教授
【日本学士院会員】	西塚 泰美	1991年	医学部	教授（神戸大学第11代学長）
	河本 一郎	1995年	法学部	名誉教授
	三宅 一郎	1999年	法学部	名誉教授
	西村 和雄	2012年	社会科学系教育研究府	特命教授
	根岸 哲	2018年	社会システムイノベーションセンター	特命教授
	大塚 啓二郎	2018年	社会システムイノベーションセンター	特命教授

※本学在籍時及び名誉教授の受賞等を掲載

15-2 若手教員による受賞状況

2024年7月現在

賞名等	氏名	決定年	所属（受賞時）	職名（受賞時）
【科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞】	末次 健司	2018年	理学研究科	特命講師
	日出間 るり	2018年	工学研究科	助教
	近藤 侑貴	2022年	理学研究科	准教授
	杉本 泰	2023年	工学研究科	准教授

※2018年以降の受賞等を掲載

15-3 神戸大学出身者による受賞状況

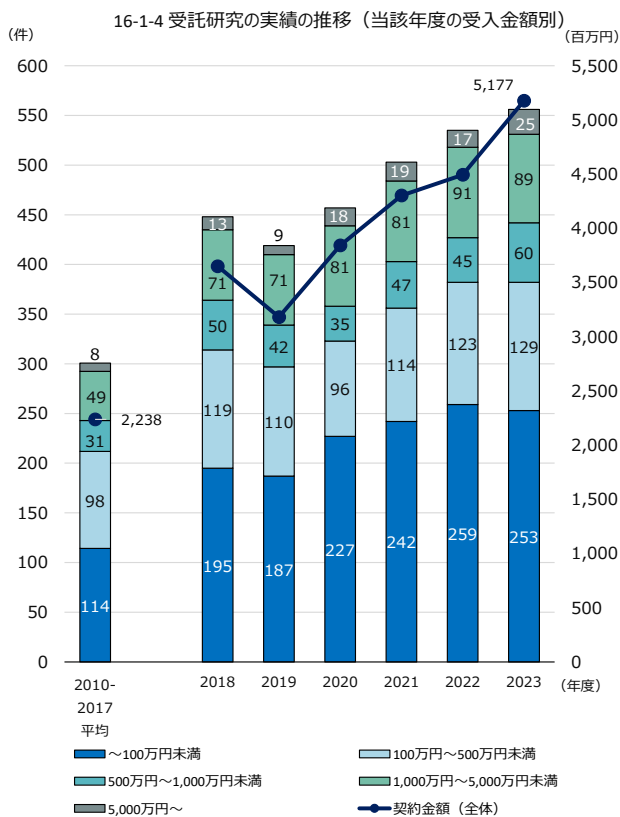
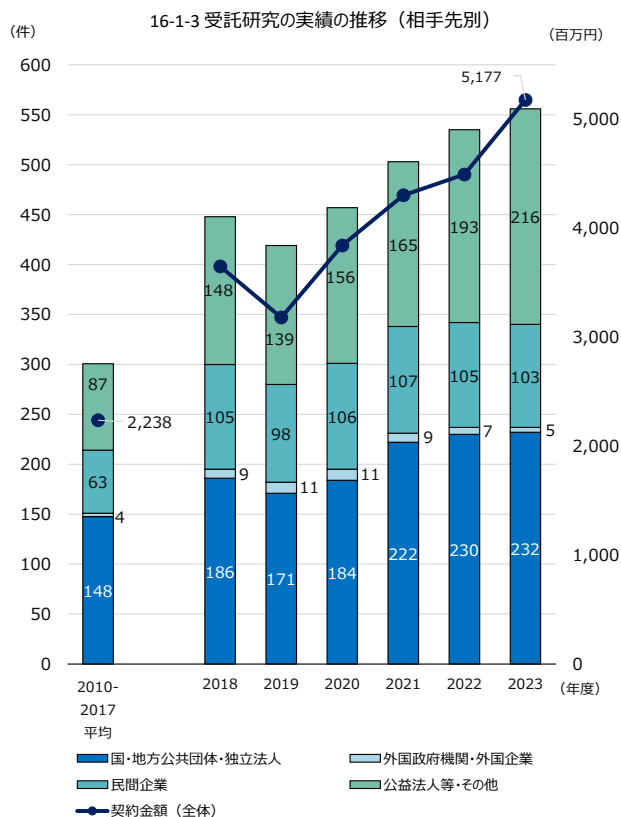
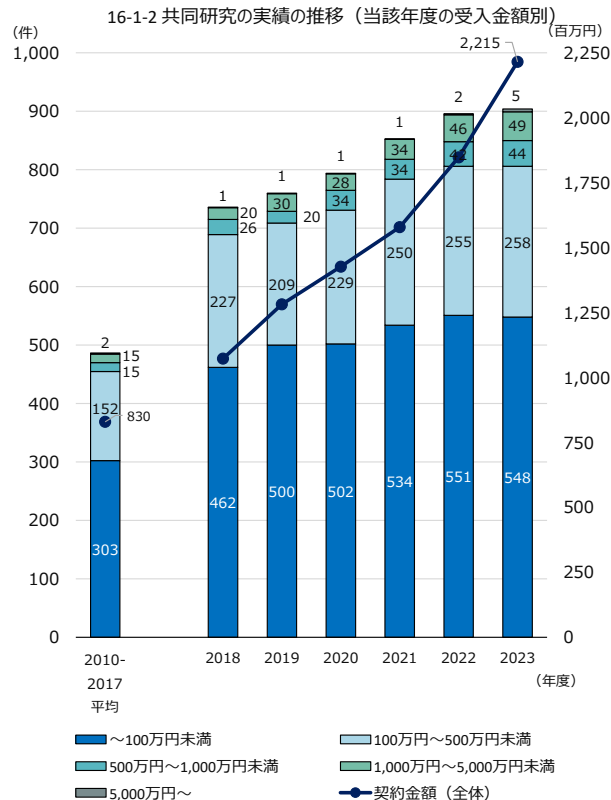
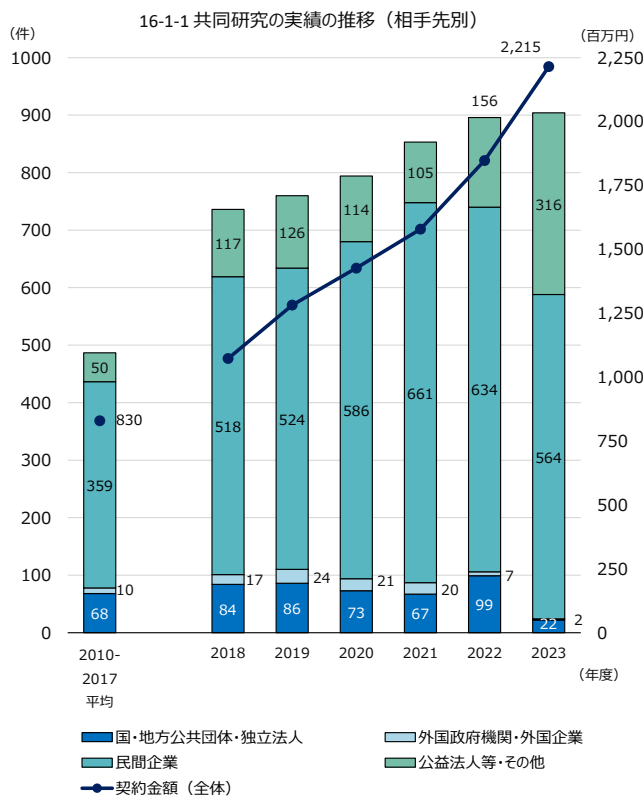
2024年7月現在

氏名	賞名等	受賞部門	決定年	卒業校等
岩井 誠三	【紫綬褒章】	－	1989年	兵庫県立医科大学医学部卒 （神戸大学医学部の前身）
江崎 玲於奈	【ノーベル賞】	物理学賞	1973年	兵庫県師範学校附属小学校高等科 （神戸大学附属中等教育学校の前身）
	【文化勲章】	－	1974年	
	【日本国際賞】	－	1998年	
河合 隼雄	【朝日賞】	－	1997年	神戸工業専門学校卒 （神戸大学工学部の前身）
佐川 真人	【朝日賞】	－	1990年	神戸大学工学部卒 神戸大学大学院工学研究科修了
	【日本国際賞】	－	2012年	
	【エリザベス女王工学賞】	－	2022年	
清野 進	【紫綬褒章】	－	2011年	神戸大学医学部卒
	【日本学士院賞】	－	2018年	
高井 義美	【紫綬褒章】	－	2003年	神戸大学医学部卒 神戸大学大学院医学研究科（医学博士）
	【武田医学賞】	－	2014年	
野依 良治	【ノーベル賞】	化学賞	2001年	兵庫師範学校男子部附属小学校卒 （神戸大学附属小学校の前身）
	【文化勲章】	－	2000年	
	【ウルフ賞】	化学部門	2001年	
	【朝日賞】	－	1992年	
山中 伸弥	【ノーベル賞】	生理学・医学賞	2012年	神戸大学医学部卒
	【文化勲章】	－	2012年	
	【ウルフ賞】	医学部門	2011年	
	【アルバート・ラスカー医学研究賞】	基礎医学研究賞	2009年	
	【ガードナー国際賞】	－	2009年	
	【ミレニアム技術賞】	－	2012年	
	【京都賞】	先端技術部門	2010年	
	【武田医学賞】	－	2008年	
	【朝日賞】	－	2007年	
	【恩賜賞・日本学士院賞】	－	2010年	
	【日本学士院会員】	－	2010年	
脇田 晴子	【文化勲章】	－	2010年	神戸大学文学部卒

16. 産学官連携状況

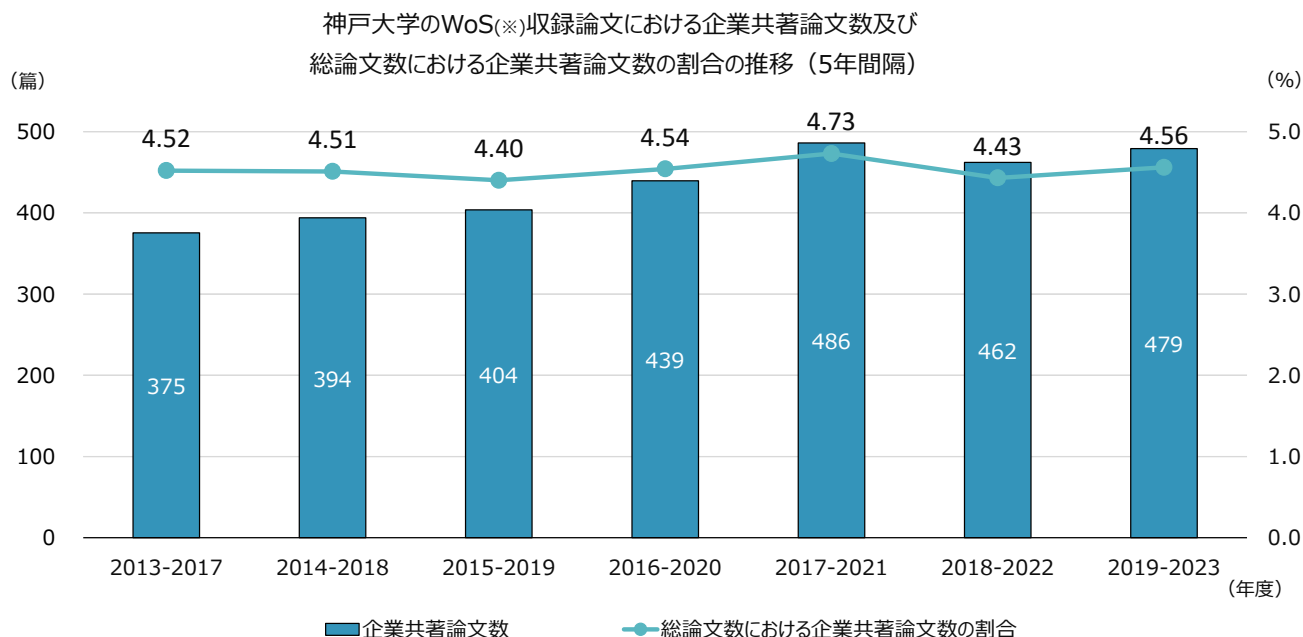
16-1 共同研究・受託研究の状況

- 共同研究の件数（16-1-1）は順調に増加傾向で推移している。2021年度までは「民間企業」との件数の増加が顕著であったが、2023年度は「公益法人等・その他」が大きく増加した。
- 共同研究の契約金額（16-1-2）は大きく増加し、2023年度は過去最高額となった。
- 受託研究の件数（16-1-3）、受入金額（16-1-4）は2019年度に一旦減少したが、2020年度以降再び増加傾向にある。



16-2 企業共著論文数の推移

- 企業共著論文数は増加してきたが、近年横ばい傾向である。

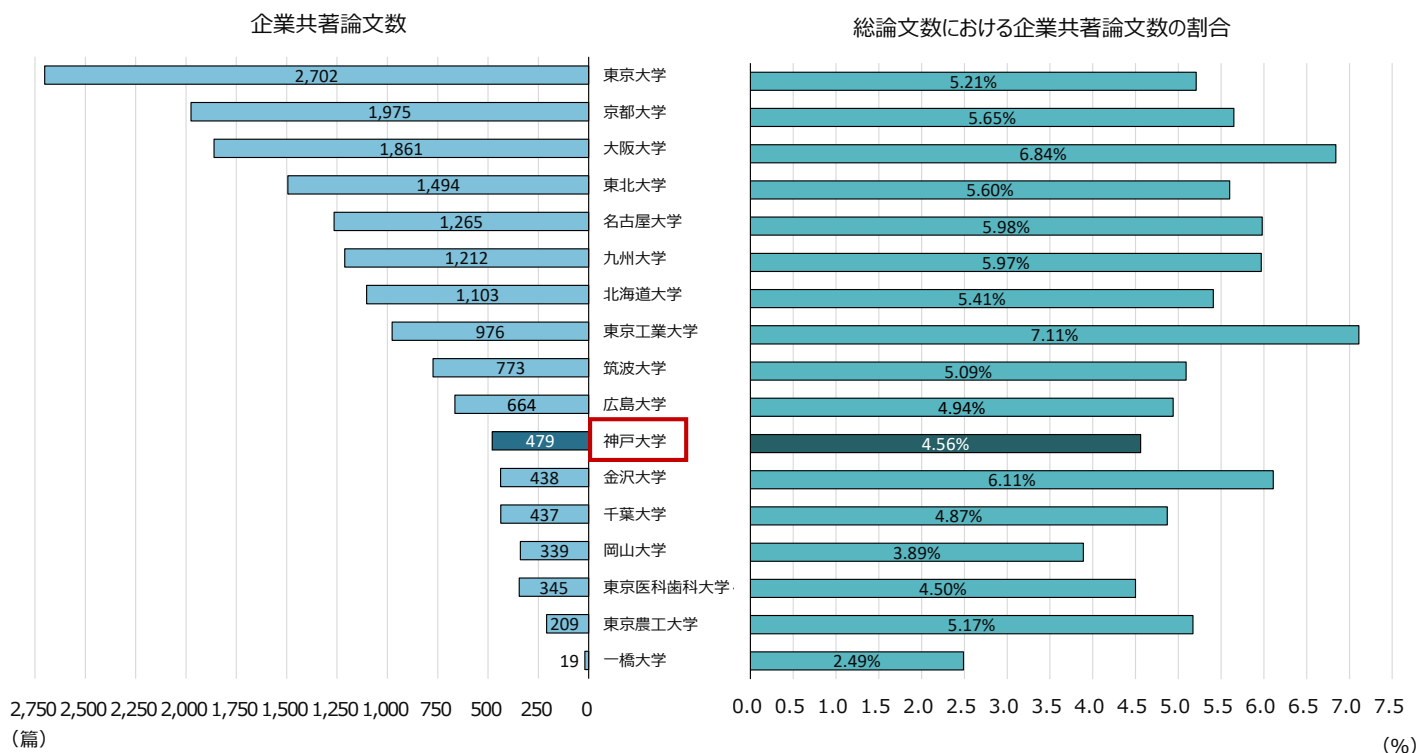


出典：「InCites™」によりWoS(※)収録論文の2つのドキュメントタイプ（Article, Review）のデータについて、5年間の累計値を分析した。なお、データは2024年8月1日現在の数値である。

※「WoS」＝「Web of Science™」（クラリベイト・アナリティクス社が提供する学術文献データベース）の略。

16-3 企業共著論文の状況 – 17大学間の比較 –

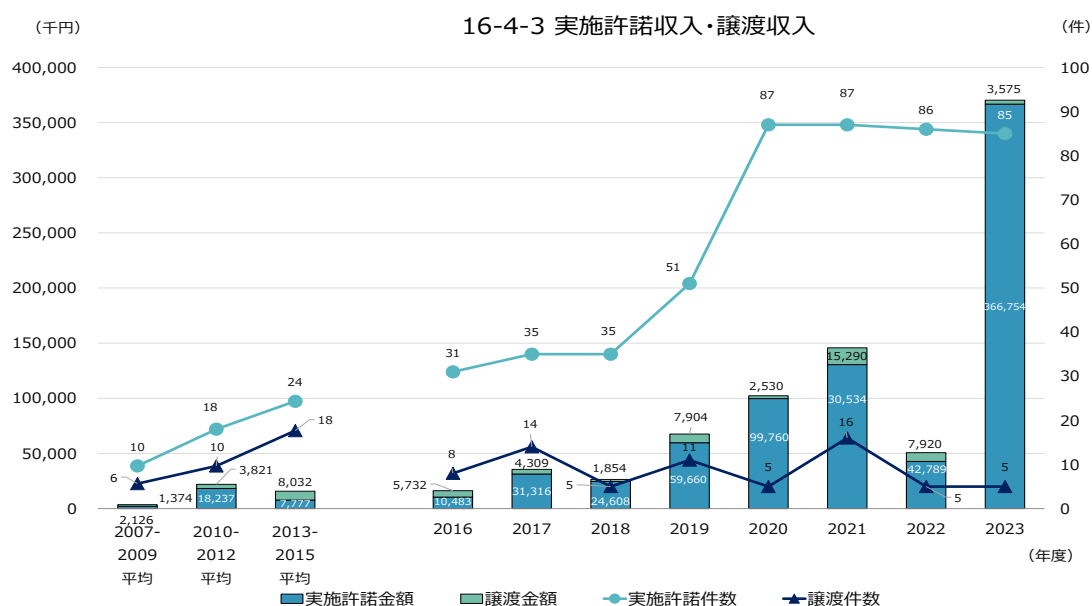
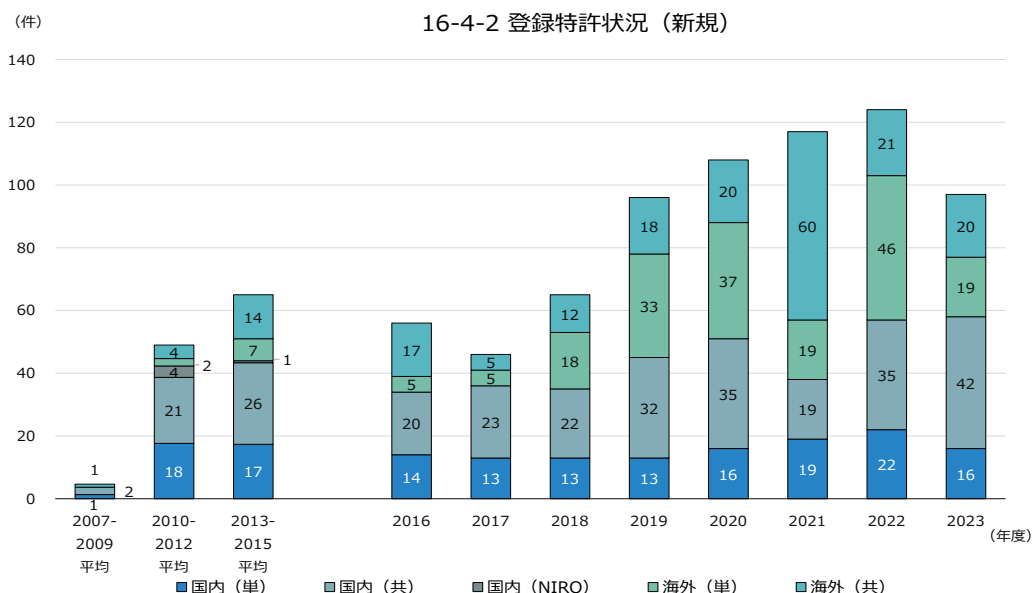
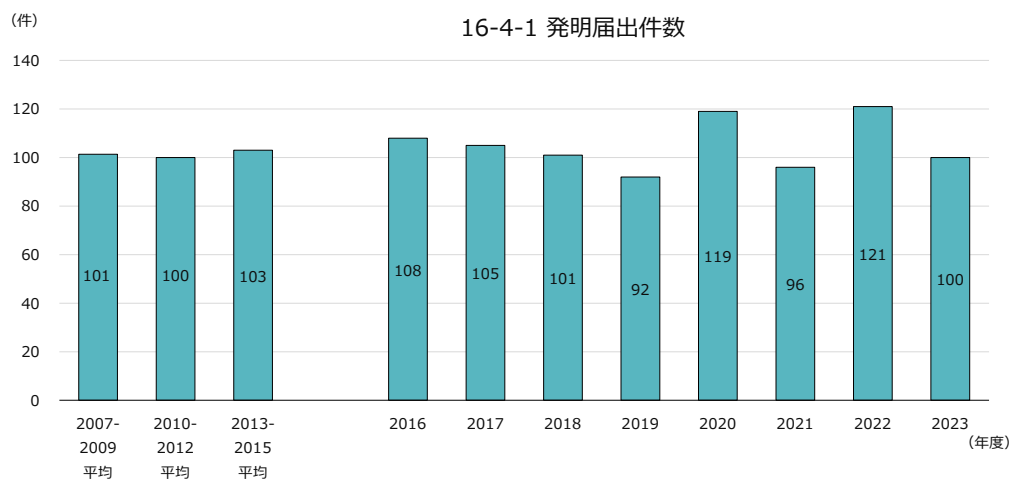
- 17大学のうち、神戸大学の企業共著論文数は11位であった。また、総論文数における企業共著論文数の割合は14位であった。



出典：引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」によりWoS収録論文の2つのドキュメントタイプ（Article, Review）のデータについて、各大学における2019-2023の5年間の累計値及び割合を分析した。なお、データは2024年8月1日現在の数値である。

16-4 神戸大学の知的財産の状況

- 発明届出件数（16-4-1）は、過去15年間、100件程度/年を安定的に推移している。
- 登録特許（16-4-2）は、2019年度以降は増加傾向にあったが、2023年度は97件に留まった。
- 実施許諾収入及び譲渡収入（16-4-3）については、実施許諾件数は2020年まで大きく増加させ、以降安定している。実施許諾金額は、大幅に増額した。



16-5 主な大学発ベンチャー企業

- 本学では累計61社のベンチャー企業を設立している。
- 「株式会社科学技術アントレプレナーシップ（2016年設立）」、「株式会社神戸大学イノベーション（KUI、2020年設立、本学100%出資）」、「株式会社神戸大学キャピタル（KUC、2021年設立、KUIの子会社）」は、大学発ベンチャー企業の立ち上げのための出資や創業期における支援を行っており、本学における研究成果の事業化及びベンチャー企業の設立は加速している。

(2024年5月1日現在)

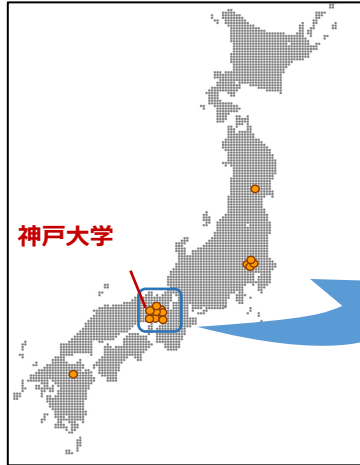
形態	企業名	設立年月	事業の概要
株式会社	膠原病研究所	2003年6月	医薬品の研究開発、製造販売、及びこれに関連した普及事業
株式会社	リタニアルバイオサイエンス	2004年3月	LBSカルチャー、並びにそれを含有する製品の研究開発、製造販売。
株式会社	マスターオブサイエンス	2006年7月	生活習慣病の再生医療にもつながる未来シーズを活用し、安全性の高い医薬品の開発により人類の健康増進に貢献
株式会社	ナティアス	2015年10月	スクレオチド原薬の製造および製造技術ライセンス
株式会社	日本学術サポート	2016年6月	次世代シーケンサーを用いたデータ解析導入サポート・解析環境構築サポートサービス及びAIを活用した画像・動画解析事業を展開。
株式会社	シンプロジェン	2017年2月	長鎖DNA合成技術による「正確で長い」DNAを活用した事業展開
株式会社	バイオペレット	2017年2月	切らないゲノム編集技術を活用した事業開発
株式会社	ViSpot	2017年9月	ウイルス安全性評価試験(ウイルスクリアランス試験)受託
株式会社	BESTOWS	2018年8月	1 機械加工用アプリケーションソフトウェアの開発、販売および保守・点検 2 前各号に附帯または関連する一切の業務
株式会社	シンアート	2019年3月	合成生物及び合成化学の融合技術に係る研究及び開発
株式会社	バックス・バイオイノベーション	2020年3月	バイオテクノロジー及びその関連技術を移転・活用して、微生物等による有用物質生産に関する受託サービスや、自社製品開発等を行う統合型バイオファウンドリー企業
株式会社	レラテック	2020年11月	風況観測・解析・予測評価、コンサルティング
株式会社	日本消費者深層心理研究センター	2021年3月	マーケティング・リサーチ会社。消費者の深層心理を心理学的な手法を駆使して探り出し、それを企業のマーケティング戦略に役立てる。
株式会社	イムノロック	2021年4月	薬物経皮吸収技術と二酸化炭素経皮投与療法の開発、ディレコート（炭酸（ガス）ペースト）の製造販売
株式会社	Mediest	2021年7月	AIを用いた医療ソフトウェアの開発及びデータ解析受託業務
	Bean to bar chocolate NAGANO	2021年7月	菓子製造販売
株式会社	ユニテック	2021年9月	環境設備の開発、コンサルティング
株式会社	Kogo	2021年11月	人工知能及び深層学習に関してのトレーニング及び戦略相談
株式会社	バンクセラビー	2022年2月	すい臓がんの治療薬・早期診断薬開発
株式会社	TearExo	2022年4月	体外診断用医薬品並びに体外診断用医療機器の研究・開発・製造・販売、それにおける学術的・技術的サービス及び情報提供、輸出入
合同会社	DsD	2022年4月	サービス業（飲食業・商業施設など）の業務改善・効率化 農林水産業・製造業・まちづくりにおける意思決定支援
株式会社	ミラミ	2022年4月	経営コンサルティング業務
株式会社	テラアクソン	2022年5月	人工知能などを活用した高度ICTシステムの企画・コンサルティング・開発設計保守などの管理
株式会社	ビョ・ファーマ	2022年6月	医師、薬剤師という薬に関わる専門家達自身が薬局(Pharmacy)や病院などの医療機関の枠を越えて(Beyond)、人やペットにアプローチすることで健康長寿をサポートする
株式会社	セカフィー	2023年2月	電子機器のハードウェアセキュリティ性能確保に向けた、脅威分析および対策支援
株式会社	バイオコード	2023年4月	バイオインフォマティクスベンチャー（DNA合成など）
株式会社	エイチ・ツー・オーKU カーボンニュートラルデザイン	2023年4月	空調システムの導入コンサルティング
合同会社	Arboreta	2023年5月	森林、林業、木材加工に関するコンサルティング、イベント運営
株式会社	Redge	2023年5月	医療機器等の開発製造販売
一般社団法人	健康スポーツ総合ラボ	2023年8月	運動教室やイベントの企画運営、地域スポーツの普及推進
株式会社	TCNプライム	2023年10月	医療用カテーテルなどの開発業務
株式会社	センツフェス	2023年12月	香り成分並びにそれらを含む香料を用いた商品の企画・製造・販売

※HP等で内容を確認できる主な企業等を掲載。

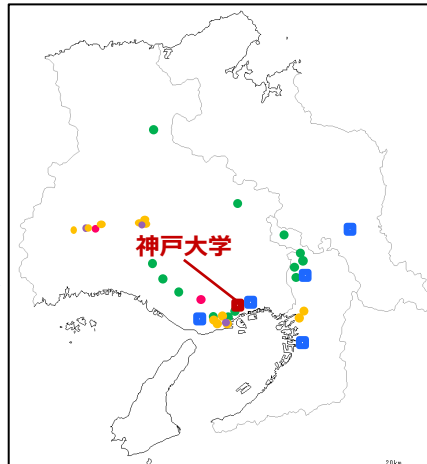
17. 国内の大学・自治体・企業等との連携協定

○ 本学は、国内の数多くの機関や企業と連携協定を結び、研究・教育・医療の各分野において、地域とも連携し、充実した社会発展への寄与に取り組んでいる。

大学間連携協定等締結状況
(2024.5.1現在)



近畿地方の大学間連携協定等締結先
(2024.5.1現在)



- = 大学（本部所在地）
- = 自治体等（庁舎等所在地）
- = 民間企業（本社所在地）
- = 国立研究開発法人等（所在地）
- = 官公庁（庁舎）

※このページにて記されている連携協定は全学的に締結した「大学間連携協定等」であり、部局において締結された連携協定については記載していない。

17-1 近畿地方の連携先との大学間連携協定等

連携先区分	協定名称	締結日
大学	国立大学法人神戸大学と学校法人神戸薬科大学との連携に関する協定	2007年7月17日
	国立大学法人神戸大学と国立大学法人京都大学との計算科学分野における連携協力に関する協定	2010年4月1日
	京都大学、大阪大学及び神戸大学における相互の協力に関する協定	2013年12月21日
	国立大学法人神戸大学と公立大学法人兵庫県立大学との連携に関する協定	2018年1月23日
自治体等	国立大学法人神戸大学と神戸市灘区との連携協力に関する協定	2004年12月2日
	国立大学法人神戸大学と小野市との連携協力に関する協定	2005年1月26日
	国立大学法人神戸大学と兵庫県朝来郡生野町（現・朝来市）との連携協力に関する協定	2005年3月23日
	国立大学法人神戸大学と加西市との連携協力に関する協定	2009年5月19日
	国立大学法人神戸大学と兵庫県との連携に関する協定	2010年8月2日
	国立大学法人神戸大学と篠山市（現・丹波篠山市）との連携協力に関する協定	2010年8月30日
	教員養成のための連携協力に関する協定（大阪府豊能地区（豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町）教育委員会）	2012年12月18日
	国立大学法人神戸大学と神戸市との連携に関する協定	2013年5月24日
	三木市と国立大学法人神戸大学との連携に関する協定	2013年6月27日
	神戸大学と兵庫県教育委員会との連携に関する協定	2014年1月30日
自治体等 ・ 民間企業等	国立大学法人神戸大学と神戸市教育委員会との連携に関する協定	2015年11月6日
	国立大学法人神戸大学、株式会社三井住友銀行、神戸市によるひょうご・神戸地域におけるスタートアップ・エコシステム形成促進に関する産官学連携協定	2021年8月2日
民間企業等	国立大学法人神戸大学、兵庫県、株式会社神戸新聞社、公益財団法人地球環境戦略研究機関、株式会社三井住友銀行による脱炭素社会の推進に関する包括連携協定	2023年1月19日
	国立大学法人神戸大学と川崎重工工業株式会社との産学連携の推進に関する協定	2006年10月23日
	連携協力協定（本州四国連絡高速道路株式会社）	2009年7月1日
	神戸大学と池田銀行（現・池田泉州銀行）の連携協力に関する協定	2009年8月6日
	国立大学法人神戸大学と株式会社カネカとの包括的な産学連携推進に関する協定	2010年12月14日
	国立大学法人神戸大学と株式会社神戸新聞社との連携に関する協定	2014年7月7日
	国立大学法人神戸大学とバンドー化学株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定	2014年9月24日
	国立大学法人神戸大学と阪神高速道路株式会社との連携に関する協定	2015年12月15日
	国立大学法人神戸大学と小野薬品工業株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定	2018年3月30日
	国立大学法人神戸大学と株式会社サンテレビジョンとの連携に関する協定	2021年7月2日
	国立大学法人神戸大学と株式会社ノーリツとの包括的な産学連携推進に関する協定	2021年11月4日
	国立大学法人神戸大学とエア・ウォーター株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定	2021年12月24日
	国立大学法人神戸大学と東洋紡株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定	2022年4月11日
国立研究開発法人等	国立大学法人神戸大学と株式会社ダイヤセルとの包括的な産学連携推進に関する協定	2022年6月23日
	国立大学法人神戸大学と株式会社ラジオ関西との連携に関する協定	2023年3月1日
	国立大学法人神戸大学とエイ・ツー・オー・リテイリング株式会社との包括連携協定	2023年3月2日
官公庁等	国立大学法人神戸大学と独立行政法人理化学研究所 ^(※) 計算科学研究機構との計算科学、計算機科学及びこれらに関連する分野における連携・協力に関する協定	2012年5月15日
	独立行政法人防災科学技術研究所 ^(※) 兵庫耐震工学研究センターと国立大学法人神戸大学との連携に関する協定	2014年9月29日
	国立大学法人神戸大学と国土交通省近畿地方整備局との連携・協力に関する協定	2015年7月8日
	サイバー空間の脅威に対処するための連携及び協力に関する協定（兵庫県警察本部、兵庫県立大学）	2016年2月19日
	兵庫県立工業技術センターとの連携に関する協定	2022年11月29日

(※)・・・2018年4月1日、国立研究開発法人となった。

17-2 近畿地方以外の連携先との大学間連携協定等

連携先区分	協定名称	締結日
大学	国立大学法人神戸大学と国立大学法人東北大学との災害科学分野における連携協力に関する協定	2011年10月23日
	一橋大学、神戸大学及び大阪公立大学における教育交流に関する協定	2022年4月1日
	国立大学法人神戸大学と国立大学法人徳島大学との連携に関する協定	2018年1月23日
大学・ 国立研究開発法人等	国立大学法人神戸大学、国立大学法人東北大学及び大学共同利用機関法人人間文化研究機構との歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業における連携・協力に関する基本協定書	2018年1月26日
自治体等	国立大学法人神戸大学と中津市との連携に関する協定	2016年4月22日
民間企業等	国立大学法人神戸大学と一般社団法人日本プロジェクト産業協議会との連携協力に関する協定	2014年4月1日
	国立大学法人神戸大学とアステラス製薬株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定	2018年3月30日
	株式会社クレディセゾンと国立大学法人神戸大学による連携協定	2018年11月26日
独立行政法人	国立大学法人神戸大学と独立行政法人国際協力機構との連携協定	2016年3月1日
	独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構と国立大学法人神戸大学との間における包括的連携・協力関係の推進に関する協力協定	2017年6月7日
国立研究開発法人等	国立大学法人神戸大学と独立行政法人海洋研究開発機構 ^(※) との包括連携協定	2012年12月20日

(※)・・・2018年4月1日、国立研究開発法人となった。

注：このページにて記されている連携協定は神戸大学が締結した「大学間連携協定等」であり、部局において締結された連携協定については記載していない。

18. 連携大学院等実施状況

- 本学では、多くの研究科において、多様な分野で官・民・病等の組織と連携講座を設けており、2024年度は42講座となっている。
- 寄附講座、共同研究講座等も増加しており、16講座・研究部門となっている。

18-1 連携講座一覧(2024年7月1日現在)

研究科名	専攻名	講座名	連携先	開始年度
人文学研究科	社会動態専攻	文化資源論	(公財)大和文庫館 (独)国立文化財機構 奈良国立博物館	2007年度
国際文化学研究科	グローバル文化専攻	先端コミュニケーション論	(株)国際電気通信基礎技術研究所	2007年度
人間発達環境学研究科	人間環境学専攻	環境先端科学	(国研)国立環境研究所 (国研)産業技術総合研究所	2007年度
経営学研究科	経営学専攻・現代経営学専攻	マネジメント・システム設計	(株)野村総合研究所	1998年度
		経営戦略システム設計	アクセンチュア(株)	1999年度
		ファミリービジネス	三菱UFJフィナンシャルグループ	2023年度
		M&A戦略設計	(株)日本M&Aセンターホールディングス	2023年度
		人的資本経営講座	(株)インソース	2024年度
理学研究科	化学専攻	構造解析化学	(公財)高輝度光科学研究センター	2007年度
		理論生物化学	(国研)理化学研究所 計算科学研究機構	2011年度
	生物学専攻	発生物学	(国研)理化学研究所 生命機能科学研究センター	2007年度
		生物制御科学	住友化学(株) 健康・農業関連事業研究所	2015年度
	惑星学専攻	惑星地球変動史	(国研)海洋研究開発機構 大学共同利用機関法人自然科学研究機構 国立天文台 先端技術センター	2013年度
		応用惑星学	気象庁気象研究所	2016年度
医学研究科	医科学専攻	生理学・細胞生物学	(国研)理化学研究所 生命機能科学研究センター	2002年度
		生化学・分子生物学	(公財)高輝度光科学研究センター	2000年度
		微生物感染症学	(国研)医薬基盤・健康・栄養研究所	2007年度
			兵庫県立健康科学研究所	2008年度
			(公財)神戸医療産業都市推進機構	2023年度
		地域社会医学・健康科学	(独)医薬品医療機器総合機構	2011年度
		内科学	兵庫県立はりま姫路総合医療センター	2015年度
		内科系	兵庫県立粒子線医療センター	2001年度
			(公財)神戸医療産業都市推進機構 先端医療センター	2008年度
			兵庫県立こども病院	2013年度
			兵庫県立ひょうごこころの医療センター	2020年度
			(国研)国立循環器病研究センター	2024年度
		外科学	兵庫県立はりま姫路総合医療センター	2015年度
		外科系	兵庫県立総合リハビリテーションセンター	2007年度
			兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター	
			兵庫県立こども病院	2013年度
			(地独)神戸市民病院機構 神戸市立神戸アイセンター病院	2022年度
保健学研究科	保健学専攻	リハビリテーション科学	(国研)情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター	2013年度
		パブリックヘルス	(国研)医薬基盤・健康・栄養研究所	2023年度
工学研究科	建築学専攻	地域減災計画	総務省消防庁消防大学校消防研究センター	2007年度
	機械工学専攻	知的製造システム	(株)神戸製鋼所技術開発本部 神戸総合技術研究所	2007年度
		機能適応モデル	(国研)情報通信研究機構	2007年度
		開智型ものづくり	川崎重工業(株) 技術開発本部	2009年度
	応用化学専攻	局所場反応・物性解析学	(国研)産業技術総合研究所 関西センター	2007年度
		化学エネルギー変換プロセス学	(国研)産業技術総合研究所 関西センター	2007年度
		生物機能工学	(財)サントリー 生物有機化学研究所	2009年度
		製剤設計生産工学	アステラス製薬(株)	2010年度
		ケミカル・バイオセンシング	(国研)産業技術総合研究所	2011年度
		環境エネルギー材料科学	(国研)日本原子力研究開発機構	2018年度
		応用システム	三菱電機(株)	2007年度
システム情報学研究科	システム情報学専攻	ソーシャルロボティクス	(株)国際電気通信基礎技術研究所	2007年度
		知能統合	(国研)理化学研究所 革新知能統合研究センター	2018年度
		応用計算科学	(国研)海洋研究開発機構	2010年度
		大規模計算科学	(国研)理化学研究所 計算科学研究センター	2013年度
農学研究科	資源生命科学専攻	食料生産フィールド科学	兵庫県立農林水産技術総合センター	2007年度
海事科学研究科	海事科学専攻	海洋環境計測科学	(国研)海洋研究開発機構	2007年度
		地域環境科学	(公財)ひょうご環境創造協会 兵庫県環境研究センター	2009年度

18-2 寄附講座(2024年7月1日現在)

研究科名	専攻名	講座名	寄附者	講座期間
法学研究科	法学政治学専攻	未延財団グローバル比較法講座	(公財)未延財団	2024年4月1日 ~ 2029年3月31日
医学研究科	医科学専攻	地域社会医学・健康科学講座	兵庫県	2015年4月1日 ~ 2025年3月31日
			兵庫県病院事業管理者	2013年4月1日 ~ 2025年3月31日
			シミックホールディングス(株) BIPROGY(株)	2019年8月1日 ~ 2025年7月31日
		内科学講座	日本メドトロニック(株) アボットメディカルジャパン(同) ボストン・サイエンティフィックジャパン (株)	2008年10月1日 ~ 2025年3月31日
		内科系講座	神戸市	2009年10月1日 ~ 2028年3月31日
			神戸市	2015年4月1日 ~ 2028年3月31日
			シスメックス(株)	2012年10月1日 ~ 2024年9月30日
		外科学講座	兵庫県 養父市	2015年11月1日 ~ 2025年3月31日
		外科系講座	(株)メディカロイド	2016年4月1日 ~ 2025年3月31日
			神戸町	2012年4月1日 ~ 2027年3月31日
			(株)サージカル・スパイン (株)SMI	2018年4月1日 ~ 2025年3月31日
			兵庫県病院事業管理者	2018年4月1日 ~ 2026年3月31日
			ジンマー・バイオメット(同) スミス・アンド・ネフュー(株) オリンパスステルモバイオマテリアル(株)	2021年4月1日 ~ 2025年3月31日
			セル エクソソーム セラピューティクス(株)	2021年4月1日 ~ 2025年3月31日
農学研究科	-	アクアフトミクス研究分野	ドクターリセラ(株)	2021年4月1日 ~ 2027年3月31日
科学技術イノベーション研究科	科学技術イノベーション専攻	バイオ・環境講座	(医)桜希会	2023年4月1日 ~ 2026年3月31日

18-3 共同研究講座(2024年7月1日現在)

研究科名	専攻名	講座名	共同研究者	講座期間
理学研究科	惑星学専攻	惑星計算学習学講座	(株)Preferred Networks	2023年11月1日 ~ 2028年3月31日
医学研究科	医科学専攻	生理学・細胞生物学講座	エーザイ(株)	2018年4月1日 ~ 2026年3月31日
		生化学・分子生物学講座	JCRファーマ(株)	2022年4月1日 ~ 2025年3月31日
		内科学講座	エーザイ(株)	2022年6月1日 ~ 2027年3月31日
		内科系講座	GEヘルスケア・ジャパン(株)	2019年4月1日 ~ 2029年3月31日
			キヤノンメディカルシステムズ(株)	2020年1月1日 ~ 2026年12月31日
		外科学講座	シスメックス(株)	2023年4月1日 ~ 2025年3月31日
科学技術イノベーション研究科	科学技術イノベーション専攻	バイオ・環境講座	(株)ダイアナ SOファーマ(株) (株)ヴィオトーブ摩耶	2021年4月1日 ~ 2025年3月31日
			ザントリーウェルネス(株)	2023年4月1日 ~ 2026年3月31日
			(株)日本トリム	2023年4月1日 ~ 2026年3月31日
先端バイオ工学研究センター	-	出光興産バイオものづくり共同研究部門	出光興産(株)	2023年10月1日 ~ 2026年3月31日

19. 教育関係共同利用拠点

- 2014年度に教育関係共同利用拠点※への認定申請を行い、以下の3施設について認定された。
- 2018年度、2023年度に新たな拠点名で再度認定申請を行い、2028年度までの継続が決定している。

※複数大学が連携して実施することが効果的・効率的な教育上の取組や学生支援に関し、複数大学が共同で利用するための施設。当該施設が、大学教育の充実に特に資するときは、教育関係共同利用拠点として、文部科学大臣の認定を受けることができる。

内海域環境教育研究センター マリンサイト

【 拠点名 内海域の海洋生物・生態系と環境管理を学ぶ教育共同利用拠点 】

19-1-1 2023年度共同利用状況（学内を除く）

区 分	所属機関数	利用人数	延べ人数
国立大学	16	66	220
公立大学	4	18	52
私立大学	6	6	29
民間・独立行政法人等	16	31	83
外国の研究機関	1	3	9
計	43	124	393



19-1-2 2023年度実施プログラム（抜粋）

課 題	概 要
奈良女子大学 臨海実習Ⅰ	奈良女子大学理学部3年生対象。 無脊椎動物・微細藻類・海藻の多様性や生態について学ぶ。
滋賀県立大学 環境学野外実習	滋賀県立大学環境科学部の環境学野外実習の一部としてマリンサイトを利用。海洋生物の観察・採集のほか、阪神淡路大震災の記録を残す淡路島江崎の野島断層保存館を見学した。

大学院農学研究科附属 食資源教育研究センター

【 拠点名 農場と食卓をつなぐ先端農業フィールド教育拠点 】

19-1-3 2023年度共同利用状況（学内を除く）

区 分	所属機関数	利用人数	延べ人数
国立大学	0	0	0
公立大学	5	208	361
私立大学	7	59	141
民間・独立行政法人等	13	262	354
外国の研究機関	0	0	0
計	25	529	856



19-1-4 2023年度実施プログラム（抜粋）

課 題	概 要
大阪公立大学 QOLプロモーション演習 食料生産実習	利用大学開講科目「QOLプロモーション演習・食料生産実習」を本学で実施。5/27の日帰りおよび9/21～9/22の1泊2日で、サツマイモの植え付け・収穫、田植え、ウシの取扱い・体型測定・鼻紋採取・給餌、農作業機器の操作を実習した。
大阪公立大学 大動物診療実習	利用大学開講科目「大動物診療実習」を本学で実施。6/27～6/29および10/24～10/26のそれぞれ2泊3日で、子牛の身体検査・去勢術、雌牛の繁殖検診・健康診断、肥育牛の検診、肢端の包帯法、血液検査などを実習した。
鳥取環境大学 農村の持続的発展	利用大学開講科目「農村の持続的発展」を本学で実施。7/8の日帰りでパレイショの収穫・調製、タマネギの調製を実習した。
大阪公立大学 牧場実習	利用大学開講科目「牧場実習」を本学で実施。9/11～9/12の1泊2日で、ウシの取扱い・給餌・体重測定、ロープワーク、果樹の収穫などを実習した。
神戸女学院大学 演習ⅠaⅠクラス	利用大学開講科目「演習ⅠaⅠクラス」を本学で実施。9/14～9/16の2泊3日で、ブドウ果実の観察と収穫・調製、キャベツ追肥、ハクサイ定植、ダイコン播種、ウシの飼養管理、水稻栽培の基本、ワークショップを実施した。
兵庫県立大学 特別フィールドワーク	利用大学開講科目「特別フィールドワーク」を本学で実施。10/29の日帰りで、ウシの給餌・鼻紋採取、イネ・サツマイモの収穫・調製を実習した。
京都産業大学 基礎特別研究	利用大学開講科目「基礎特別研究」を本学で実施。11/6～11/7の1泊2日で、ダイズ・サツマイモの収穫調製、ウシの取扱い・体重測定、ナシの収穫・調製などを実習した。
兵庫県立農業大学校 畜産特論	利用大学校開講科目「畜産特論」を本学で実施。2/2の日帰りで、遺伝資源の重要性に関する座学の後、ウシの飼養方法に関する実習を行った。

大学院海事科学研究科附属 練習船海神丸 ※2022年度より「深江丸」に代わり新船「海神丸」へ変更

【 拠点名 海洋分野に関わる海事技術・海洋環境・ヒューマンファクタを学ぶ海上アクティブラーニング教育環境の共同利用拠点 】

19-1-5 2023年度共同利用状況（学内を除く）

区 分	所属機関数	利用人数	延べ人数
国立大学	1	32	32
公立大学	1	20	40
私立大学	2	27	27
民間・独立行政法人等	1	23	23
外国の研究機関	0	0	0
計	5	102	122



19-1-6 2023年度実施プログラム（抜粋）

課 題	概 要
大阪府立大学 船舶工学特殊講義	利用大学開講科目「船舶工学特殊講義」の一部として実施。当該科目は、船用機関及び船舶推進装置の基礎を教えている。その中で、実際の船舶運航実務を、乗船実習を通して理解することを目指した。操練、船橋当直及び機関当直を体験し、運行実務に触れた。また、推進性能調査を行い、船舶推進に関わる動力、負荷及び熱効率についての理解を深めた。
甲南大学 科学と産業政策（集中）	利用大学開講科目「科学と産業政策（集中）」の一部として実施。兵庫県や神戸市に集積する研究施設、及び、神戸・瀬戸内海地域の産業施設を見学しながら、科学技術振興に関する産業政策について学び、自ら立案できる能力を養成することを目指した。2023年度カリキュラムにおいて、本学海事科学研究科が所有する練習船「海神丸」への乗船および座学を通じて、神戸・瀬戸内海地域における海事科学・産業の重要性について学ぶとともに、海洋環境等に関する「海洋教育」の一端に触れた。
大阪大学 人間行動学実験実習Ⅱ	利用大学開講科目「人間行動学実験実習Ⅱ」の一部として実施。各種産業現場の一つとして海上輸送現場を知るために練習船「海神丸」に乗船し、船舶における救命・消火設備、航海当直と海上交通安全、機関当直と機関室内安全、海洋汚染防止について学んだ。
大阪大学 循環経済と海洋構造物の長寿命化	利用大学開講科目「循環経済と海洋構造物の長寿命化」の一部として実施。大阪大学の1年生を主対象に、船舶海洋構造物の長寿命化についての11回の学内座学講義の仕上げとして、練習船海神丸により大阪湾内を日帰り航海する乗船実習を行った。専門教育でなく、海事に関する一般に実際に触れることで、船舶海洋構造物に関する理解と関心を深めることを目的とした。船体溶接継手の構造詳細などについて船体内部で、船舶の振動疲労損傷について機関室で、船舶の防食塗装について甲板上・船内などで解説を行った。また、学生ホールで必要な座学講義も行った。
大阪大学 流れを見る/流れを知る （流体力学入門）	利用大学開講科目「流れを見る/流れを知る（流体力学入門）」の一部として実施。大阪大学の1年生を主対象に、船舶流体力学を含む流体力学に関する11回の学内座学講義の仕上げとして、練習船海神丸により大阪湾内を日帰り航海する乗船実習を行った。専門教育でなく、海事に関する一般に実際に触れることで、船舶流体力学を含む流体力学に関する理解と関心を深めることを目的とした。船舶が水上を航行する際のケルビン波や、橋脚などの後流に現れるカルマン渦などをデッキからの観察で、あるいは、船舶の運動、推進に関する流体力学を甲板上・船内などで解説を行った。また、学生ホールで必要な座学講義も行った。
神戸女学院大学 演習IB	利用大学開講科目「演習IB」の一部として実施。演習IBの体験学習の一環として船舶実習を実施することにより、船舶運航の概要、乗組員間で行われる実際の指示命令、航海当直と海上交通安全、乗組員の作業環境、乗組員の行動について学んだ。
明石工業高等専門学校 専攻科特別講義	利用大学開講科目の一部として実施。本講義は、技術者としてのバックグラウンドを広げるためには、専門分野だけに止まらず専門分野外についても積極的に学び、種々の開発や研究のプロセスを学ぶことにより、技術分野を超えて普遍的な考え方と柔軟な開発対応力を養成する科目である。本講義のまとめとして、本学海事科学研究科の練習船「海神丸」に乗船し船内演習を通して、造船・航海・通信・港湾・都市計画等、幅広い最新の科学技術について学んだ。

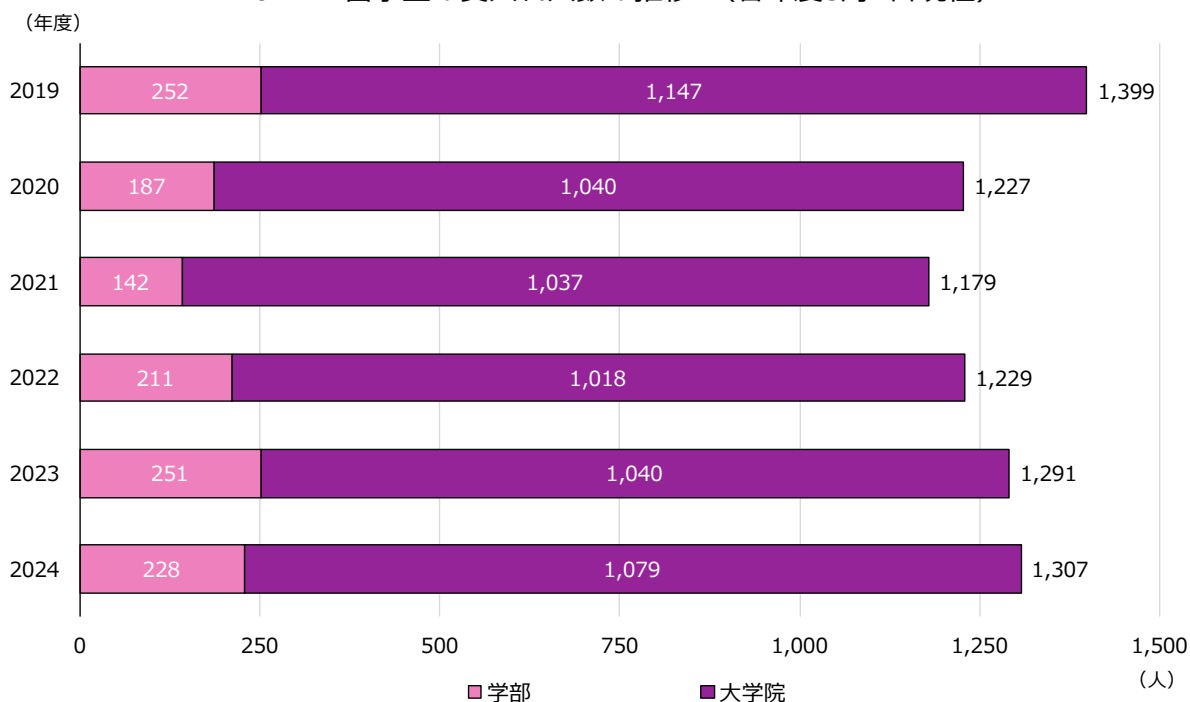
20. 留学

20-1 外国人留学生受入れ状況 — 在籍段階別 —

○ 2020年度及び2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により留学生の受入れが減少したが、本学においては2022年度以降受入れが徐々に回復している。

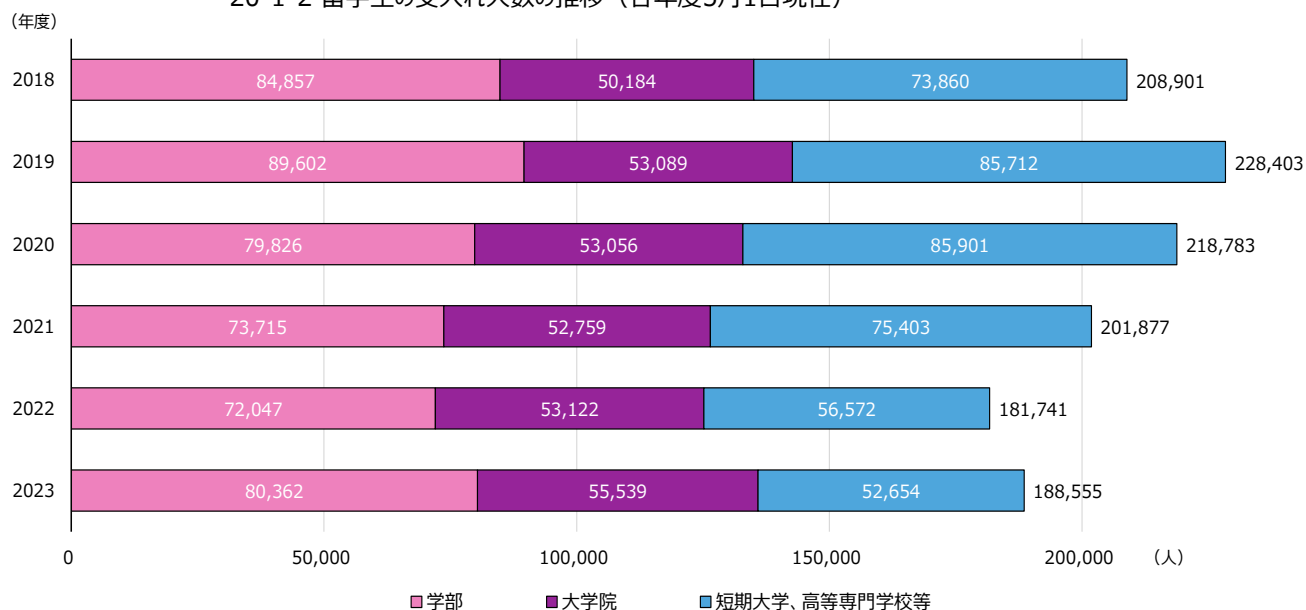
神戸大学

20-1-1 留学生の受入れ人数の推移（各年度5月1日現在）



全国

20-1-2 留学生の受入れ人数の推移（各年度5月1日現在）



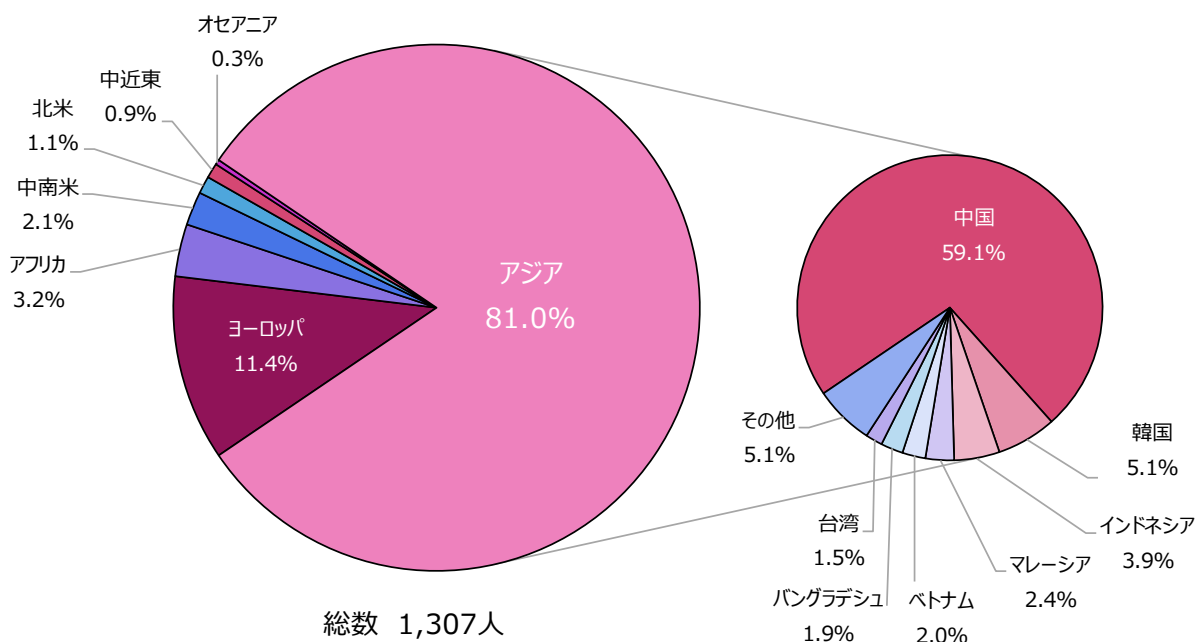
出典（全国）：JASSO「外国人留学生在籍状況調査」

20-2 外国人留学生受入れ状況 ― 地域別 ―

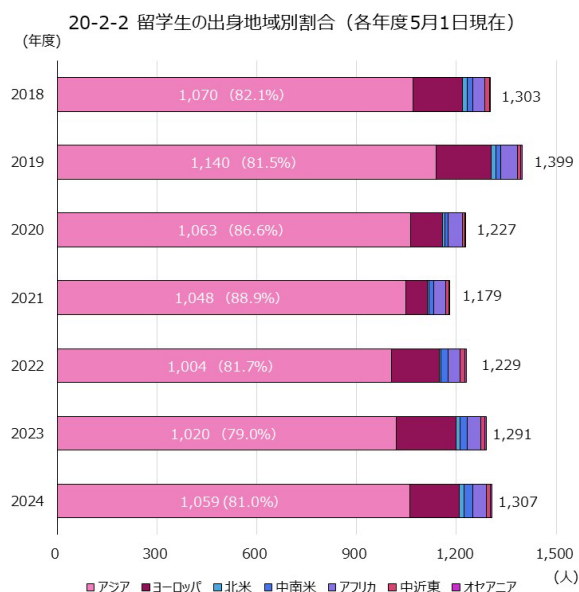
- 留学生の出身地域別割合はアジア出身の留学生が80%超（うち中国が約60%）であり（20-2-1）、全国と比較すると、ヨーロッパ出身の留学生の割合が高い。（20-2-2～3）

神戸大学

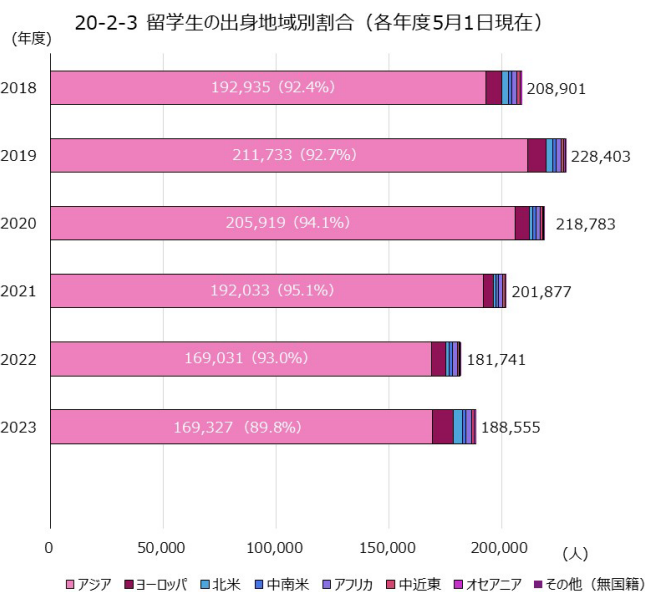
20-2-1 受入れ留学生数の地域別割合（2024年5月1日現在）



神戸大学



全国



出典（全国）：JASSO「外国人留学生在籍状況調査」

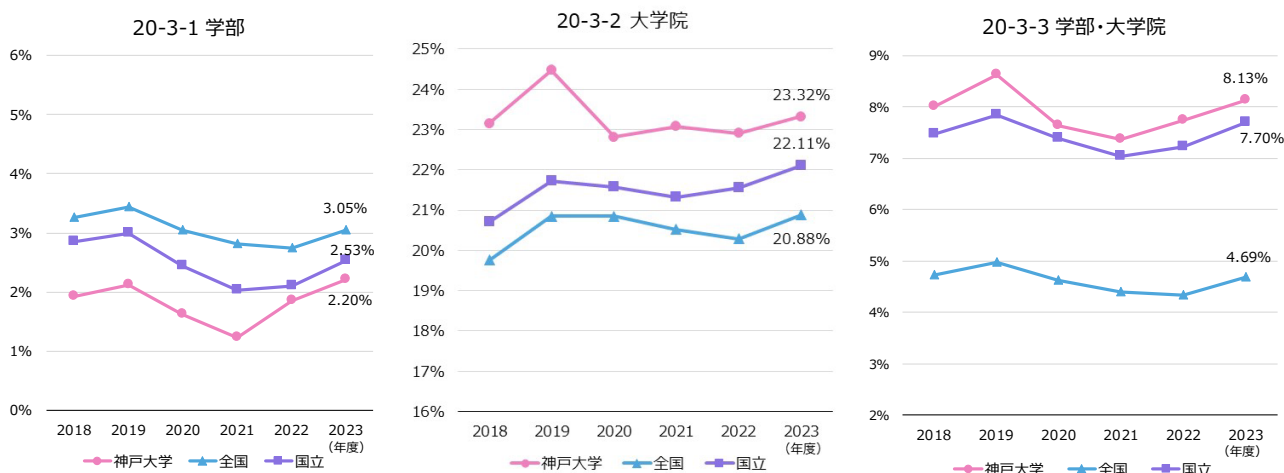
※（ ）内は各年度における全体に対するアジア出身留学生の割合。

※ 全国の留学生には、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）、準備教育課程の留学生を含む。

※ 小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

20-3 在籍学生に占める外国人留学生の比率

- 本学の学部留学生の割合（20-3-1）は全国の大学及び国立大学よりも低いものの、大学院留学生の割合（20-3-2）は高くなっている。

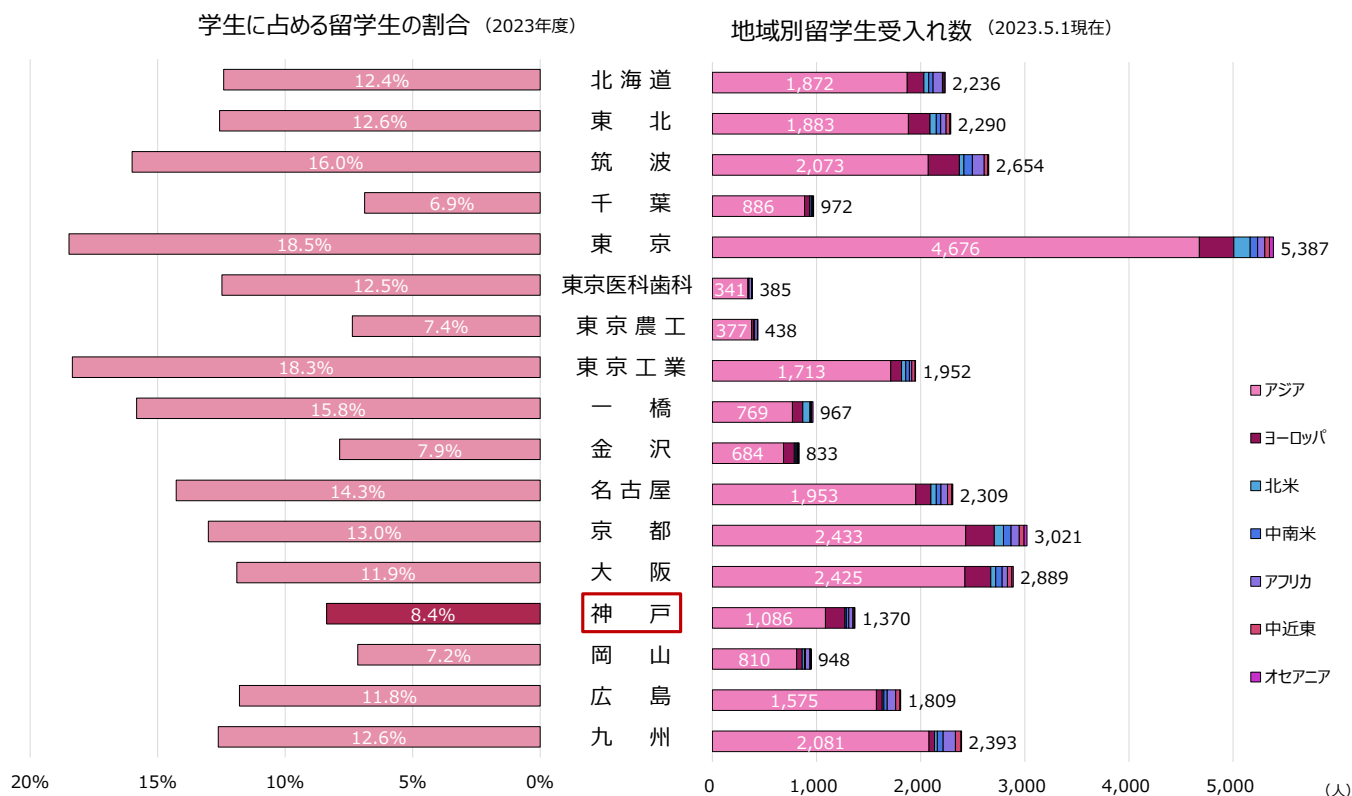


出典（全国・国立）：（留学生数）JASSO「外国人留学生在籍状況調査」、（学生数）文部科学省「学校基本調査」

※留学生比率（学部・大学院留学生比率）＝（学部留学生数＋大学院留学生数）÷（学部学生数＋大学院学生数）×100

20-4 17大学の外国人留学生受入れ状況

- 本学の学生に占める留学生の割合は8.4%であり、17大学間の比較では低い割合となっている。



出典（学生数）：大学改革支援・学位授与機構「大学基本情報」〔7-A〕学生数 ※別科や専攻科を含む

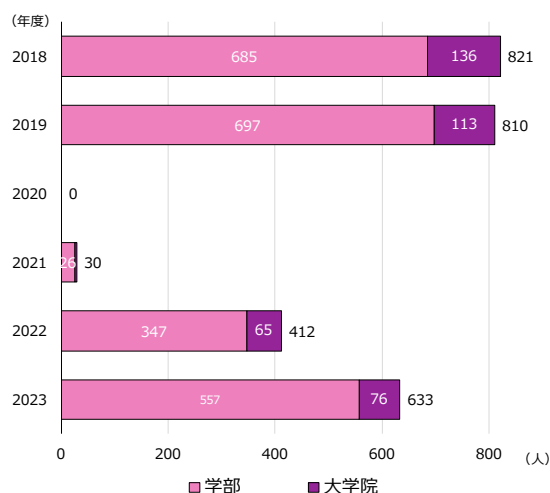
出典（留学生数）：大学改革支援・学位授与機構「大学基本情報」〔11〕国費留学生、私費留学生、留学生以外の外国人学生 ※留学生以外の外国人学生は含まない

※留学生の割合＝（学部留学生数＋大学院留学生数）÷（学部学生数＋大学院学生数）×100

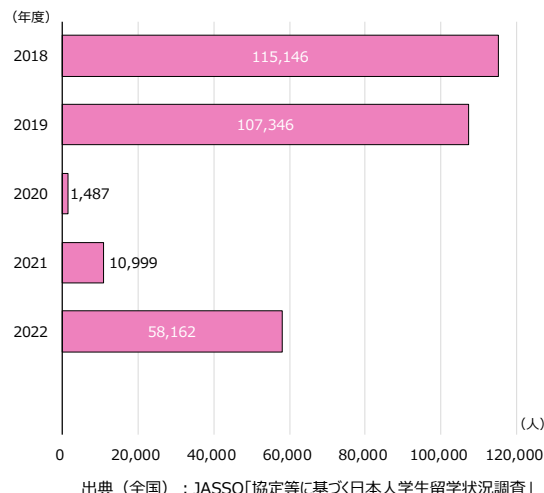
20-5 学生の海外派遣状況 — 在籍段階別 —

○ 新型コロナウイルス感染症蔓延により2020年度、2021年度と派遣人数は激減した。しかしながら、2023年度の本学の派遣人数は2019年度の8割程度まで回復した。

20-5-1 神戸大学



20-5-2 全国



※各年度4月1日～3月31日に派遣した人数。

※神戸大学（20-5-1）…単位授与を伴うプログラムに基づくもの。

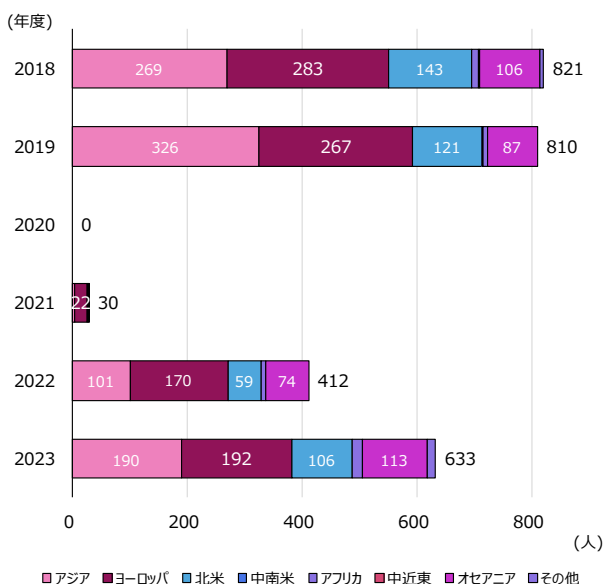
※全国（20-5-2）…協定等に基づく日本人留学状況及び協定等に基づかない日本人学生留学状況（在籍大学等把握分）の合計。

出典（全国）：JASSO「協定等に基づく日本人学生留学状況調査」

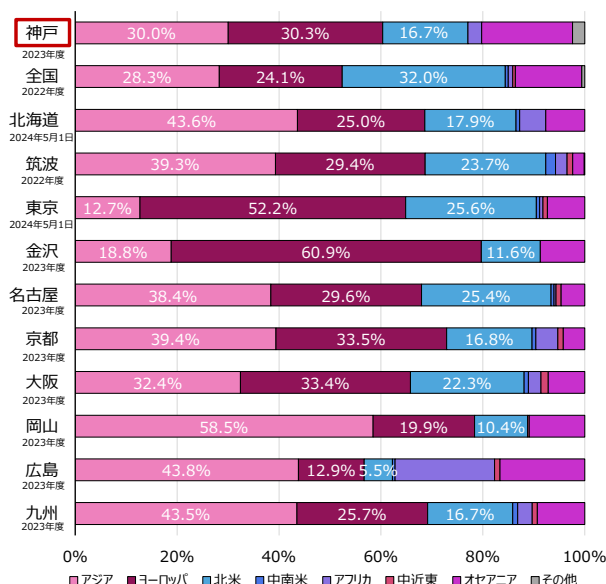
20-6 学生の海外派遣状況 — 地域別 —

○ 学生の海外派遣数について、その地域別割合を見ると（20-6-2）、神戸大学は相対的にヨーロッパやオセアニアへの派遣比率が高く、一方で北米への派遣比率が低めになっている。

20-6-1 神戸大学



20-6-2 各大学



出典（全国）：JASSO「協定等に基づく日本人学生留学状況調査」

※「協定等に基づく日本人学生派遣数」と参考として記載されている「協定等に基づかない日本人学生留学状況（在籍学校において把握している限り）」の合計。

出典（各大学）：各大学のHP等

※20-6-2のグラフ内には、比較的割合の大きいアジア、ヨーロッパ、北米の割合のみ記載している。

※以下のとおり、大学によって定義が異なるので、単純比較はできない。

北海道大学…一人が一度に複数に留学した場合には、各国1名としてカウントしている

筑波大学、東京大学、金沢大学、大阪大学、広島大学…定義の記載なし

名古屋大学…海外留学の種類・目的は交換留学、研究、語学研修、学位取得等

京都大学…令和5年度中に出発した渡航のうち、観光・帰省等の学修を伴わない私事渡航を除いた数

神戸大学…単位授与を伴うプログラムに基づくもの

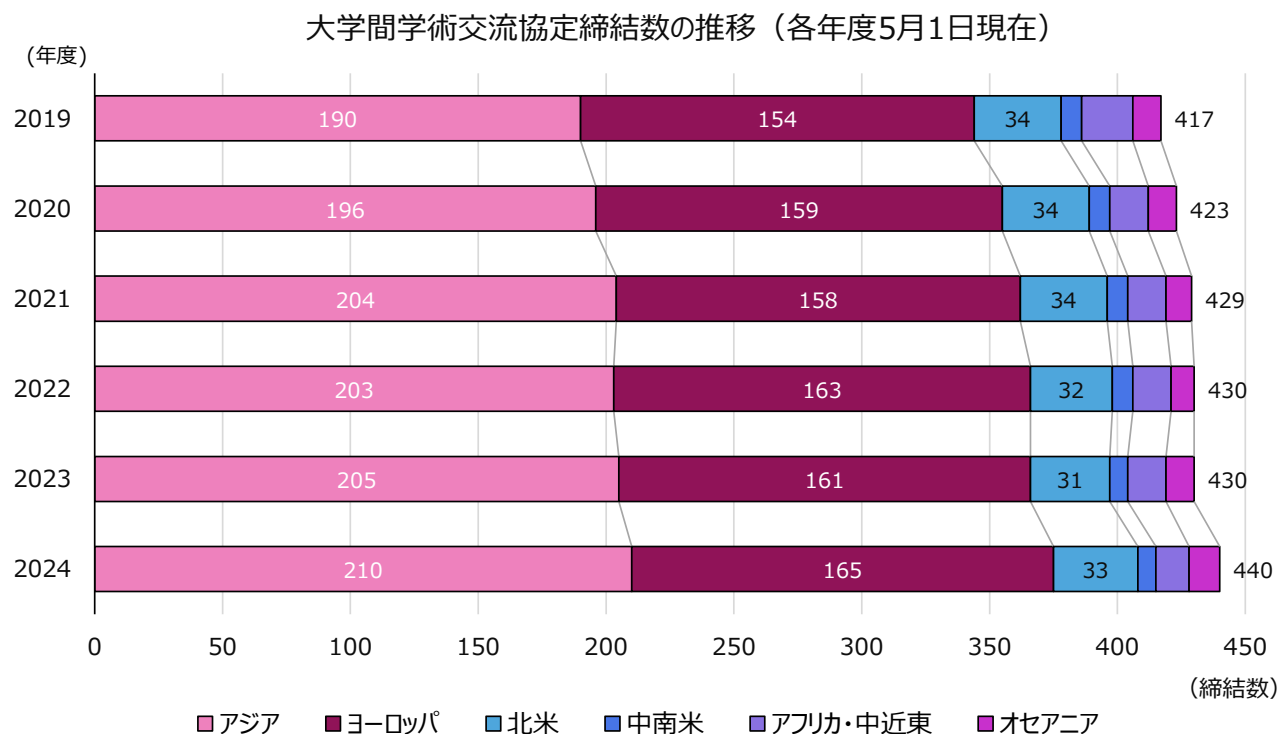
岡山大学…スーパーグローバル大学創成支援事業の実績値より

九州大学…外国人留学生を含む総数

21. 海外大学との交流状況

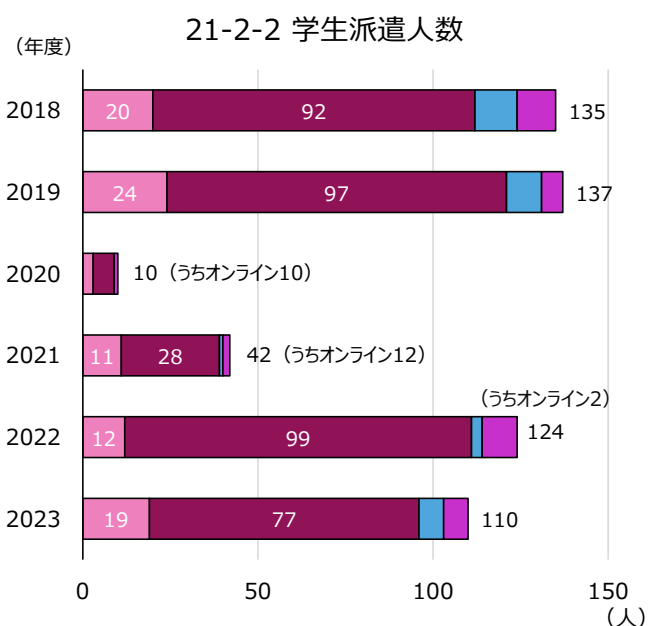
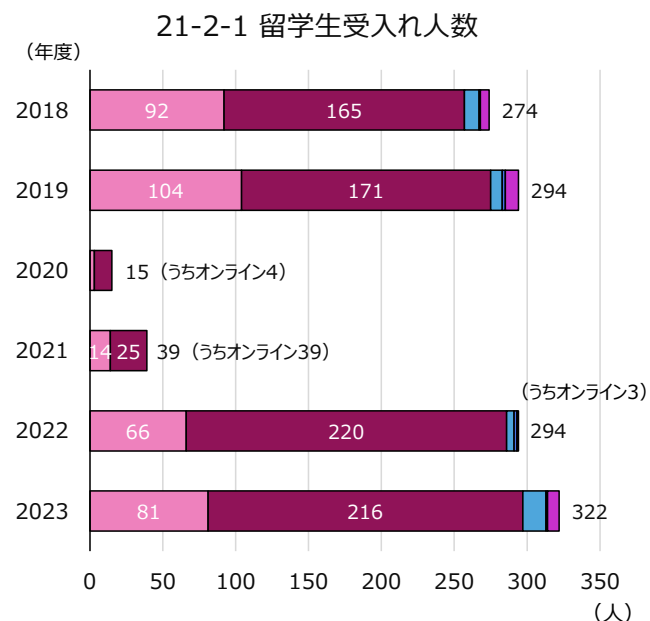
21-1 外国の大学等との学術交流協定の締結状況

○ 大学間学術交流協定締結数は近年、アジア、ヨーロッパが全体の8割超を占めている。



21-2 大学間学術交流協定に基づく留学生受入れ・学生派遣状況

○ 2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、受入れ（21-2-1）・派遣（21-2-2）ともに激減したが、2022年度には オンラインの活用等により受入れ・派遣ともに人数が回復した。2023年度は留学生の受入人数は更に増加したが、学生派遣人数は減少した。



21-3 ダブルディグリープログラムによる交流学生数

- 修士課程における派遣・受入れ人数が多くを占める。2020年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により特に受入れが減少し、回復が遅れている。

○ 神戸大学におけるダブルディグリープログラム実施状況（2024年3月31日現在）

実施部署名	共同設置機関国	共同設置機関校	先方における関係部局	課程	派 遣										受 入										
					2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	
人文学研究科	中国	北京外国語大学	北京日本学研究中心	修士	1	1	0	0	-	-	-	0	0	-	-	2	1	0	-	-	-	0	0		
国際文化学研究科	ベルギー	ルーヴン大学	人文学研究科	修士	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	2	0	0	0		
	イタリ	ナポリ東洋大学	ヨーロッパ研究センター		-	-	1	0	0	0	0	0	0	-	-	1	0	0	0	0	1	1	0		
	フランス	パリ・シテ大学	地理・歴史・社会科学研究科		0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2	1	2	2	0	0	0	0	1		
	ドイツ	ハンブルク大学	人文科学部アジア・アフリカ研究所		-	-	0	1	1	0	0	0	0	5	0	1	1	2	0	0	0	0	0		
	フランス	フランス国立東洋言語文化学院	—		-	-	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	1	0		
法学研究科	英国	エセックス大学	政治学部	修士	-	1	1	0	1	0	0	0	0	1	-	2	2	0	1	1	0	0	1	0	
	ポーランド	ヤグウォ大学	ヨーロッパ研究センター		-	1	1	1	0	1	0	0	0	0	-	2	1	3	0	3	0	0	1	1	
	ベトナム	貿易大学 ※	—		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	0	0	-	-	-	-	
経済学研究科	ベルギー	ルーヴン大学	ヨーロッパ研究センター 人文学部・経済経営学部	修士	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2	0	1	0	0	0	0	1	
	ベトナム	貿易大学 ※	—		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	2	0	0	-	-	-	
	英国	エセックス大学	—		-	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	
	中国	北京外国語大学	北京日本学研究中心		3	5	1	2	3	5	5	3	5	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		武漢大学	外国語文学大学院日本語部		5	4	2	2	4	0	3	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ベトナム	貿易大学	日本語学部		-	3	3	1	1	2	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中国	武漢大学	外国語文学大学院		受入人数の 合計を記入	-	3	2	3	1	1	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
経営学研究科	ベルギー	ルーヴン大学	人文学部	博士	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0		
	英国	シェフィールド大学	マネジメントスクール		0	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1	1	-	-	-	-		
	ベトナム	貿易大学 ※	—		修士	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-		
医学研究科	インドネシア	ガジャマダ大学	医学部	博士	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	-	0	1	1	-		
	タイ	マヒン大学	シリラート病院医学部		0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	-	-	-	-	-		
	インドネシア	パジャジャラン大学	医学部		0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	-	-	-		
保健学研究科	インドネシア	ガジャマダ大学	医・公衆衛生・看護学部	修士	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	タイ	チュラロンコン大学	看護学部		-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0		
工学研究科	台湾	国立台湾大学	工学院	博士	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
国際協力研究科	インドネシア	インドネシア大学	経済学研究科	修士	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	4	2	2	2	3	0	0	0	
		ガジャマダ大学	経済経営研究科		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	1	2	2	2	0	0	0	
			都市工学系研究科		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	0	0	0	0	
			政治学研究科		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	1	1	1	0	0	0	0
	韓国	高麗大学校	国際大学院		3	0	3	3	3	2	3	5	5	2	2	3	1	1	2	5	2	0	2	1	
	中国	復旦大学	国際関係・公共事務学院		4	0	2	0	2	3	2	2	1	3	3	0	3	2	2	2	0	0	0	0	
	ベトナム	貿易大学 ※	—		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	-	-	
	英国	イーストアングリア大学	国際開発学部		2	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院	—		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サセックス大学		教育社会福祉学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
米国	ピッツバーグ大学	公共国際関係学研究科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
海事科学研究科	ナミビア	ナミビア大学	農業工学自然科学部	博士(コ ンプレ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	0	-		
	フランス	パリ・シテ大学	社会人文学部		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-		
	ベルギー	ブリュッセル自由大学（蘭語系）	—		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	インドネシア	ガジャマダ大学	地理学部		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
計					10	4	8	7	11	9	6	7	8	8	15	26	37	26	28	31	24	8	19	13	

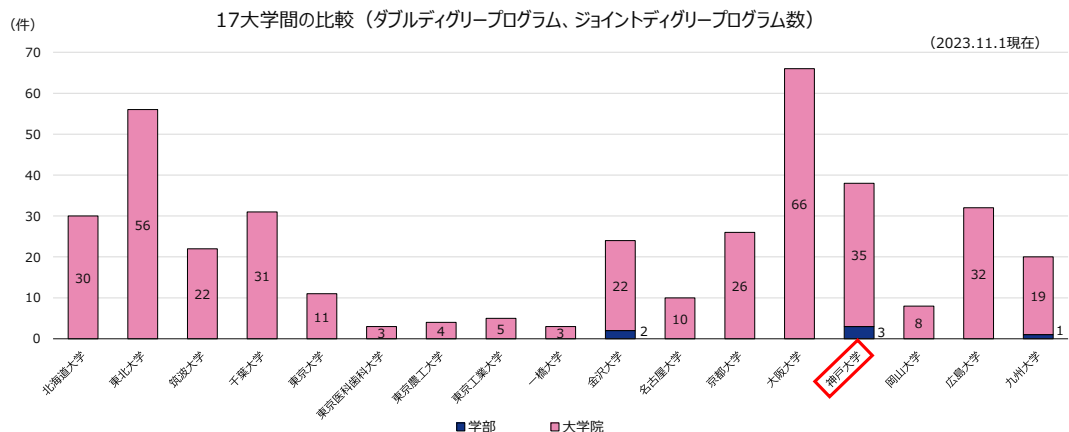
※4研究科（法学・経済学・経営学・国際協力）による、受入れのみの修士課程のダブルディグリープログラム。（2021年7月受入終了）

※ - は、募集していないことを示す。

21-4 ダブルディグリー、ジョイントディグリープログラム

ー 17大学間の比較 ー

- 国立大学17校のうち、神戸大学のダブルディグリープログラム、ジョイントディグリープログラム数は学部・大学院を合計すると3位であった。

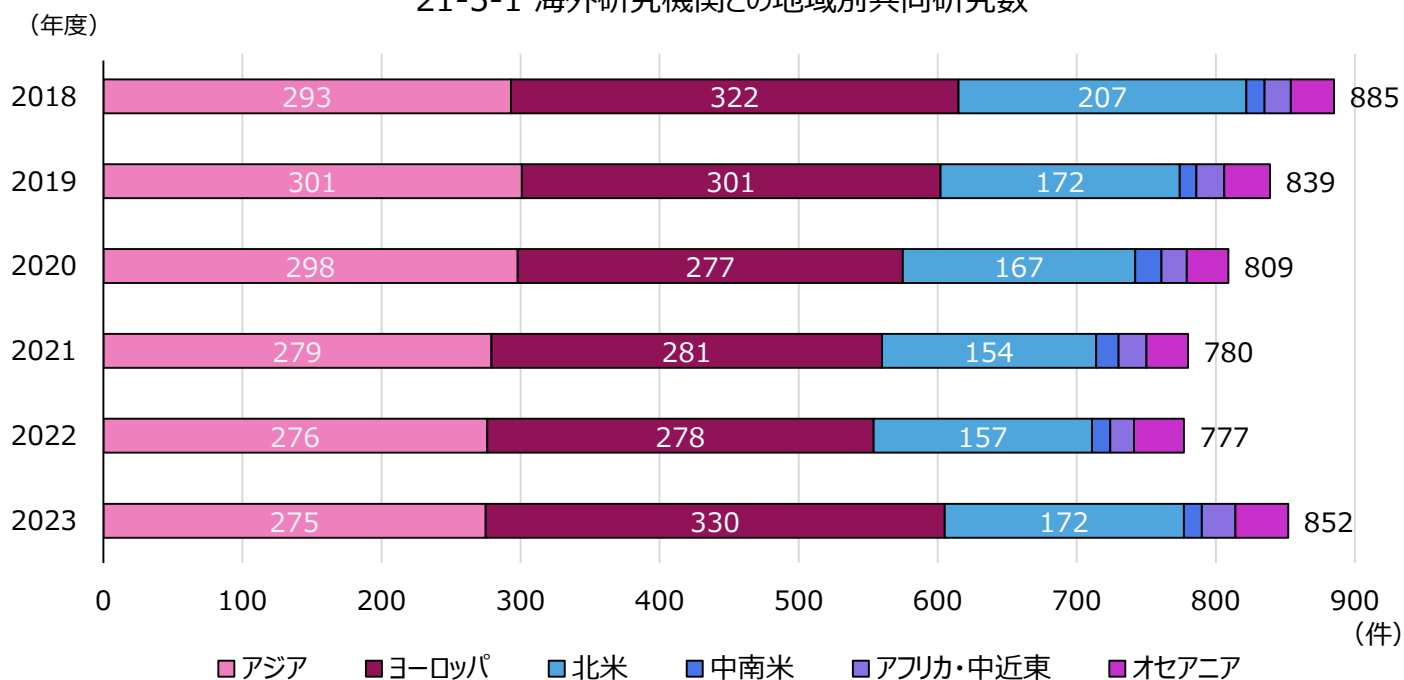


出典：国立大学協会「Study abroad at National Universities in Japan」

21-5 海外研究機関との国・地域別共同研究数

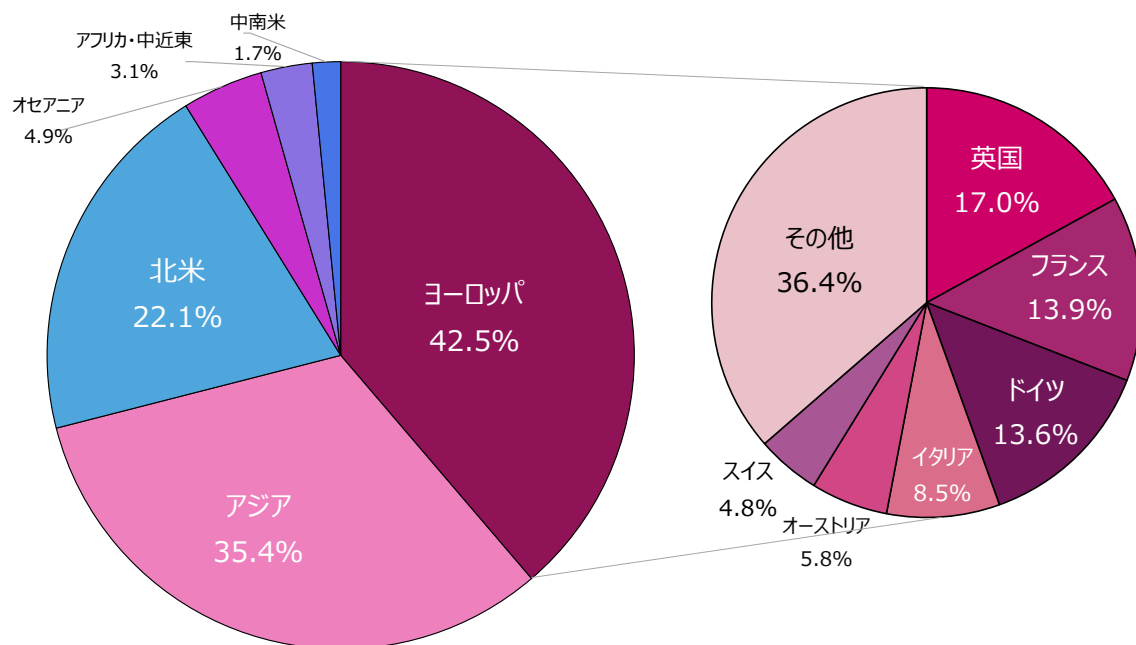
- 海外研究機関との共同研究については、アジア、ヨーロッパ、北米地域との共同研究が全体の9割程度を占めている。
- 地域別では、近年アジア、ヨーロッパ地域との共同研究数が同程度であったが、2023年度はヨーロッパとの共同研究が多くなっている。ヨーロッパの国別に見ると、英国、フランス、ドイツの順になっており、その他さまざまな国との研究が進んでいる。

21-5-1 海外研究機関との地域別共同研究数



※海外研究機関とは海外の大学、研究所等を指す。

21-5-2 海外研究機関との共同研究の国・地域別割合（2023年度）

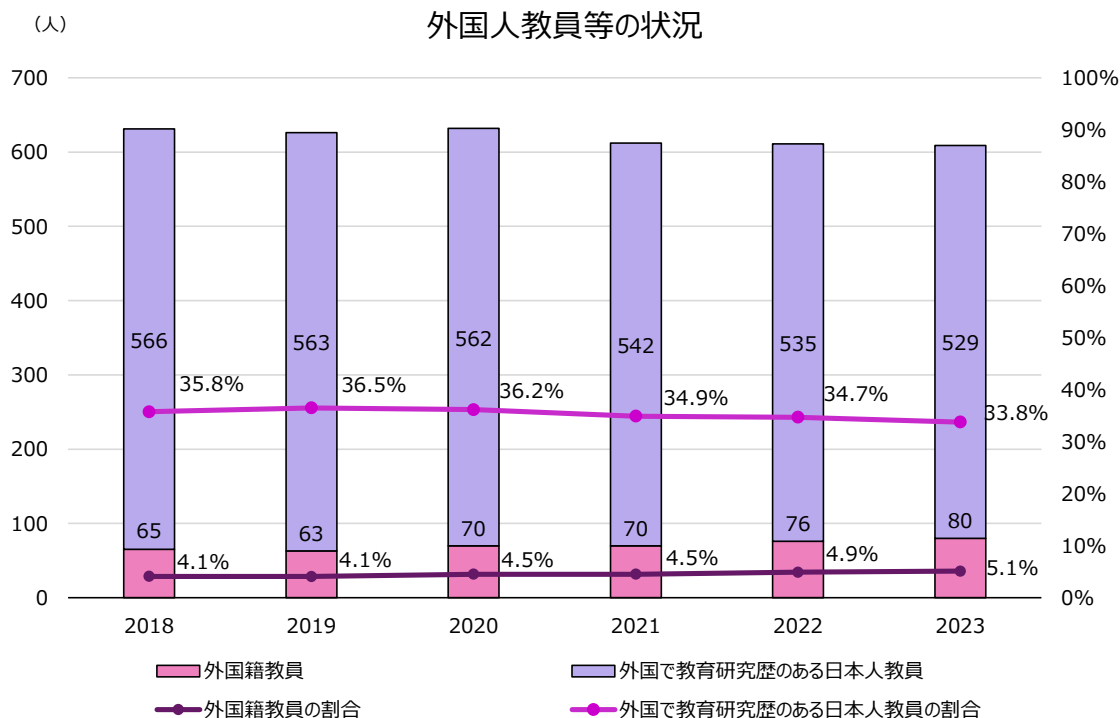


※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

22. 外国人教員・研究者等交流状況

22-1 外国人教員等の状況

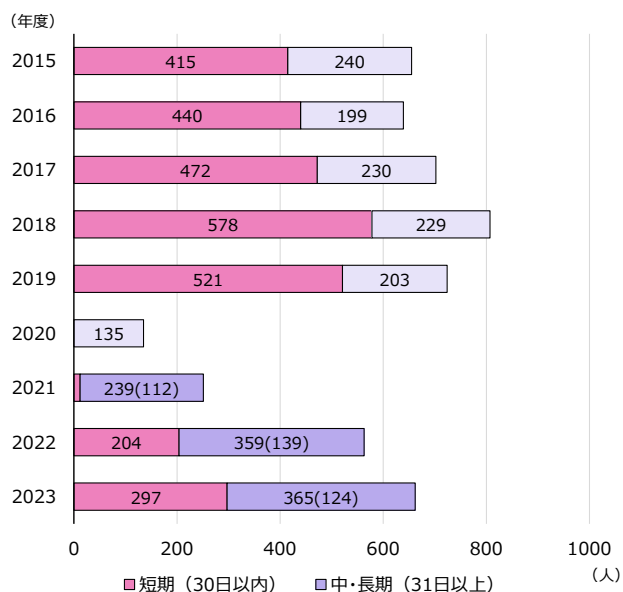
- 外国籍教員数は増加傾向である。
- 一方で、外国で教育研究歴のある日本人教員数及びその割合は、ここ数年停滞している。



22-2 外国人研究者受入れ数の推移

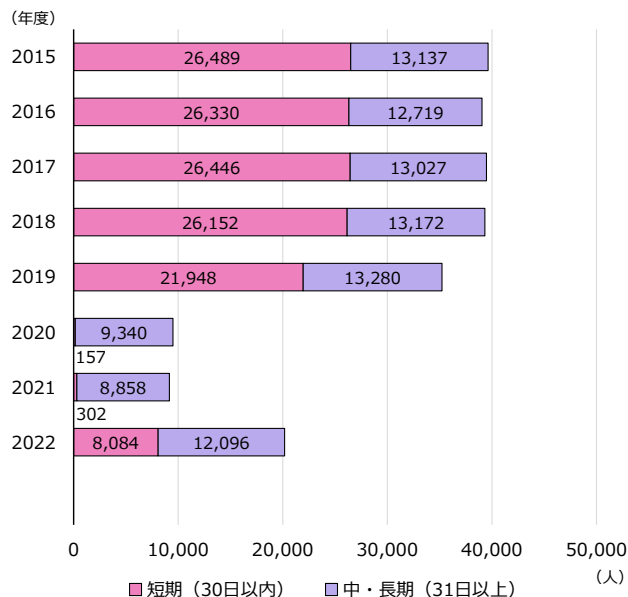
- 本学における外国人研究者受入れ数については、2014年度以降は600～800名程度を推移していたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により短期受入れ数、中・長期受入れ数ともに大幅に減少した。その後、徐々に回復傾向が見られる。

22-2-1 神戸大学における期間別外国人研究者受入れ数



2020年度までは学生を除いた数値、2021年度以降は一部の学生(※)を含んだ数値(括弧内の数字は学生の内数を示す)。
 ※雇用契約を締結し、職務を与え研究に従事している博士課程在籍学生。

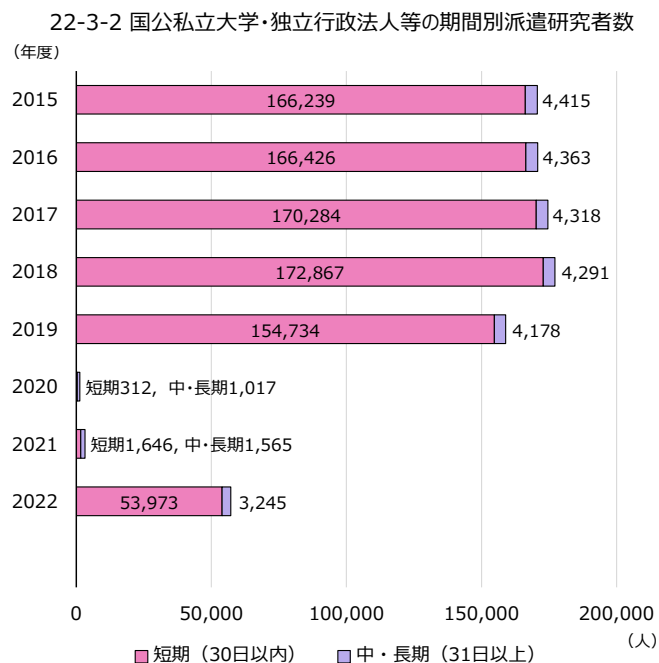
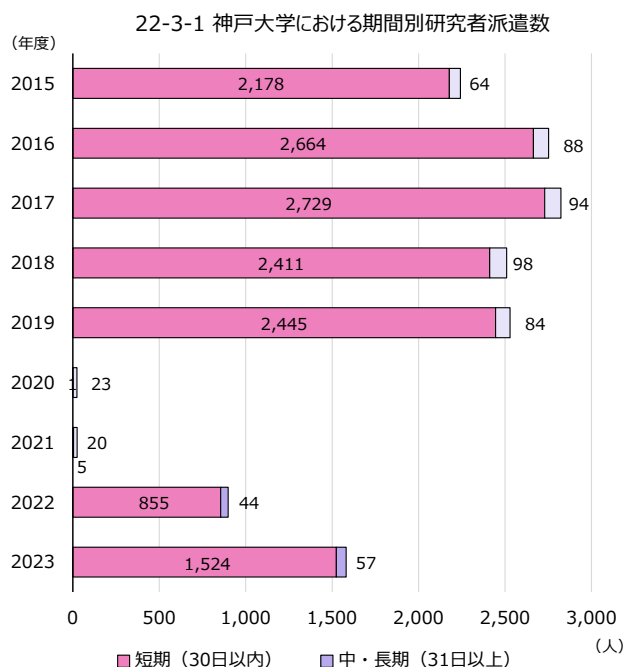
22-2-2 国公立大学・独立行政法人等の期間別受入れ研究者数



出典 (右) : 文部科学省「国際研究交流の概況」

22-3 研究者海外派遣数の推移

- 本学では、「若手教員長期海外派遣制度」により、中・長期派遣研究者数を毎年安定して派遣している。
- 2016年度以降は、短期派遣研究者数が増加したことにより、全体として研究者の海外派遣数は増加し、近年は2,500人超で推移していたが、2020年度以降は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により短期派遣数及び中・長期派遣数ともに大幅に減少した。その後、未だ以前の水準には満たないものの、回復傾向が伺える。



出典（右）： 文部科学省「国際研究交流の概況」

23. 国際化の状況

23-1 スーパーグローバル大学創成支援事業採択大学との比較

○ 本学は、外国での教育・研究経験のある教員の割合(23-1-2)が比較的高いが、外国籍の教員の割合(23-1-1)や外国人留学生の割合(23-1-4)については、他大学と比較すると低い水準である。

23-1-1 ①外国籍の教員の割合

順位	大学名	外国籍教員数	専任教員数	外国籍教員の割合
1	東京大学	802	5,962	13.5%
2	大阪大学	370	3,698	10.0%
3	東京工業大学	119	1,203	9.9%
4	東北大学	303	3,141	9.6%
5	北海道大学	212	2,337	9.1%
6	名古屋大学	191	2,292	8.3%
7	広島大学	139	1,714	8.1%
8	京都大学	282	3,484	8.1%
9	筑波大学	141	1,790	7.9%
10	九州大学	170	2,305	7.4%
11	金沢大学	73	1,224	6.0%
12	千葉大学	77	1,304	5.9%
13	岡山大学	83	1,475	5.6%
14	神戸大学	80	1,566	5.1%
15	東京医科歯科大学	18	856	2.1%

(令和5年度実績)

23-1-2 ②外国での教育・研究経験のある教員の割合

3	大学名	外国での教育・研究経験のある教員数	専任教員数	外国での教育・研究経験のある教員の割合
1	広島大学	759	1,714	44.3%
2	九州大学	980	2,305	42.5%
3	北海道大学	922	2,337	39.5%
4	神戸大学	609	1,566	38.9%
5	岡山大学	566	1,475	38.4%
6	東北大学	1,117	3,141	35.6%
7	名古屋大学	718	2,292	31.3%
8	東京医科歯科大学	263	856	30.7%
9	千葉大学	357	1,304	27.4%
10	大阪大学	1,011	3,698	27.3%
11	筑波大学	478	1,790	26.7%
12	金沢大学	323	1,224	26.4%
13	東京大学	1,494	5,962	25.1%
14	東京工業大学	294	1,203	24.4%
15	京都大学	618	3,484	17.7%

(令和5年度実績)

23-1-3 ③外国での教育・研究経験のある教員1人当たりの学生数

順位	大学名	全学生数	外国での教育・研究経験のある教員数	外国での教育・研究経験のある教員1人当たりの学生数
1	東京医科歯科	3,085	263	11.73
2	東北大学	18,219	1,117	16.31
3	東京大学	28,596	1,494	19.14
4	九州大学	18,956	980	19.34
5	北海道大学	18,057	922	19.58
6	広島大学	15,701	759	20.69
7	名古屋大学	16,177	718	22.53
8	岡山大学	13,536	566	23.92
9	大阪大学	24,285	1,011	24.02
10	神戸大学	16,363	609	26.87
11	金沢大学	10,589	323	32.78
12	東京工業大学	10,641	294	36.19
13	筑波大学	17,418	478	36.44
14	京都大学	23,219	618	37.57
15	千葉大学	14,117	357	39.54

(令和5年度実績)

23-1-4 ④外国人留学生の全学生に対する割合

順位	大学名	外国人留学生数	全学生数	外国人留学生の割合
1	東京工業大学	1,952	10,641	18.3%
2	東京大学	4,986	28,596	17.4%
3	筑波大学	2,655	17,418	15.2%
4	九州大学	2,655	18,956	14.0%
5	名古屋大学	2,135	16,177	13.2%
6	東京医科歯科大学	407	3,085	13.2%
7	京都大学	2,978	23,219	12.8%
8	東北大学	2,290	18,219	12.6%
9	北海道大学	2,177	18,057	12.1%
10	大阪大学	2,844	24,285	11.7%
11	広島大学	1,810	15,701	11.5%
12	神戸大学	1,291	16,363	7.9%
13	金沢大学	822	10,589	7.8%
14	千葉大学	972	14,117	6.9%
15	岡山大学	900	13,536	6.6%

(令和5年度実績)

23-1-5 ⑤日本人学生の海外留学者の全学生に対する割合

順位	大学名	単位取得を伴う海外留学経験者数	全学生数 (外国人留学生除く)	海外留学者の割合
1	千葉大学	2,505	13,090	19.1%
2	九州大学	568	16,428	3.5%
3	筑波大学	496	14,591	3.4%
4	東京工業大学	279	8,803	3.2%
5	東北大学	536	17,489	3.1%
6	北海道大学	482	15,945	3.0%
7	東京医科歯科大学	75	2,595	2.9%
8	金沢大学	276	9,610	2.9%
9	神戸大学	412	15,099	2.7%
10	名古屋大学	429	15,751	2.7%
11	広島大学	274	13,890	2.0%
12	東京大学	405	23,713	1.7%
13	岡山大学	208	12,501	1.7%
14	大阪大学	338	20,811	1.6%
15	京都大学	144	20,430	0.7%

(令和4年度実績)

出典：独立行政法人 日本学術振興会

「スーパーグローバル大学創成支援事業令和5年度（2023年度）

フォローアップ結果」

※⑤日本人学生の海外留学者の全学生に対する割合のみ

令和5年度データが未公開のため、令和4年度のデータを掲載している。

17大学のうち、事業採択大学と比較

※ 外国籍教員数：外国籍の教員のみ数

※ 外国での教育・研究経験のある教員数：外国籍の教員に加え、
国外の大学での学位取得、通算1年以上教育研究に従事した
日本人教員を含む

※ 外国人留学生：在留資格「留学」の者のみ計上

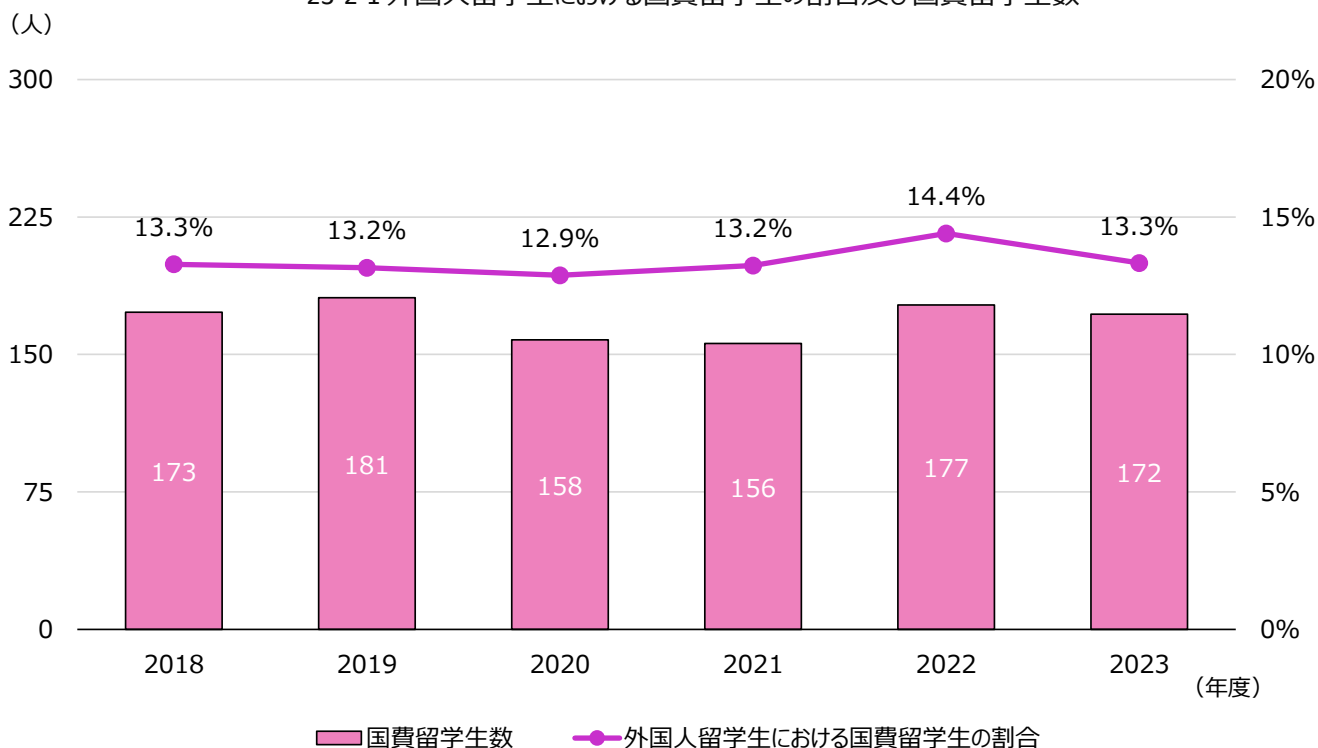
※ 日本人学生の海外留学者数：2022年4月1日から2023年3月
31日までに海外の大学において留学を開始した日本人学生数

※ 全学生数：非正規課程の学生を含む

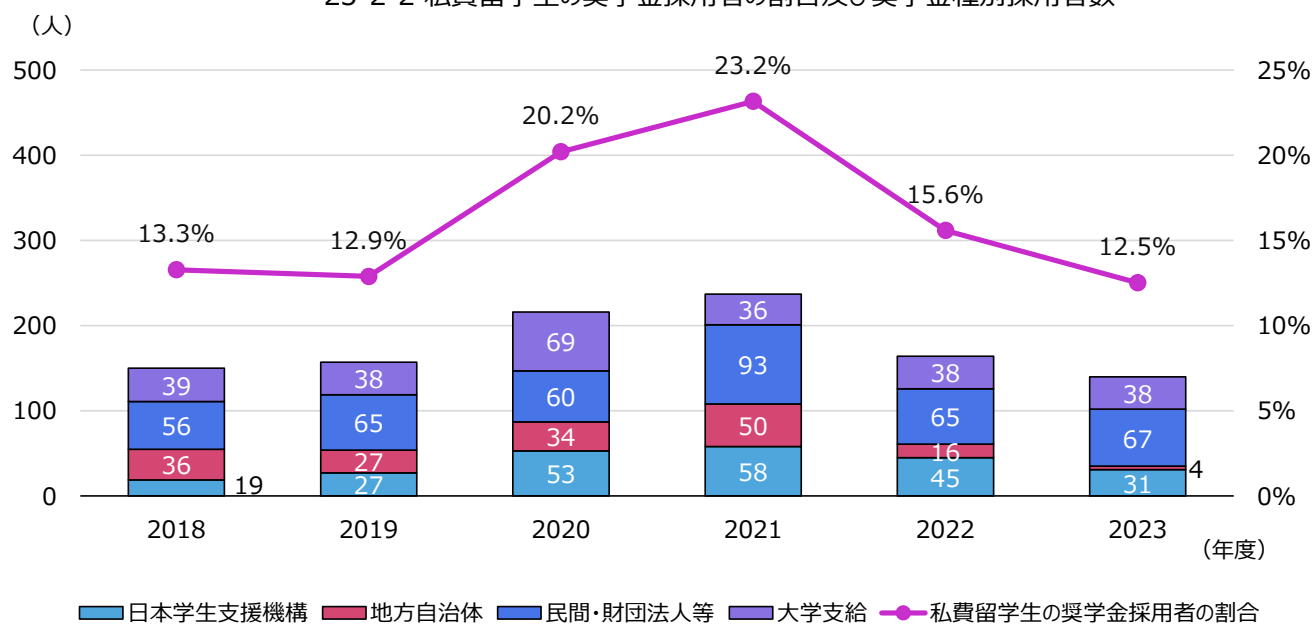
23-2 留学生への経済支援について

- 新型コロナウイルス感染症の影響により国費留学生数（23-2-1）が一時的に減少したが、回復傾向が見られる。
- 奨学金種別で見ると（23-2-2）、例年の傾向として民間・財団法人等の採用者数が多い。奨学金の採用者数はコロナ禍に一時的に増加したが、近年は以前の水準に戻っている。

23-2-1 外国人留学生における国費留学生の割合及び国費留学生数



23-2-2 私費留学生の奨学金採用者の割合及び奨学金種別採用者数



※日本学生支援機構による奨学金は「留学生受入れ促進プログラム（旧：文部科学省外国人留学生学習奨励費給付制度）」の採用者数を集計している。

24. 附属病院

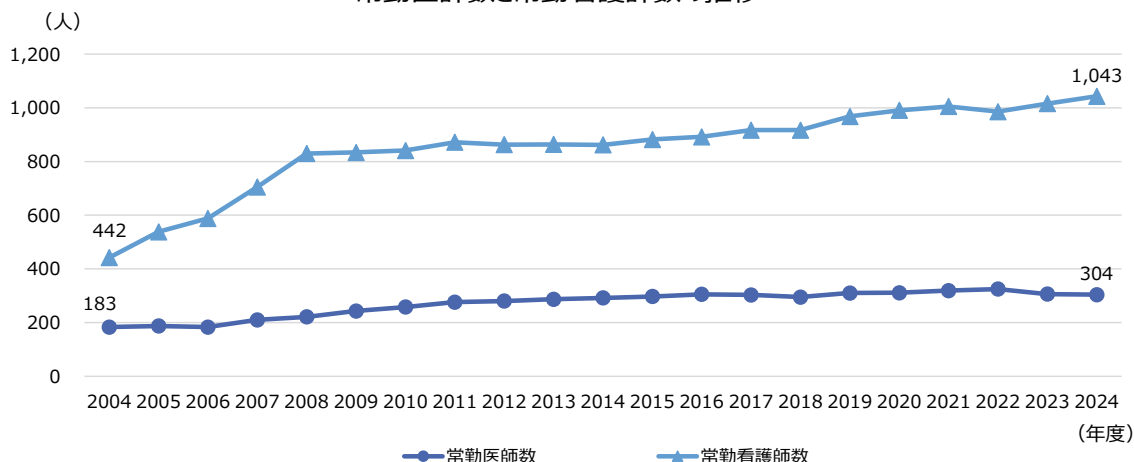
24-1 附属病院の病床数・常勤医師数・常勤看護師数

○ 2017年度に国際がん医療・研究センター（以下、ICCRC）を設置し、病床数が増加した。近年、常勤医師数は300人前後で大きな変化はなく、常勤看護師数は1,000人前後で微増傾向である。

病床数		常勤医師数	常勤看護師数
一般病棟	精神病棟		
1,008	46	304	1,043
(うちICCRC120床)		(うちICCRC7名)	(うちICCRC45名)

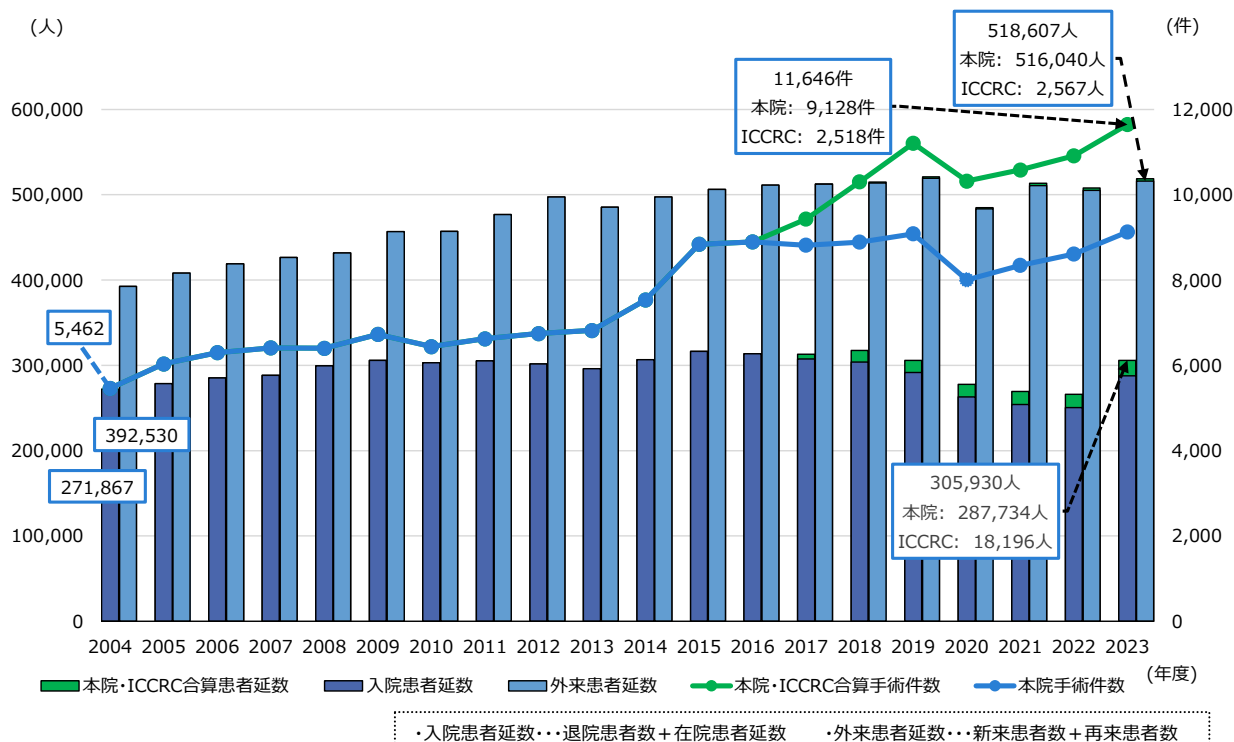
2024年5月1日現在

常勤医師数と常勤看護師数の推移



24-2 附属病院の患者数と総手術件数の推移

○ 患者数及び手術件数は、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少したが、その後、外来患者数は早期に回復し、入院患者数及び手術件数も2023年度には以前と同様の水準に戻った。

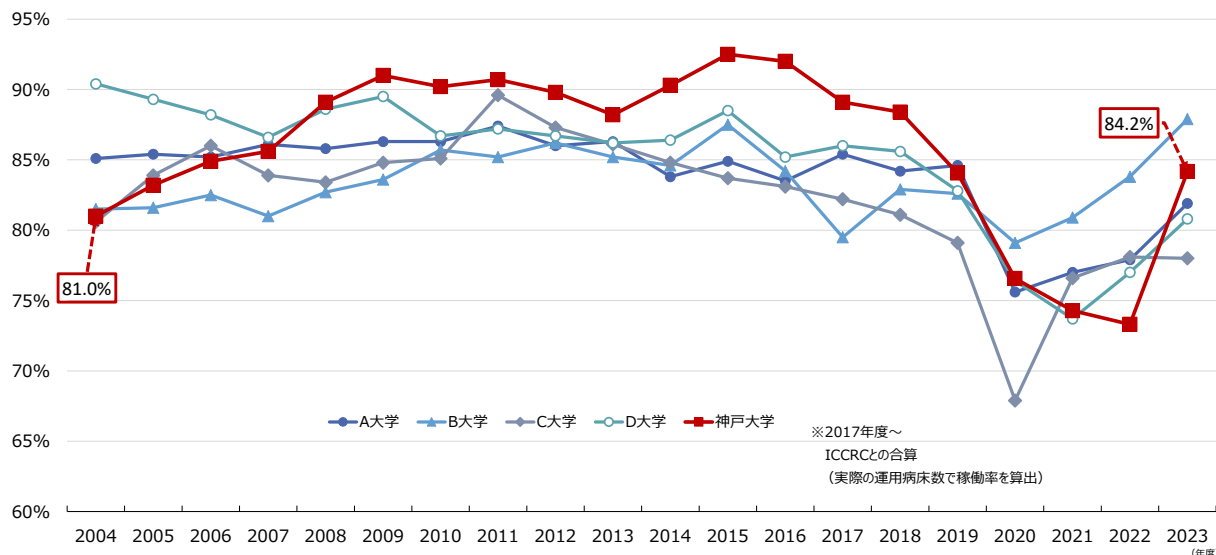


24-3 附属病院の病床稼働率・平均在院日数の推移

○ 本学の病床稼働率（24-3-1）は2019年度以降特に下落傾向が顕著であったが、2022年度に底を打ち、2023年度は84.2%まで回復した。平均在院日数（一般病床）（24-3-2）は12.6日で、近年ほぼ同程度である。

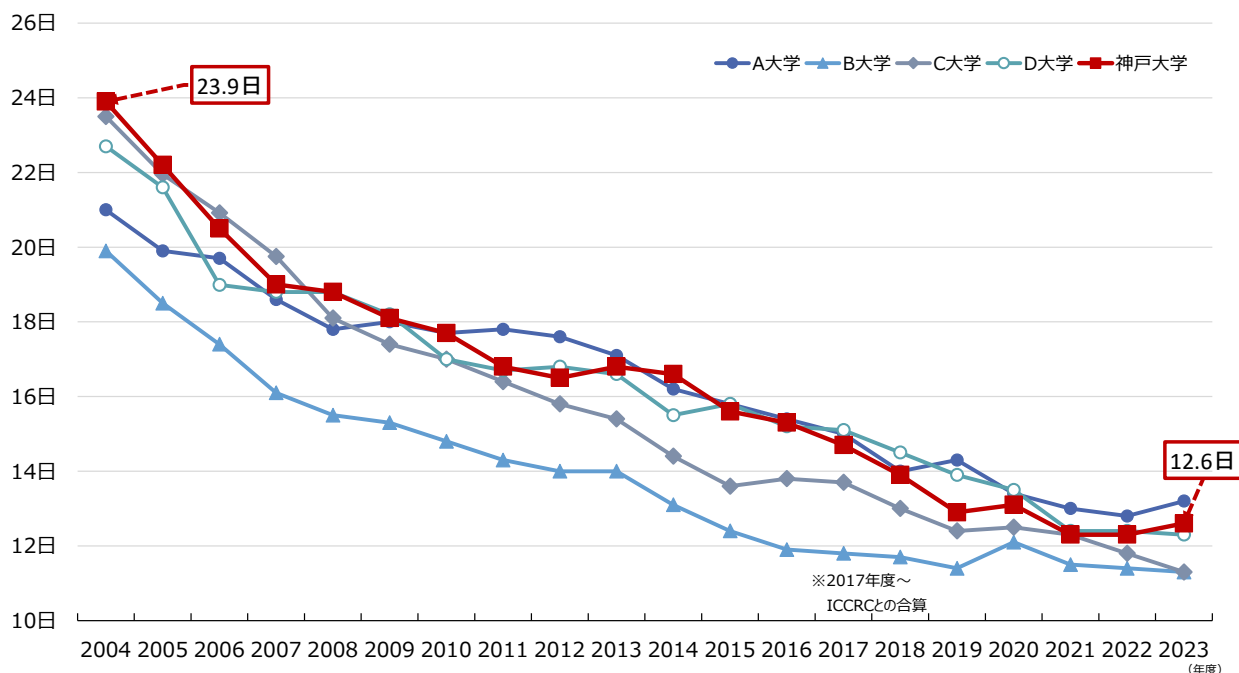
24-3-1 病床稼働率の推移（2004～2023年度）

病床数が同規模である国立5大学について比較



24-3-2 平均在院日数（一般病床）の推移（2004～2023年度）

病床数が同規模である国立5大学について比較



《参考》

(千円)

大学名	病床数	運営費交付金 (令和5事業年度)	大学名	病床数	運営費交付金 (令和5事業年度)
A大学	1,080床	3,523,850	C大学	986床	5,009,877
B大学	1,004床	2,738,058	D大学	932床	3,326,623
神戸大学	994床	2,987,018			

出典（病床稼働率、平均在院日数（一般病床）、病床数）：この報告に用いたデータは、国立大学附属病院長会議が東京大学医学部附属病院に設置した国立大学病院データベースセンターから、国立大学病院データベース管理委員会の定めたデータ提供/利用依頼規約に基づいて提供を受けたものである。
(承認番号：188-20240826)

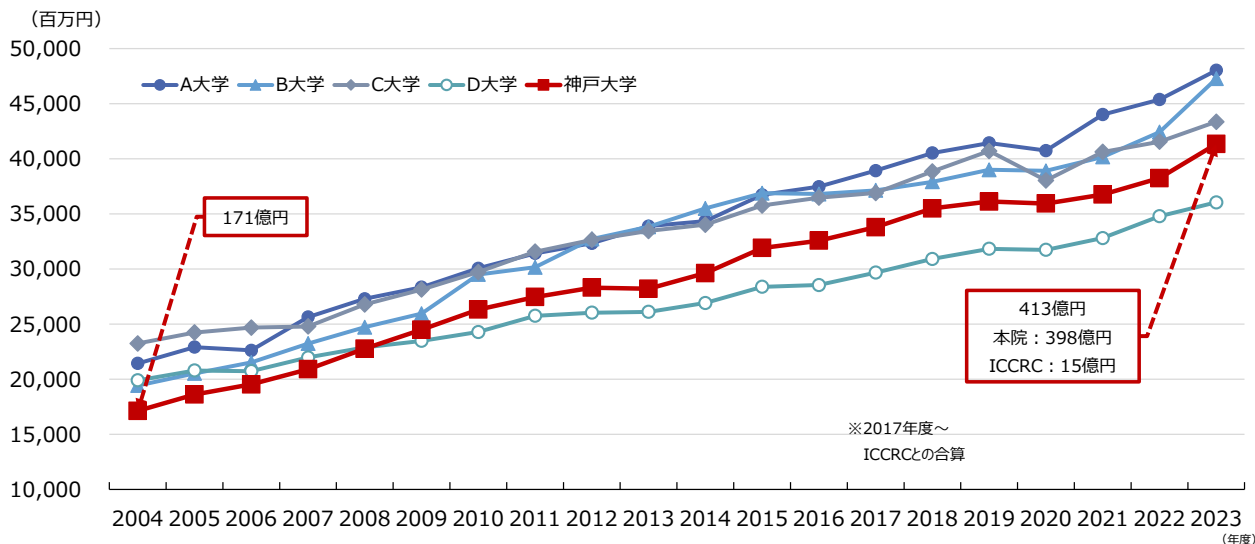
出典（運営費交付金）：各大学の財務諸表（附属病院の運営費交付金収益）

※本学の病床数は2024年6月1日時点の運用病床数

24-4 附属病院の診療報酬請求額の推移

- 本学の2023年度診療報酬請求額は413億円であり、法人化時（2004年度）の約2.4倍となっている。

診療報酬請求額の推移（2004～2023年度）
病床数が同規模である国立5大学について比較

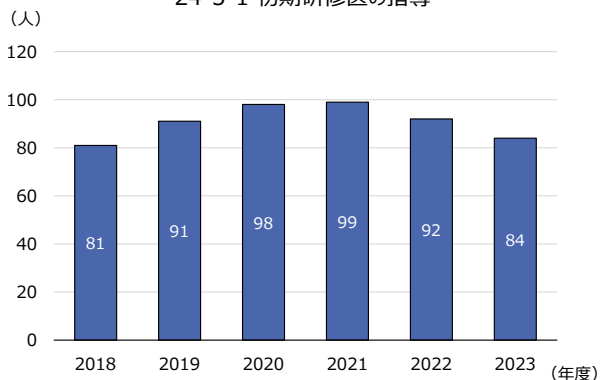


出典（診療報酬請求額）：この報告に用いたデータは、国立大学附属病院長会議が東京大学医学部附属病院に設置した国立大学病院データベースセンターから、国立大学病院データベース管理委員会の定めたデータ提供/利用依頼規約に基づいて提供を受けたものである。（承認番号：188-20240826）

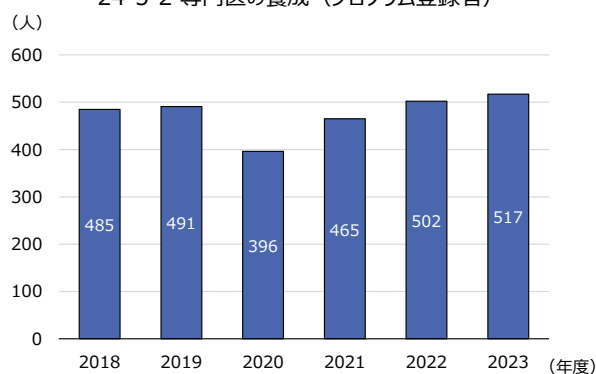
24-5 附属病院の取り組み —教育・研究への貢献—

- 2023年度、本学では初期研修医（24-5-1）を84人受け入れ、専門医（24-5-2）を517人養成した。また、新薬等開発のための臨床試験（治験）（24-5-3）の件数は150件であった。

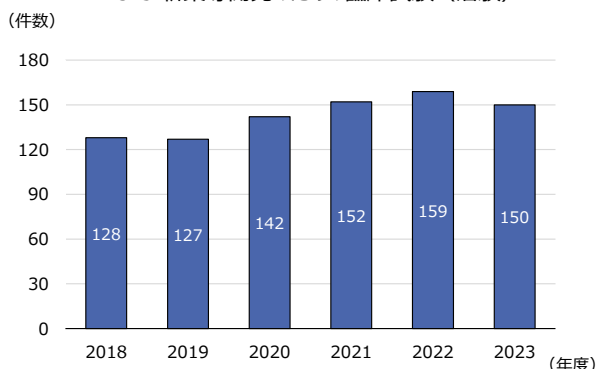
24-5-1 初期研修医の指導



24-5-2 専門医の養成（プログラム登録者）



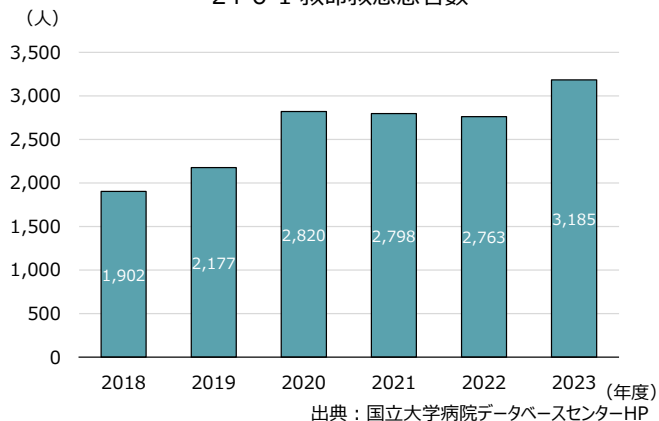
24-5-3 新薬等開発のための臨床試験（治験）



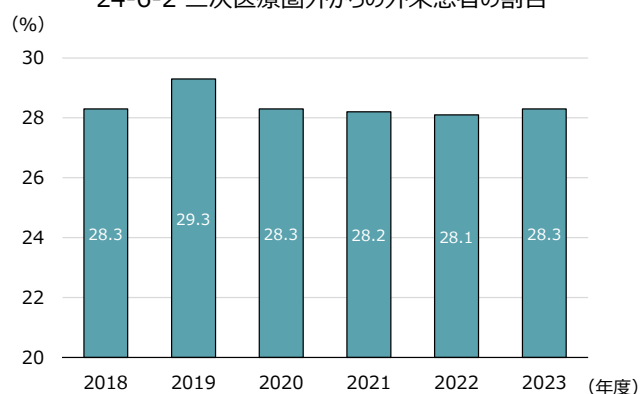
24-6 附属病院の取り組み ―地域医療への貢献―

○ 毎年、恒常的に地域医療への貢献に取り組んでいる。なかでも、地域への医師派遣数（24-6-4）は近年増加傾向にあり、2023年度には2,000件を超えた。

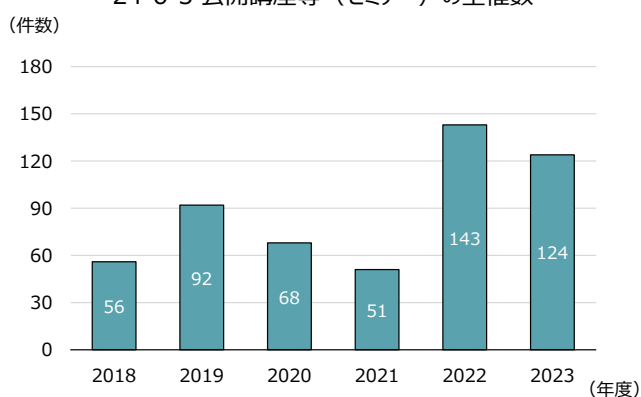
24-6-1 救命救急患者数



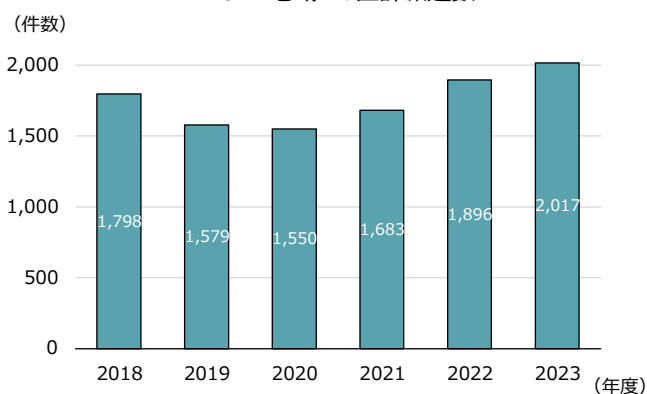
24-6-2 二次医療圏外からの外来患者の割合



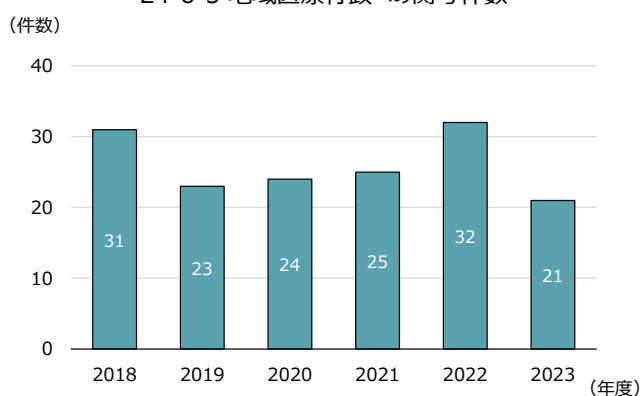
24-6-3 公開講座等（セミナー）の主催数



24-6-4 地域への医師派遣数



24-6-5 地域医療行政への関与件数



25. 附属学校

基本データ

25-1 2024年5月1日現在

附属学校園	生徒数	クラス数	教諭数
附属幼稚園	117	6	9
附属小学校	405	12	22
附属中等教育学校	712	18	47
附属特別支援学校	53	9	34
計	1,287	45	112

中等教育学校卒業生の進路状況

中等教育学校では、2015年3月に初めての卒業生を輩出し、それ以降主に大学等へ進学している。

25-2 2024年5月1日現在 単位：人

区分	2023年3月卒業			2024年3月卒業		
	男	女	計	男	女	計
国公立大学	25	27	52	28	29	57
海外の大学	0	0	0	0	0	0
私立大学（大学校含む）	7	27	34	9	6	15
短期大学	0	0	0	0	0	0
各種・専門学校	0	0	0	0	0	0
就職：企業等	0	0	0	0	0	0
就職：公務員	0	0	0	0	0	0
進学準備	22	17	39	17	16	33
卒業生数	54	71	125	54	51	105

（文部科学省事業）

○ 附属幼稚園・小学校
・2013年度～2016年度 研究開発学校指定
（2017年度～2019年度 研究開発学校延長指定）

○ 附属幼稚園
・2024年度～2027年度 研究開発学校指定

○ 附属中等教育学校
・2013年度～2016年度 研究開発学校指定
（2017年度～2019年度 研究開発学校延長指定）
・2015年度～2019年度 スーパーグローバルハイスクール（SGH）指定
・2020年度～2024年度 スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定

【主な進学先】

（国公立大学）

神戸大学、東京大学、京都大学、北海道大学、東北大学、大阪大学、一橋大学、鳥取大学、岡山大学、広島大学、徳島大学、香川大学、大阪公立大学、兵庫県立大学、神戸市外国語大学 他

（私立大学）

東京理科大学、立命館大学、関西大学、関西医科大学、関西学院大学 他

教育実習等の実施

附属学校部では、神戸大学の学生を中心に教育実習や介護等体験を実施している。

25-3 2024年5月1日現在

附属学校園	実習の種類	実習者数（人）
附属幼稚園	教育実習	8
附属小学校		34
附属中等教育学校		65
附属特別支援学校		22
	介護等体験	107

神戸大学day等の開催

【神戸大学day】 2024年5月実施

中等教育学校では、毎年、4・5年生を対象に、神戸大学の12の学部・学科のガイダンスや講義を受講できる「神戸大学day」を実施しており、2024年度は中等教育学校内で対面により開催し、219名の生徒が受講した。

【連携授業】 2023年10月実施

2023年度には、国際人間科学部の協力により、連携授業を開催し（神戸大学国際人間科学部（鶴甲第2キャンパス）で実施）、42名の小学生及び中等教育学校生が大学の授業を受講した。



海外交流事業

中等教育学校においては、2023年度、5名の生徒を「ASEP2023」参加のため高雄師範大学附属高級中学校に派遣した。14名の生徒を英国研修に派遣し、交流協定校のComberton Village Collegeで課題研究の交流を行った。

小学校においては、「グローバルキャリア人の基本的資質の育成」を目指し、2024年度はアメリカ合衆国ハワイ州ホノルルのハハイオネ校の受け入れを行った。

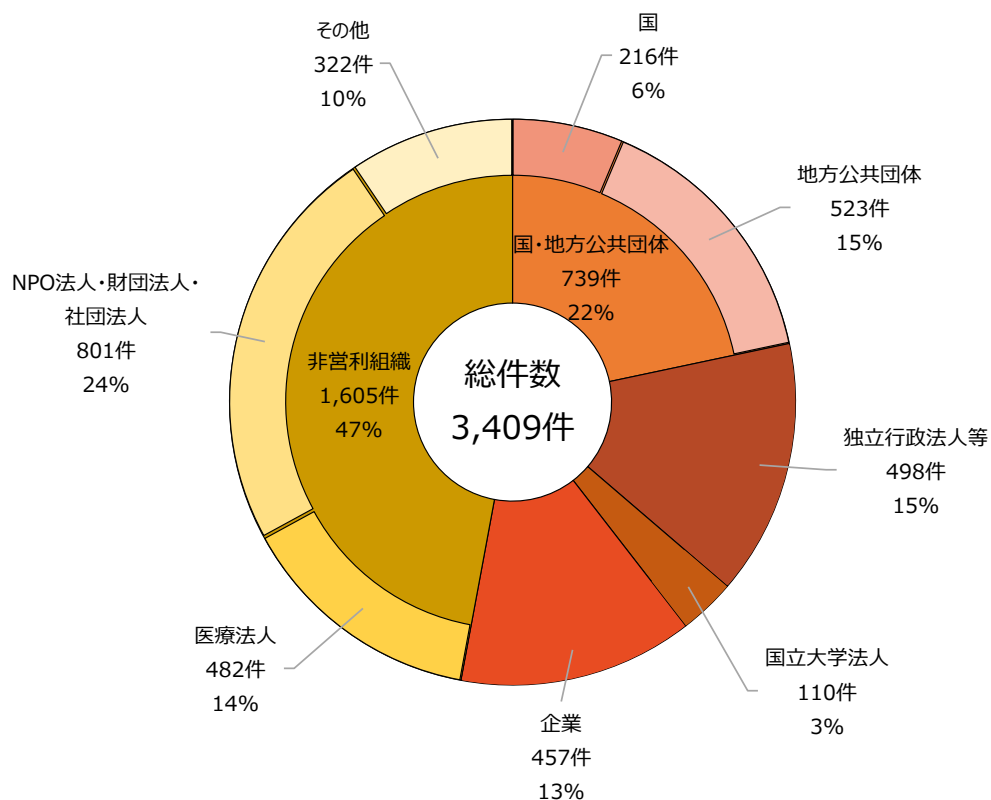
また、オーストラリアクイーンズランド州ブリスベンのアイアンサイド校へ児童27名を派遣した。なお、この派遣では国際人間科学部の実践型プログラムとして、同学部の学生10名が引率として帯同した。



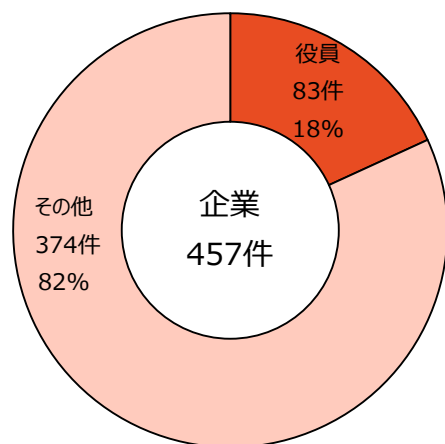
26. 学外機関への参画状況

- 本学教員の学外機関への参画状況（26-1）について、国・地方公共団体及び独立行政法人等への参画が36%、企業及び非営利組織への参画が60%となっている。
- 企業への参画件数（26-2）457件のうち、83件（18%）は役員としての参画である。

26-1 組織別参画状況（2023年度）



26-2 企業への参画状況（2023年度）



- ※ 小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。
- ※ 2023年度に当該機関から委嘱されているものが対象（2023年以前より継続しているものを含む）。1教員が複数機関から委嘱されている場合については、複数カウントしている。
- ※ 他大学等で教育に従事する者（非常勤講師等）及び、短期兼業は除く。

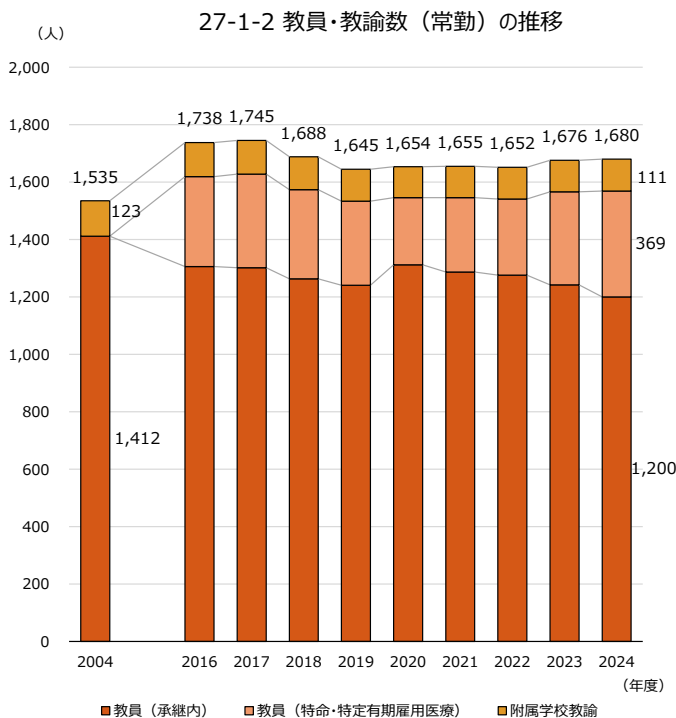
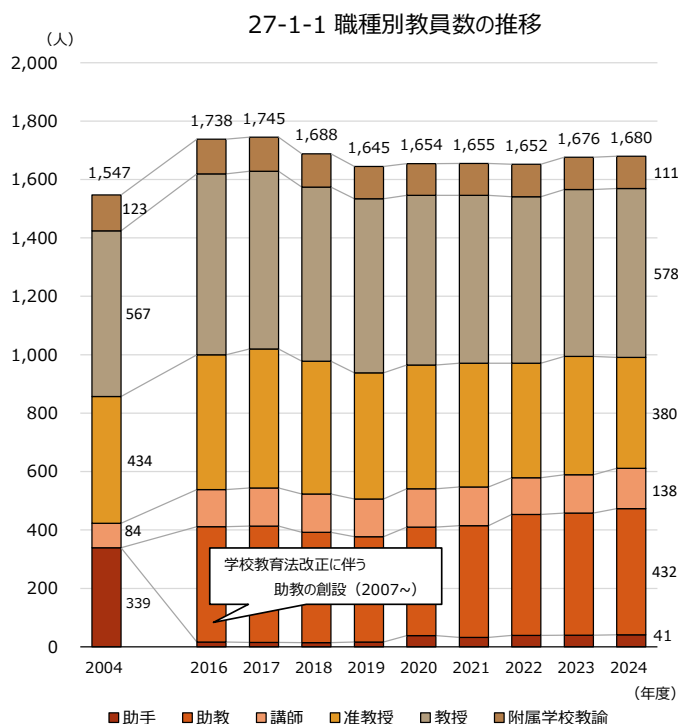
27. 教員

27-1 教員数の推移等

○ 法人化した2004年度と比べ、常勤教員（承継内）は減少し、特命教員及び特定有期雇用医療教員は増加している。

教員（神戸大学）

各年度5月1日現在

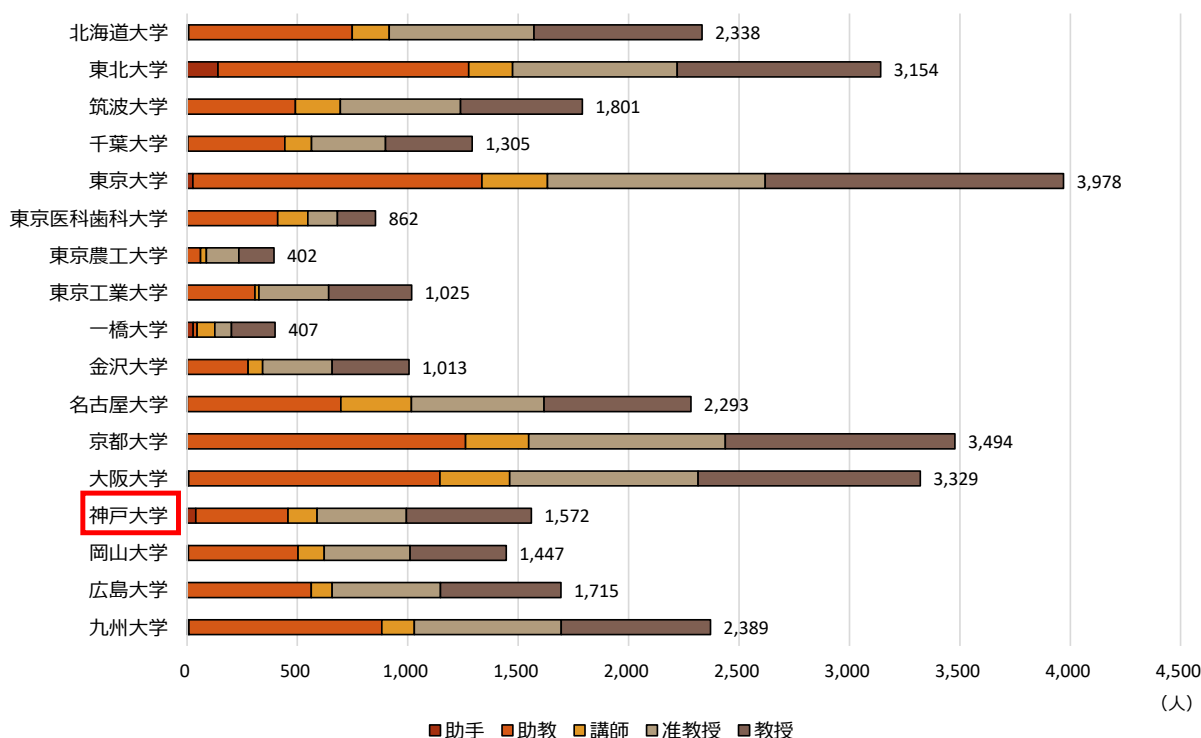


※（27-1-2）2004年度のみ休職者を含まない現員数を記載している。

教員（全国）

27-1-3 教員数 17大学間の比較

2023年5月1日現在



出典：独立行政法人大学改革支援・学位授与機構「大学基本情報」

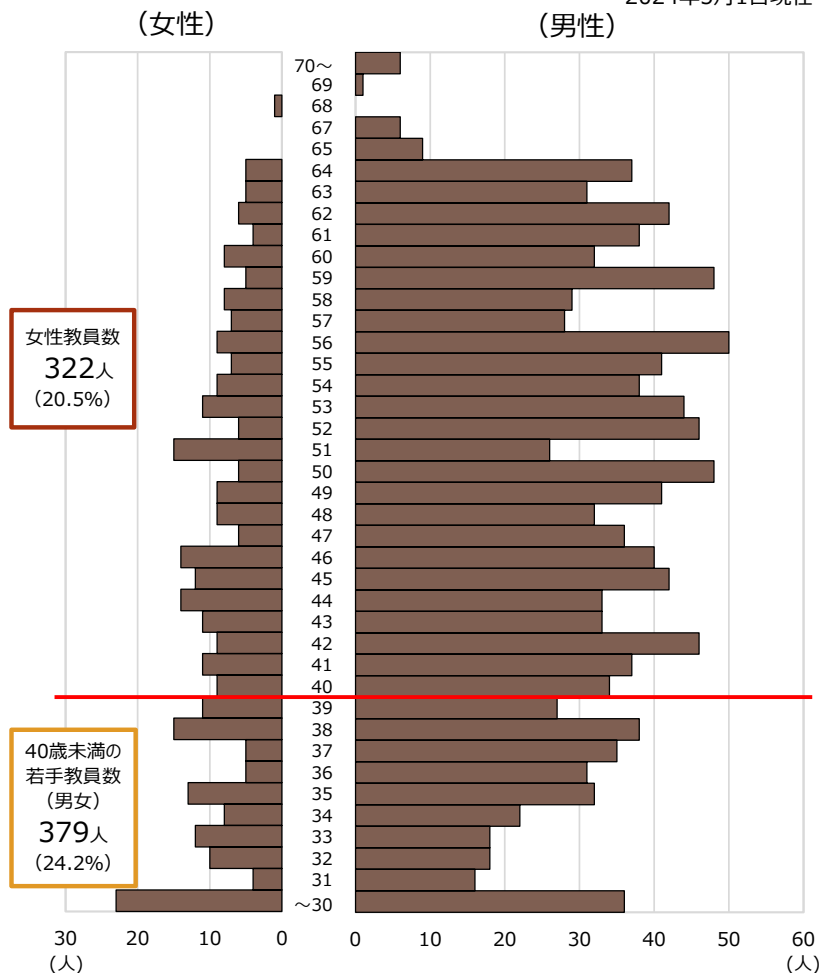
27-2 若手教員・女性教員の推移等

- 年齢が高くなるほど男性の比率が高くなっている。
- 40歳未満の若手教員数・比率（27-2-2）は、増加傾向にある。
- 女性教員（27-2-3）については、2018年度に比率が減少したものの、その後は増加傾向にある。

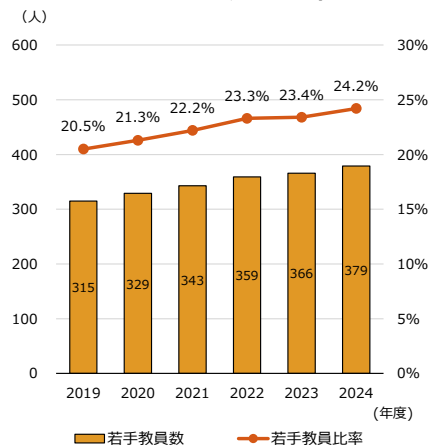
各年度5月1日現在

27-2-1 男女別・年齢別・職種別教員数（神戸大学）

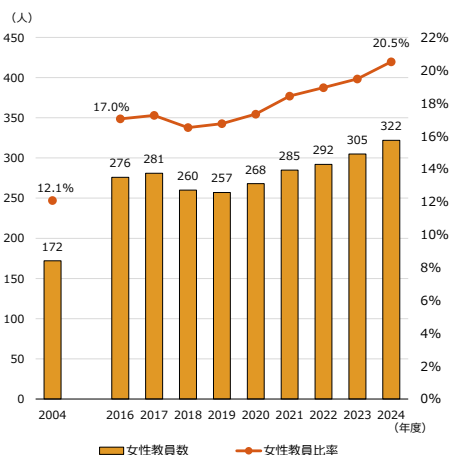
2024年5月1日現在



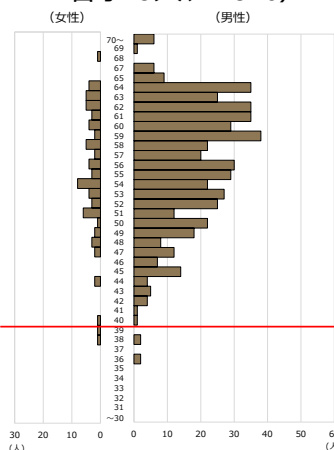
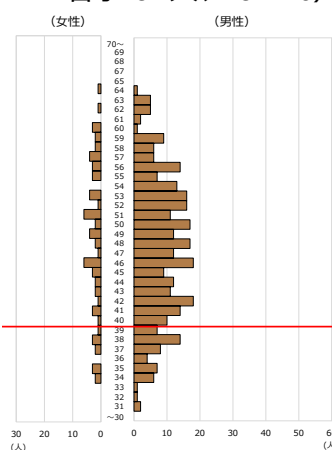
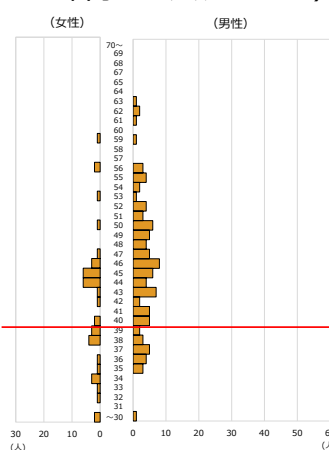
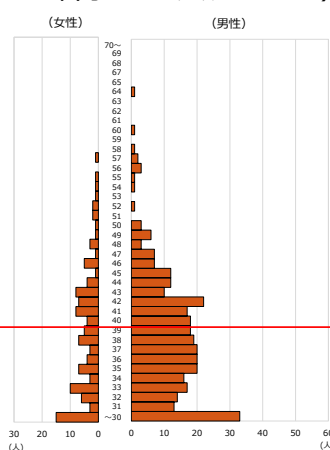
27-2-2 若手教員数・比率の推移（神戸大学）



27-2-3 女性教員数・女性教員比率の推移（神戸大学）



(職種別内訳)

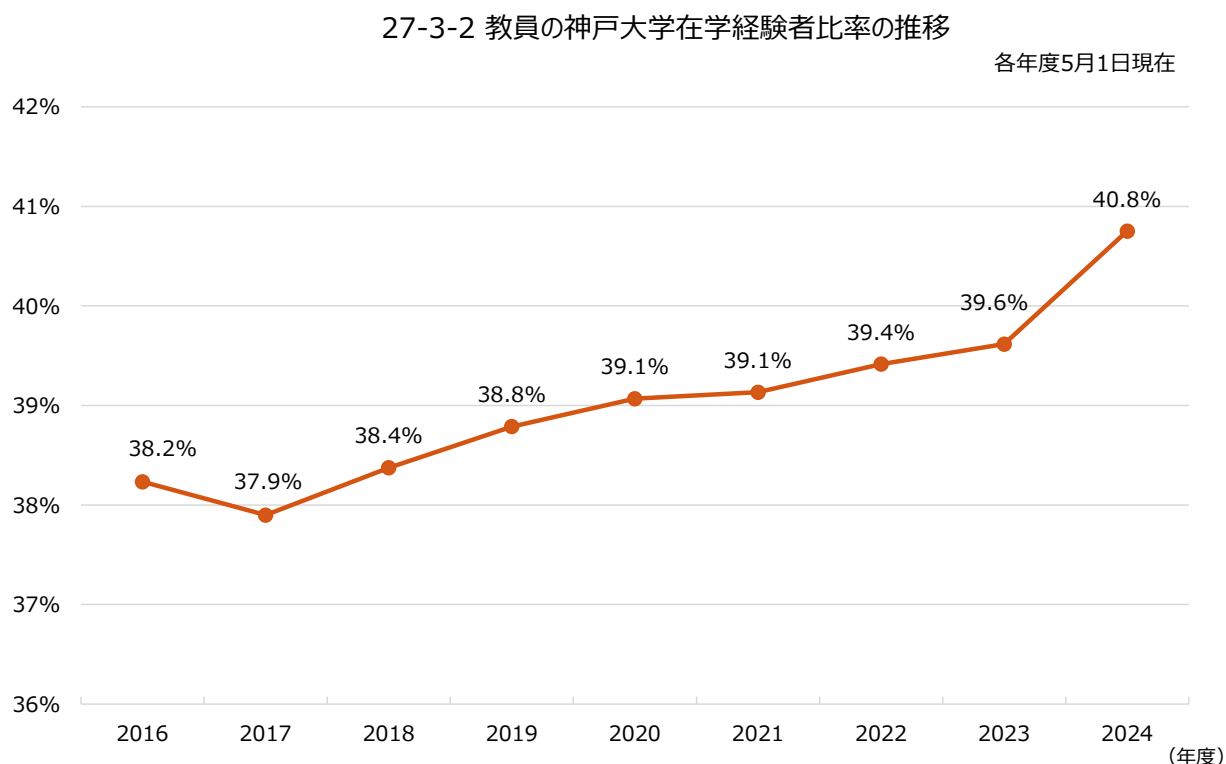
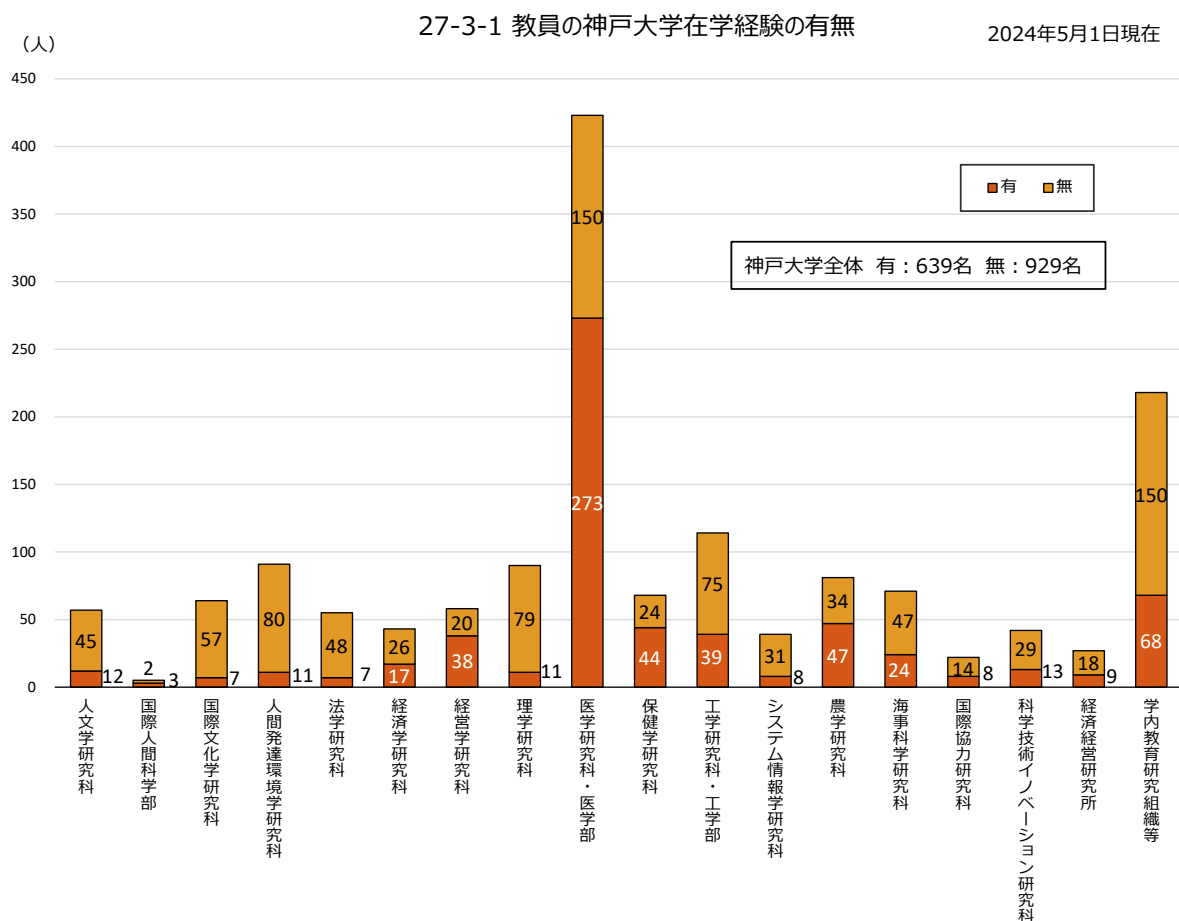
27-2-4 教授 578人
(女性 72人、12.5%
若手 6人、1.0%)27-2-5 准教授 380人
(女性 68人、17.9%
若手 61人、16.1%)27-2-6 講師 138人
(女性 41人、29.7%
若手 34人、24.6%)27-2-7 助教 432人
(女性 114人、26.4%
若手 253人、58.6%)

※その他：助手（41人）

※各教員数に役員・教諭の数は含まない。休職者は含む。

27-3 教員の神戸大学在学経験者

○ 神戸大学在学経験者は増加傾向にあり、2024年度には40%強となっている。

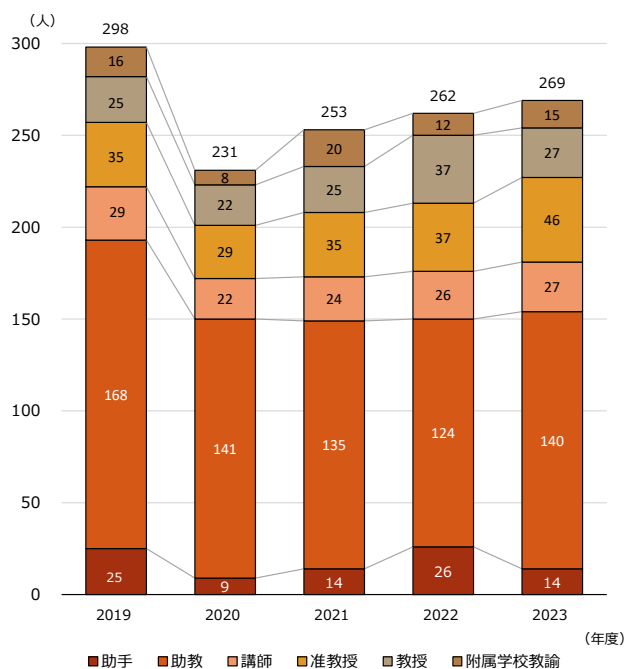
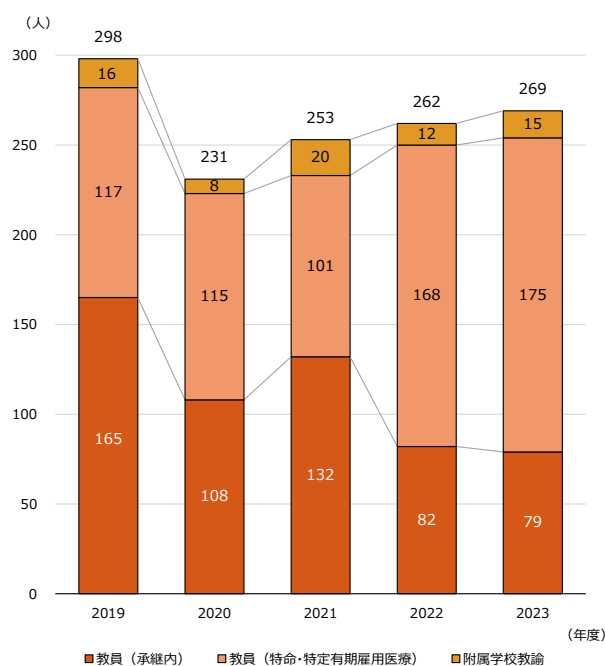


※各教員数に役員・教諭の数は含まない。休職者は含む。

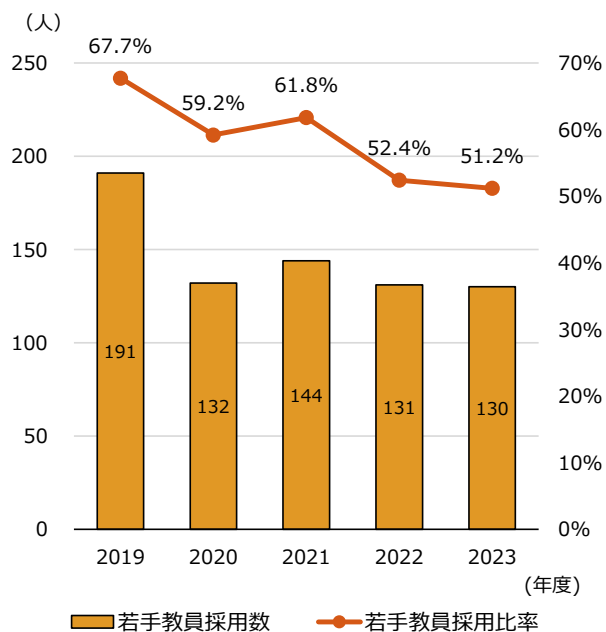
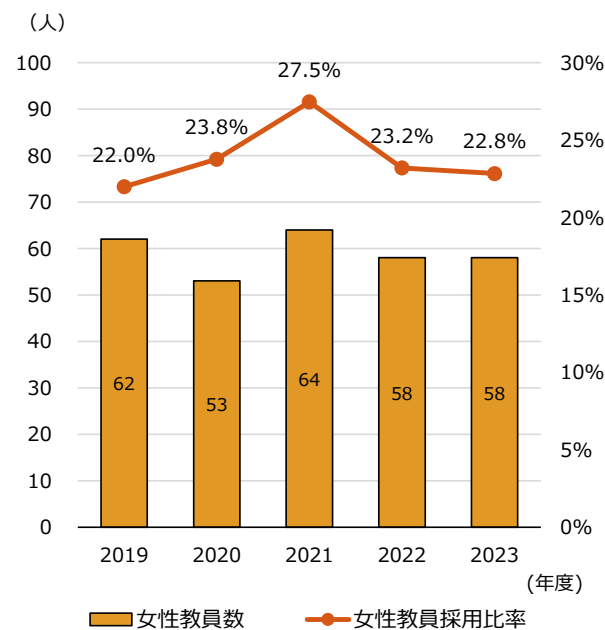
27-4 教員採用の推移

- 全体として毎年250人前後の採用があるが、特に近年は特命教員及び特定有期雇用医療教員（27-4-2）の採用が増加している。
- 教員採用のうち40歳未満の若手教員（27-4-3）が半数以上であるが、その比率は減少傾向にある。
- 教員採用のうち女性教員（27-4-4）は2割超となっている。

各年度5月1日現在

27-4-1 職種別教員採用数の推移
(神戸大学)27-4-2 教員・教諭採用数（常勤）の推移
(神戸大学)

※特命教員等の昇任等に伴う退職・採用のケースを含む。

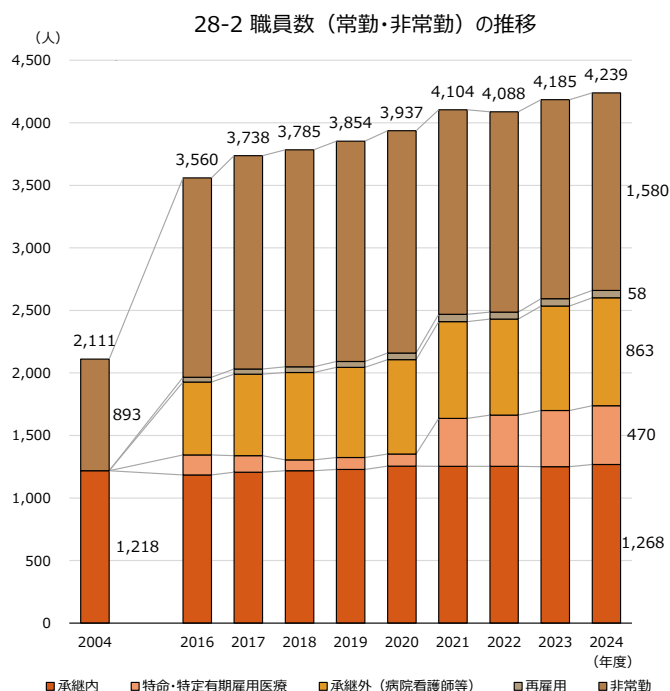
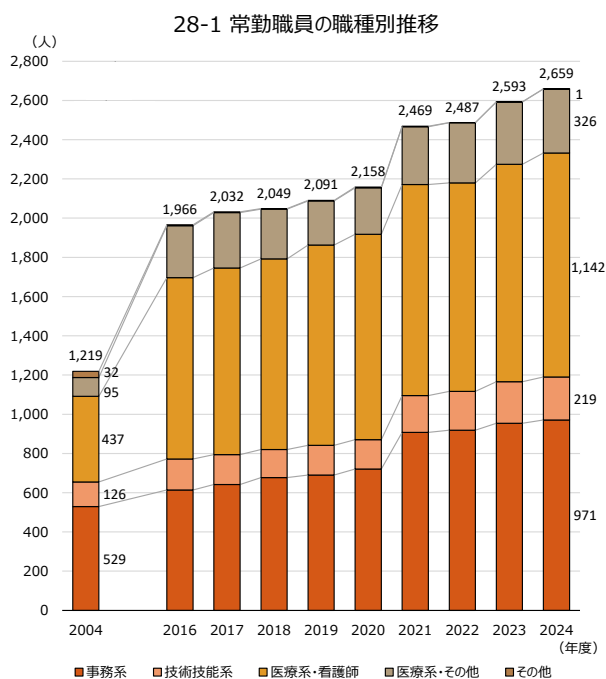
27-4-3 若手教員採用数・比率の推移
(神戸大学)27-4-4 女性教員採用数・比率の推移
(神戸大学)

28. 職員

- 職種別（28-1）では、医療系職員が大幅に増加していることが分かる。また、法人化した2004年度と比べ、非常勤職員（28-2）は大幅に増加しており、2021年度よりフルタイム非常勤職員の雇用廃止及び特定有期雇用医療職員（一般職）の新設により常勤職員数が増加している。
- 女性職員（28-4）については、法人化時に比べ人数・割合ともに大幅に増加しているが、これは看護師等の医療系職員の増加によるところが大きい。

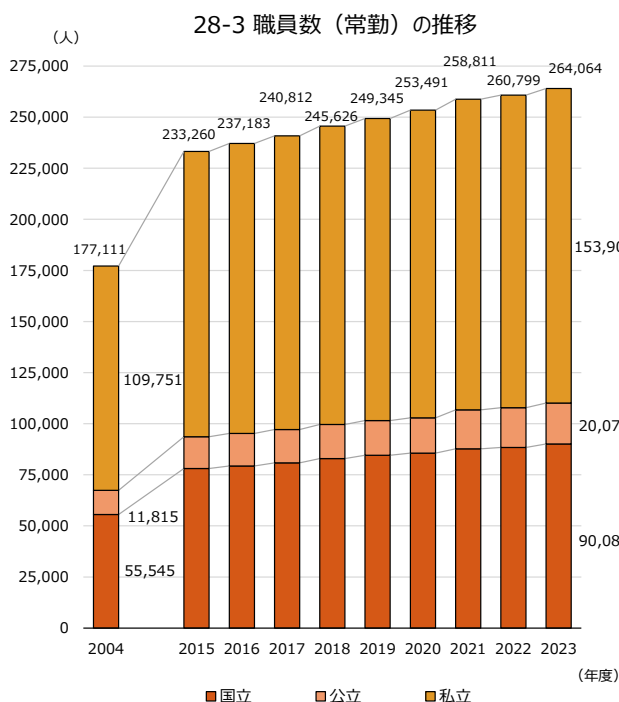
職員（神戸大学）

各年度5月1日現在



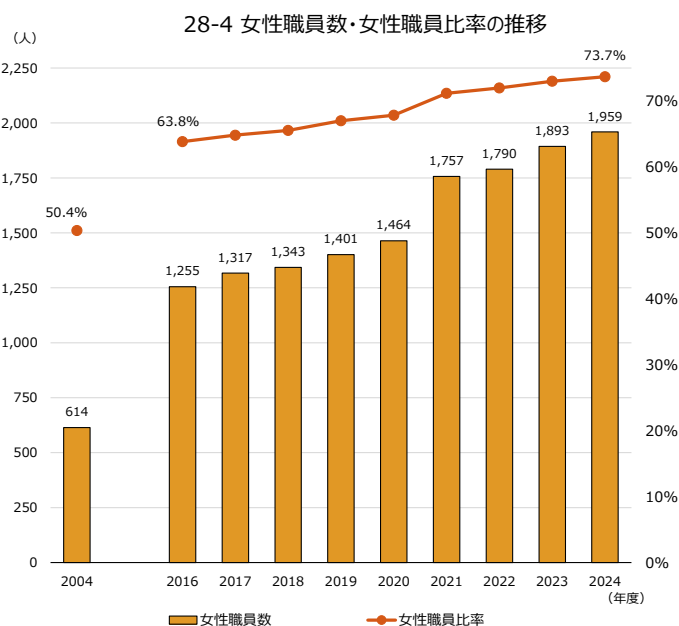
※（28-2）2004年度のみ休職者を含まない現員数を記載している。

職員（全国）



出典：文部科学省「学校基本調査」

女性職員数・女性職員比率の推移 （神戸大学）



※休職者を含む。

29. 財務

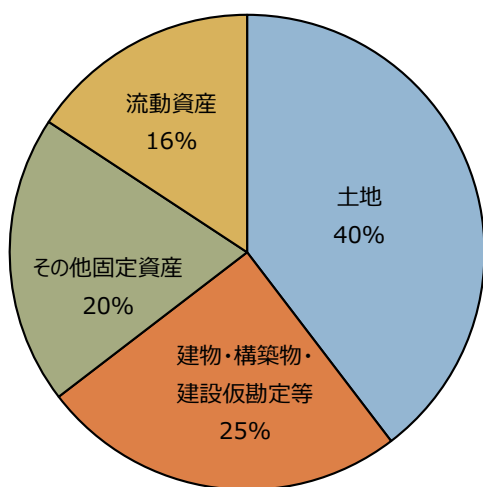
29-1 貸借対照表の概要

- 土地・建物等が総資産に占める割合は約65%となっている。2004年度と比較して建物等が大きく減少する一方、特に近年、流動資産が増加している。

■ 土地 ■ 建物・構築物・建設仮勘定等 ■ その他固定資産 ■ 流動資産

29-1-1 2023年度 総資産額

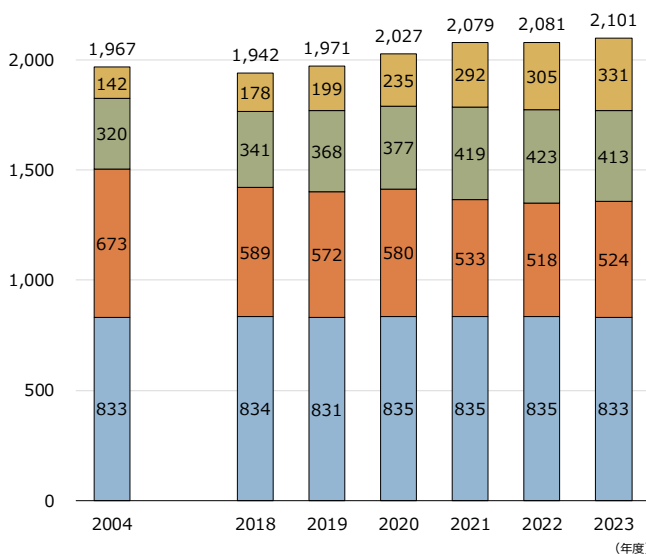
2,101億円



※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。

29-1-2 総資産額の推移

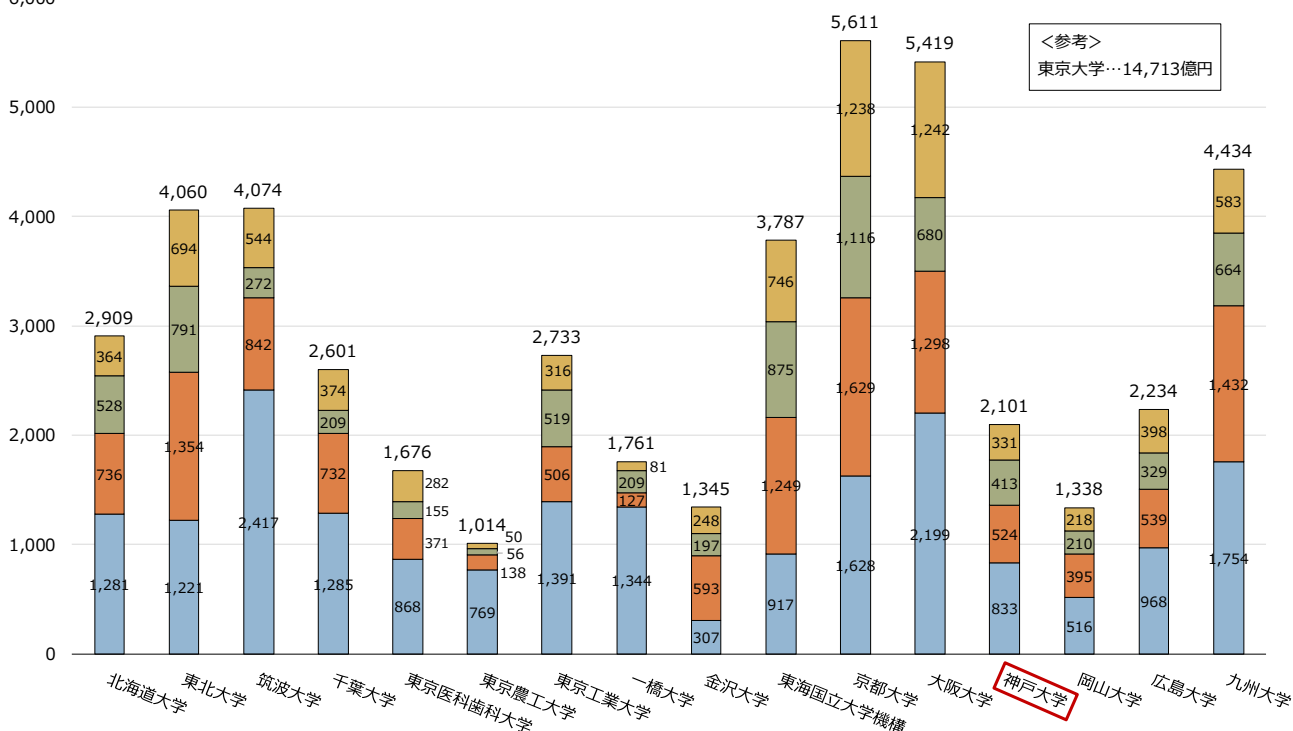
(億円)



29-1-3 17大学間の比較（総資産）

(2024年3月31日時点)

(億円)

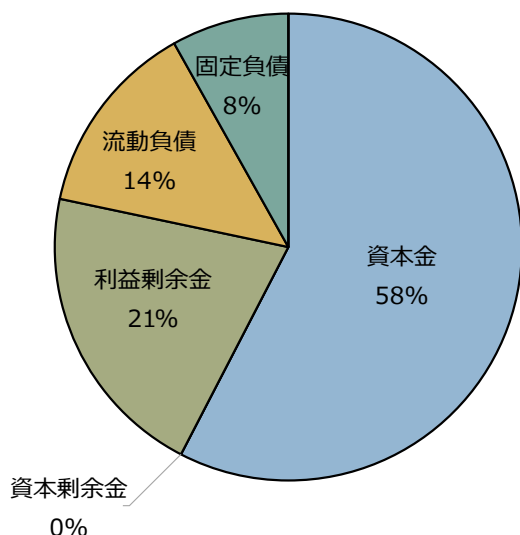


- 資本金は全額、国からの出資であり、法人化以降で大きな変動はない。
- 負債は2022年度の会計基準の改訂に伴い、資産見返負債を臨時利益に振り替えたため、固定負債が減少している。

■ 資本金 ■ 資本剰余金 ■ 利益剰余金 ■ 流動負債 ■ 固定負債

29-1-4 2023年度 負債・純資産の内訳

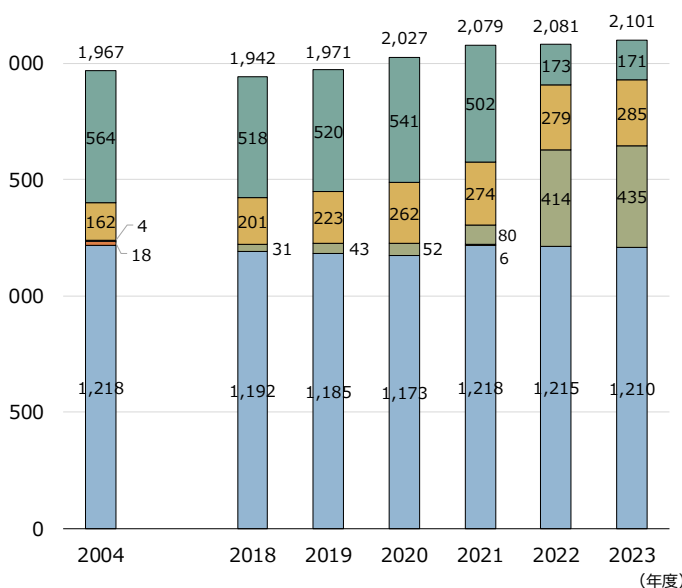
2,101億円



※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。

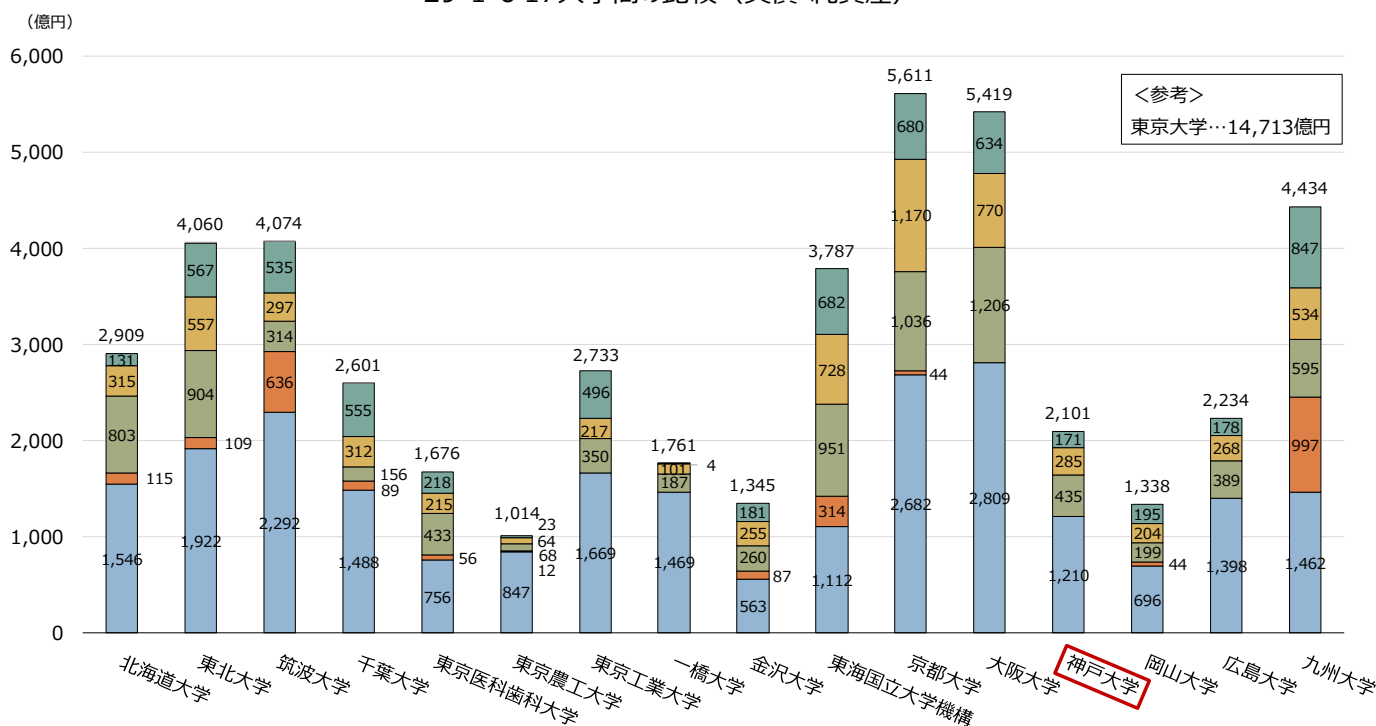
(億円)

29-1-5 負債・純資産額の推移



29-1-6 17大学間の比較 (負債・純資産)

(2024年3月31日時点)



<参考>

東京大学…14,713億円

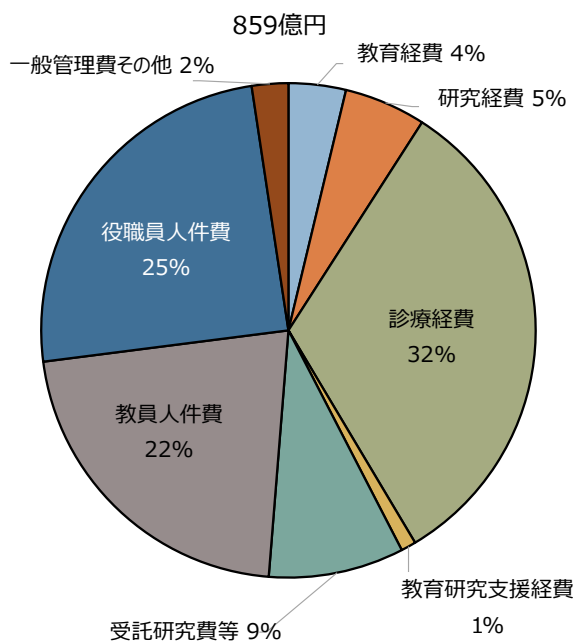
※資本剰余金がマイナスの大学は、グラフ上では資本金から除いて表示。

29-2 損益計算書の概要

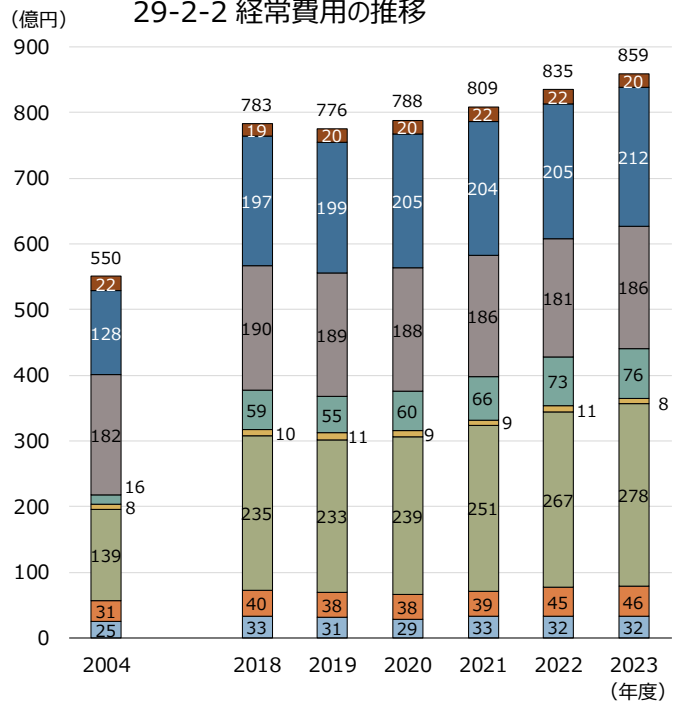
○ 2004年度と比較すると、附属病院収益の大幅な増加に伴い、診療経費や役職員人件費の規模も大きく増加している。

教育経費 研究経費 診療経費 教育研究支援経費
 受託研究費等 教員人件費 役職員人件費 一般管理費その他

29-2-1 2023年度 経常費用の内訳



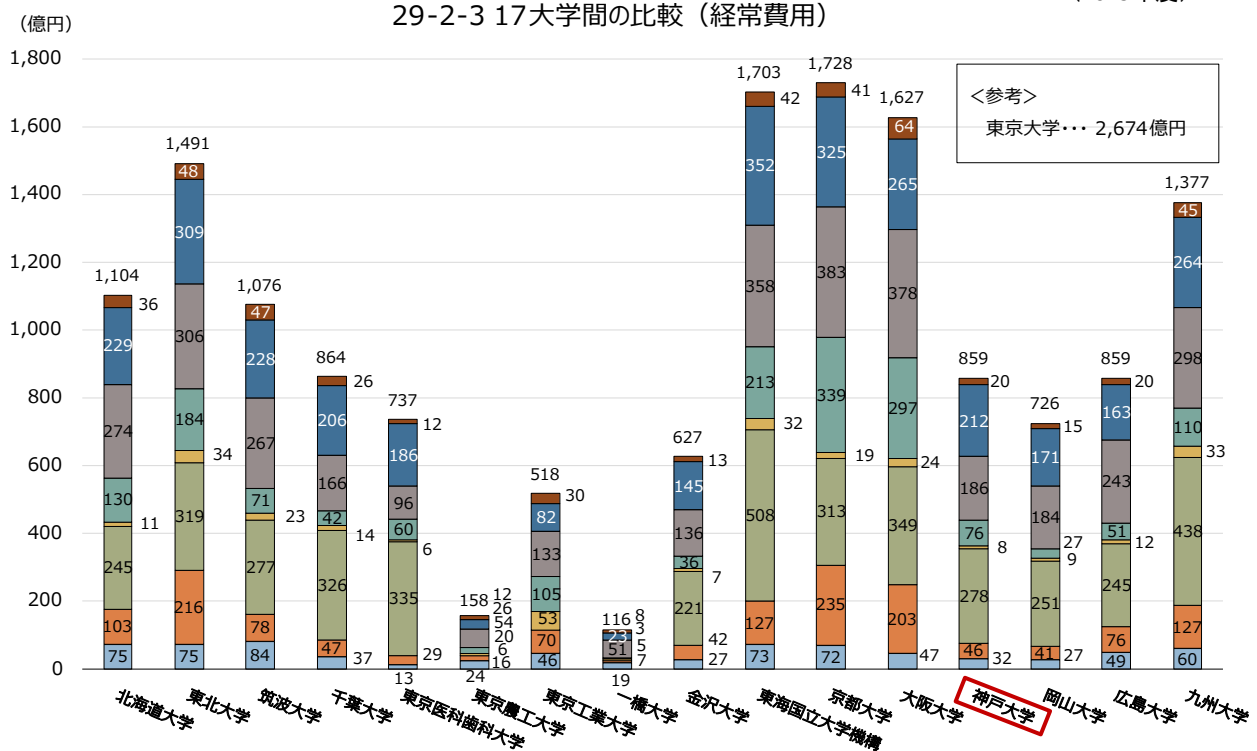
29-2-2 経常費用の推移



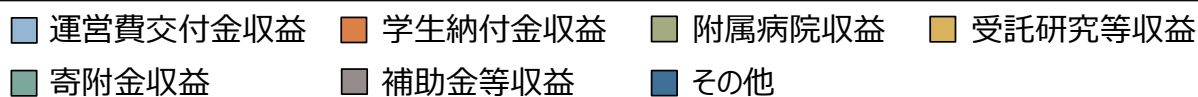
※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。

29-2-3 17大学間の比較 (経常費用)

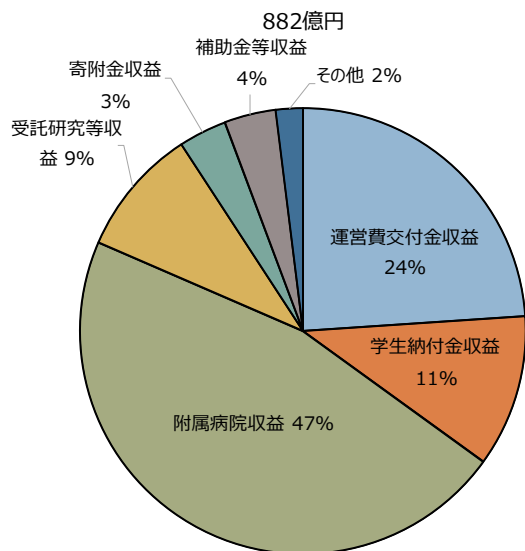
(2023年度)



- 附属病院収益や受託研究等収益が増加していることに伴い、経常収益の規模は2004年度に比して1.5倍以上に増加している。



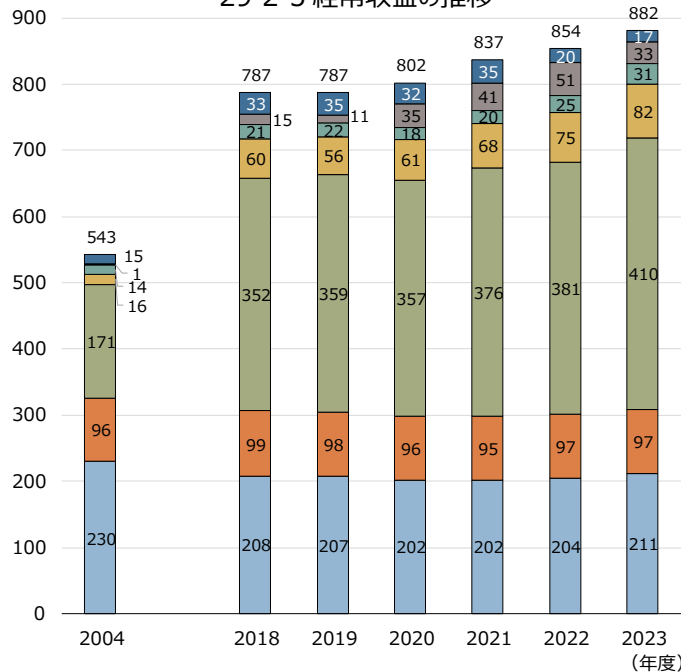
29-2-4 2023年度 経常収益の内訳



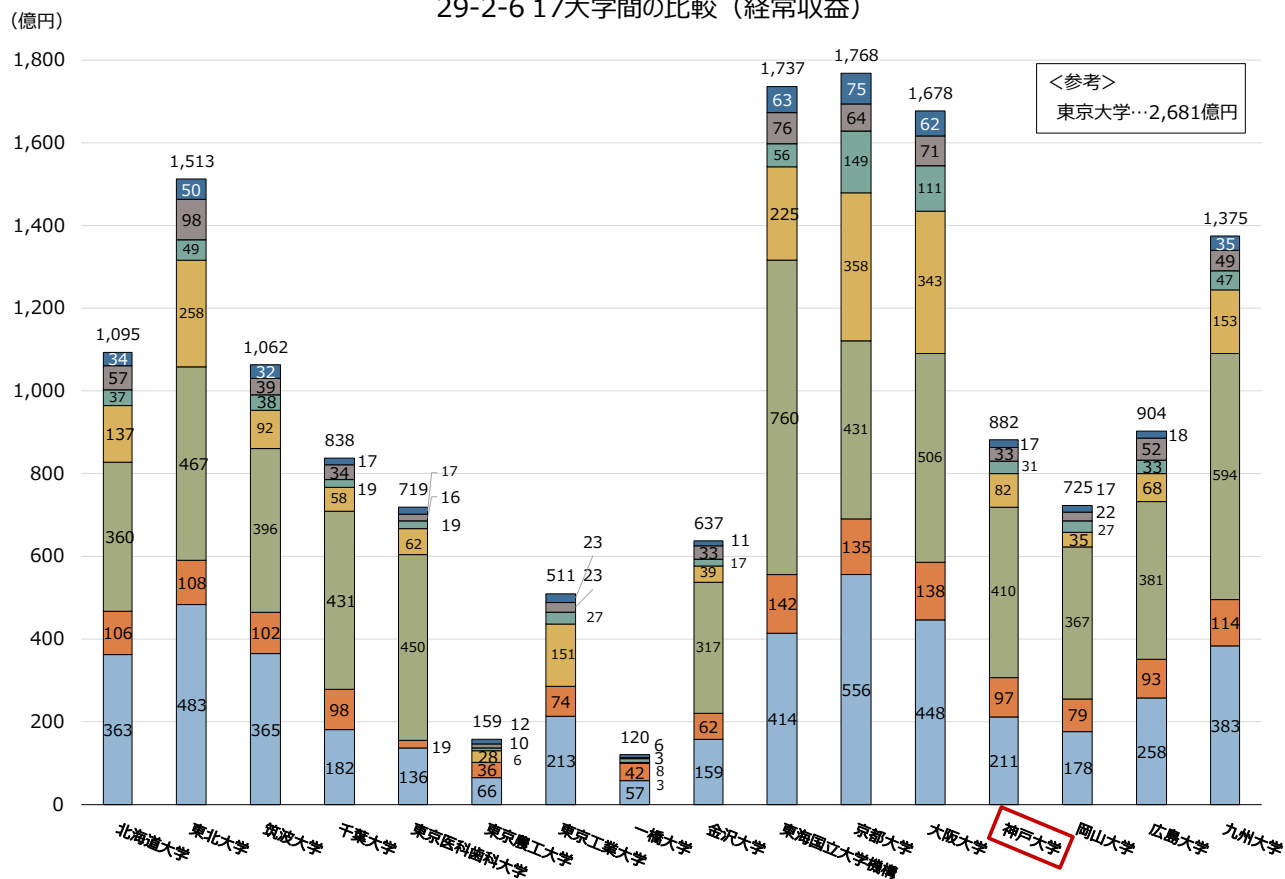
※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。

(億円)

29-2-5 経常収益の推移



29-2-6 17大学間の比較（経常収益）

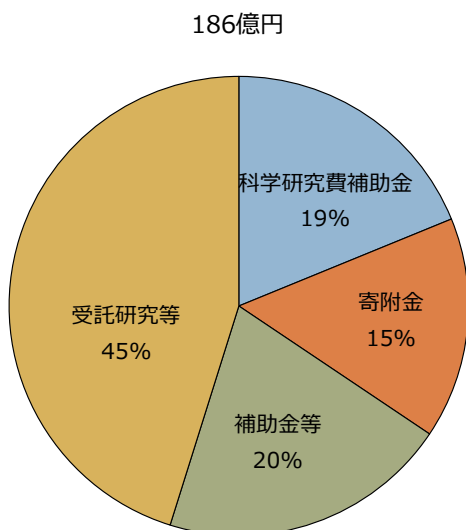


29-3 外部資金受入れ状況

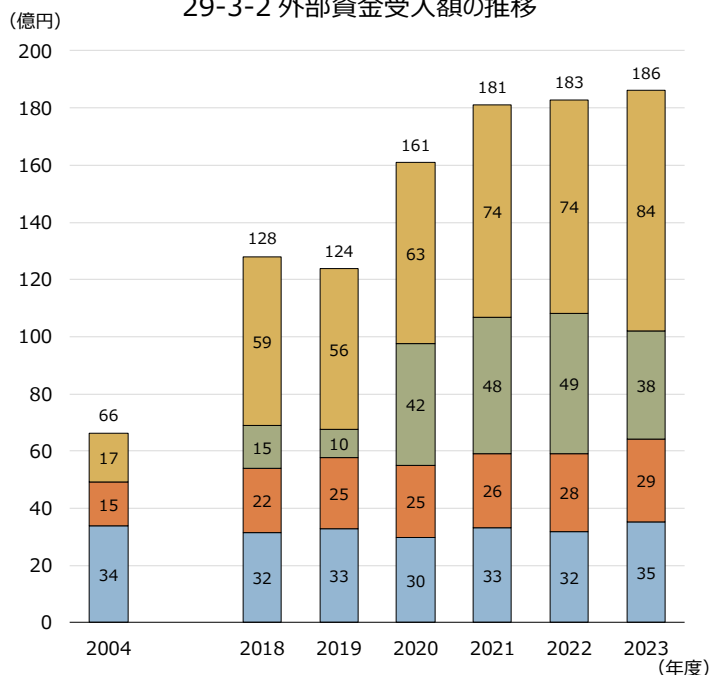
- 外部資金の2023年度受入額は、2004年度と比較すると大きく増加しており、特に受託研究等の増加が顕著となっている。

■ 科学研究費補助金 ■ 寄附金 ■ 補助金等 ■ 受託研究等

29-3-1 2023年度外部資金受入額の内訳



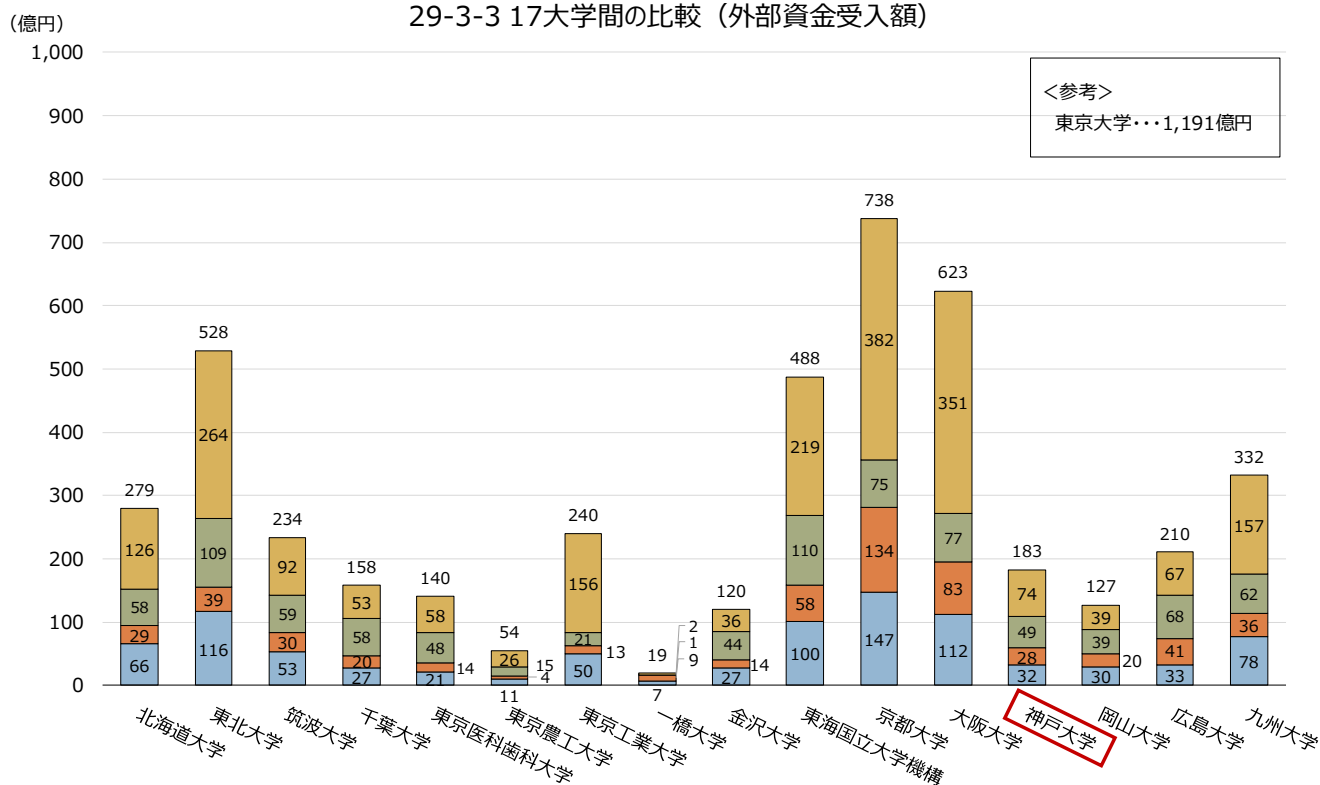
29-3-2 外部資金受入額の推移



※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。

29-3-3 17大学間の比較（外部資金受入額）

(2022年度)

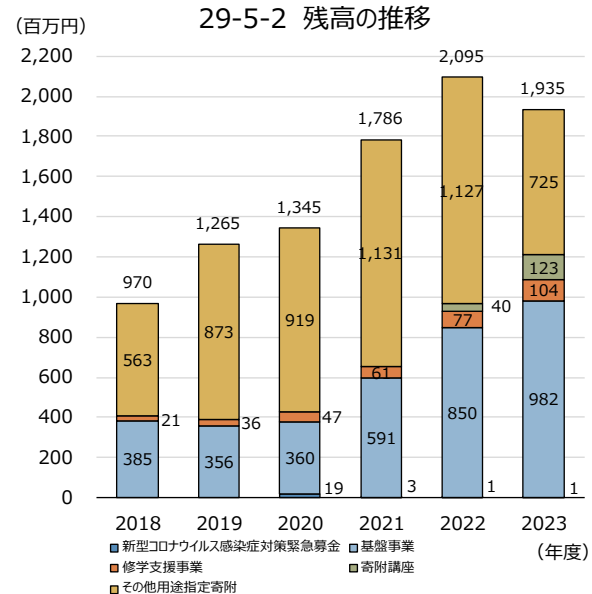
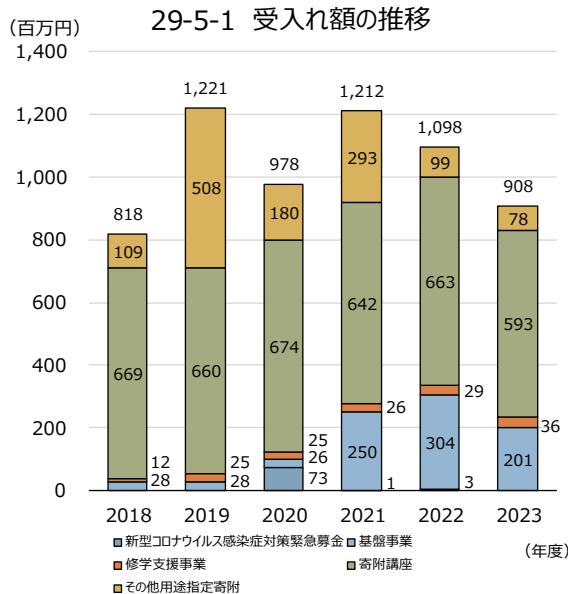


29-4 補助金・受託研究等による主な採択プログラム一覧

事業・プログラム名/取組名	実施担当部局	代表者名	2023年度 受入金額 (千円)	採択期間 (年度)
オープンイノベーション機構の整備事業				
神戸大学オープンイノベーション推進本部（OI推進本部）	産官学連携本部	河端 俊典	81,250	2019～2023
地方大学・地域産業創生交付金				
神戸未来医療構想	産官学連携本部	河端 俊典	888,947	2019～2023
科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロースシップ創設事業				
科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロースシップ創設事業	キャリアセンター	神戸大学長	70,200	2020～2023
大学の世界展開力強化事業				
異分野共創によるリスク・マネジメント専門家養成共同教育プログラム	国際協力研究科	木村 幹	9,465	2021～2025
世界的課題解決に向けた工学系グローバル人材育成のための国際共修/協働学修プログラム	工学研究科	大村 直人	16,480	2022～2026
国立大学経営改革促進事業				
社会変革を先導する「異分野共創研究教育グローバル拠点」の形成に向けた経営改革	－	神戸大学長	385,000	2022～2025
地域中核大学イノベーション創出環境強化事業				
地域中核大学イノベーション創出環境強化事業	－	神戸大学長	100,000	2022～2023
地域の中核大学等のインキュベーション・産学融合拠点事業				
バイオメディカルメンブレン研究・オープンイノベーション拠点	産官学連携本部	河端 俊典	798,828	2022～2023
地域中核・特色ある研究大学の連携による産官学連携・共同研究の施設整備事業				
バイオものづくり共創拠点	産官学連携本部	河端 俊典	2,080,000	2022～2023
次世代研究者挑戦的研究プログラム				
次世代研究者挑戦的研究プログラム異分野共創による次世代卓越博士人材育成プロジェクト	キャリアセンター	神戸大学長	428,769	2021～2026
ムーンショット型研究開発事業				
こころの可視化と操作を可能にする脳科学的基盤開発	医学研究科	内匠 透	43,000	2022～2024
子どもの虐待・自殺ゼロ化社会	医学研究科	菱本 明豊	23,000	2023～2024
人材育成推進事業費補助金				
企業と大学による価値共創を志向するDXエキスパート育成プログラム	数理・データサイエンスセンター	玉置 久	17,369	2022～2023
地域共生社会の牽引人材を育成する重層支援Dxに関するリカレント教育	保健学研究科	秋末 敏宏	17,489	2022～2023
先端理系人材のイノベーション指向リスクリテラシー	科学技術イノベーション研究科	永田 真	29,750	2023
人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業				
地域/社会課題を解決する対話型ビジネス価値共創人材養成のための価値創発から社会実装までの一貫教育プログラム	経営学研究科	國部 克彦	39,700	2023～2028
大学・高専成長分野転換支援基金助成金				
神戸大学システム情報学カレッジ構想による高度情報専門人材の育成	－	神戸大学長	36,300	2023～2032
地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）				
バイオものづくりの卓越した基礎研究と社会実装の両輪で世界をリードするイノベーションを継続的に創出する地域中核のグローバル・イノベーション・キャンパス ※事業開始は2023年度であるが、交付は2024年度開始	産官学連携本部	河端 俊典	0	2023～2028

29-5 神戸大学基金

- 2006年12月に設置された「神戸大学基金」は多くの支援を賜り、様々な分野において活用されている。2023年度は「創立120周年記念募金」に係る募集期間の最終年度であったため、積極的な寄附依頼を実施したことにより、2022年度に引き続き120周年記念基盤事業への多額の寄附を受け入れることができた。



※2019年度は神戸大学創立120周年記念事業「神戸大学パリュースクール」設立に伴う寄附金により、一時的にその他用途指定寄附が増加。
 ※2022年は神戸大学創立120周年の年であったことから、2021年度から2023年度にかけて募集した120周年記念基盤事業への寄附が増加。

※寄附講座については、原則、年度ごとに全額予算振替のため残高に計上されない。
 ※2022年度はコロナ禍の影響等で支出が抑えられたことにより寄付金残高が増加。
 ※その他用途指定寄附についてはクラウドファンディングにかかる寄附金を含む。
 (2019年度：2百万円、2020年度：30百万円、2021年度：14百万円、2022年度：2百万円、2023年度：4百万円)

「基盤事業（120周年記念基盤事業含む）」及び「修学支援事業」による学生への支援実績

基盤事業（120周年記念基盤事業含む）による支援 【3,853円】

- 課外活動支援
【支援数 35団体】
- 災害関連ボランティア活動支援
【派遣学生数 延べ252名／年間】
- 学生の国際化対応（海外留学・派遣支援）
【利用者数 15名】
- 海外からの優秀な留学生の受入
【利用者数 121名】

修学支援事業による支援 【905万円】

- 「神戸大学基金」緊急奨学金
【支給者数 2名】
- 「神戸大学基金」奨学金（学部新1年次生対象）
【支給者数 57名】

参考：ネーミングライツによる外部資金（2018年度～2023年度）【累計7,943万円】

※近年、積極的に実施しているネーミングライツ事業による外部資金は、神戸大学基金ではないが基金に類するものとして記載した。

2018年度：【196万円】 延べ3件実施
 2019年度：【464万円】 延べ4件実施
 2020年度：【745万円】 延べ6件実施

2021年度：【1,149万円】 延べ8件実施
 2022年度：【2,515万円】 延べ11件実施
 2023年度：【2,874万円】 延べ13件実施

30. 附属図書館・その他一般開放施設

30-1 附属図書館

- 学内4つのキャンパスに9つの館室を配置し教育研究支援を展開している。
- 2023年度の入館者数（30-1-3）は2020年度からの新型コロナウイルス感染症の影響から回復してきているものの、以前の水準を大きく下回っている。
- 貸出冊数（30-1-4）は学生・教職員ともに2019年度以前と同様の水準となっている。

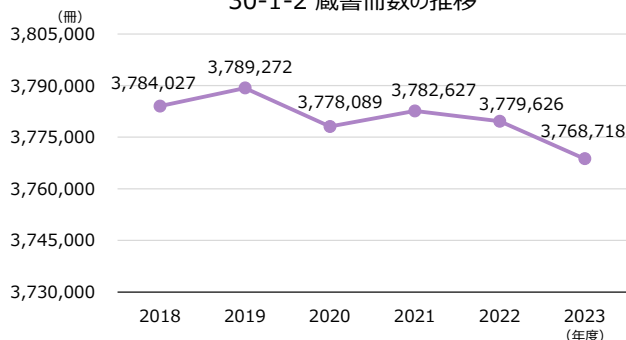
基本データ

30-1-1 蔵書冊数・貸出冊数・入館者数

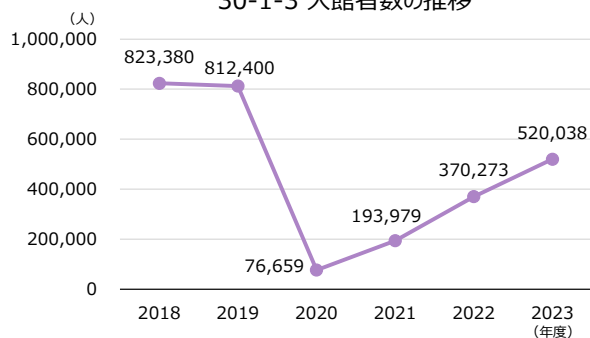
(2023年度実績)

区分		蔵書冊数			貸出冊数					入館者数
		和漢書	洋書	合計	学生院生	教職員	その他	学外者	合計	
附属 図書館	総合・国際文化学図書館	355,071	142,012	497,083	56,286	8,765	232	1,044	66,327	119,540
	社会科学系図書館	689,752	734,067	1,423,819	49,713	7,635	216	846	58,410	97,227
	自然科学系図書館	217,153	216,071	433,224	39,497	3,694	0	376	43,567	136,095
	人文科学図書館	215,365	117,811	333,176	22,866	3,897	5	474	27,242	50,380
	人間科学図書館	264,050	75,174	339,224	23,484	2,833	18	301	26,636	25,726
	経済経営研究所図書館	121,514	147,852	269,366	1,333	499	0	26	1,858	1,021
	医学分館	74,957	82,594	157,551	7,393	2,894	9	198	10,494	38,960
	保健科学図書室	50,938	7,339	58,277	12,590	903	3	69	13,565	28,688
	海事科学分館	200,676	56,322	256,998	18,522	2,644	11	271	21,448	22,401
合計		2,189,476	1,579,242	3,768,718	231,684	33,764	494	3,605	269,547	520,038

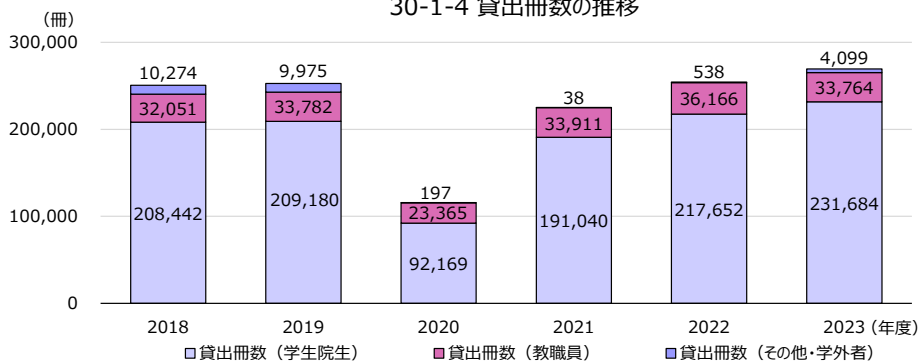
30-1-2 蔵書冊数の推移



30-1-3 入館者数の推移



30-1-4 貸出冊数の推移



30-1-5 17大学間での蔵書冊数の比較

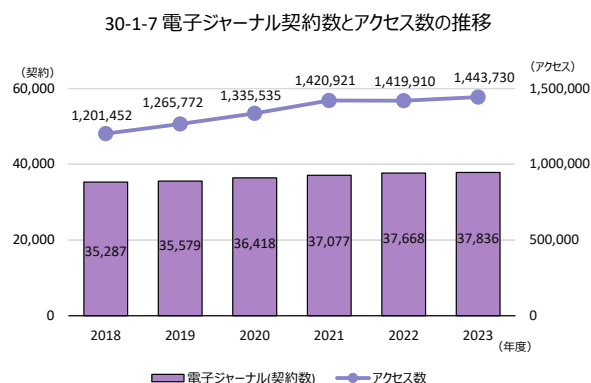
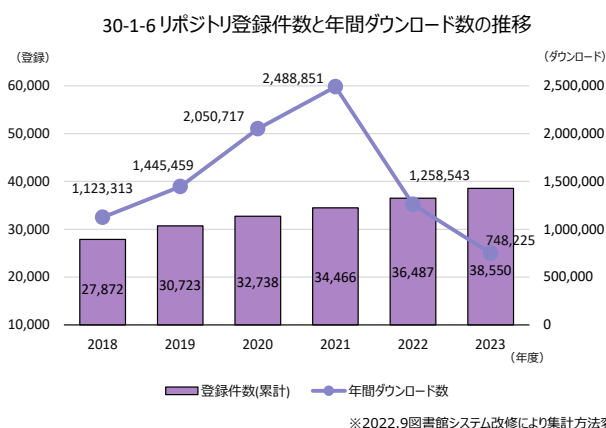
(2022年度)

大学名	冊	大学名	冊	大学名	冊
北海道大	3,737,083	東京農工大	519,041	大阪大	3,668,259
東北大	4,194,340	東京工業大	755,997	神戸大	3,779,626
筑波大	2,743,038	一橋大	2,077,801	岡山大	1,971,528
千葉大	1,261,991	金沢大	1,928,196	広島大	3,441,829
東京大	9,987,896	名古屋大	3,385,834	九州大	4,234,120
東京医科歯科大	270,024	京都大	7,366,474		

※各大学のホームページで公開されている2022年度中の蔵書冊数をもとに本学が作成

※東京医科歯科大は2020年度、東北大は2021年度

リポトリ・電子ジャーナルの活用状況



地域・社会との連携協力



地域・社会との連携協力の一環として、2004年度より毎年資料展を実施している。2023年度は「1933-社会科学系図書館誕生90周年-」として登録有形文化財である社会科学系図書館の建築や当時の大学内外の様子を紹介。また、震災文庫デジタルアーカイブでサンテレビジョンの取材映像150件を新たに追加し、震災翌日までに撮影した全映像の公開が完了した。

30-2 その他一般開放施設



大学文書史料室

(2023年度来場者数：5,134人(常設展・特別展))

特定歴史公文書等その他神戸大学の歴史に係る資料を保存するとともに、一般の利用に供することを目的とする施設(「国立公文書館等」指定施設)。神戸大学の伝統ある120年余の歴史を貴重な歴史資料や写真等で振り返ることができる展示を実施。

常設の展示会だけでなく、年1回の特別展や東京等での巡回展も開催。



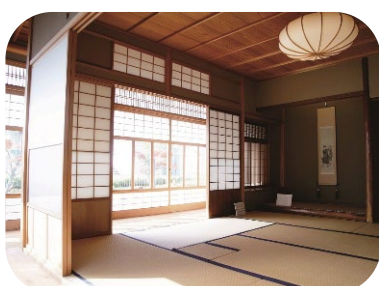
海事博物館 (<http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/>)

(2023年度来館者数：1,781人)

海事に関する資料を幅広く収集展示して教育研究の資に供し、あわせて海事の啓発に寄与することを目的とする施設。

和船模型と和船の部分実物や航路図、近代から現代の船舶模型や近代の航海用具、進水式絵葉書、寄贈コレクションや書籍など約4万点を収蔵する。

毎週、月・水・金の午後に開館。年末年始と夏季休館有。ほか臨時休館有。



山口誓子記念館

(2023年度来館者数：636人)

近代俳句に大きな足跡を残した山口誓子氏の居宅の母屋をほぼ忠実に復元した施設。

俳句俳諧文学を中心とする国文学研究の振興や海外との学術交流等に広く寄与することを目的とし、句会や茶会等にも利用できる。



神戸大学企画部企画課

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

TEL: (078) 803-5020